

## 第 9 期

網走市高齢者保健福祉計画

網走市介護保険事業計画

（計画期間：令和 6 年度～令和 8 年度）

～いきいきと健康に安心して住み続けたいまち『網走市』～

令和 6 年 3 月

網 走 市



## — は じ め に —



令和2年に実施した国勢調査によると、日本の総人口は減少傾向にありますが、一方で65歳以上の高齢者人口は過去最多となりました。

網走市においては高齢者全体を見ると令和2年をピークに緩やかに減少していますが、75歳以上の高齢者人口は増加しています。

いわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上となる令和7年（2025年）を目前にひかえ、更にその先を展望すると、総人口・現役世代人口がともに減少していく中で、介護サービス利用者が増え続けていくことが想定されるため、医療と介護の需要がより一層大きくなることが予測されます。

このような状況の中、令和6年においては地域の実情に応じた介護サービス提供基盤の整備、地域包括ケアシステムの深化・推進とそれらを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上の推進を標榜した介護保険制度の改正が行われます。

本計画は、介護保険料の算定はもとより、制度改正や超高齢社会における課題等を踏まえ、高齢者の方々が健康で生きがいをもち、いきいきと安心して暮らせる地域社会づくりを目指し、健康づくりと介護予防の取り組みや一人ひとりが役割を持って支えあう地域づくり、安心して暮らせる介護サービス提供基盤の整備など、様々な課題への対応を図るものです。

特に介護人材の確保については喫緊の課題であり、安定した介護サービスの提供継続に向け、人材確保やサービスの質の向上の取り組みを進めて参ります。

引き続き、高齢者支援を担う関係機関や地域との連携を図り、本計画を推進してまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、計画の策定にあたり、様々な視点から熱心なご審議をいただきました「網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会」の委員の皆様にご心から感謝申し上げます。

令和6年3月

網走市長 水谷 洋一

# 目 次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 第 1 章 計画策定の趣旨                       | 1  |
| 第 1 策定の目的                           | 1  |
| 第 2 計画の法的根拠                         | 1  |
| 第 3 策定の方法                           | 2  |
| 第 4 他計画との関係                         | 3  |
| 第 5 計画の期間                           | 4  |
| 第 2 章 網走市の特徴                        | 5  |
| 第 1 高齢者人口・高齢化率                      | 5  |
| 第 2 要介護認定者数・介護保険サービス利用者数            | 6  |
| 第 3 日常生活圏域                          | 7  |
| 第 3 章 計画の基本的理念と基本目標                 | 9  |
| 第 1 まちの将来像と計画の基本理念・基本目標             | 9  |
| 第 2 地域包括ケアシステムの推進・深化                | 11 |
| 第 4 章 第 8 期計画の実施状況と第 9 期計画の推進       | 12 |
| 基本目標 1 健康づくりと介護予防の取り組みをすすめます        |    |
| 第 1 健康づくりの推進【重点施策 1】                | 12 |
| 第 2 介護予防の推進                         | 16 |
| 第 3 介護予防・生活支援サービスの推進                | 16 |
| 第 4 自主的な介護予防活動の推進【重点施策 2】           | 19 |
| 第 5 普及啓発・介護予防活動支援                   | 19 |
| 基本目標 2 一人ひとりが役割を持ち、支え合う地域づくりをすすめます  |    |
| 第 1 社会参加の促進【重点施策 1】                 | 21 |
| 第 2 生活支援体制整備事業の推進【重点施策 2】           | 23 |
| 第 3 認知症施策の推進【重点施策 3】                | 24 |
| 基本目標 3 住み慣れた地域で安心して暮らせるサービス基盤を整備します |    |
| 第 1 地域包括支援センターの体制強化【重点施策 1】         | 27 |
| 第 2 在宅医療・介護連携の推進【重点施策 1】            | 28 |
| 第 3 権利擁護の取り組み                       | 28 |
| 第 4 見守り体制の充実                        | 29 |
| 第 5 住まい・生活環境の充実                     | 32 |
| 第 6 介護サービス提供基盤の整備【重点施策 2】           | 34 |
| 第 7 介護保険制度運営の推進と介護給付の適正化【重点施策 2】    | 45 |
| 第 8 介護人材の確保の推進【重点施策 3】              | 48 |



|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| <b>第5章 介護保険給付費の見込み等</b>            | 49  |
| 第1 介護保険給付費の財源                      | 49  |
| 第2 介護保険給付費の実績及び見込み                 | 50  |
| 第3 第9期計画期間における介護保険料                | 55  |
| <b>第6章 計画推進に向けて</b>                | 58  |
| 第1 地域関係団体・事業者等との連携                 | 58  |
| 第2 高齢者施策を行う他の行政部門との連携              | 58  |
| 第3 相談・広報体制                         | 59  |
| 第4 計画の立案・点検・改善と重度化防止の取り組みに関する目標    | 59  |
| <br><b>【 資 料 】</b>                 |     |
| 網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会意見書      | 62  |
| 網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員名簿     | 64  |
| 網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定体制図(全体構成図) | 65  |
| 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果報告書(概要)          | 66  |
| 在宅介護実態調査結果報告書(概要)                  | 119 |
| 介護サービス事業の運営状況等についてのアンケート調査結果(概要)   | 143 |
| 網走市日常生活圏域設定図                       | 149 |

# 第1章 計画策定の趣旨

## 第1 策定の目的

国立社会保障・人口問題研究所※1の将来推計人口(令和5年推計・出生中位推計による)によれば、日本の高齢化率※2は令和7(2025)年に29.6%、令和22(2040)年には34.8%に達すると見込まれています。

網走市においても人口減少は平成27(2015)年に策定した「網走市人口ビジョン※3」の推計を上回って進行しており、令和2(2020)年には高齢化率が31%を超えて約3人に1人が高齢者となっています。また、令和7(2025)年には、『団塊の世代』が75歳以上となり、今後、単身独居や夫婦のみの高齢者世帯、認知症高齢者がますます増加すると見込まれています。

「第9期網走市高齢者保健福祉計画・網走市介護保険事業計画」は、こうした時代の潮流を捉えながら、市民のニーズ等を把握し、網走市に暮らす高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生きがいをもっていきいきと安心して生活ができるよう、令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3年間及び『団塊ジュニア世代※4』が65歳以上となる令和22(2040)年等を見据えつつ、介護予防をはじめとする各種施策の内容とサービスの提供量、提供体制、そして介護保険料を含め介護保険財政の安定化の方策を具体的に定め、市民とともに推進していくことを目的に策定します。

なお、介護保険事業計画は今回が「第9期目」の計画となりますが、高齢者保健福祉計画は介護保険の施行前から策定・実施されてきました。平成12(2000)年度からは両計画が一体的に策定されていますので、当市では、両計画を通じて今回の計画を「第9期計画」と称します。

※1 厚生労働省に所属する国立の研究機関であり、人口や世帯の動向を捉えるとともに、内外の社会保障政策や制度についての研究を行っている

※2 総人口に占める65歳以上人口の割合

※3 国の『まち・ひと・しごと創生 長期ビジョン』の趣旨を尊重し、網走市の人口の現状分析を行い、問題意識を市民と共有し、今後の目指すべき方向性と人口の将来展望を示すもの

※4 日本で1971年から1974年に生まれた世代を指し、第二次ベビーブーム世代とも呼ばれる。

## 第2 計画の法的根拠

### 1. 網走市高齢者保健福祉計画

老人福祉法第20条の8第1項の規定により策定しました。

### 2. 網走市介護保険事業計画

介護保険法第117条第1項の規定により策定しました。

## 第3 策定の方法

### 1. 計画策定委員会の設置

計画の策定に当たり、市民の意見を計画に反映させる必要があることから、保健医療関係者・福祉関係者・学識経験者、また1名の被保険者※1代表の委員からなる19名で構成する「網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会」を設置し、計画策定の審議を行っています。

※1 介護保険においては65歳以上の方(第1号被保険者)と40歳から64歳までの医療保険加入者(第2号被保険者)を指す

| 開催年月日                  | 主な議題等                                              |
|------------------------|----------------------------------------------------|
| 令和5年4月28日              | ・正副委員長の選任<br>・第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について         |
| 令和5年6月23日<br>令和5年6月24日 | ・計画策定委員会委員による介護サービス事業所見学会                          |
| 令和5年9月27日              | ・第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の事業総括について<br>・アンケート調査の結果について |
| 令和6年1月31日              | ・第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)について<br>・介護保険事業基金の活用について |
| 令和6年3月5日               | ・第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(原案)について<br>・意見書(案)について      |

※ 意見書及び委員名簿は、巻末添付資料に記載

### 2. 庁内の策定体制

計画の円滑な推進を図るため、副市長を委員長とし、各部長で構成する「網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会」や、この専門委員会として関係部署の課長で構成する「網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進幹事会」を設置し、計画原案を作成しました。

※ 計画策定全体構成図は、巻末添付資料に記載

### 3. 住民参加及び高齢者に対する実態調査

被保険者の意見をこの計画に反映するため、一般高齢者や要介護認定者に対し、介護サービスのニーズ等に関するアンケート調査を実施しました。

調査の集計・分析は第8期計画に引き続き、当市の高齢者向け事業について研究を行っている「国立大学法人 一橋大学」へ委託しました。

※ 調査結果は、巻末添付資料に記載

## 【各調査の趣旨・対象】

| 調査種別             | 対象者                                       | 調査の趣旨                           | 調査方法       | 調査時期          |
|------------------|-------------------------------------------|---------------------------------|------------|---------------|
| 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 | 65歳以上の市民のうち、要介護認定1～5の認定を受けていない方(無作為抽出)    | 日常生活や社会参加、支援のニーズ等の把握            | 郵送による配布・回収 | 令和5年<br>5月～6月 |
| 在宅介護実態調査         | 65歳以上の市民のうち、在宅で生活をしている要介護認定を受けている方(無作為抽出) | 家族・親族からの介護の現状や支援のニーズ、介護者の負担等の把握 | 郵送による配布・回収 | 令和5年<br>5月～6月 |

## 【回収結果】

| 調査種別             | 調査票数    | 有効回収数 | 回収率   |
|------------------|---------|-------|-------|
| 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 | 1,600 票 | 966 票 | 60.4% |
| 在宅介護実態調査         | 600 票   | 392 票 | 65.3% |

## 4. パブリック・コメントの実施結果

計画（素案）に対するパブリック・コメント※1の実施結果は次のとおりです。

|        |                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------|
| 意見募集期間 | 令和6年1月22日(月)～2月20日(火)                                       |
| 計画閲覧場所 | 市本庁舎、市保健センター、オホーツク・文化交流センター<br>各コミュニティセンター及び各住民センター、市ホームページ |
| 意見提出件数 | 0 件                                                         |

※1 あらかじめその案を公表し、広く意見・情報を募集する手続(意見公募手続)のこと。

## 第4 他計画との関係

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は、高齢者の保健福祉及び介護に関する各種サービスについて、その計画量やサービス提供体制の確保等に関する事項を定め、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援するために策定するものです。

このため、網走市総合計画をはじめ、網走市地域福祉計画等の福祉・保健・医療に関する各種計画やまちづくり政策等のほか、北海道が策定する「医療計画」や「高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」と連携し、整合性を図って事業の推進を目指します。

## 第5 計画の期間

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は、平成12(2000)年3月に第1期計画を一体的に策定し、以降3年ごとに計画の策定を行い、各施策の円滑な実施を目指してきました。

第9期計画期間は介護保険法に基づき令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3年間となりますが、令和12(2030)年や『団塊ジュニア世代』が65歳以上となる令和22(2040)年までの中長期的な視野に立ち、推計人口より導かれる介護需要等を踏まえて計画を策定しました。

## 第2章 網走市の特徴

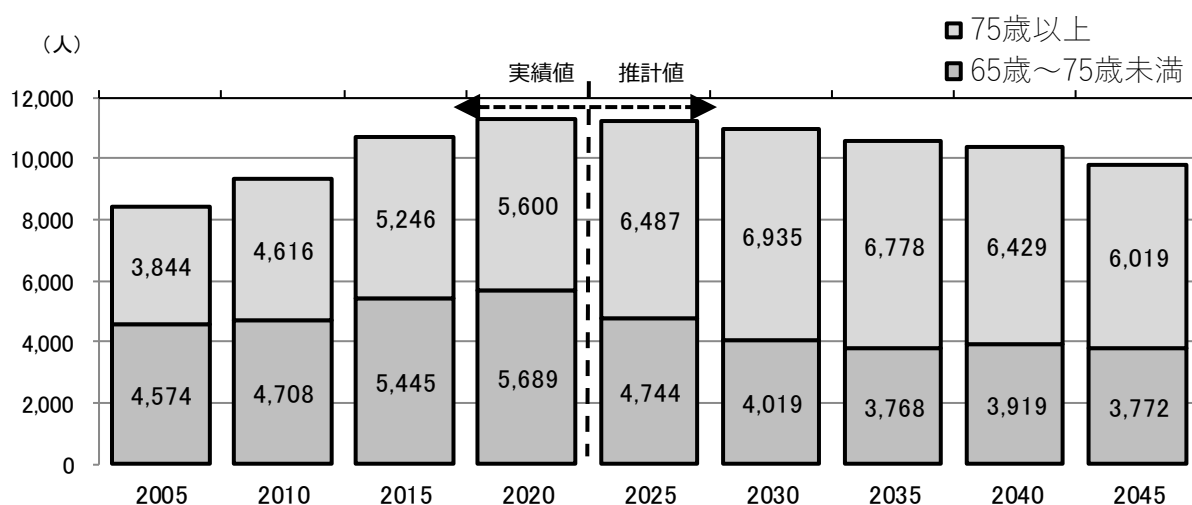
### 第1 高齢者人口・高齢化率

当市の人口は年々減少しており、国勢調査によると、平成27(2015)年10月の39,077人が令和2(2020)年10月には35,759人となり、今後も減少が予測されています。

一方、高齢者人口はこれまで増加傾向にありましたが、令和2(2020)年以降緩やかに減少してきており、その傾向は継続していく見込みです。

高齢化率は北海道平均と同程度で推移しますが、令和22(2040)年には40%を超えると推計されています。

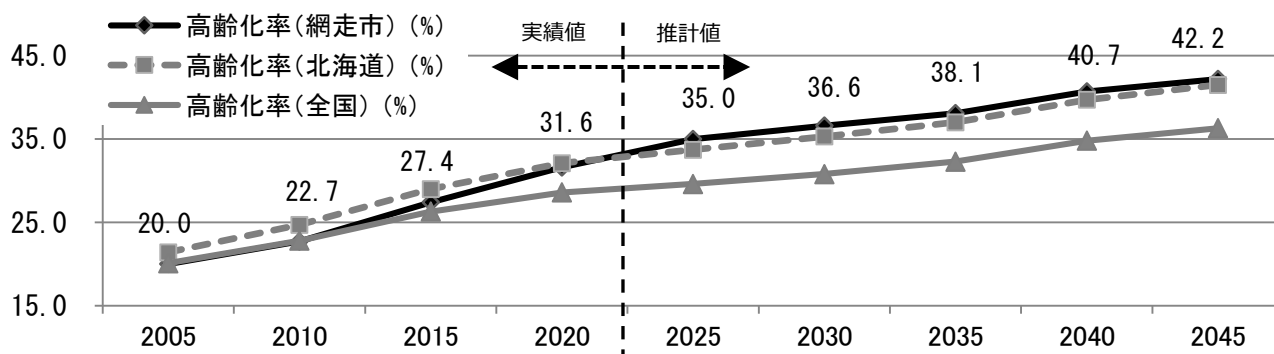
高齢者人口の推移と推計



(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」

2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5(2023)年推計）」

高齢化率の推移と推計



(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」

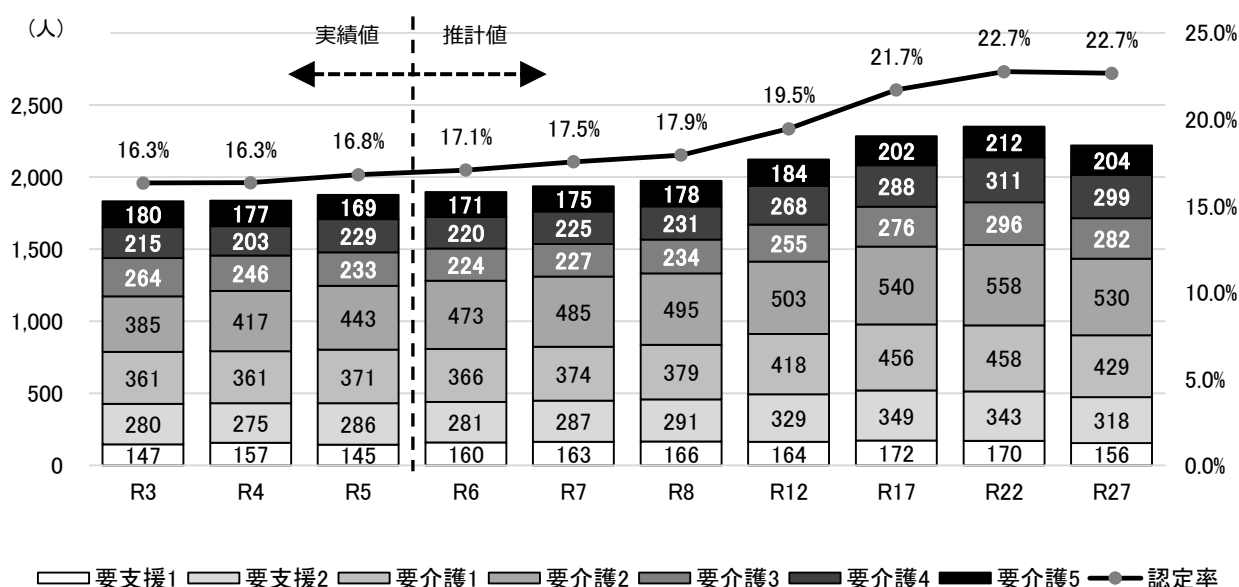
2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5(2023)年推計）」

## 第2 要介護認定者数・介護保険サービス利用者数

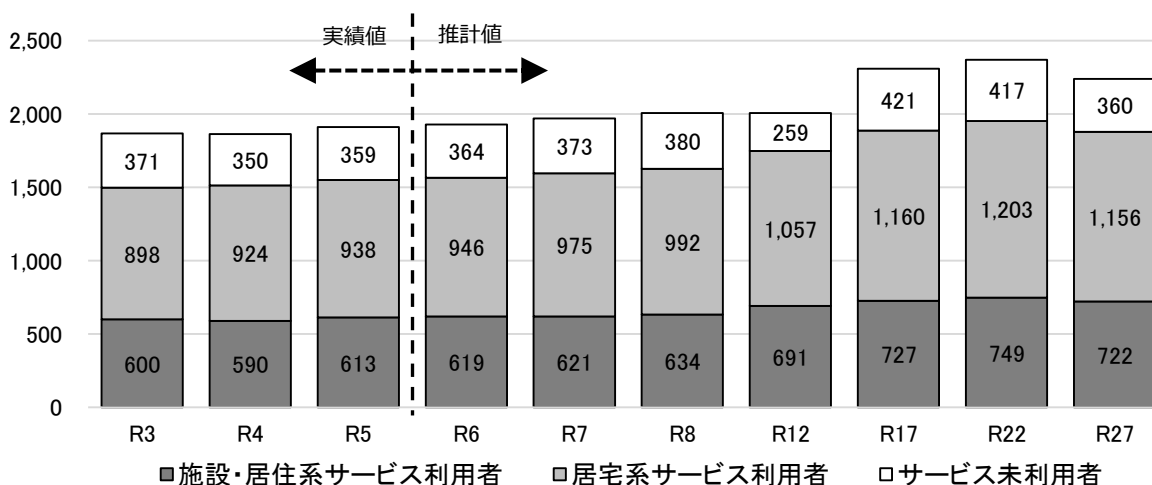
高齢者人口は減少するものの、認定率が上昇する75歳以上の高齢者の増加などにより介護サービスの利用ニーズが高まると想定されることから、要介護認定者数は、緩やかに増加し、第1号被保険者では令和8(2026)年で1,974人、令和12(2030)年では2,121人、令和22(2040)年では2,348人になるものと見込みます。

また、第9期計画期間における介護保険サービス利用者数も要介護認定者数と同様の推移を見せ、特別養護老人ホームや認知症型グループホームなどの施設・居住系サービスは令和8(2026)年で634人、令和12(2030)年で691人、令和22(2040)年で749人と見込み、ヘルパーやデイサービスなどの居宅系サービスは令和8(2026)年で992人、令和12(2030)年で1,057人、令和22(2040)年で1,203人と見込みます。

要介護認定者数(第1号被保険者)及び認定率の推移と推計



介護保険サービス利用者数(第2号被保険者含む)の推移と推計



※ 認定率 = 要介護認定者数(第2号被保険者除く) ÷ 第1号被保険者数

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」による実績値及び推計値

### 第3 日常生活圏域

介護保険事業計画においては、平成18(2006)年度以降、住民が日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件を総合的に勘案して、市内をいくつかの「日常生活圏域」に区分し、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、その圏域ごとに高齢者福祉・介護の基盤整備を進めるものとされています。

当市では、市街地を中心として放射状に農村部が点在していることから、中学校区を基本として、「北圏域」・「中央・西圏域」・「東・呼人圏域」・「南圏域」の4つの日常生活圏域を設定し、介護保険事業をはじめ、高齢者保健・福祉事業、また経済的に困難な高齢者や虐待の疑われるケースの相談等、地域に密着したサービスを提供していきます。

| 日常生活圏域 | 地 域 名                                                                     |
|--------|---------------------------------------------------------------------------|
| 北圏域    | 北東・海岸町・北西・緑町・字二ツ岩・字明治・向陽ヶ丘                                                |
| 中央・西圏域 | 南東・港町・南西・錦町・台町・桂町・新町・大曲・字三眺・字天都山・字能取・字平和・字卯原内・字越歳・字嘉多山・字二見ヶ岡              |
| 東・呼人圏域 | 駒場南1～5丁目・駒場北1～5丁目・潮見・字呼人・字八坂・字東網走・字中園                                     |
| 南圏域    | 駒場南6～8丁目・駒場北6丁目・つくしヶ丘・鱒浦・字豊郷・字藻琴・字昭和・字山里・字稲富・字北浜・字丸万・字実豊・字音根内・字浦士別・字栄・字清浦 |

※ 網走市日常生活圏域設定図は、巻末添付資料に掲載。

#### 【日常生活圏域の概況】

(令和5年9月末日現在)

| 項 目                    | 北圏域                   | 中央・西圏域                 | 東・呼人圏域               | 南圏域                    | 市外※1  | 総 計                    |
|------------------------|-----------------------|------------------------|----------------------|------------------------|-------|------------------------|
| 面 積<br>(湖沼面積除く)        | 43.98k m <sup>2</sup> | 163.21k m <sup>2</sup> | 48.6k m <sup>2</sup> | 133.64k m <sup>2</sup> | —     | 389.43k m <sup>2</sup> |
| 人 口 ※ 2                | 5,449 人               | 8,435 人                | 11,306 人             | 7,790 人                | —     | 32,980 人               |
| 第1号被保険者数(65歳以上)        | 1,635 人               | 2,993 人                | 3,739 人              | 2,721 人                | 84 人  | 11,172 人               |
| うち75歳以上                | 888 人                 | 1,702 人                | 1,892 人              | 1,449 人                | 78 人  | 6,009 人                |
| 高 齢 化 率 ※ 3            | 30.0%                 | 35.5%                  | 33.1%                | 34.9%                  | —     | 33.9%                  |
| 第1号被保険者要介護認定者数         | 327 人                 | 558 人                  | 520 人                | 397 人                  | 74 人  | 1,876 人                |
| 認定者割合※4                | 20.0%                 | 18.6%                  | 13.9%                | 14.6%                  | 88.1% | 16.8%                  |
| 各 圏 域 の<br>認 定 者 構 成 比 | 17.4%                 | 29.7%                  | 27.7%                | 21.2%                  | 4.0%  | 100.0%                 |

※1「市外」は網走市外の住所地特例対象施設入所者数を記載

※2「人口」は住民基本台帳の実績値を記載

※3「高齢化率」は「第1号被保険者数」÷「人口」で算出

※4「認定者割合」＝「第1号被保険者要介護認定者数」÷「第1号被保険者数」



# 【日常生活圏域の特徴】

| 日常生活圏域 | 特 徴                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北圏域    | 市街地、住宅地を中心とし構成されており、古くから栄えた地区と住宅地区が混在しており、4 圏域の中で面積・人口・第 1 号被保険者数ともに一番小さい圏域です。高齢化率は、官公署の職員住宅が圏域内に整備されていること等が要因となり 4 圏域で一番低いですが、認定者割合は一番高い状況となっています。このことは、後期高齢者の方の割合が高いためと考察されます。                                                                                    |
| 中央・西圏域 | 中心市街地と大曲地区を中心とした住宅地、広い農地・山間地に散在する西部地区の農村・漁村集落で構成され、国道 238 号線を幹線道路としています。この圏域の高齢化率は 4 圏域の中で最も高く、認定者割合も「北」圏域に次ぐ高さとなっています。このことは、高齢化率が高い大曲地区が含まれること、郊外の農村・漁村集落が他圏域に比べ広く分布していることなどに起因していると考えられます。また、生活体制整備事業にいち早く取り組んでいる圏域で、令和 4 (2022) 年度には小規模特別養護老人ホームの整備 (増床) を行いました。 |
| 東・呼人圏域 | 潮見地区を中心とした住宅地と呼人地区を中心とした観光宿泊地で構成され、国道 39 号線及び道々中園網走停車場線を幹線道路としています。圏域内の人口・第 1 号被保険者数は、4 圏域の中で最も多くなっています。これは、圏域の中に大規模な潮見地区の住宅地が含まれているためと考えられます。認定者割合は市内で一番低くなっており、このことは、前期高齢者の方の割合が高いためと考察されます。                                                                      |
| 南圏域    | 駒場・つくしヶ丘地区の商業地・住宅地と南部地区の農村・漁村集落で構成され、国道 244 号線及び市道つくしヶ丘本通線を幹線道路としています。圏域面積は「中央・西」圏域の次に大きい圏域となっています。認定者割合は市の平均より低くなっており、このことは、前期高齢者の方の割合が高いためと考察されます。                                                                                                                |

## 第3章 計画の基本的理念と基本目標

### 第1 まちの将来像と計画の基本的理念・基本目標

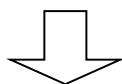
第8期網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画では、その上位計画である網走市総合計画や網走市地域福祉計画との調和を図る中から、「高齢者が健康で生きがいをもって、いきいきと暮らせる地域社会づくり」を基本理念（基本的な考え方）としてきました。

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、個人の尊厳が尊重され、心豊かに自立した生活をおくることができる地域コミュニティの形成が必要です。

本計画は、引き続き、第6期網走市総合計画（2018年度～2027年度）や第2期網走市地域福祉計画（2020年度～2024年度）、北海道医療計画、北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画等との調和を図りながら、高齢者施策を進めることによってめざすまちの将来像を「～いきいきと健康に安心して住み続けたいまち『網走市』～」とし、「高齢者が健康で生きがいをもって、いきいきと安心して暮らせる地域社会づくり【地域包括ケアシステムの深化・推進】」を基本理念として総合的な施策を推進していきます。

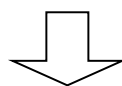
#### まちの将来像

**～いきいきと健康に安心して住み続けたいまち『網走市』～**



#### 〈 基 本 理 念 〉

**高齢者が健康で生きがいをもって、  
いきいきと安心して暮らせる地域社会づくり  
【地域包括ケアシステムの深化・推進】**



#### 〈 基 本 目 標 〉

- ① 健康づくりと介護予防の取り組みをすすめます
- ② 一人ひとりが役割をもち、支え合う地域づくりをすすめます
- ③ 住み慣れた地域で安心して暮らせるサービス基盤を整備します

## **基本目標 1 健康づくりと介護予防の取り組みをすすめます**

**重点施策 1** 健康診査の受診勧奨や「カニチョッ筋体操」などの健康づくりについて、保健師・管理栄養士・歯科衛生士だけでなく健康推進員や食生活改善協議会などと連携し、運動・食事などの改善に向けて取り組みます。

**重点施策 2** 「らくらく健康トレーニング」や「ふまねっと運動」などの取り組みにより介護予防・フレイル予防をすすめます。

## **基本目標 2 一人ひとりが役割をもち、支え合う地域づくりをすすめます**

**重点施策 1** 「高齢者ふれあいの家」や「老人クラブ」などの通いの場の担い手不足の現状を踏まえ、活動の活性化やボランティア活動の推進に取り組みます。

**重点施策 2** 生活支援体制整備事業を推進し、地域ごとの課題を踏まえた支え合いの仕組みづくりに取り組みます。

**重点施策 3** 認知症になっても、互いに人格と個性を尊重し支え合える社会を目指し、適切な支援とともに、認知症への理解を深める取り組みをすすめます。

## **基本目標 3 住み慣れた地域で安心して暮らせるサービス基盤を整備します**

**重点施策 1** 多様なニーズに対応するため、地域包括支援センターの体制強化を図るとともに、介護・医療の専門職等との更なる連携強化を図ります。

**重点施策 2** 安定した介護サービスが受けられるよう、民間事業者を含めた介護サービスの提供基盤を確保します。また、長期的に安定した介護保険財政の運営につなげるため、介護給付の適正化を推進します。

**重点施策 3** 介護サービス量の確保には介護人材が欠かせません。人材の質の向上及び確保に向け、研修助成・奨学金制度の充実や潜在的有資格者の職場復帰支援など様々な取り組みを展開します。

## 第2 地域包括ケアシステムの推進・深化

『団塊の世代』が75歳以上となる2025年を控え、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい生活を営むことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援等のサービスを切れ目なく一体的に提供する地域包括ケアシステムをさらに推進させることが重要です。

地域包括支援センターを中心に、地域支援者（民生児童委員・老人クラブ・町内会等）や生活支援コーディネーター、介護・医療の専門職等との更なる連携強化を図り、地域の社会資源を効果的に活用しながら、多様なニーズに対応するための支援体制づくりを推進します。

# あばしり地域包括ケアシステム



## 第4章 第8期計画の実施状況と第9期計画の推進

第8期計画の実施状況と課題、第9期計画の推進について記載しています。

### 基本目標1 健康づくりと介護予防の取り組みをすすめます

#### 第1 健康づくりの推進

#### 重点施策1

##### 1. 健康手帳

特定健康診査受診者・健康教育参加者等に当市が制作した「健康ファイル」を交付しています。個人の健康記録として、健診結果の経年記録、その後の健康保持のために必要な記録ができる様式を取り入れ、自らの健康管理に役立てられるよう活用を勧めています。全国共通の様式は厚生労働省ホームページからのダウンロードもできます。利用希望者のみに配布しているため配布数は多くありませんが、利用者には好評です。今後有効な利用を呼び掛けていきます。

##### 2. 健康教育

町内会・老人クラブ等の依頼に応じて保健師等による健康教育を実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響で活動休止・停止している町内会や老人クラブ等もあったことから、計画を下回りました。今後は対面以外での健康に関する周知啓発方法の研究を行うとともに、積極的に健康教育の機会を広げていきます。

##### ■健康教育

| 区分  | 第8期計画 ※()内計画値  |                |                | 第9期計画 |     |     |
|-----|----------------|----------------|----------------|-------|-----|-----|
|     | R03            | R04            | R05            | R06   | R07 | R08 |
| 人／年 | (1,350)<br>828 | (1,400)<br>794 | (1,450)<br>900 | 950   | 950 | 950 |

##### 3. 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導および助言を行っています。SNS※1やチャットボット※2などインターネットを利用した相談機会を充実してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での相談が避けられたことなどから、計画を下回りました。これまで取り組んできた検診事後相談等とともに、新型コロナウイルス感染症の流行後に開始したオンライン健康相談等についても広く周知し、ニーズに合わせた相談体制を提供していきます。

※1 ソーシャルネットワーキングサービスの略で、同じ目的や嗜好をもつ利用者が集まり、交流を図れるインターネット上のサイトのこと

※2 人工知能を活用した「自動会話プログラム」のこと

■健康相談

| 区分  | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |              |              | 第 9 期計画 |     |     |
|-----|------------------|--------------|--------------|---------|-----|-----|
|     | R03              | R04          | R05          | R06     | R07 | R08 |
| 人／年 | (550)<br>313     | (600)<br>353 | (650)<br>400 | 500     | 500 | 500 |

#### 4. がん検診・健康診査

各種がん検診（集団検診・年 3 回）に合わせて、国民健康保険・後期高齢者医療加入者には特定健診・後期高齢者健診を実施しています。新型コロナウイルス感染症の流行による受診者数減少はいまだ回復しきっておらず、がん検診・健診の受診率は低い状況が続いており、受診しやすいがん検診の体制を整え、今後も受診率向上を目指します。

■がん検診

| 区分    |             |           | 第 8 期計画 ※ ( ) 内計画値 |                    |                    | 第 9 期計画 |        |        |
|-------|-------------|-----------|--------------------|--------------------|--------------------|---------|--------|--------|
|       |             |           | R03                | R04                | R05                | R06     | R07    | R08    |
| 胃がん   |             | 受診数(人)    | (1, 300)<br>1, 043 | (1, 320)<br>1, 044 | (1, 350)<br>1, 040 | 1, 150  | 1, 170 | 1, 200 |
|       |             | 率 ( % )   | 6. 6               | 6. 4               | —                  | —       | —      | —      |
| 大腸がん  |             | 受診数(人)    | (1, 600)<br>1, 429 | (1, 620)<br>1, 473 | (1, 650)<br>1, 450 | 1, 600  | 1, 620 | 1, 650 |
|       |             | 率 ( % )   | 4. 7               | 4. 6               | —                  | —       | —      | —      |
| 肺がん   | 肺がん         | 受診数(人)    | (1, 480)<br>1, 146 | (1, 500)<br>1, 157 | (1, 520)<br>1, 160 | 1, 300  | 1, 320 | 1, 350 |
|       | ヘリカル<br>C T | 受診数(人)    | (410)<br>285       | (420)<br>283       | (430)<br>280       | 350     | 370    | 400    |
|       | 合計          | 受診数(人)    | (1, 890)<br>1, 431 | (1, 920)<br>1, 440 | (1, 950)<br>1, 440 | 1, 650  | 1, 690 | 1, 750 |
|       |             | 率 ( % ) ※ | 3. 5               | 3. 5               | —                  | —       | —      | —      |
| 前立腺がん |             | 受診数(人)    | (450)<br>367       | (450)<br>370       | (450)<br>370       | 400     | 400    | 400    |
|       |             | 率 ( % )   | —                  | —                  | —                  | —       | —      | —      |
| 乳がん   |             | 受診数(人)    | (640)<br>636       | (660)<br>562       | (680)<br>550       | 680     | 680    | 680    |
|       |             | 率 ( % )   | 11. 0              | 12. 0              | —                  | —       | —      | —      |
| 子宮がん  |             | 受診数(人)    | (500)<br>535       | (520)<br>425       | (550)<br>450       | 470     | 470    | 470    |
|       |             | 率 ( % )   | 7. 3               | 8. 0               | —                  | —       | —      | —      |

※ へリカル C T を含まない受診率

## 5. 訪問指導

高齢者や、介護予防・認知症予防の観点から支援が必要な方、健康診査の結果により助言が必要な方に対し保健師、管理栄養士、歯科衛生士等が訪問指導を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響により自宅で対面での相談支援が避けられるようになり、相談支援の形態が多様化しています。

今後は、移動型医療サービス車両を活用した移動型保健指導を実施するとともに、介護支援専門員・地域包括支援センター等と連携をとり、対象者の様々なニーズに合わせた支援を今後も充実させていきます。

### ■訪問指導実施状況（65歳以上）（延件数）

| 区分  | 第8期計画 ※()内計画値 |            |            | 第9期計画 |     |     |
|-----|---------------|------------|------------|-------|-----|-----|
|     | R03           | R04        | R05        | R06   | R07 | R08 |
| 人／年 | (40)<br>0     | (40)<br>26 | (40)<br>20 | 40    | 40  | 40  |

## 6. 健康推進員の取り組み

市民健康まつりやウォーキングイベントなどで健康に関する情報発信や運動機会の提供を行っているほか、研修等を受講し健康に関する知識を高め、所属している町内会等での健康推進の活動の啓発や普及に努めています。今後は、健康推進員の担い手を広く育成するなど、活動拡大に向けて取り組みます。



ウォーキングトーキングキャッチング集合写真。健康推進員が中心となって企画。高齢者から子どもまで広い世代を巻き込んでウォーキング(運動)しながらゴミ拾いと世代間交流を楽しんだ。

## 7. 健康コンシェルジュ「匠」

地域で健康に関する情報発信や取り組みを行う人材として、健康コンシェルジュ「匠」を育成・任命しています。市民へ軽スポーツを指導する市民講座や、ふれあいの家に向いて健康教育を行うなどの活動を行っています。今後は「匠」の活動の充実を図り、市民の健康推進を支援します。

## 8. あばしり健康力ニチョッ筋体操

ご当地体操として平成 19(2007)年に発表され、平成 29(2017)年には 10 周年を記念し、お年寄りにも取り組みやすい「音頭バージョン」を新たに作成し、老人クラブやふれあいの家などで活用されています。今後も広く普及啓発を行い、運動習慣の定着による介護・認知症予防を目指します。



あかしあ老人クラブでカニチョッ筋体操に取り組む様子

## 9. 移動型医療サービス

地域医療を担う医師の不足が深刻化している一方で、慢性疾患を抱える高齢者に対する医療ニーズが拡大傾向にあります。こうした状況を背景として、当市では、医療とモビリティを組み合わせ、看護師を乗せた専用車両がご自宅を訪問し、オンライン診療を行う移動型医療サービスの実証運行を令和 5(2023)年 12 月に開始しました。

今後は、実証運行の結果を踏まえて、市内の医療機関に拡大していく予定です。



移動型医療サービスを行う車両



オンライン診療の様子



## 第2 介護予防の推進

介護保険制度は、高齢者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援することを基本理念とし、高齢者が自ら要介護状態となることを予防すること、要介護状態になった場合においても、状態が悪化することを防止することに努めることとされています。

介護予防の取り組みとして実施する「介護予防・日常生活支援総合事業」は、要支援認定を受けた方と基本チェックリスト※1により生活機能の低下が見られた方を対象とする「介護予防・生活支援サービス事業」と、65歳以上の全ての方を対象とする「一般介護予防事業」に区分されています。

事業の推進にあたっては、高齢者の心身の状態（自立、フレイル※2、要支援、要介護）に対して改善を行っていく観点で支援すること及び生活の質の向上を目指すことが重要であり、より効果的・効率的な事業となるよう、専門職等の関わりを得ながら高齢者の自立支援に資する取り組みを推進します。

また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施により、保健師、管理栄養士等と連携して、運動、栄養、社会参加等の観点から、予防・重度化防止を推進します。

※1 厚生労働省が提示している、高齢者が自身の生活や健康状態を振り返り、心身の機能で衰えているところがないかチェックするためのツールで全25項目の質問で構成

※2 健康な状態と介護が必要な状態の間にある状態のこと

## 第3 介護予防・生活支援サービスの推進

第8期計画では、訪問型・通所型サービスともに、新型コロナウイルス感染症の影響などにより利用人数は計画を下回りましたが、感染症の法的位置付けの変更等により、高齢者の生活状況もコロナ禍前に戻りつつあります。

引き続き、サービス利用の促進を図り、要介護状態となることへの予防及び地域における自立した日常生活の支援を行います。

### 1. 訪問型サービス

#### ■サービスの種類

| 区分                                 | 事業内容                                               |
|------------------------------------|----------------------------------------------------|
| ①介護予防訪問介護<br>相当サービス                | 介護サービス事業者の訪問介護員による身体介護、生活援助サービス                    |
| ②訪問型サービスB<br>買物支援サービス              | 買物に行くことが困難な方を対象とした買物代行サービス                         |
| ③訪問型サービスC<br>訪問リハビリテーション<br>「らくらす」 | 通所型サービスへの参加が困難な方を対象とした、リハビリ専門職による、居宅での相談・指導などのサービス |
| ④訪問型サービスD<br>いきいき教室移動支援            | 郊外地区の方を対象にコミュニティセンター等にて実施する「いきいき教室」会場への送迎サービス      |

## ■実施状況及び見込み

| 区分                                  | 第 8 期計画 ※()内計画値                  |                                  |                                  | 第 9 期計画       |               |               |
|-------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------|---------------|---------------|
|                                     | R03                              | R04                              | R05                              | R06           | R07           | R08           |
| ①介護予防訪問介護<br>相当サービス                 | (280 人)<br>210 人                 | (280 人)<br>191 人                 | (280 人)<br>191 人                 | 200 人         | 210 人         | 220 人         |
| ②訪問型サービス B<br>買物支援サービス              | (8 人)<br>3 人                     | (8 人)<br>2 人                     | (8 人)<br>2 人                     | 8 人           | 8 人           | 8 人           |
| ③訪問型サービス C<br>訪問リハビリテーショ<br>ン「らくらす」 | (240 回)<br>(20 人)<br>65 回<br>4 人 | (264 回)<br>(22 人)<br>22 回<br>2 人 | (288 回)<br>(24 人)<br>24 回<br>3 人 | 240 回<br>20 人 | 264 回<br>22 人 | 288 回<br>24 人 |
| ④訪問型サービス D<br>いきいき教室移動支援            | (4 団体)<br>(1 法人)<br>4 団体<br>1 法人 | (4 団体)<br>(1 法人)<br>4 団体<br>1 法人 | (4 団体)<br>(1 法人)<br>4 団体<br>1 法人 | 4 団体<br>1 法人  | 4 団体<br>1 法人  | 4 団体<br>1 法人  |

※人数は実利用人数

## 2. 通所型サービス

### ■サービスの種類

| 区分                           | 事業内容                                                  |
|------------------------------|-------------------------------------------------------|
| ①介護予防通所介護<br>相当サービス          | 指定サービス事業者による入浴などの日常生活上の支援や<br>機能訓練を日帰りで行うサービス         |
| ②通所型基準緩和サービス                 | 指定サービス事業者による相当サービスの運営基準を緩和<br>したサービス                  |
| ③通所型サービス A<br>いきいき教室         | 郊外地区に居住している方を対象に、コミセン等に職員を<br>派遣し、介護予防に資する教室を開催するサービス |
| ④通所型サービス A<br>買物リハビリ         | スーパーマーケット等への送迎とリハビリ専門職による買<br>い物時の付き添い支援を行うサービス       |
| ⑤通所型サービス C<br>はつらつ筋力向上トレーニング | 筋力トレーニングや柔軟体操により、運動器の機能維持・<br>向上を図るサービス               |

■実施状況及び見込み

| 区分                               | 第 8 期計画 ※()内計画値                    |                                    |                                    | 第 9 期計画       |               |               |
|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------|---------------|---------------|
|                                  | R03                                | R04                                | R05                                | R06           | R07           | R08           |
| ①介護予防通所介護<br>相当サービス              | (275 人)<br>235 人                   | (275 人)<br>220 人                   | (275 人)<br>220 人                   | 225 人         | 230 人         | 235 人         |
| ②通所型基準緩和<br>サービス                 | (－)<br>34 人                        | (－)<br>58 人                        | (－)<br>58 人                        | 60 人          | 60 人          | 60 人          |
| ③通所型サービス A<br>いきいき教室             | (760 回)<br>(19 人)<br>366 回<br>15 人 | (800 回)<br>(20 人)<br>539 回<br>16 人 | (840 回)<br>(21 人)<br>576 回<br>16 人 | 760 回<br>19 人 | 800 回<br>20 人 | 840 回<br>21 人 |
| ④通所型サービス A<br>買物リハビリ             | (15 人)<br>20 人                     | (15 人)<br>18 人                     | (20 人)<br>13 人                     | 15 人          | 15 人          | 15 人          |
| ⑤通所型サービス C<br>はつらつ筋力向上<br>トレーニング | (780 回)<br>(30 人)<br>159 回<br>8 人  | (858 回)<br>(33 人)<br>59 回<br>5 人   | (936 回)<br>(36 人)<br>120 回<br>12 人 | 780 回<br>30 人 | 858 回<br>33 人 | 936 回<br>36 人 |

※人数は実利用人数

### 3. 生活支援サービス（高齢者等さわやか収集支援）

家庭から排出されるごみを集積所に出すことが困難な高齢者等世帯（要介護認定等の要件有）に対し、ごみ出しの支援と併せ声掛けによる安否確認を行います。

利用ニーズの増加に対応できるよう、サービス提供体制の確保を行います。また、町内会等、地域における協力体制の構築を推進します。

■実施状況及び見込み

| 区分     | 第 8 期計画 ※()内計画値    |                    |                     | 第 9 期計画 |        |         |
|--------|--------------------|--------------------|---------------------|---------|--------|---------|
|        | R03                | R04                | R05                 | R06     | R07    | R08     |
| 年間延回数  | (8, 775)<br>8, 274 | (9, 425)<br>8, 366 | (10, 075)<br>8, 450 | 9, 100  | 9, 750 | 10, 400 |
| 実利用世帯数 | (135)<br>129       | (145)<br>129       | (155)<br>130        | 140     | 150    | 160     |

**第4 自主的な介護予防活動の推進****重点施策2**

高齢者筋力トレーニング事業（らくらく健康トレーニング）、嚥下機能の維持・向上のためのスポーツ吹矢教室を開催し、自主的な介護予防活動への取り組みを推進します。

また、歩行機能と認知機能の改善に資するふまねっと運動活動への支援、各種団体との連携による介護予防に資する講座等の開催により、地域における介護予防活動の推進を図ります。

**■実施状況及び見込み**

| 区分               | 第8期計画 ※()内計画値                  |                                |                                | 第9期計画       |             |             |
|------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------|-------------|-------------|
|                  | R03                            | R04                            | R05                            | R06         | R07         | R08         |
| らくらく健康<br>トレーニング | (6箇所)<br>(380人)<br>6箇所<br>330人 | (6箇所)<br>(380人)<br>6箇所<br>324人 | (7箇所)<br>(410人)<br>6箇所<br>330人 | 6箇所<br>350人 | 6箇所<br>370人 | 6箇所<br>380人 |
| スポーツ吹矢           | (3箇所)<br>(45人)<br>3箇所<br>41人   | (3箇所)<br>(45人)<br>3箇所<br>44人   | (3箇所)<br>(45人)<br>3箇所<br>43人   | 3箇所<br>45人  | 3箇所<br>50人  | 3箇所<br>55人  |
| 予防活動<br>実施団体数    | (20団体)<br>8団体                  | (21団体)<br>9団体                  | (22団体)<br>9団体                  | 10団体        | 15団体        | 20団体        |

**第5 普及啓発・介護予防活動支援**

介護予防に関する理解を深める講座の開催や介護予防事業への利用勧奨を通じて、普及啓発・利用促進を図ります。

また、地域における介護予防活動を推進するため、リハビリテーション等の専門職との連携により自立支援に資する取り組みを推進します。

**1. 普及啓発**

パンフレット等による介護予防・地域の通いの場等の情報提供や地域での出前講座の開催により、介護予防の普及啓発・利用促進を図ります。

**■実施状況及び見込み**

| 区分   | 第8期計画 ※()内計画値 |               |               | 第9期計画 |      |      |
|------|---------------|---------------|---------------|-------|------|------|
|      | R03           | R04           | R05           | R06   | R07  | R08  |
| 講座回数 | (12回)<br>0回   | (14回)<br>2回   | (16回)<br>4回   | 10回   | 13回  | 16回  |
| 参加者数 | (216人)<br>0人  | (252人)<br>33人 | (288人)<br>60人 | 100人  | 130人 | 160人 |

## 2. 口腔機能の向上

口腔機能の維持・向上等に係る講話について、新型コロナウイルス感染症の影響などにより実施できない状況が続いていましたが、第9期計画以降は保健事業と介護予防の一体的実施により口腔ケアに関する支援を行います。

### ■実施状況

| 区分       | 第8期計画 ※()内計画値 |            |             | 第9期計画 |     |     |
|----------|---------------|------------|-------------|-------|-----|-----|
|          | R03           | R04        | R05         | R06   | R07 | R08 |
| 口腔機能向上教室 | (6回)<br>0回    | (9回)<br>0回 | (12回)<br>0回 | —     | —   | —   |

## 3. 栄養状態の改善

低栄養状態を改善・予防することにより、高齢者がいつまでも「食」を楽しみ、自立した生活を送ることができるよう、網走市食生活改善協議会と協働して料理教室等を実施し、高齢者の栄養改善を支援します。

## 4. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

関係部署と連携し、高齢者健診受診者のフレイル項目該当者の把握を行い、介護予防事業の利用勧奨を行います。

また、ハイレスクアプローチ※1として「糖尿病性腎症重症化予防」に取り組み、ポピュレーションアプローチ※2として、住民運営の高齢者の通いの場（高齢者ふれあいの家等）において、保健師・管理栄養士・歯科衛生士等によるフレイル予防講話を行い、運動・栄養・社会参加等の観点から、介護予防・重度化防止を推進します。

※1 健康診断などで疾病発症の可能性が高い人を明らかにして、個人への介入を行うこと

※2 集団に対して健康増進や疾病予防を図る手法のこと

## 5. 地域リハビリテーション活動支援事業

住民運営の通いの場へリハビリテーション専門職を派遣し、利用者やボランティアに対する介護予防に関する技術的助言や指導を行います。

また、地域ケア会議やサービス担当者会議へのリハビリテーション専門職の派遣を通じたケアマネジメント支援を図り、地域包括支援センターと連携した介護予防の取り組みを総合的に支援します。

### ■実施状況及び見込み

| 区分         | 第8期計画 ※()内計画値 |              |              | 第9期計画 |      |      |
|------------|---------------|--------------|--------------|-------|------|------|
|            | R03           | R04          | R05          | R06   | R07  | R08  |
| 通いの場への派遣回数 | (70回)<br>41回  | (84回)<br>74回 | (98回)<br>74回 | 90回   | 100回 | 110回 |
| 会議等への派遣回数  | (12回)<br>2回   | (18回)<br>4回  | (24回)<br>10回 | 24回   | 30回  | 36回  |

## 基本目標 2 一人ひとりが役割をもち、支え合う地域づくりをすすめます

### 第 1 社会参加の促進

### 重点施策 1

高齢者が生涯を通じて様々な活動に参加し、いつまでも地域でいきいきと暮らせるよう役割や活躍の機会を持ち、それにより生きがいづくりを推進することが重要です。

近年の地域社会を取り巻く状況やコミュニティ意識の変化、新型コロナウイルス感染症の影響等により、高齢者団体活動の停滞や担い手が不足している現状を踏まえ、社会参加の場の紹介やボランティア活動へのマッチング支援を行います。

また、高齢者のみならず地域の抱える課題として、若年層も含めた世代間交流の観点を持ち活動の活性化を図ります。

#### 1. 活動機会の充実

##### (1) 高齢者ふれあいの家

年齢や心身の状況等に関わらず誰でも参加することのできる介護予防と生きがいづくりに資する通いの場として、ボランティア団体（地域住民グループ）により、市内 14 箇所に高齢者ふれあいの家を開設しています。

開設から 20 年程度経過した団体が増え、運営を担うボランティアの高齢化が進んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もあり利用者也減少している状況にあります。

コロナ禍明けにおいて担い手の確保及び活動の活性化を図るため、引き続きボランティアのマッチングや運営への支援を行います。

#### ■実施状況及び目標数

| 区分      | 第 8 期計画 ※()内計画値  |                  |                  | 第 9 期計画 |       |       |
|---------|------------------|------------------|------------------|---------|-------|-------|
|         | R03              | R04              | R05              | R06     | R07   | R08   |
| 箇所数     | (14 箇所)<br>14 箇所 | (14 箇所)<br>14 箇所 | (14 箇所)<br>14 箇所 | 14 箇所   | 14 箇所 | 14 箇所 |
| 利用者数    | (460 人)<br>414 人 | (470 人)<br>372 人 | (480 人)<br>370 人 | 400 人   | 440 人 | 480 人 |
| ボランティア数 | (360 人)<br>306 人 | (370 人)<br>287 人 | (380 人)<br>280 人 | 300 人   | 340 人 | 380 人 |

##### (2) 老人クラブ

地域を基盤とする高齢者の自主的な活動組織である老人クラブの活動が活性化することは、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援という観点からも重要です。

近年の会員数・クラブ数（1,330 人・37 クラブ）が減少している現状を踏まえ、クラブ運営の費用負担軽減を図るため令和 5（2023）年度より補助金を増額しました。

引き続き活動の活性化への支援を行い、高齢者の社会参加を推進します。

### (3) 生涯学習の推進

高齢者が充実した生活を送るため、担当部署と連携し、寿大学※1 など自ら進んで学習活動や社会活動が続けられるような環境の整備、高齢期の生活課題に対応する学習方法、学習意欲を向上させるための様々な環境の整備に努めます。

※1 高齢者向けの生涯学習事業で、当市では昭和 40(1965)年に日本の高齢者大学の先駆けとして開学

### (4) 生きがいづくり活動の充実

高齢者農園の開設やスポーツ・レクリエーション活動への支援など、気軽に参加できる生きがいづくり活動を推進します。

### (5) デジタル活用支援

社会全体のデジタル化が進む中で、インターネット等の情報技術を使えないことによる情報格差を解消するため、デジタル機器等を身近に感じ、慣れ親しんでもらうスマートフォン講座を実施し、高齢者もデジタル化の恩恵を受けられるよう支援します。

## 2. ボランティア・就業機会の充実

### (1) 介護支援ボランティアポイント事業の推進・活動への支援

ボランティア活動に取り組む高齢者等の活動実績に応じてポイントを付与し、健康増進やリフレッシュ、移動支援等に利用できるボランティア応援券を交付することにより、高齢者自身が社会参加・地域貢献を通じて「お互いに心とからだの介護予防」を図ることを支援します。

ボランティアの後継育成の観点から令和 4(2022)年度より、対象年齢を 40 歳以上から 18 歳以上（高校生を除く）に拡充しました。

引き続き、網走市社会福祉協議会と協働し、登録者の増加及びボランティア実施希望者と受入先のマッチングを通じた活動の活性化を図ります。

#### ■実施状況及び目標数

| 区分   | 第 8 期計画 ※()内計画値  |                  |                  | 第 9 期計画 |       |       |
|------|------------------|------------------|------------------|---------|-------|-------|
|      | R03              | R04              | R05              | R06     | R07   | R08   |
| 登録者数 | (490 人)<br>470 人 | (510 人)<br>488 人 | (530 人)<br>500 人 | 520 人   | 540 人 | 560 人 |

### (2) 就業機会の確保

高齢者の豊富な知識と経験による優れた技術や能力は、貴重な社会資源であり、活力ある地域社会づくりにおいて重要な役割を果たしています。

高齢者の多様な社会参加の受け皿であるシルバー人材センター※1 と協働し、就業機会の確保を図ります。

※1 「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき市町村を単位に設置されている公益的・公共的な団体

## 1. 生活支援体制整備事業

年齢を重ねても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けていくことができるように、地域の視点で支え合う仕組みづくりが重要です。

事業の委託先である網走市社会福祉協議会と協働し、生活支援コーディネーター※1を中心に地域住民や町内会・老人クラブ・ボランティア等から構成される各地区の協議体と地域課題や資源を踏まえた取り組みを行い、地域活動の活性化や支え合いの仕組みづくりを推進します。

※1 高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していく事を目的に、全国の市町村に配置

## ■取り組みを進める地区

| 地 区 名                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 西地区、北地区、向陽ヶ丘地区、台町地区、鉄南地区、呼人地区、東部地区、南部地区、西網走地区、桂町地区、鱒浦地区、南西・南東地区、潮見地区、つくしヶ丘地区、駒場地区、天都山地区、新町地区 |
| 計 17 地区                                                                                      |

## ■第8期における取り組み事例

|      |                                                                                                                                                                                                 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 交 流  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の理解と参加促進を目的として、ゲーム大会を実施。トランプやボードゲーム、竹とんぼ作り等により、若い世代も含めた住民同士で交流。</li> <li>・環境づくりや健康づくり、住民の交流を目的として、地域内の企業の協力も交えながら「歩く・会話する・ゴミ拾い」のイベントを実施。</li> </ul> |
| 学 び  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災と福祉をテーマとして地域で避難訓練を実施。車いすの介助方法を学ぶなどして、避難時の助け合いの重要性を体感。</li> <li>・健康増進と介護予防を兼ねて、近隣を皆で散策するウォーキングイベントを実施。自然を体験しながら、博物館で学び、地域の魅力を再発見。</li> </ul>           |
| 生活支援 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物が困難な地域において、コープさっぽろの協力を得て移動販売車の配車を実現。</li> <li>・社会参加の場や社会資源の情報を掲載した冊子「高齢者お役立ち情報」を発行。</li> </ul>                                                       |





## 2. 地域共生社会の実現

地域住民や多様な主体が世代や分野を超えて互いに関わり合い、一人ひとりが安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現に向け、生活支援体制整備事業を推進し、世代間交流の促進や地域をともに創るコミュニティ意識の醸成を図ります。

### 第3 認知症施策の推進

### 重点施策3

認知症になっても尊厳を保持しつつ、希望を持って暮らし続けることができる社会を目指して、令和6(2024)年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の基本理念に沿った施策を推進します。

#### 1. 網走市における支援体制

##### (1) 認知症地域支援推進員

認知症が疑われる人やその家族からの相談対応や関係機関との支援の調整を行います。  
また、認知症カフェ「あえる」の運営を行います。

##### (2) 認知症地域支援推進協力機関

認知症介護の専門性を有する認知症対応型グループホーム・特別養護老人ホーム・地域密着型特別養護老人ホームの協力により、地域における相談窓口を設置しています。

##### (3) 認知症初期集中支援チーム

専門職（医師、看護師、社会福祉士、保健師）で構成された支援チームが、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメントや家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活をサポートします。

## 2. 普及啓発

##### (1) 認知症ケアパスの活用

認知症を理解するための情報、認知症の状態に応じて利用できるサービスを掲載した「認知症ケアパス」を市内の公共施設等や医療機関等に配架し、認知症への理解の促進、状態に応じた相談先・受診機関等の周知啓発を図ります。

##### (2) 認知症カフェ「あえる」の開設

認知症の人やその家族、地域の住民に、認知症の理解を深めるための情報発信及び交流の機会を提供するために、認知症地域支援推進員やボランティア、地域包括支援センター等と連携し、認知症カフェを開設します。

#### ■実施状況及び見込み

| 区分   | 第8期計画 ※()内計画値 |              |              | 第9期計画 |     |     |
|------|---------------|--------------|--------------|-------|-----|-----|
|      | R03           | R04          | R05          | R06   | R07 | R08 |
| 開設回数 | (13回)<br>3回   | (13回)<br>12回 | (13回)<br>12回 | 12回   | 12回 | 12回 |

### (3) 認知症サポーターの養成

認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」を養成します。

認知症は誰もがなりうる病気で、他人事ではなく「自分のこと」という認識を持つことの大切さを啓蒙します。

また、養成講座を受講したサポーターを対象にステップアップ講座を開催し、認知症に関する知識や理解を深める機会を提供します。

#### ■実施状況及び見込み

| 区分           | 第8期計画 ※()内計画値      |                    |                    | 第9期計画  |        |        |
|--------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------|--------|--------|
|              | R03                | R04                | R05                | R06    | R07    | R08    |
| 実施回数         | (10回)<br>2回        | (10回)<br>6回        | (10回)<br>8回        | 10回    | 10回    | 10回    |
| 参加者数         | (230人)<br>101人     | (230人)<br>121人     | (230人)<br>150人     | 200人   | 200人   | 200人   |
| サポーター<br>延人数 | (3,672人)<br>3,585人 | (3,902人)<br>3,706人 | (4,132人)<br>3,856人 | 4,056人 | 4,256人 | 4,456人 |

### (4) チームオレンジへの取り組み

認知症の人やその家族のニーズと、認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み（チームオレンジ）を構築するため、認知症地域支援推進員と協働し、認知症サポーターステップアップ講座修了者の具体的な支援活動への参画を目指します。

## 3. 認知症予防

### (1) 認知症予防教室

認知症の予防とは、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を穏やかにする」ことを意味します。

運動不足の改善、生活習慣病の予防、社会的孤立の解消や地域で役割を持ち続けることなど、認知症の正しい知識と理解に基づいた予防に関する知識の普及を推進します。

#### ■実施状況及び見込み

| 区分   | 第8期計画 ※()内計画値 |              |               | 第9期計画 |      |      |
|------|---------------|--------------|---------------|-------|------|------|
|      | R03           | R04          | R05           | R06   | R07  | R08  |
| 実施回数 | (1回)<br>0回    | (1回)<br>0回   | (1回)<br>1回    | 1回    | 1回   | 1回   |
| 参加者数 | (100人)<br>0人  | (100人)<br>0人 | (100人)<br>70人 | 100人  | 100人 | 100人 |

### (2) 通いの場への活動推進

地域における身近な通いの場での社会参加活動・学習等の活動の機会を増やすとともに、その活動に認知症予防に知見のある専門職による活動を付加させることで、認知症の発症リスクの低減、早期発見・早期対応につなげていきます。

### (3) 軽度・中等度の難聴者への支援

難聴は日常生活に支障を及ぼすだけでなく、コミュニケーションを取りづらくなることにより、閉じこもりや社会的孤立の要因になること、さらには、認知症の危険因子の一つとされていることから、認知症予防や高齢者の積極的な社会参加を支援するため、軽度・中等度難聴者補聴器購入費助成事業を継続します。

## 4. 認知症バリアフリーの推進・社会参加支援

### (1) 認知症サポーターがいるお店の登録推進

認知症サポーターが勤務する事業所等に「認知症サポーターのいるお店」として登録いただき、地域と連携した見守り体制の構築を進めています。

#### ■登録状況及び見込み

| 区分    | 第8期計画 ※()内計画値 |            |            | 第9期計画 |     |     |
|-------|---------------|------------|------------|-------|-----|-----|
|       | R03           | R04        | R05        | R06   | R07 | R08 |
| 登録店舗数 | (50)<br>44    | (55)<br>55 | (60)<br>55 | 60    | 65  | 70  |

### (2) 見守り・相談体制の充実

高齢者等が行方不明になった場合に、情報提供等の搜索活動に協力する地域住民や企業等の登録（そうさく助け合い情報配信登録）を推進し、認知症高齢者等の安全と家族等への支援を行います。

また、認知症地域支援推進員の「認知症相談ダイヤル」の周知や、地域包括支援センター等の相談体制の充実を図ります。

#### ■そうさく助け合い情報登録状況及び見込み

| 区分     | 第8期計画 ※()内計画値  |                |                | 第9期計画 |      |      |
|--------|----------------|----------------|----------------|-------|------|------|
|        | R03            | R04            | R05            | R06   | R07  | R08  |
| 個人登録人数 | (300人)<br>551人 | (350人)<br>720人 | (400人)<br>800人 | 850人  | 900人 | 950人 |
| 協力機関数  | (65機関)<br>61機関 | (70機関)<br>60機関 | (75機関)<br>60機関 | 65機関  | 70機関 | 75機関 |

### (3) 介護者への支援・交流機会の提供

そうさく助け合い情報の運用、認知症カフェの開催により、家族介護者の負担軽減に努めます。

また、高齢者等を在宅で介護している家族を対象に、家族介護者交流会を開催し、介護者相互の交流の場を提供することにより、リフレッシュの機会を設けます。

## 基本目標3 住み慣れた地域で安心して暮らせるサービス基盤を整備します

### 第1 地域包括支援センターの体制強化

### 重点施策1

#### 1. 地域包括支援センターの運営

地域包括支援センターには、社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員の専門職を配置し、それぞれの専門性を活かしながら、総合相談や権利擁護、ケアマネジメント支援及び介護予防ケアマネジメントを包括的に行っています。

市内にセンターを2カ所設置し、4つの日常生活圏域のうち、2圏域をそれぞれ担当しています。

複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、必要に応じて専門多職種・地域関係者等による地域ケア会議※1を開催し、高齢者の実態把握や課題解決を図ります。

各センターの事業実施状況については、地域包括支援センター運営協議会において報告・審議を行っています。

※1 医療、介護等の多職種が協働して高齢者の個別課題の解決を図るとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高めることや個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化することなどを目的に、地域包括支援センター等が主催する会議

#### ■担当圏域

| 名称  | 担当圏域       |
|-----|------------|
| りんく | 北圏域、中央・西圏域 |
| マウニ | 東・呼人圏域、南圏域 |

#### ■地域ケア会議

| 区分  | R03 | R04 | R05(見込み) |
|-----|-----|-----|----------|
| 開催数 | 11回 | 7回  | 15回      |

## 第2 在宅医療・介護連携の推進

## 重点施策1

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者を地域で支えていくために、網走市在宅医療・介護連携推進協議会等と連携・協力しながら事業を推進します。

### ■在宅医療・介護連携の取り組み

| 項 目                          | 実 施 内 容                                 |
|------------------------------|-----------------------------------------|
| ① 現状分析・課題抽出                  |                                         |
| ア. 地域の医療・介護の資源の把握            | ガイドブックによる医療情報（病医院・歯科医院・薬局）及び介護事業所情報の掲載  |
| イ. 在宅医療・介護連携の課題の抽出           | 在宅医療・介護連携推進協議会による課題抽出                   |
| ウ. 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 | 「あばしり健康ダイヤル24」による相談体制継続・移動型医療サービスの推進    |
| ② 対応策の実施                     |                                         |
| エ. 医療・介護関係者の情報共有支援           | 入院時情報提供シート運用の支援継続<br>多職種連携情報共有システムの活用促進 |
| オ. 在宅医療・介護連携に関する相談支援         | 市高齢者福祉係による相談受付、連携調整、情報提供                |
| カ. 医療・介護関係者の研修               | 多職種連携合同研修、職種別、テーマ別研修の開催                 |
| キ. 地域住民への普及啓発                | 公共施設等への介護保険ガイドブックの配架                    |

## 第3 権利擁護の取り組み

### 1. 成年後見制度利用の推進

認知症等による判断能力の低下により、財産・金銭の管理や日常生活を営むことが困難となった場合でも、地域で安心して生活を継続できるように、成年後見制度の活用を推進します。

#### （1）相談支援・市民後見人養成

網走市生活サポートセンター（後見実施機関）に相談窓口を設置し、判断能力が不十分な高齢者等に対し、成年後見制度利用への支援を行います。

また、市民の目線で、地域に密着した活動を行うことが期待される市民後見人の養成や活動支援を行い、支援体制の充実に図ります。

■実施状況及び見込み

| 区分        | 第 8 期計画 ※()内計画値 |                |                | 第 9 期計画 |      |      |
|-----------|-----------------|----------------|----------------|---------|------|------|
|           | R03             | R04            | R05            | R06     | R07  | R08  |
| 相談件数      | (85 件)<br>44 件  | (90 件)<br>54 件 | (95 件)<br>55 件 | 70 件    | 75 件 | 80 件 |
| 養成研修修了者   | (一)<br>—        | (20 人)<br>—    | (一)<br>12 人    | —       | —    | 20 人 |
| 市民後見人登録人数 | (27 人)<br>35 人  | (37 人)<br>34 人 | (37 人)<br>46 人 | 46 人    | 46 人 | 66 人 |
| 市民後見人受任件数 | (25 件)<br>18 件  | (25 件)<br>17 件 | (30 件)<br>17 件 | 20 件    | 25 件 | 30 件 |

(2) 利用支援

成年後見の審判の申立てや成年後見制度の利用を促進するために必要な支援を行います。

■実施状況及び見込み

| 区分       | 第 8 期計画 ※()内計画値 |                |                | 第 9 期計画 |      |      |
|----------|-----------------|----------------|----------------|---------|------|------|
|          | R03             | R04            | R05            | R06     | R07  | R08  |
| 市長申立件数   | (3 件)<br>2 件    | (4 件)<br>0 件   | (5 件)<br>1 件   | 3 件     | 3 件  | 3 件  |
| 報酬助成件数   | (13 件)<br>10 件  | (15 件)<br>11 件 | (17 件)<br>11 件 | 13 件    | 15 件 | 17 件 |
| 申立費用助成件数 | (3 件)<br>1 件    | (4 件)<br>0 件   | (5 件)<br>1 件   | 3 件     | 3 件  | 3 件  |

2. 高齢者虐待防止・消費者被害防止

地域包括支援センター等と連携し、高齢者虐待の未然防止と早期発見を図ります。また、網走市消費者協会及び関係部署と連携し、高齢者に対する悪質な訪問販売や特殊詐欺等の防止対策を推進します。

第 4 見守り体制の充実

1. 緊急通報システム

ひとり暮らしの高齢者等の救急対応や生活不安の解消を図るため、消防署への通報等が可能な緊急通報装置を貸与しています。

新たに携帯電話回線を利用する端末の導入により、固定電話回線を有していない方でも利用可能とし、利便性の向上を図ります。

#### ■利用状況及び見込み

| 区分   | 第8期計画 ※()内計画値    |                  |                  | 第9期計画 |       |       |
|------|------------------|------------------|------------------|-------|-------|-------|
|      | R03              | R04              | R05              | R06   | R07   | R08   |
| 利用者数 | (350 人)<br>336 人 | (355 人)<br>331 人 | (360 人)<br>330 人 | 340 人 | 350 人 | 360 人 |

## 2. 通信機能付き電球（ハローライト）

点灯・消灯の動きで生活状況を電子メールで確認できる通信機能付き電球の設置を推進し、ひとり暮らしの高齢者及び離れて暮らす家族の不安を軽減します。

包括的連携協定を締結したヤマト運輸(株)の「見守りサービスあんしんハローライトプラン」により実施し、異常時の状況によってヤマト運輸スタッフが代理訪問して安否確認を行います。

#### ■利用状況及び見込み

| 区分   | 第8期計画 ※()内計画値 |     |      | 第9期計画 |       |       |
|------|---------------|-----|------|-------|-------|-------|
|      | R03           | R04 | R05  | R06   | R07   | R08   |
| 利用者数 | —             | —   | 80 人 | 150 人 | 200 人 | 250 人 |

## 3. ふれあい「ほっと」コール

高齢者世帯及び高齢者を介護している家族に対し、社会的孤独感の解消や福祉サービス等に関する相談・助言及び関係機関との支援の調整を行います。

実施機関や民生委員等と協働し、登録者増に向けた周知を図ります。

#### ■登録状況及び見込み

| 区分    | 第8期計画 ※()内計画値  |                |                | 第9期計画 |      |      |
|-------|----------------|----------------|----------------|-------|------|------|
|       | R03            | R04            | R05            | R06   | R07  | R08  |
| 登録延人数 | (50 人)<br>46 人 | (55 人)<br>36 人 | (60 人)<br>40 人 | 50 人  | 55 人 | 60 人 |

## 4. 食の自立支援サービス

食事をつくることが困難な高齢者に対し、栄養面に配慮した食事を提供するとともに、声掛けによる安否確認を行います。

#### ■実施状況及び見込み

| 区分    | 第8期計画 ※()内計画値        |                      |                      | 第9期計画   |         |         |
|-------|----------------------|----------------------|----------------------|---------|---------|---------|
|       | R03                  | R04                  | R05                  | R06     | R07     | R08     |
| 年間延回数 | (34, 500)<br>31, 793 | (36, 000)<br>32, 072 | (37, 500)<br>33, 120 | 34, 800 | 36, 250 | 37, 700 |
| 実利用者数 | (230 人)<br>229 人     | (240 人)<br>220 人     | (250 人)<br>230 人     | 240 人   | 250 人   | 260 人   |

## 5. 除雪サービス

除雪が困難な高齢者等世帯に対し、緊急時の避難通路の確保を目的に除雪を実施します。

利用ニーズの増加に対応するため、町内会等に協力を求め、サービス実施の担い手確保に努めます。

### ■実施状況及び見込み

| 区分     | 第8期計画 ※()内計画値    |                  |                  | 第9期計画 |       |       |
|--------|------------------|------------------|------------------|-------|-------|-------|
|        | R03              | R04              | R05              | R06   | R07   | R08   |
| 年間延回数  | (2,600)<br>3,711 | (2,650)<br>2,799 | (2,700)<br>2,700 | 2,750 | 2,800 | 2,850 |
| 実利用者数  | (260人)<br>275人   | (265人)<br>263人   | (270人)<br>270人   | 275人  | 280人  | 285人  |
| 受託町内会数 | (23団体)<br>17団体   | (26団体)<br>17団体   | (29団体)<br>17団体   | 20団体  | 23団体  | 26団体  |

## 6. 老人クラブ活動による見守り

網走市老人クラブ連合会が実施する「助け合う高齢者推進運動」の取り組みとして、単位老人クラブごとに会員等の生活や福祉、健康問題に関する相談支援を担う「友愛会員」の活動を支援し、地域高齢者の見守りを強化します。

### ■実施状況及び見込み

| 区分           | 第8期計画 ※()内計画値 |               |               | 第9期計画 |      |      |
|--------------|---------------|---------------|---------------|-------|------|------|
|              | R03           | R04           | R05           | R06   | R07  | R08  |
| 会員配置<br>クラブ数 | (16)<br>24    | (19)<br>23    | (22)<br>24    | 25    | 26   | 27   |
| 友愛会員数        | (87人)<br>85人  | (102人)<br>89人 | (117人)<br>96人 | 100人  | 105人 | 110人 |

## 7. 高齢者等に係る見守り協定

ひとり暮らし高齢者に対する見守り協定を締結した民間事業所等と連携し、地域における見守り体制の強化を図ります。

(見守り協定締結・・・個別協定9事業所、包括連携2事業所)

## 8. 災害時の避難支援

災害時に自ら避難することが困難な高齢者の支援について、防災担当部署や地域支援者等との連携により取り組みを推進します。



## 第5 住まい・生活環境の充実

在宅で生活するために支援が必要な高齢者や、自立して生活することに不安がある高齢者が、安心して暮らすことができるよう、高齢者住宅等に関する情報を提供します。

### 1. 高齢者住宅等の整備

#### (1) 養護老人ホーム

養護老人ホームは、環境上の理由及び経済的理由により、自力で日常生活を営むことが困難な65歳以上の高齢者が、市区町村の措置によって入所できる施設です。

当市で現在整備されている1カ所・50名定員を維持し、高齢者の生活支援の充実を図ります。

#### (2) 軽費老人ホーム（ケアハウス）

軽費老人ホーム（ケアハウス）は、身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことに不安があり、家族の援助を受けることが困難な高齢者が入所する施設です。

当市で現在整備されている2カ所・50名定員を維持します。

#### (3) サービス付き高齢者向け住宅等

サービス付き高齢者向け住宅は、見守りや生活相談等のサービスを受けられるバリアフリー化※1された賃貸住宅です。

施設は介護保険給付対象外ですが、施設内で実施されるサービスは、特定施設入居者生活介護と居宅サービスの適用を受けるものに分かれています。

当市では、現在サービス付き高齢者向け住宅が4カ所・143戸が整備されています。

今後もサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームを管轄している北海道と連携する中から情報交換等を行っていきます。

※1 障がい者や高齢者などの社会的弱者が、社会生活を送る上で支障となる物理的、心理的な障害などを取り除いていく行為や施策、もしくは取り除かれた状態のこと

#### (4) シルバーハウジング

シルバーハウジング60戸（北西地区道営住宅30戸・大曲地区市営住宅30戸）に居住する高齢者に対し、入居者が自立して安全かつ快適な生活が送れるよう生活援助員（LSA＝ライフサポートアドバイザー）2名を配置し、生活指導・相談・安否確認・一時的な家事援助・緊急時対応等を行います。

#### ■高齢者住宅等の整備状況

| 区分             | R05 実績 | R08 目標 | うち特定施設 |
|----------------|--------|--------|--------|
| 養護老人ホーム        | 50 名   | 50 名   | 30 名   |
| 軽費老人ホーム（ケアハウス） | 50 名   | 50 名   | 50 名   |
| サービス付き高齢者住宅    | 143 戸  | 143 戸  | 97 戸   |
| シルバーハウジング      | 60 戸   | 60 戸   | —      |

## 2. 住まいの充実

高齢化の進展と生活様式の多様化に対応した快適でゆとりのある住環境整備は重要です。最近では、公営住宅の建て替えも進み、居住水準は向上しています。

今後も引き続き、高齢者や障がい者に配慮した安全で質の高い住宅づくりを促進します。

### (1) 市営住宅の住環境の向上

市営住宅では、床の段差解消やエレベーター・スロープ・手すりの設置等のバリアフリー化により、高齢者に配慮した住宅整備を進めています。

今後も引き続き、住環境の向上に努めます。第9期計画期間内の整備予定については次のとおりです。

#### ■市営住宅の整備予定

| 整備箇所     | 時期      | 内容                   |
|----------|---------|----------------------|
| 潮見団地（B棟） | 令和6年度   | 実施設計                 |
|          | 令和7～8年度 | 鉄筋コンクリート造 3階建 30戸の建設 |

### (2) 住環境改善資金補助の実施

住宅のリフォーム※1やバリアフリーの推進及びエアコン設置等居住水準の向上を目的に、住環境改善のための資金補助を実施しています。

今後においても、安全で快適な生活が送れるよう補助制度の活用について周知を図りながら住環境の向上に努めます。

※1 改築や改装を行うこと

#### ■住環境改善資金補助の実施状況

| 区分                | 第8期計画 |     |     |
|-------------------|-------|-----|-----|
|                   | R03   | R04 | R05 |
| 一般改修件数(件)         | 215   | 238 | 263 |
| 空き家改修件数(件)        | 29    | 22  | 29  |
| 太陽光発電整備件数(件)      | 1     | 0   | 2   |
| ペレットストーブ※2整備件数(件) | 0     | 0   | 0   |
| 合計(件)             | 245   | 260 | 294 |

※2 山林の伐採、木片、端材、木くずなどから生成された木質燃料を使用したストーブのこと

### (3) 高齢者住宅の整備

独居高齢者等が安心して生活できるようサービス付き高齢者向け住宅等の様々な居住環境について、民間活力の導入による整備の促進を図ります。

また、住宅改修については、相談員が高齢者の居宅を訪問し、住宅構造や身体状況等を踏まえた適切な増改築が実施できるよう相談に応じ、必要な助言を行います。

### 3. 快適で安全な公共空間の整備

市では、高齢者等の利便性と安全性等を考慮し、快適な公共空間を目指して、整備済の既存歩道の維持修繕に取り組んでいます。

今後は、歩道の段差解消や景観に配慮した歩行空間の創出に向け、次の事業の進捗を図ります。

#### (1) 安全で利便性の高い交通環境の整備

高齢者をはじめ全ての人々が自由に外出し社会参加できるよう、歩道等の段差解消や老朽化した舗装の修繕などを行っていきます。

そのほか、市では「網走市立地適正化計画」に基づき、居住や都市の生活を支える都市機能の誘導によるコンパクトな「まちづくり」を進めるとともに、地域交通の最適化との連携を図ることにより、医療や介護など様々な生活支援サービスが日常生活圏域で適切に提供され、地域の交流が活発に行われるよう、「網走市地域公共交通計画」との整合性をとりながら、検討を進めていきます。

#### (2) 景観に配慮した歩行空間の整備

高齢者をはじめ全ての人々が健康で快適に過ごすことができるよう、街路樹の在り方を検討し良好な自然景観に配慮した歩行空間の整備を検討していきます。

## 第6 介護サービス提供基盤の整備

## 重点施策2

第8期計画のサービス毎の実績については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり通所系サービスが計画を下回りました。一方、その補完的要素から訪問系サービスの一部で計画を大きく上回っています。なお、サービス毎の詳細な実績（R05のみ推計値）は後述のとおりです。

### 1. 居宅介護サービスの充実

在宅の高齢者が必要なサービスを利用できるよう、居宅介護サービスの提供体制の確保に努めます。

要支援認定者については、状態の悪化の防止、さらには「非該当」への改善を目指すことを目的とした居宅介護予防サービスを提供します。

#### (1) 居宅介護支援・介護予防支援

ケアマネジメント業務は、介護保険制度の要であり、介護支援専門員が、要支援・要介護者やその家族の方々と相談しながら、介護サービス計画（ケアプラン）を作成します。

今後も利用者の意向が十分に反映され、その方の状態に見合った、より良いケアプランを作成するためには、介護支援専門員の必要数の確保と、その資質の向上が重要です。そのためにも居宅介護支援事業者や網走市ケアマネジャー連絡協議会との連携を深め、情報提供や研修会の開催等に努めます。

また、介護予防サービスにおけるケアマネジメント業務については、主体となる地域包括支援センターと共に、円滑な実施に向けて取り組みます。

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |              |              | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|--------------|--------------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04          | R05          | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (229)<br>223  | (235)<br>240 | (240)<br>243 | 240   | 245 | 248 | 266 | 275 |

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |              |              | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|--------------|--------------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04          | R05          | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (683)<br>675  | (705)<br>684 | (714)<br>685 | 706   | 730 | 744 | 791 | 928 |

## （２）訪問介護

訪問介護員（ホームヘルパー）が自宅を訪問し、食事・入浴・排せつ等の身体介護や調理・掃除等の生活支援を行うサービスです。

今後ともサービス提供事業者との連携により、円滑な実施に努めます。

■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値      |                    |                    | 第9期計画  |        |        | 計画     |        |
|----|--------------------|--------------------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|    | R03                | R04                | R05                | R06    | R07    | R08    | R12    | R22    |
| 介護 | (5, 159)<br>5, 155 | (5, 310)<br>5, 242 | (5, 279)<br>5, 111 | 5, 145 | 5, 330 | 5, 581 | 5, 886 | 7, 147 |

## （３）訪問入浴介護

入浴設備や簡易浴槽を積んだ移動入浴車等で訪問し、入浴の介助を行うサービスです。

■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |          |          | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|----------|----------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04      | R05      | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (3)<br>0      | (3)<br>0 | (3)<br>0 | 1     | 1   | 1   | 1   | 1   |

■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |            |            | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|------------|------------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04        | R05        | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (45)<br>55    | (50)<br>55 | (45)<br>55 | 50    | 50  | 54  | 58  | 70  |

#### (4) 訪問看護

看護師等が自宅を訪問し、病状の観察、療養上の世話や、医師の指示による診療の補助を行うサービスです。

今後とも訪問看護ステーションや医療機関との連携により、円滑な実施に努めます。

##### ■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |              |              | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|--------------|--------------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04          | R05          | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (198)<br>165  | (206)<br>170 | (213)<br>165 | 163   | 168 | 168 | 180 | 188 |

##### ■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値  |              |              | 第9期計画 |       |       | 計画    |       |
|----|----------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
|    | R03            | R04          | R05          | R06   | R07   | R08   | R12   | R22   |
| 介護 | (948)<br>1,022 | (977)<br>940 | (990)<br>955 | 1,004 | 1,033 | 1,056 | 1,120 | 1,326 |

#### (5) 訪問リハビリテーション

理学療法士等が自宅を訪問し、心身機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるための理学療法等によるリハビリテーションを行うサービスです。

今後とも医療機関等との連携により、円滑な実施に努めます。

##### ■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |              |              | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|--------------|--------------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04          | R05          | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (367)<br>483  | (376)<br>489 | (392)<br>480 | 490   | 499 | 499 | 540 | 558 |

##### ■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値  |                |                | 第9期計画 |       |       | 計画    |       |
|----|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
|    | R03            | R04            | R05            | R06   | R07   | R08   | R12   | R22   |
| 介護 | (622)<br>1,196 | (630)<br>1,051 | (637)<br>1,073 | 1,107 | 1,167 | 1,197 | 1,264 | 1,500 |

#### (6) 居宅療養管理指導

医師・歯科医師・薬剤師等が自宅を訪問し、療養上の管理や指導を行うサービスです。

今後とも医療機関との連携により、円滑な実施に努めます。

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |            |            | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|------------|------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04        | R05        | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (10)<br>11       | (11)<br>15 | (11)<br>16 | 17      | 17  | 19  | 19  | 20  |

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |             |             | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|-------------|-------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04         | R05         | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (65)<br>214      | (66)<br>238 | (67)<br>246 | 238     | 247 | 257 | 271 | 325 |

（７）通所介護（デイサービス）

デイサービスセンターに通い、食事・入浴・排せつ等の日常生活上の支援や機能訓練等を受けるサービスです。

今後ともサービス提供事業者との連携により、円滑な実施に努めます。

■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |                    |                    | 第 9 期計画 |        |        | 計画     |        |
|----|------------------|--------------------|--------------------|---------|--------|--------|--------|--------|
|    | R03              | R04                | R05                | R06     | R07    | R08    | R12    | R22    |
| 介護 | (1, 374)<br>943  | (1, 429)<br>1, 000 | (1, 459)<br>1, 188 | 1, 289  | 1, 330 | 1, 350 | 1, 448 | 1, 685 |

（８）通所リハビリテーション（デイケア）

介護老人保健施設や医療機関等に通い、食事・入浴・排せつ等の介護や、生活機能向上のためのリハビリテーションを受けるサービスです。

今後とも医療機関等との連携により、円滑な実施に努めます。

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |            |            | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|------------|------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04        | R05        | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (80)<br>60       | (82)<br>52 | (83)<br>57 | 56      | 58  | 59  | 63  | 65  |

※介護予防サービスは月単位の定額報酬のため、人数で見込む

■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値   |                    |                 | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |        |
|----|--------------------|--------------------|-----------------|---------|-----|-----|-----|--------|
|    | R03                | R04                | R05             | R06     | R07 | R08 | R12 | R22    |
| 介護 | (1, 178)<br>1, 022 | (1, 217)<br>1, 062 | (1, 283)<br>972 | 865     | 890 | 909 | 965 | 1, 141 |

# (9) 短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や医療施設に短期間入所している人へ、食事・入浴等の日常生活上の支援や機能訓練等を受けるサービスです。

今後ともサービスの安定供給に向けて各施設や医療機関等との連携により、円滑な実施に努めます。

なお、介護医療院による短期入所療養介護については、第8期計画期間中に利用がなかったことから、第9期計画期間中もサービス量は見込んでいません。

## 【短期入所生活介護のサービス見込量】

### ■利用状況及びサービス量見込み（日／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |            |           | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|------------|-----------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04        | R05       | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (8)<br>9      | (12)<br>10 | (12)<br>8 | 10    | 10  | 10  | 15  | 15  |

### ■利用状況及びサービス量見込み（日／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |              |              | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|--------------|--------------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04          | R05          | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (665)<br>494  | (674)<br>390 | (658)<br>399 | 428   | 456 | 456 | 484 | 575 |

## 【短期入所療養介護（老健）のサービス見込量】

### ■利用状況及びサービス量見込み（日／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |            |            | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|------------|------------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04        | R05        | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (10)<br>12    | (10)<br>17 | (10)<br>18 | 14    | 14  | 14  | 24  | 24  |

### ■利用状況及びサービス量見込み（日／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |              |              | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|--------------|--------------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04          | R05          | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (674)<br>417  | (706)<br>377 | (688)<br>395 | 448   | 460 | 496 | 525 | 634 |

## 【短期入所療養介護（病院・介護医療院）のサービス見込量】

### ■利用状況及びサービス量見込み（日／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |          |          | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|----------|----------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04      | R05      | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (0)<br>0      | (0)<br>0 | (0)<br>0 | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   |

■利用状況及びサービス量見込み（日／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |           |           | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|-----------|-----------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04       | R05       | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (61)<br>0        | (62)<br>0 | (62)<br>0 | 0       | 0   | 0   | 0   | 0   |

(10) 福祉用具貸与

自宅での介護に必要な歩行器等の福祉用具を貸与するサービスです。

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |              |              | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|--------------|--------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04          | R05          | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (125)<br>134     | (127)<br>155 | (130)<br>161 | 161     | 165 | 167 | 179 | 185 |

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |              |              | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|--------------|--------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04          | R05          | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (379)<br>365     | (391)<br>385 | (393)<br>387 | 387     | 402 | 413 | 437 | 522 |

(11) 特定福祉用具購入費の支給

福祉用具のうち、貸与になじまない入浴や排せつ等を補助する福祉用具を購入した場合に、その費用の一部が支給されるサービスです。

今後とも利用者の一時的な負担を軽減するための「受領委任払い※1」の取り扱いを継続します。

※1 被保険者が保険給付分の受領を施工業者に委任することにより、被保険者は、施工業者に負担割合（1～3割）に応じた額を支払い、保険給付分については保険者から直接施工業者に支払う方法

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |          |          | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|----------|----------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04      | R05      | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (5)<br>5         | (5)<br>5 | (5)<br>6 | 6       | 6   | 6   | 6   | 6   |

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |           |           | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|-----------|-----------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04       | R05       | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (7)<br>9         | (7)<br>11 | (7)<br>12 | 11      | 11  | 11  | 12  | 14  |



## (12) 住宅改修費の支給

手すりの取り付け、段差の解消等、一定の住宅改修を行った場合に、その費用の一部が支給されるサービスです。当市では、要介護認定者の住環境向上のため、国が定める支給限度基準額（20万円）を30万円に引き上げ、居宅におけるバリアフリー化の充実等を引き続き図ります（当市独自の上乗せ※1事業の継続実施）。

また、特定福祉用具販売と同様、利用者の一時的な負担を軽減するための「受領委任払い」の取り扱いを継続します。

※1 利用する介護サービスが支給限度額を超える場合、市町村が独自の判断でサービス利用額等を引き上げること

### ■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |          |          | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|----------|----------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04      | R05      | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (5)<br>5      | (5)<br>6 | (5)<br>4 | 5     | 5   | 5   | 6   | 6   |

### ■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |           |           | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|-----------|-----------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04       | R05       | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (11)<br>8     | (11)<br>7 | (11)<br>8 | 8     | 9   | 9   | 9   | 10  |

## (13) 特定施設入居者生活介護（介護専用型・混合型）

介護保険における指定を受けた養護老人ホームや軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に入居し、食事・入浴等の日常生活上の世話や機能訓練等を提供するサービスです。

### ■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |            |            | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|------------|------------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04        | R05        | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (13)<br>13    | (13)<br>16 | (14)<br>16 | 15    | 15  | 15  | 17  | 17  |

### ■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |              |              | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|--------------|--------------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04          | R05          | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (127)<br>129  | (130)<br>125 | (132)<br>126 | 128   | 130 | 134 | 142 | 162 |

## 2. 地域密着型サービスの充実

市が主体となり、身近な地域で、地域に即したサービスの適切な提供を図ります。

### (1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

日中・夜間を通じ、短時間の定期巡回により訪問し、訪問介護や訪問看護サービスを一体的に提供するサービスです。

当市においては、サービス提供事業者がなく、新規参入を検討している事業者もいませんが、市外での利用を見込んでいます。

#### ■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |          |          | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|----------|----------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04      | R05      | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (4)<br>3      | (4)<br>3 | (4)<br>2 | 3     | 3   | 3   | 3   | 4   |

### (2) 夜間対応型訪問介護

夜間に定期的に巡回して行う訪問介護に加え、利用者からの通報による求めに応じて随時対応する訪問介護を組み合わせたサービスです。

当市においては、サービス提供事業者がなく、新規参入を検討している事業者もないことから、サービス量は見込んでいません。

### (3) 地域密着型通所介護

利用定員が18人以下の小規模な通所介護事業所で、食事・入浴・排せつ等の日常生活上の支援や機能訓練等を受けるサービスです。

#### ■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値  |                |                | 第9期計画 |     |     | 計画  |       |
|----|----------------|----------------|----------------|-------|-----|-----|-----|-------|
|    | R03            | R04            | R05            | R06   | R07 | R08 | R12 | R22   |
| 介護 | (1,010)<br>952 | (1,042)<br>837 | (1,047)<br>743 | 852   | 897 | 906 | 957 | 1,126 |

### (4) 認知症対応型通所介護

認知症の人を対象に専門的なケアを提供する通所介護（デイサービス）です。

当市においては、2カ所の事業所があり、サービスの安定供給に向けて円滑な実施に努めます。

#### ■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第8期計画 ※()内計画値 |          |          | 第9期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|---------------|----------|----------|-------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03           | R04      | R05      | R06   | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (4)<br>9      | (4)<br>3 | (4)<br>3 | 9     | 9   | 9   | 9   | 9   |

■利用状況及びサービス量見込み（回／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |              |              | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|--------------|--------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04          | R05          | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (539)<br>481     | (568)<br>455 | (578)<br>411 | 465     | 465 | 473 | 507 | 603 |

（５）小規模多機能型居宅介護

通いを中心として、利用者の様態や希望等に応じ、泊まりや訪問を組み合わせるサービスを提供し、在宅での生活の継続性を支援する事業で、当市では、現在 2 ヲ所（登録定員計 40 人）の事業所において、サービス提供されています。

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |          |          | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|----------|----------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04      | R05      | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (7)<br>3         | (7)<br>4 | (8)<br>3 | 4       | 4   | 4   | 4   | 4   |

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |            |            | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|------------|------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04        | R05        | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (31)<br>30       | (32)<br>24 | (32)<br>26 | 28      | 29  | 30  | 31  | 36  |

（６）認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

認知症の方が、家庭的な雰囲気の中で、食事・入浴・排せつ等の日常生活上の世話や機能訓練等のサービスを受けられます。

当市においては、現在 10 ヲ所（定員計 171 人）のグループホームが整備されていますが、令和 8（2026）年に 9 床の増を見込んでいます。

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |          |          | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|----------|----------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04      | R05      | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 予防 | (0)<br>0         | (0)<br>0 | (0)<br>0 | 0       | 0   | 0   | 0   | 0   |

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※() 内計画値 |              |              | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|------------------|--------------|--------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03              | R04          | R05          | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (171)<br>169     | (171)<br>165 | (171)<br>169 | 171     | 171 | 180 | 180 | 180 |

### (7) 地域密着型特定施設入居者生活介護

地域に密着した小規模（定員 29 人以下）の介護専用型の特定施設（有料老人ホーム等）です。

当市においては、現在 1 ヲ所（定員 20 人）の施設が整備されています。

#### ■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※()内計画値 |            |            | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|-----------------|------------|------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03             | R04        | R05        | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (20)<br>20      | (20)<br>19 | (20)<br>20 | 20      | 20  | 20  | 20  | 20  |

### (8) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特養）

地域に密着した小規模（定員 29 人以下）の介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）です。

当市においては、現在 3 ヲ所（定員 67 人）の施設が整備されています。

#### ■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※()内計画値 |            |            | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|-----------------|------------|------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03             | R04        | R05        | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (56)<br>56      | (56)<br>56 | (74)<br>64 | 67      | 67  | 67  | 85  | 85  |

### (9) 看護小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせることで、介護と看護を一体的に提供するサービスです。

当市においては、サービス提供事業者がなく、新規参入を検討している事業者もないことから、サービス量は見込んでいません。

## 3. 施設サービスの充実

在宅での継続的な生活が困難な要介護者が、要介護状態区分等に応じて適切な施設を選択して利用できるよう、サービス提供体制の確保に努めます。

### (1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

常に介護が必要で在宅での生活が困難な要介護者が入所し、介護や日常生活の援助を受ける施設です。

現在の市内の特別養護老人ホームの定員数は 50 人で、他市町村の施設を利用される方の分も含めて、サービス量を見込んでいます。

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※()内計画値 |             |             | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|-----------------|-------------|-------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03             | R04         | R05         | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (99)<br>93      | (103)<br>91 | (106)<br>91 | 81      | 81  | 81  | 89  | 103 |

※上記には、市外施設利用分を含む

（２）介護老人保健施設（老人保健施設）

症状が安定していて入院の必要がない要介護者が入所し、リハビリテーションや介護、その他日常生活の援助を行いながら、在宅生活復帰を目指す施設です。

当市においては、２ヵ所（定員計 169 人）の施設があり、サービスが提供されています。

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※()内計画値 |              |              | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|-----------------|--------------|--------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03             | R04          | R05          | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (120)<br>105    | (122)<br>107 | (124)<br>123 | 123     | 123 | 123 | 137 | 157 |

※上記には、市外施設利用分を含む

（３）介護医療院

「日常的な医学管理が必要な重介護者の受入」や「看取り・ターミナル」等の機能と「生活施設」としての機能を兼ね備えた新たな介護保険施設「介護医療院」が平成 30(2018)年度に創設されました。

当市においては、現在 1 施設（定員数 19 人）が整備され、サービスが提供されていますが、令和 6 年度より定員数が 40 人となる予定です。

■利用状況及びサービス量見込み（人／月）

| 区分 | 第 8 期計画 ※()内計画値 |            |            | 第 9 期計画 |     |     | 計画  |     |
|----|-----------------|------------|------------|---------|-----|-----|-----|-----|
|    | R03             | R04        | R05        | R06     | R07 | R08 | R12 | R22 |
| 介護 | (40)<br>28      | (40)<br>28 | (40)<br>20 | 29      | 29  | 29  | 38  | 42  |

※上記には、市外施設利用分を含む

## 1. きめ細かな介護保険制度運営の推進

## (1) 市町村特別給付の推進

介護保険制度では、要介護認定者に対し、市町村独自の判断で、法定メニュー以外の種目の介護サービスを提供することができることとなっています。

当市では、「ロードヒーティング施工費」・「いす式階段昇降機施工費」の支給について市町村特別給付として介護保険事業基金を活用して実施しており、今後も当該サービスの利用希望者に対し、サービスを提供します。

## ■ロードヒーティング施工費の見込み

| 区分         | 第8期計画 ※()内計画値 |            |            | 第9期計画 |     |     |
|------------|---------------|------------|------------|-------|-----|-----|
|            | R03           | R04        | R05        | R06   | R07 | R08 |
| 支給額（千円／年）  | (270)<br>0    | (270)<br>0 | (270)<br>0 | 270   | 270 | 270 |
| 見込み件数（件／年） | (1)<br>0      | (1)<br>0   | (1)<br>0   | 1     | 1   | 1   |

## ■いす式階段昇降機施工費の見込み

| 区分         | 第8期計画 ※()内計画値 |            |            | 第9期計画 |     |     |
|------------|---------------|------------|------------|-------|-----|-----|
|            | R03           | R04        | R05        | R06   | R07 | R08 |
| 支給額（千円／年）  | (270)<br>0    | (270)<br>0 | (270)<br>0 | 270   | 270 | 270 |
| 見込み件数（件／年） | (1)<br>0      | (1)<br>0   | (1)<br>0   | 1     | 1   | 1   |

## (2) 低所得者対策の推進

介護保険では、サービス利用者は費用の1割～3割を自己負担するのが基本（介護サービス計画作成費を除く）となりますが、当市では、低所得者への配慮から、次のような負担軽減措置を講じています。

- 施設サービス・短期入所サービスを利用した場合の食費・居住費の軽減【補足給付】
- 所得に応じた高額介護サービス費、高額医療・高額介護合算制度による負担上限額の設定
- 社会福祉法人等により生計困難者に対する利用者負担軽減がなされた場合の法人助成【社会福祉法人軽減】

このうち、社会福祉法人軽減については、国が平成17(2005)年10月から軽減率の引き下げ（利用者負担を5%から7.5%へ引き上げ）や施設入所者の居住費・食費を軽減対象とするなどの見直しを実施しましたが、当市では【独自軽減制度】として、国を上回る

軽減率 5 %を維持し、施設入所者の居住費・食費の軽減については実施していませんでした。

今後は第 9 期計画期間内に国制度へ完全移行することとし、移行にあたってはより丁寧な制度周知等に努めていきます。

### **(3) 介護認定審査会の共同設置及び審査会委員の資質向上、公平性・公正性の確保**

要介護者の審査判定業務を行うため、市町村に介護認定審査会を設置することとなっています。

当市では、審査会委員の確保や、広域的に公平な審査判定が確保されること、事務の効率化・経費削減が図られること等の観点から、この審査会を近隣の斜里町・清里町・小清水町の 1 市 3 町共同で設置しています。令和 4 (2022) 年度からは、新型コロナウイルス感染症対策も含め、全道に先駆けて ICT※1 を活用した会議のオンライン化及び審査会資料のペーパーレス化に取り組んでいます。今後も、3 町と十分に連携を図り、共同して審査会の円滑な実施に努めます。

また、適正で公平な審査判定業務を行うためには、介護認定審査会委員の研修は不可欠です。北海道オホーツク総合振興局保健環境部保健行政室等と連携し、研修会を開催します。

※1 「information and communication technology」の略で、情報処理や通信に関する技術を総合的に指す用語

### **(4) 情報公表の実施促進**

利用者が適切かつ円滑に介護サービスを選択することが可能となるよう、全ての介護サービス事業者に介護サービスの内容や運営状況に関する必要な情報の公表が都道府県に義務づけられています。当市としても北海道への必要な情報提供と合わせ、当市ホームページ等の活用により、事業者の情報の周知に努めます。

また、地域密着型サービス事業所や居宅介護支援事業所が運営規定の概要や利用申込者のサービス選択に資すると認められる重要事項の事業所掲示等により広く周知するよう、運営指導や集団指導によりその徹底を図ります。

### **(5) 事業所への適切な指定・指導等の実施**

平成 18 (2006) 年度から、介護サービス事業者への立ち入り権限や地域密着型サービスに対する指定・指導監督権限が、平成 30 (2018) 年度からは居宅介護支援事業所に対する指定・指導監督権限が、市（保険者）に移譲されました。

運営指導や集団指導を通じて事業者に対する基準の遵守、サービス内容の評価・点検等を行い、サービスの質の向上に努めます。

また、介護サービス事業者の事務負担軽減のため各種届出様式の標準化やデータ配布、電子申請等に取り組んできましたが、今後も様式の簡素化等に取り組んでいきます。

### **(6) ケアマネジメントに関する基本方針の周知**

介護支援専門員は介護保険法並びに関係法令等を遵守し、制度全般の専門的な知識と利用者への深い理解により、自立支援・重度化防止に資することを目的としたケアマネ

ジメントを行う必要があります。

この介護保険制度の根幹であるケアマネジメントのあり方を保険者と介護支援専門員で共有することを目的とし、当市では「網走市ケアマネジメントに関する基本方針」を策定しています。

今後も基本方針に沿ったマネジメントとなるよう運営指導や集団指導を通じて事業者にも周知します。

## 2. 介護給付の適正化の推進

適正な給付を目指し、利用者に対する適切な介護サービスを確保するとともに、持続的な介護保険運営を行うため、「要介護認定の適正化」「ケアプラン点検及び住宅改修等の点検」、「医療情報との突合・縦覧点検」の介護給付の適正化に取り組みます。

| 項目                 | 実施方法                                                                               | 実施目標           |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 要介護認定の適正化          | ○一次判定から二次判定の軽重度変更率の差や、認定審査会の合議体間の差異について分析を行い、差異を縮小させるための取り組み(研修会の開催等)を実施           | ・年1回以上の研修会を開催  |
|                    | ○要介護認定・要支援認定新規申請及び区分変更申請に係る調査については保険者直営により実施。更新申請を含む調査票の点検を実施                      | ・全件実施          |
| ケアプランの点検及び住宅改修等の点検 | ○抽出によるケアプラン点検を実施                                                                   | ・各居宅支援事業所年1件以上 |
|                    | ○【住宅改修】施工前の工事見積書、竣工写真等により、住宅改修の施工状況等を点検。また、改修費が高額であるものや疑義があるものを抽出し施工前及び施工後の現地点検を実施 | ・全件実施          |
|                    | ○【福祉用具購入調査】福祉用具購入に関し金額等を点検                                                         | ・全件実施          |
| 医療情報との突合・縦覧点検      | ○国保連への委託等により実施                                                                     | ・全件実施          |

## 3. 災害や感染症対策に係る体制整備

近年、大規模な自然災害の発生や新型コロナウイルス感染症の流行等、これまでにはなかった備えが必要となってきました。

全サービス事業所による大規模災害等に対応した災害計画の作成、市としての福祉避難所の指定及び災害時の備蓄品確保、感染症予防のためのサージカルマスク※1や手指消毒用アルコールの確保、感染症流行下での介護サービスの安定した提供体制の整備等がこれまで以上に重要になってきます。

防災や感染症対策についての周知・啓発はもとより、地域組織と連携した防災訓練の実施や感染症発生時に必要な物資確保とともに、感染症流行下における ICT を活用した会議の実施による業務のオンライン化等についても検討していきます。

※1 介護従事者等が業務に従事する際に、自身や周囲の人を感染から守るために着用する不織布マスク



介護サービスを維持・整備していくためには、量だけでなく質の高い介護人材を継続的・安定的に確保することが必要不可欠です。また、在宅医療・介護連携を推進するため、医療担当部門との連携や看護師等を含め人材育成をしていくことが重要です。

介護人材確保に向けた課題整理や対応策の検討については、関係機関との意見交換を引き続き行うとともに、介護職員初任者研修※1受講者への補助や介護福祉士※2向け奨学金制度に取り組む事業所への補助等を継続します。また、介護の資格を有しながら介護職から離職している方に対し、復職支援研修会の実施の検討や幅広く市民に新規就業を促す取り組みを実施する等、福祉・介護分野への就業を促進し、持続可能な地域包括ケアシステムの推進を図ります。

加えて、介護人材の質の向上も喫緊の課題であり、スキルアップ※3研修を含めた各種研修機会の周知と事業所と連携した取り組みを検討していきます。

なお、厚生労働省「第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(都道府県別)」を元に推計した目標とする介護従事者数については下記のとおりです。

※1 在宅・施設を問わず、介護職として働く上で基本となる知識・技術を習得する研修で、訪問介護事業所のホームヘルパーとして働くために必要な資格

※2 「社会福祉士及び介護福祉士法」にもとづく国家資格で、介護に係る資格としては「介護職員初任者研修」→「実務者研修」→「介護福祉士」とステップアップしていく

※3 経験や学習を通して能力を習得したり、向上させたりすること

#### ■ 目標とする介護従事者数

| 項目     | 令和5年1月現在 | 令和7年度 |
|--------|----------|-------|
| 介護従事者数 | 769 人    | 790 人 |



網走市新人介護スタッフ研修会

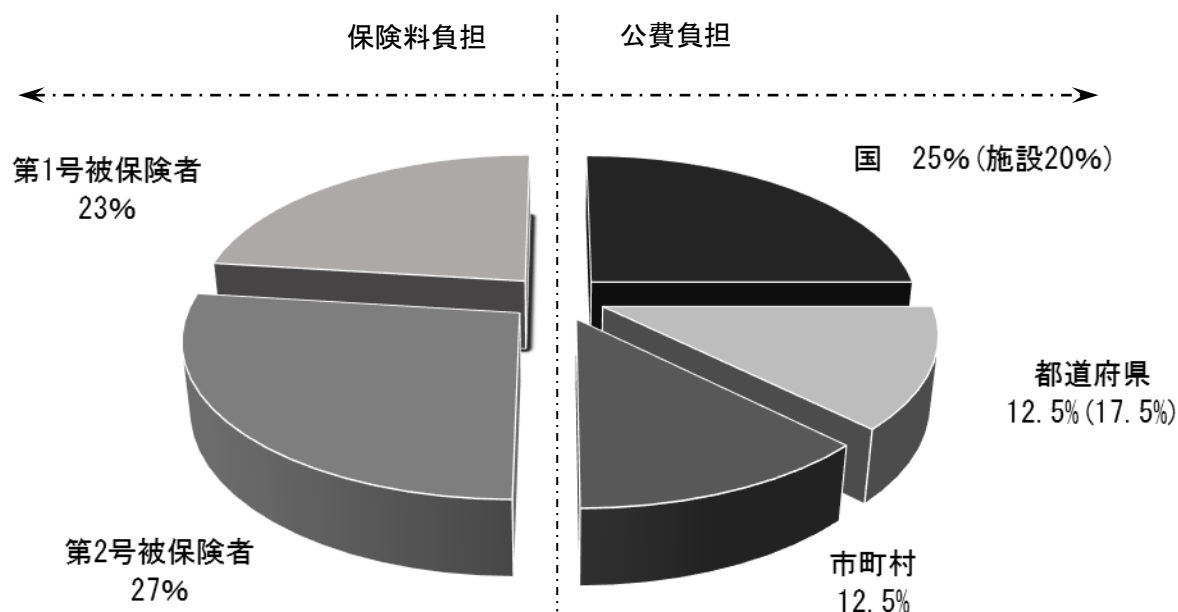
## 第5章 介護保険給付費の見込み等

### 第1 介護保険給付費の財源

介護保険給付費の財源は、50%が公費負担、50%が保険料による負担です。

公費負担 50%の内訳は、国が約 25%（施設 20%）、道 12.5%（施設 17.5%）、市が 12.5% となります。（国負担のうち約 5 %は後期高齢者の比率や高齢者の所得水準を考慮して国が市町村に交付する調整交付金です。）

保険料 50%の内訳は第1号被保険者分が 23%、第2号被保険者分が 27%となります。（第8期計画と変更はありません）



※ 第1号被保険者保険料 = 65歳以上負担保険料（各市町村が独自に決定し徴収）

※ 第2号被保険者保険料 = 40歳～64歳負担保険料（医療保険料と一緒に徴収）

## 第2 介護保険給付費の実績及び見込み

### 1. 第8期計画期間における介護保険給付費等の実績

第8期計画期間における介護保険給付費等の実績は以下の表のとおりです。(令和5年度実績については推計金額)

#### 1 介護給付

単位：千円

| 区 分                  | R03       | R04       | R05       |
|----------------------|-----------|-----------|-----------|
| 訪問介護                 | 228,923   | 230,305   | 227,577   |
| 訪問入浴介護               | 7,994     | 8,042     | 13,701    |
| 訪問看護                 | 85,183    | 75,785    | 73,774    |
| 訪問リハビリテーション          | 37,639    | 32,973    | 33,094    |
| 居宅療養管理指導             | 16,981    | 19,637    | 24,232    |
| 通所介護                 | 71,663    | 76,859    | 78,903    |
| 通所リハビリテーション          | 108,468   | 113,008   | 112,393   |
| 短期入所生活介護             | 47,287    | 37,963    | 32,896    |
| 短期入所療養介護（老健）         | 52,873    | 47,638    | 38,416    |
| 短期入所療養介護（病院等）        | 0         | 0         | 0         |
| 短期入所療養介護（介護医療院）      | 0         | 0         | 0         |
| 福祉用具貸与               | 53,572    | 55,822    | 60,113    |
| 特定福祉用具購入費            | 3,032     | 3,535     | 4,167     |
| 住宅改修費                | 7,409     | 6,464     | 7,508     |
| 特定施設入居者生活介護          | 285,857   | 285,224   | 294,669   |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護     | 4,104     | 4,466     | 3,166     |
| 夜間対応型訪問介護            | 0         | 0         | 0         |
| 地域密着型通所介護            | 89,657    | 78,741    | 62,041    |
| 認知症対応型通所介護           | 59,787    | 59,779    | 50,465    |
| 小規模多機能型居宅介護          | 67,300    | 48,291    | 52,528    |
| 認知症対応型共同生活介護         | 520,452   | 513,683   | 532,035   |
| 地域密着型特定施設入居者生活介護     | 49,131    | 46,298    | 51,934    |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 176,461   | 171,743   | 202,288   |
| 看護小規模多機能型居宅介護        | 0         | 0         | 0         |
| 介護老人福祉施設             | 279,098   | 283,245   | 301,686   |
| 介護老人保健施設             | 337,945   | 345,810   | 406,523   |
| 介護療養型医療施設            | 162       | 1,162     | 0         |
| 介護医療院                | 116,851   | 116,514   | 86,998    |
| 居宅介護支援               | 123,497   | 126,595   | 123,864   |
| 合 計                  | 2,831,326 | 2,789,582 | 2,874,973 |

## 2 予防給付

単位：千円

| 区 分                 | R03    | R04     | R05     |
|---------------------|--------|---------|---------|
| 介護予防訪問入浴介護          | 0      | 0       | 0       |
| 介護予防訪問看護            | 12,806 | 12,988  | 12,767  |
| 介護予防訪問リハビリテーション     | 15,500 | 15,571  | 15,100  |
| 介護予防居宅療養管理指導        | 1,059  | 1,257   | 1,649   |
| 介護予防通所リハビリテーション     | 25,467 | 22,539  | 24,176  |
| 介護予防短期入所生活介護        | 523    | 670     | 1,218   |
| 介護予防短期入所療養介護（老健）    | 1,114  | 1,483   | 1,308   |
| 介護予防短期入所療養介護（病院等）   | 0      | 0       | 0       |
| 介護予防短期入所療養介護（介護医療院） | 0      | 0       | 0       |
| 介護予防福祉用具貸与          | 7,864  | 8,842   | 9,658   |
| 特定介護予防福祉用具購入費       | 1,495  | 1,524   | 1,806   |
| 介護予防住宅改修            | 4,837  | 6,755   | 3,468   |
| 介護予防特定施設入居者生活介護     | 12,026 | 14,513  | 15,790  |
| 介護予防認知症対応型通所介護      | 879    | 344     | 0       |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護     | 2,993  | 3,376   | 2,380   |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護    | 0      | 0       | 0       |
| 介護予防支援              | 12,053 | 13,108  | 13,655  |
| 合 計                 | 98,616 | 102,970 | 102,975 |

## 3 地域支援事業費

単位：千円

| 区 分                              | R03     | R04     | R05     |
|----------------------------------|---------|---------|---------|
| 介護予防・日常生活支援総合事業                  | 140,190 | 139,666 | 127,526 |
| 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）<br>及び任意事業 | 59,810  | 59,715  | 86,644  |
| 包括的支援事業（社会保障充実分）                 | 27,237  | 27,070  | 25,736  |
| 合 計                              | 227,237 | 226,451 | 239,906 |

## 4 その他の給付費等

単位：千円

| 区 分           | R03     | R04     | R05     |
|---------------|---------|---------|---------|
| 特定入所者介護サービス費  | 86,498  | 72,735  | 70,535  |
| 高額介護サービス費     | 62,852  | 65,702  | 73,855  |
| 高額医療合算介護サービス費 | 7,794   | 8,585   | 9,845   |
| 審査支払手数料       | 2,625   | 2,658   | 2,763   |
| 合 計           | 159,769 | 149,680 | 156,998 |

単位：千円

|         |           |           |           |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 給付費等総合計 | 3,316,948 | 3,265,683 | 3,374,852 |
|---------|-----------|-----------|-----------|

## 2. 第9期計画期間における介護保険給付費等の見込み

第9期計画期間における介護保険給付費等の見込みは以下の表のとおりです。

### 1 介護給付

単位：千円

| 区 分                  | R06       | R07       | R08       |
|----------------------|-----------|-----------|-----------|
| 訪問介護                 | 222,523   | 230,738   | 241,260   |
| 訪問入浴介護               | 7,283     | 7,293     | 7,860     |
| 訪問看護                 | 81,245    | 83,744    | 85,551    |
| 訪問リハビリテーション          | 34,728    | 36,619    | 37,544    |
| 居宅療養管理指導             | 22,139    | 22,964    | 23,823    |
| 通所介護                 | 101,753   | 105,292   | 107,300   |
| 通所リハビリテーション          | 92,347    | 95,099    | 97,715    |
| 短期入所生活介護             | 41,399    | 44,361    | 44,361    |
| 短期入所療養介護（老健）         | 58,825    | 60,530    | 65,202    |
| 短期入所療養介護（病院等）        | 0         | 0         | 0         |
| 短期入所療養介護（介護医療院）      | 0         | 0         | 0         |
| 福祉用具貸与               | 54,060    | 56,379    | 58,721    |
| 特定福祉用具購入費            | 3,904     | 3,904     | 3,904     |
| 住宅改修費                | 7,511     | 8,339     | 8,339     |
| 特定施設入居者生活介護          | 312,487   | 318,185   | 327,828   |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護     | 5,164     | 5,170     | 5,170     |
| 夜間対応型訪問介護            | 0         | 0         | 0         |
| 地域密着型通所介護            | 80,369    | 85,047    | 85,908    |
| 認知症対応型通所介護           | 63,401    | 63,481    | 64,701    |
| 小規模多機能型居宅介護          | 62,212    | 64,379    | 68,011    |
| 認知症対応型共同生活介護         | 554,006   | 554,707   | 581,849   |
| 地域密着型特定施設入居者生活介護     | 52,668    | 52,734    | 52,734    |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 216,566   | 216,840   | 216,840   |
| 看護小規模多機能型居宅介護        | 0         | 0         | 0         |
| 介護老人福祉施設             | 273,174   | 272,789   | 272,789   |
| 介護老人保健施設             | 412,262   | 412,784   | 412,784   |
| 介護医療院                | 103,669   | 104,531   | 104,531   |
| 居宅介護支援               | 128,292   | 132,910   | 135,795   |
| 合 計                  | 2,991,987 | 3,038,819 | 3,110,520 |

## 2 予防給付

単位：千円

| 区 分                 | R06     | R07     | R08     |
|---------------------|---------|---------|---------|
| 介護予防訪問入浴介護          | 104     | 104     | 104     |
| 介護予防訪問看護            | 13,196  | 13,577  | 13,577  |
| 介護予防訪問リハビリテーション     | 15,641  | 15,949  | 15,949  |
| 介護予防居宅療養管理指導        | 1,710   | 1,712   | 1,921   |
| 介護予防通所リハビリテーション     | 21,515  | 22,039  | 22,300  |
| 介護予防短期入所生活介護        | 662     | 663     | 663     |
| 介護予防短期入所療養介護（老健）    | 1,003   | 1,004   | 1,004   |
| 介護予防短期入所療養介護（病院等）   | 0       | 0       | 0       |
| 介護予防短期入所療養介護（介護医療院） | 0       | 0       | 0       |
| 介護予防福祉用具貸与          | 9,069   | 9,295   | 9,401   |
| 特定介護予防福祉用具購入費       | 1,778   | 1,778   | 1,778   |
| 介護予防住宅改修            | 4,557   | 4,557   | 4,557   |
| 介護予防特定施設入居者生活介護     | 14,839  | 14,858  | 14,858  |
| 介護予防認知症対応型通所介護      | 903     | 904     | 904     |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護     | 3,392   | 3,397   | 3,397   |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護    | 0       | 0       | 0       |
| 介護予防支援              | 13,135  | 13,426  | 13,590  |
| 合 計                 | 101,504 | 103,263 | 104,003 |

## 3 地域支援事業費

単位：千円

| 区 分                              | R06     | R07     | R08     |
|----------------------------------|---------|---------|---------|
| 介護予防・日常生活支援総合事業                  | 132,548 | 135,660 | 139,066 |
| 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）<br>及び任意事業 | 96,644  | 96,644  | 96,644  |
| 包括的支援事業（社会保障充実分）                 | 25,736  | 25,736  | 25,736  |
| 合 計                              | 254,928 | 258,040 | 261,446 |

## 4 その他の給付費等

単位：千円

| 区 分           | R06     | R07     | R08     |
|---------------|---------|---------|---------|
| 特定入所者介護サービス費  | 90,584  | 92,579  | 94,319  |
| 高額介護サービス費     | 69,030  | 71,147  | 73,168  |
| 高額医療合算介護サービス費 | 8,950   | 9,000   | 9,050   |
| 審査支払手数料       | 2,711   | 2,767   | 2,819   |
| 合 計           | 171,275 | 175,493 | 179,356 |

単位：千円

|         |           |           |           |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 給付費等総合計 | 3,519,694 | 3,575,615 | 3,655,325 |
|---------|-----------|-----------|-----------|

厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」※1 より算出した保険料収納必要額の内訳は、次のとおりです。

単位：千円

|                         | R06       | R07       | R08       | 合計         |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 費用合計（B＋C）（A）            | 3,519,694 | 3,575,615 | 3,655,325 | 10,750,634 |
| 標準給付費見込額（B）             | 3,264,766 | 3,317,575 | 3,393,879 | 9,976,220  |
| 地域支援事業費（C）              | 254,928   | 258,040   | 261,446   | 774,414    |
| 第1号被保険者負担分相当額（A×23%）（D） | 809,530   | 822,392   | 840,725   | 2,472,646  |
| 調整交付金相当額（E）             | 169,866   | 172,662   | 176,647   | 519,175    |
| 調整交付金見込割合（F）            | 5.33%     | 5.36%     | 5.29%     | —          |
| 調整交付金見込額（G）             | 181,077   | 185,093   | 186,893   | 553,063    |
| 保険者機能強化推進交付金等の交付見込額（H）  |           |           |           | 18,000     |
| 基金取崩額（I）                |           |           |           | 140,000    |
| 保険料収納必要総額（D＋E－G－H－I）（J） |           |           |           | 2,280,758  |

また、介護保険事業基金を活用した上乗せ※2・横出し※3の給付費については、次のとおりです。

単位：千円

| 区 分               | R06   | R07   | R08   |
|-------------------|-------|-------|-------|
| 住宅改修費（上乗せ）        | 2,000 | 2,000 | 2,000 |
| ロードヒーティング施工費（横出し） | 270   | 270   | 270   |
| いす式階段昇降機施工費（横出し）  | 270   | 270   | 270   |
| 合 計               | 2,540 | 2,540 | 2,540 |

※1 都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システム

※2 利用する介護サービスが支給限度額を超える場合、市町村が独自の判断でサービス利用額等を引き上げること

※3 法定メニューの介護保険サービスとは別に、市町村が独自の判断で提供する介護サービス

### 第3 第9期計画期間における介護保険料

#### 1. 介護保険料の算定方法

第1号被保険者の介護保険料の算定の流れは、次のとおりです。

#### 保険料の算定の流れ

|                   |                     |        |
|-------------------|---------------------|--------|
| 介護サービス<br>利用者数の推計 | 人口推計                | P 5 参照 |
|                   | 要介護認定者数・サービス利用者数の推計 | P 6 参照 |



|                   |                                                             |               |
|-------------------|-------------------------------------------------------------|---------------|
| サービス供給<br>見込み量の算出 | 過去のサービス種別ごと・介護度ごと利用実績（回数・日数等）や<br>基盤整備状況等を勘案してサービス供給見込み量を算出 | P 34～44<br>参照 |
|-------------------|-------------------------------------------------------------|---------------|



|                    |                                                                             |               |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 保険給付費の<br>算出（3ヵ年分） | 上記のサービス見込み量を基に、回数・日数等の単位当たりの<br>給付費を乗じ、介護保険で給付する額を算出                        | P 52～53<br>参照 |
| その他費用の算出           | ・福祉用具購入費の算出 ・住宅改修費の算出 ・特定入所者介護サービス費の算出 ・高額介護サービス費の算出 ・審査支払手数料の算出 ・地域支援事業の算出 |               |



上記で算出した介護給付費の23%分 約24億7,264万円（P54参照）

—

調整交付金見込額 （約5億5,306万円）

—

= 約3,389万円

調整交付金相当額 （約5億1,917万円）

—

保険者機能強化推進交付金等 1,800万円

—

網走市介護保険事業基金取崩額 1億4,000万円

÷

保険料収納率 99.5%

÷

補正第1号被保険者数（令和6～8年度） 32,937人

（所得に応じて第1段階から第15段階に分け、各段階の負担割合を乗じて算出）



第9期介護保険料基準額（月額） 5,799円【第8期との比較 ±0円】

第9期介護保険料基準額（年額） 69,600円【第8期との比較 ±0円】

※年額保険料については「網走市介護保険条例」に基づき、100円未満の端数を四捨五入している



## 2. 基金活用による介護保険料率の上昇抑制策

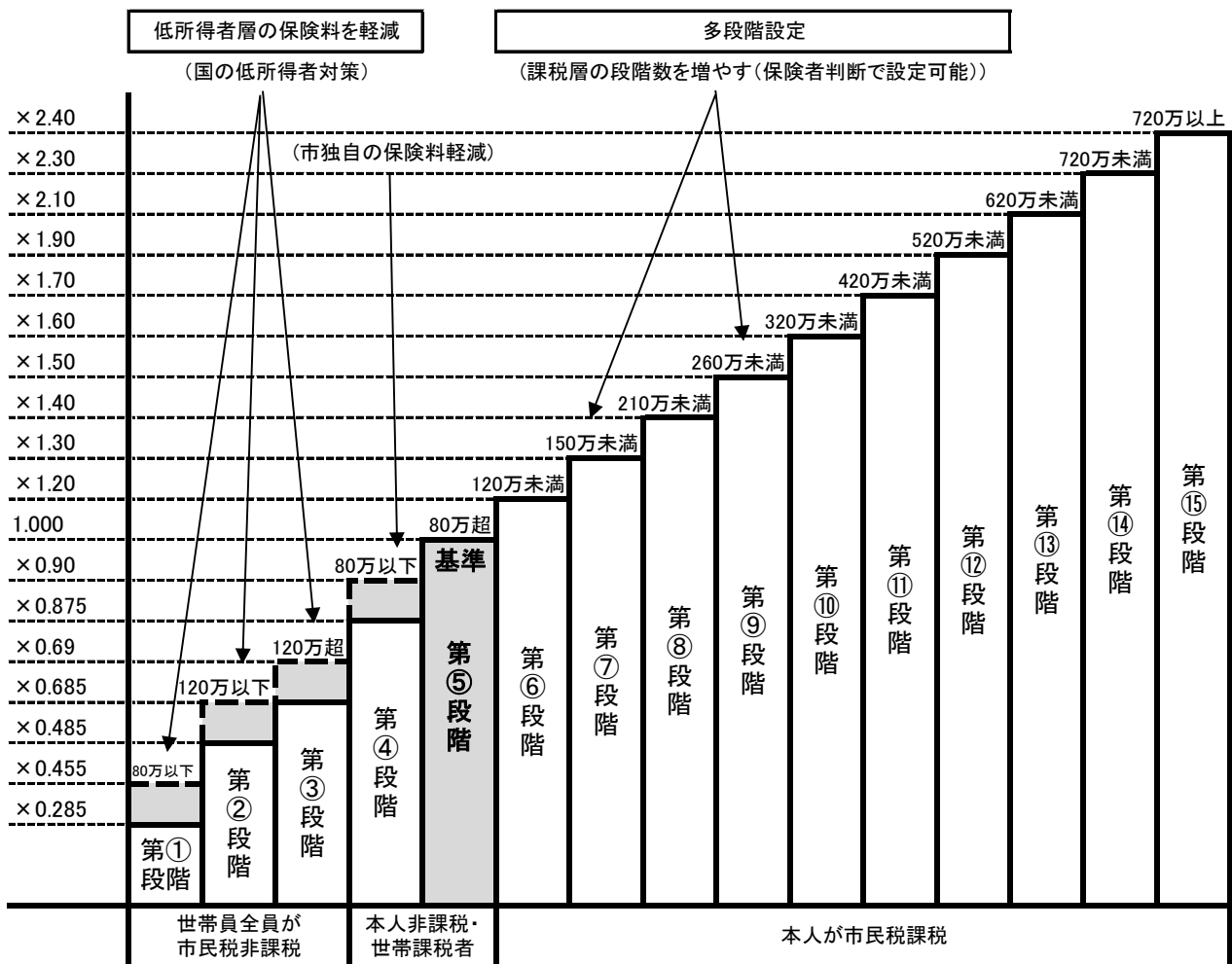
第1号被保険者一人当たりの給付費増加等に伴い、保険料の上昇が見込まれることから、「網走市介護保険事業基金」から1億4,000万円を取り崩し、第9期保険料の抑制に活用します。

## 3. 介護保険料の段階設定

所得水準に応じてきめ細やかな保険料設定を行い、国では第9期より第1号被保険者間での所得再分配機能を強化するため基準となる13段階を定めましたが、第8期同様、低所得者対策として「4段階」の保険料の乗率を0.9倍から0.875倍に引き下げるとともに、「7段階」の乗率を1.3倍から所得に応じて1.4倍に、「8段階」の乗率を1.5倍から所得に応じて1.6倍に引き上げる「15段階制」及び保険料割合を設定しました。

なお、「1段階」から「3段階」については、国の低所得者対策として保険料軽減措置が継続されます。

### ■多段階イメージ図



## ■介護保険料

| 所得段階               | 対 象 者                                                            | 基準額に<br>対する割合        | 月額保険料                | 年額保険料<br>(100 円未満<br>四捨五入) |
|--------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------------|
| 第 1 段階<br>【低所得者対策】 | 生活保護受給の方、老齢福祉年金受給の方で世帯全員が市民税非課税の方、世帯全員が市民税非課税で、合計所得金額が 80 万円以下の方 | 0.285<br>(軽減前 0.455) | 1,653 円<br>(2,639 円) | 19,800 円<br>(31,700 円)     |
| 第 2 段階<br>【低所得者対策】 | 世帯全員が市民税非課税で、合計所得金額が 80 万円を超え 120 万円以下の方                         | 0.485<br>(軽減前 0.685) | 2,813 円<br>(3,972 円) | 33,800 円<br>(47,700 円)     |
| 第 3 段階<br>【低所得者対策】 | 世帯全員が市民税非課税で、合計所得金額が 120 万円超の方                                   | 0.685<br>(軽減前 0.69)  | 3,972 円<br>(4,001 円) | 47,700 円<br>(48,000 円)     |
| 第 4 段階<br>【市独自軽減率】 | 本人が市民税非課税（世帯に課税者がいる）で、合計所得金額が 80 万円以下の方                          | 0.875<br>(軽減前 0.9)   | 5,074 円<br>(5,219 円) | 60,900 円<br>(62,600 円)     |
| 第 5 段階             | 本人が市民税非課税（世帯に課税者がいる）で、合計所得金額が 80 万円超の方                           | 1.00                 | 5,799 円              | 69,600 円                   |
| 第 6 段階             | 市民税課税の方で合計所得金額が 120 万円未満の方                                       | 1.20                 | 6,959 円              | 83,500 円                   |
| 第 7 段階             | 市民税課税の方で合計所得金額が 120 万円以上 150 万円未満の方                              | 1.30                 | 7,539 円              | 90,500 円                   |
| 第 8 段階<br>【市独自段階】  | 市民税課税の方で合計所得金額が 150 万円以上 210 万円未満の方                              | 1.40                 | 8,119 円              | 97,400 円                   |
| 第 9 段階             | 市民税課税の方で合計所得金額が 210 万円以上 260 万円未満の方                              | 1.50                 | 8,699 円              | 104,400 円                  |
| 第 10 段階<br>【市独自段階】 | 市民税課税の方で合計所得金額が 260 万円以上 320 万円未満の方                              | 1.60                 | 9,278 円              | 111,300 円                  |
| 第 11 段階            | 市民税課税の方で合計所得金額が 320 万円以上 420 万円未満の方                              | 1.70                 | 9,858 円              | 118,300 円                  |
| 第 12 段階            | 市民税課税の方で合計所得金額が 420 万円以上 520 万円未満の方                              | 1.90                 | 11,018 円             | 132,200 円                  |
| 第 13 段階            | 市民税課税の方で合計所得金額が 520 万円以上 620 万円未満の方                              | 2.10                 | 12,178 円             | 146,100 円                  |
| 第 14 段階            | 市民税課税の方で合計所得金額が 620 万円以上 720 万円未満の方                              | 2.30                 | 13,338 円             | 160,100 円                  |
| 第 15 段階            | 市民税課税の方で合計所得金額が 720 万円以上の方                                       | 2.40                 | 13,918 円             | 167,000 円                  |

※「合計所得金額」…収入金額から必要経費に相当する金額を控除した金額のことで、扶養控除や医療費控除等の所得控除をする前の金額です。なお、合計所得金額から「長期譲渡所得及び短期譲渡所得に係る特別控除額を控除」及び「公的年金等に係る雑所得を控除(所得段階が第1～5段階のみ)」した金額を用います。

ただし、第 1 段階から第 5 段階は課税年金収入を加えた額となります。

## 第6章 計画推進に向けて

### 第1 地域関係団体・事業者等との連携

#### 1. 地域関係団体との連携

本計画を効果的に推進するためには、専門機関や地域住民の幅広い参加・連携が重要です。

保健医療に関わる医師会・歯科医師団・薬剤師会・看護協会等や健康推進員等のほか、地域福祉活動の中核的存在となる社会福祉協議会や社会福祉法人、地域包括支援センター等との連携を深めて、高齢者のニーズに応じた様々な支援策を講じます。

また、社会福祉協議会と協働し、生活支援コーディネーターを中心に生活支援体制整備事業を推進しながら、高齢者に身近な存在となる町内会、老人クラブ・ボランティア団体・NPO法人（非営利団体）・民生児童委員等とも連携を深め、地域に根差した様々な活動が円滑に実施できるよう、引き続きこれら団体の育成と活動を支援します。

#### 2. 事業者等との連携

高齢者の福祉サービスや介護保険サービスを円滑に実施するためには、居宅介護支援事業者や介護サービス提供を行う事業者との連携が極めて重要であり、一人ひとりの高齢者のケアの充実に向け、保険者・事業者が意識を共通化し、一体となって取り組みます。

また、サービス提供体制の整備・拡充は重要なことですが、これを行政の力だけで実現するのは難しいことです。今後も事業者と協働・連携してサービスの質の向上や基盤整備に努めます。

さらに、事業者相互の連携についても、その方策を検討し、円滑なサービス提供に努めます。

### 第2 高齢者施策を行う他の行政部門との連携

#### 1. 他の行政部門との連携

高齢者が、住み慣れた地域で、健康で生きがいをもって、いきいきと暮らしていけるように、高齢者施策を担当する他の官公庁や関係団体と連携を深め、施策の充実に努めます。

庁内においても、保健福祉部門はもとより、高齢者のスポーツや生涯学習、就労や住環境対策等を所管する関係部門と連携を強化し、必要な施策を推進します。

これらの取り組みにより、高齢者の総合的な保健福祉の増進に努めます。

#### 2. 重層的支援体制整備事業

令和2（2020）年の社会福祉法改正において創設された重層的支援体制整備事業は、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズにも対応する包括的な支援体制を構築するため、市町村において、属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施することを目的としています。

当市においては、当面、介護保険を含む高齢分野、障がい分野、子ども分野、生活困窮分野等を横断した、従来の支援体制では対応が困難であった複合課題や狭間のニーズに対応するため、各分野の相談支援等を行う機関の連携を強化します。

### 第3 相談・広報体制

#### 1. 相談体制（総合相談・苦情相談）

保健や福祉・介護に関する相談は、市の部門ごとの窓口で対応するほか、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者等でも対応し、総合的に高齢者を支援する体制づくりに努めます。

相談内容によっては所管部門以外との情報共有も必要となりますが、情報提供の際には、個人情報保護に十分配慮します。

介護サービスに対する苦情については、利用者が事業所の担当者に「直接言いづらい」という側面もあります。苦情内容によっては、保険者機能を十分発揮しながら、関係事業者への指導・助言を行い、サービスの質と水準の確保に努めます。

また、介護サービスに関する苦情申し立て先として「北海道国民健康保険団体連合会」もありますが、市としても利用者保護を重視した苦情処理に努めます。

なお、介護保険料の賦課や要介護認定に関する不服申し立てについては、北海道の附属機関である「北海道介護保険審査会」へ審査請求を行うこととなります。

#### 2. 広報体制

市の広報紙やホームページを活用し、制度内容等について、市民の視点に立った「わかりやすい」住民周知に努めます。

また、サービスの利用手順等を記載したパンフレットを作成して配付することや、市の担当者が直接地域に出向いて制度等の説明を行う「まちづくり宅配トーク」等により、市民への保健・福祉、介護保険制度の周知を図り、理解の向上に努めます。

### 第4 計画の立案・点検・改善と重度化防止の取り組みに関する目標

#### 1. 計画の立案・点検・改善（PDCA サイクルの推進）

この計画は第8期計画の総括や「地域包括ケア『見える化』システム（厚生労働省）」をもとに地域課題を分析し「網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会」で原案を作成、「網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会」において審議を行い作成しました（Plan）。

今後、本計画に基づき、市・介護サービス事業者・地域等の取り組みにより推進していきます（Do）。

令和8年度までの3年間の計画となっていますが、今後常設とする「網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会」を中心に計画の進捗・達成状況や保険者機能強化推進交付金の評価結果等を確認・分析し、改善すべき事項の点検を行い（Check）、必要に応じて目標達成に向けた対策を講じます（Action）。

第 9 期 網 走 市 高 齢 者 保 健 福 祉 計 画 ・  
網 走 市 介 護 保 険 事 業 計 画 に お け る P D C A



## 2. 重度化防止の取り組みに関する目標

### (1) 重度化防止に向けた総体的な数値目標

本計画においては「地域支援事業の実施による要介護状態になることの予防」や「生活機能向上のためのリハビリテーション」など個々の施策・事業を通じて高齢者の自立支援や重度化防止に取り組むこととしますが、総体的な指標として「第1号被保険者における要介護3以上の割合（調整済み重度認定率）」を重度化防止の数値目標として掲げます。

|               | 第 8 期 計 画 目 標 | 現 状<br>(令和 5 年 3 月 末) | 第 9 期 計 画 目 標<br>(令和 8 年 度 末) |
|---------------|---------------|-----------------------|-------------------------------|
| 調整済み<br>重度認定率 | 5.5% 以下       | 4.7%                  | 4.7% 以下                       |

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」調整済み重度認定率より記載

※「調整済み認定率」とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率

※「重度認定率」とは、要介護3以上の認定者の人数を第1号被保険者の人数で除した値

## (2) 具体的な取り組み目標

要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減・悪化の防止の推進に当たっては、高齢者の心身の状態（自立、フレイル、要支援、要介護）に対して改善を行っていく観点で支援すること及び生活の質の向上を目指すことが重要です。

また、自立支援・介護予防に関する普及啓発を行うとともに、リハビリテーション専門職や医療専門職とも協力し、通いの場における介護予防を充実させ、高齢者の「心身機能」「活動」「参加」からなる生活機能の向上を目指します。

具体的には下記のとおり数値目標を設定し、達成に向けた取り組みを進めます。

### ①フレイル・要支援状態の高齢者に対する適切な生活期リハビリテーションサービス提供体制の構築

#### ア. アセスメント時におけるリハビリ専門職派遣回数の増加

| 第8期計画目標 | 現状<br>(令和5年度見込) | 第9期計画目標<br>(令和8年度末) |
|---------|-----------------|---------------------|
| 24回     | 10回             | 36回                 |

### ②地域における通いの場の充実

#### ア. 高齢者ふれあいの家・各種トレーニング教室への参加者の増加

| 第8期計画目標 | 現状<br>(令和5年度見込) | 第9期計画目標<br>(令和8年度末) |
|---------|-----------------|---------------------|
| 1,605人  | 1,280人          | 1,555人              |

#### イ. 心身の健康度が維持または向上したと感じる参加者割合

| 第8期計画目標 | 現状<br>(令和5年度見込) | 第9期計画目標<br>(令和8年度末) |
|---------|-----------------|---------------------|
| 70%     | 87%             | 87%                 |

※通いの場参加者へのアンケートにより把握

# 資料





令和6年2月1日

網走市長 水谷 洋 一 様

網走市高齢者保健福祉計画・  
介護保険事業計画策定委員会  
委員長 山崎 徹

## 網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に係る意見書

令和6年度から令和8年度における高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に当たり、策定委員会の議論において下記のとおり意見を取りまとめましたので報告します。

なお、最終案に対する意見については、第4回目の策定委員会終了後に改めて報告します。

### 記

#### (1) 介護保険料について

第9期介護保険料については、介護報酬の改定などに伴い増額となることから、介護保険事業基金の活用により保険料負担の軽減を図られたい。

また、介護保険料の負担段階については、被保険者の負担能力に応じた段階の設定を図られたい。

#### (2) 市町村特別給付等（上乘せ・横出し事業）について

市町村特別給付等（上乘せ・横出し事業）については、次の項目について配慮されたい。

なお、実施に当たっては、介護保険事業基金の活用を検討されたい。

##### ① 上乘せ事業について

要介護認定者の住環境向上のため、住宅改修費の支給限度額については、引き続き10万円を上乘せし、30万円とされたい。

##### ② 横出し事業について

ロードヒーティング・いす式階段昇降機施工費について、引き続き支給対象に加え、支給限度額については、30万円とされたい。

#### (3) 低所得者対策について

社会福祉法人等による利用者負担軽減について、第9期計画期間中に国制度と同様とすることを検討されたい。

以 上

令和6年3月8日

網走市長 水谷 洋 一 様

網走市高齢者保健福祉計画・  
介護保険事業計画策定委員会  
委員長 山 崎 徹

### 網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に係る意見書

令和6年度から令和8年度における高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に当たり、当委員会の議論を経て意見を取りまとめました。

ついては、計画原案について了承することとし、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の円滑な実施を図る観点から、次の事項について意見を申し述べますので、適切にお取り計らいくださるようお願いいたします。

#### 記

#### (1) 地域包括ケアシステムの推進について

地域の実情に応じた支え合いの仕組みづくりのために、医療や介護等の専門職の連携のみならず、住民を含めた地域の理解や参加が必要である。

引き続き、各地域との協議を通じ、地域におけるニーズや資源の把握、地域活動等の担い手不足への対応を含めた支え合いの仕組みづくりに努められたい。

#### (2) 介護従事者の確保について

今後も増大する介護ニーズへの対応や質の高い介護サービス確保の観点から、介護人材の安定的な確保を図るため、潜在的有資格者の職場復帰や資質向上等、人材の確保・育成に向けた施策を引き続き検討されたい。

#### (3) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画等の周知について

各種施策や改定となる介護保険料、社会福祉法人等による介護サービス利用者負担軽減制度など高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の内容について、分かりやすく丁寧な周知に努められたい。

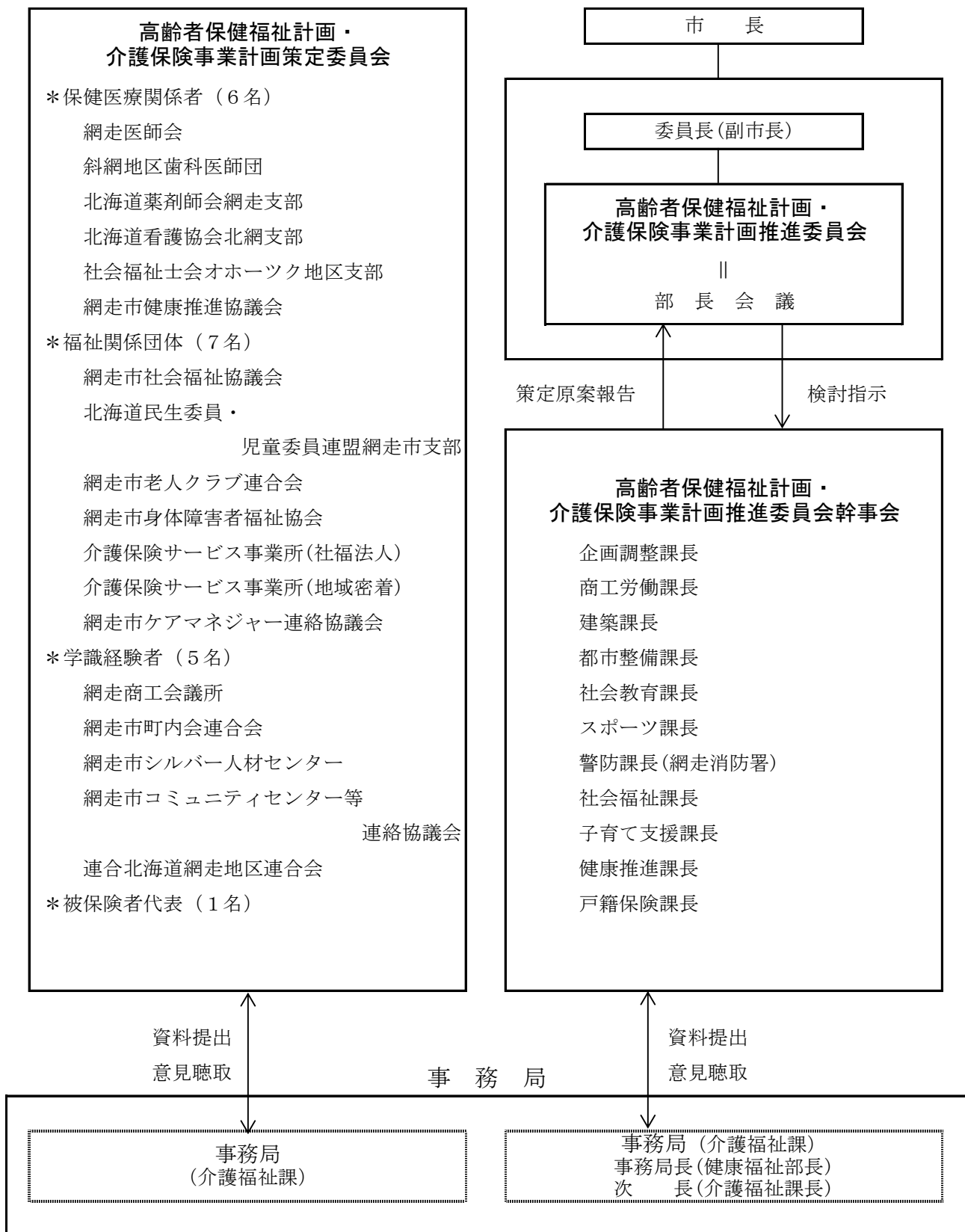
以 上

網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員名簿

(敬称略)

| 選出区分         | 氏 名     | 所 属                      |
|--------------|---------|--------------------------|
| 保健医療<br>関係団体 | 金 川 有 一 | 網走医師会(令和5年8月31日まで)       |
|              | 後藤田 明 彦 | 網走医師会(令和5年9月1日から)        |
|              | 今 井 香   | 斜網地区歯科医師団                |
|              | 佐 藤 勝   | 北海道薬剤師会網走支部              |
|              | 杉 澤 紀 子 | 北海道看護協会北網支部              |
|              | 豊 田 亮 輔 | 公益社団法人北海道社会福祉士会オホーツク地区支部 |
|              | 山 根 伸 也 | 網走市健康推進員協議会              |
| 福 祉<br>関係団体  | 山 崎 徹   | 網走市社会福祉協議会               |
|              | 伊 藤 勉   | 北海道民生委員児童委員連盟網走市支部       |
|              | 長 尾 美恵子 | 網走市老人クラブ連合会              |
|              | 井 上 義 則 | 網走市身体障害者福祉協会             |
|              | 折 館 奈 己 | 社会福祉法人 網走福祉協会            |
|              | 本 間 直 弥 | 社会福祉法人 緑明会               |
|              | 中 村 好 秀 | 網走市ケアマネジャー連絡協議会          |
| 学識経験者        | 山 本 昌 廣 | 網走商工会議所                  |
|              | 久 守 裕 章 | 網走市町内会連合会                |
|              | 猪 股 淳 一 | 公益社団法人網走市シルバー人材センター      |
|              | 黒 田 幸 市 | 網走市コミュニティセンター等連絡協議会      |
|              | 橋 本 修 平 | 連合北海道網走地区連合会             |
| 被保険者代表       | 古 川 元 信 | 一般公募                     |

( 計 画 策 定 全 体 構 成 図 )



網走市  
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
結果報告書

令和 5 年 9 月

網走市

## 第1編 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、網走市において、令和6年度～令和8年度を期間とする第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定するにあたり、高齢者の生活の状況や要望、地域の課題を把握し基礎資料とすることを目的に実施した。

### 2 調査対象および調査方法

以下のとおりの市民を対象として、郵送で調査を実施した。

|      |                                                  |
|------|--------------------------------------------------|
| 調査対象 | 令和5年度に65歳以上になる網走市民のうち、要介護1～5の認定を受けていない高齢者（無作為抽出） |
| 調査方法 | 郵送による配布・回収                                       |
| 調査期間 | 令和5年5月～6月                                        |
| 発送数  | 1600票                                            |
| 回収状況 | 有効回収数966票（回収率60.4%）                              |

調査対象者の基本属性別の回収数・回収率は下記の通りであった。

| 圏域   | 回収数 | %     | 性別 | 回収数 | %     | 年齢     | 回収数 | %     |
|------|-----|-------|----|-----|-------|--------|-----|-------|
| 北    | 235 | 58.8% | 男  | 417 | 59.8% | 65-69歳 | 176 | 49.4% |
| 中央・西 | 223 | 55.8% | 女  | 532 | 58.9% | 70-74歳 | 264 | 55.6% |
| 東・呼人 | 256 | 64.0% |    |     |       | 75-79歳 | 221 | 67.0% |
| 南    | 235 | 58.8% |    |     |       | 80-84歳 | 167 | 69.0% |
|      |     |       |    |     |       | 85歳以上  | 121 | 65.4% |

### 3 留意事項

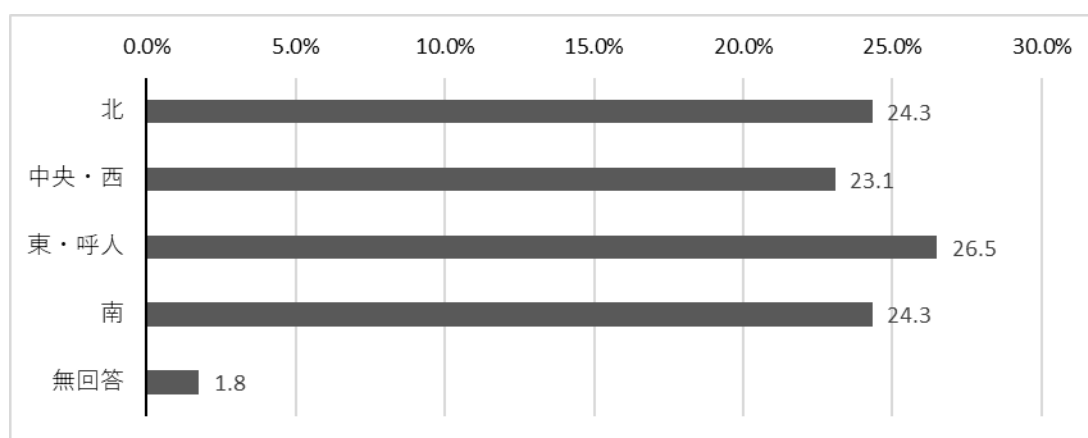
- ①設問のなかには前問に答えた人のみが回答する「限定設問」があり、その設問においては表中の回答数が全体より少なくなっている。
- ②設問には1つのみ答える単数回答（SA：シングルアンサー）と、複数回答（MA：マルチアンサー）がある。
- ③割合は選択肢ごとに小数第二位で四捨五入しているため、表によってはその割合の合計が100.0%にならないものがある。
- ④その他の意見については、代表的なものを紹介している。詳細な内容については、第4編に自由記述のまとめを設けた。

## 第2編 調査結果

### ■圏域（日常生活圏域）

圏域ごとの割合は、おおむね 25%前後であるが、東・呼人圏域の回答者がやや多く、中央・西圏域がやや少ない。

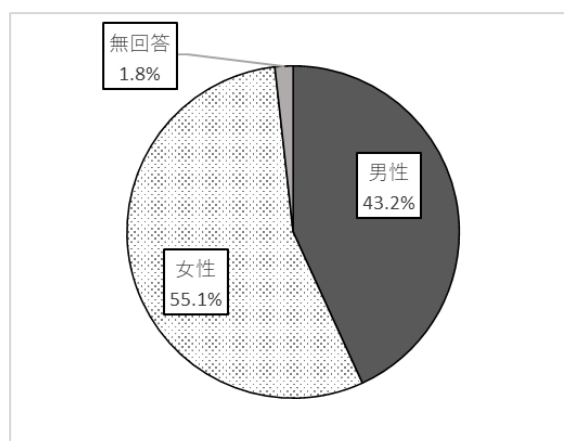
|      | 人数(人) | 割合(%) |
|------|-------|-------|
| 北    | 235   | 24.3  |
| 中央・西 | 223   | 23.1  |
| 東・呼人 | 256   | 26.5  |
| 南    | 235   | 24.3  |
| 無回答  | 17    | 1.8   |
| 合計   | 966   | 100   |



### ■性別

回答者は女性が 55.1%を占め、過半数を超えている。これは調査対象者の男女比とほぼ同じ割合である。

|     | 人数(人) | 割合(%) |
|-----|-------|-------|
| 男性  | 417   | 43.2  |
| 女性  | 532   | 55.1  |
| 無回答 | 17    | 1.8   |
| 合計  | 966   | 100.0 |



## ■年齢

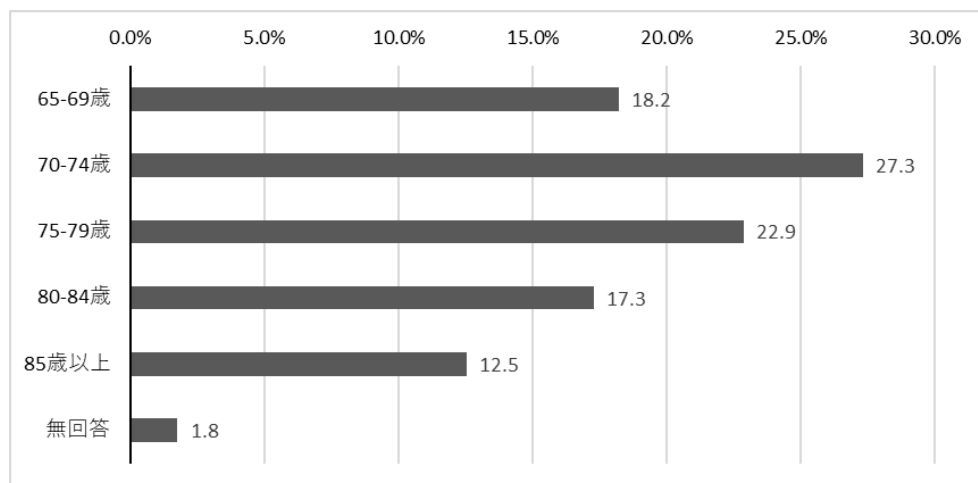
回答者は70～74歳が最も多く、27.3%を占めていた。調査対象者の年齢分布をほぼ反映した構成割合だといえる。

|        | 人数(人) | 割合(%) |
|--------|-------|-------|
| 65-69歳 | 176   | 18.2  |
| 70-74歳 | 264   | 27.3  |
| 75-79歳 | 221   | 22.9  |
| 80-84歳 | 167   | 17.3  |
| 85歳以上  | 121   | 12.5  |
| 無回答    | 17    | 1.8   |
| 合計     | 966   | 100.0 |

## ■調査票を記入された方

宛名の本人が記入したものが85.6%であり、家族によるものは8.7%であった。

|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.本人  | 827   | 85.6  |
| 2.家族  | 84    | 8.7   |
| 3.その他 | 6     | 0.6   |
| 無回答   | 49    | 5.1   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



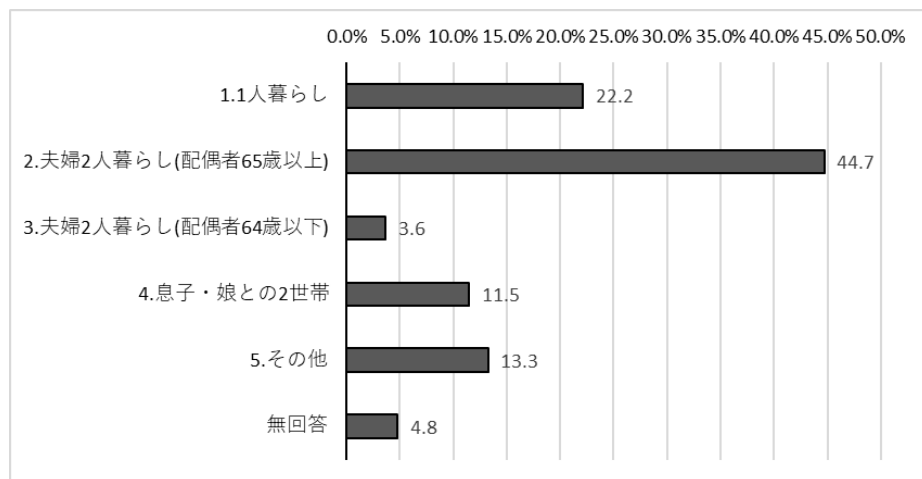


## 問1 あなたのご家族や生活状況について

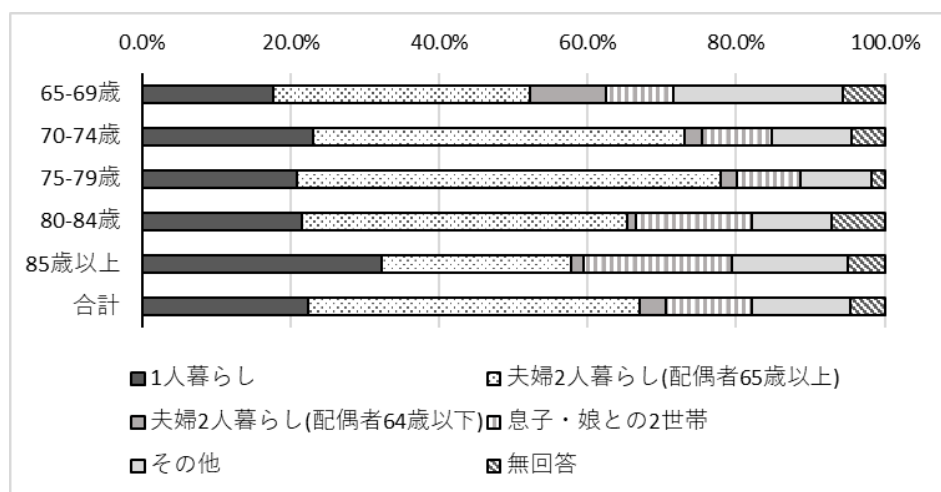
### (1) 家族構成をお教えてください (SA)

家族構成で最も多いのは、配偶者が65歳以上の「夫婦2人暮らし」で44.7%を占めていた。次が「1人暮らし」で22.2%、それに続くのが「その他」13.3%であった。「その他」の具体的記述を見ると、高齢者と未婚の子どもからなる家族や、高齢者とその親からなる家族などが含まれている。

|                     | 人数(人) | 割合(%) |
|---------------------|-------|-------|
| 1.1人暮らし             | 214   | 22.2  |
| 2.夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) | 432   | 44.7  |
| 3.夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 35    | 3.6   |
| 4.息子・娘との2世帯         | 111   | 11.5  |
| 5.その他               | 128   | 13.3  |
| 無回答                 | 46    | 4.8   |
| 合計                  | 966   | 100.0 |



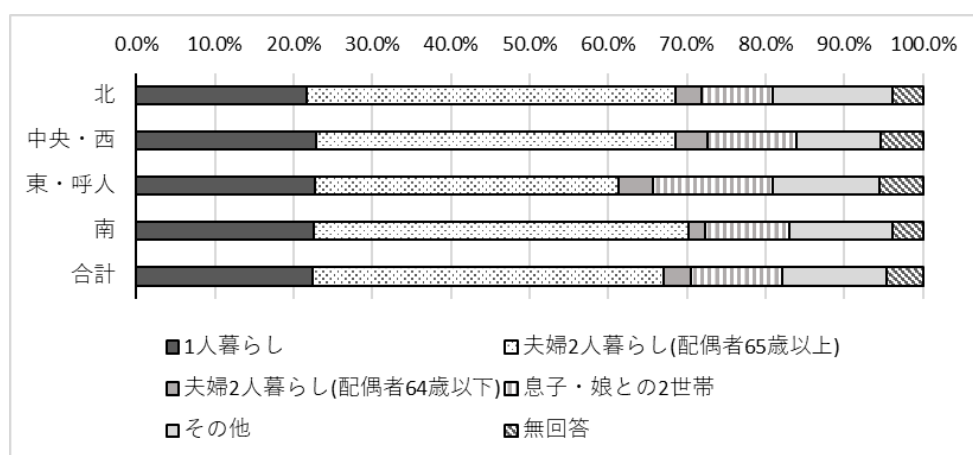
| 年齢     | 人数(人) | 割合    |                   |                   |           |       |      |
|--------|-------|-------|-------------------|-------------------|-----------|-------|------|
|        |       | 1人暮らし | 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) | 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 息子・娘との2世帯 | その他   | 無回答  |
| 65-69歳 | 176   | 17.6% | 34.7%             | 10.2%             | 9.1%      | 22.7% | 5.7% |
| 70-74歳 | 264   | 23.1% | 50.0%             | 2.3%              | 9.5%      | 10.6% | 4.5% |
| 75-79歳 | 221   | 20.8% | 57.0%             | 2.3%              | 8.6%      | 9.5%  | 1.8% |
| 80-84歳 | 167   | 21.6% | 43.7%             | 1.2%              | 15.6%     | 10.8% | 7.2% |
| 85歳以上  | 121   | 32.2% | 25.6%             | 1.7%              | 19.8%     | 15.7% | 5.0% |
| 合計     | 949   | 22.4% | 44.6%             | 3.5%              | 11.6%     | 13.3% | 4.6% |



年齢別にみると、70歳以上では「夫婦2人暮らし」は年齢が上がるにつれて割合が低くなる。「息子・娘との2世帯」は80歳以上で割合が高くなる。「その他」は65-69歳では22.7%を占めている。

圏域別にみると、東・呼人圏域では、「息子・娘との2世帯」が15.2%を占めており、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が占める割合は38.7%にとどまっている。

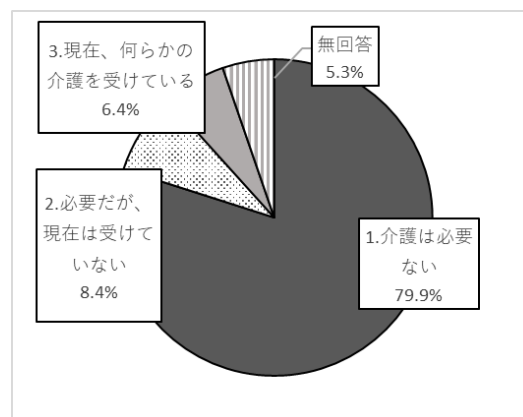
| 圏域   | 人数(人) | 割合    |                   |                   |           |       | 無回答  |
|------|-------|-------|-------------------|-------------------|-----------|-------|------|
|      |       | 1人暮らし | 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) | 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 息子・娘との2世帯 | その他   |      |
| 北    | 235   | 21.7% | 46.8%             | 3.4%              | 8.9%      | 15.3% | 3.8% |
| 中央・西 | 223   | 22.9% | 45.7%             | 4.0%              | 11.2%     | 10.8% | 5.4% |
| 東・呼人 | 256   | 22.7% | 38.7%             | 4.3%              | 15.2%     | 13.7% | 5.5% |
| 南    | 235   | 22.6% | 47.7%             | 2.1%              | 10.6%     | 13.2% | 3.8% |
| 合計   | 949   | 22.4% | 44.6%             | 3.5%              | 11.6%     | 13.3% | 4.6% |



## (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（S A）

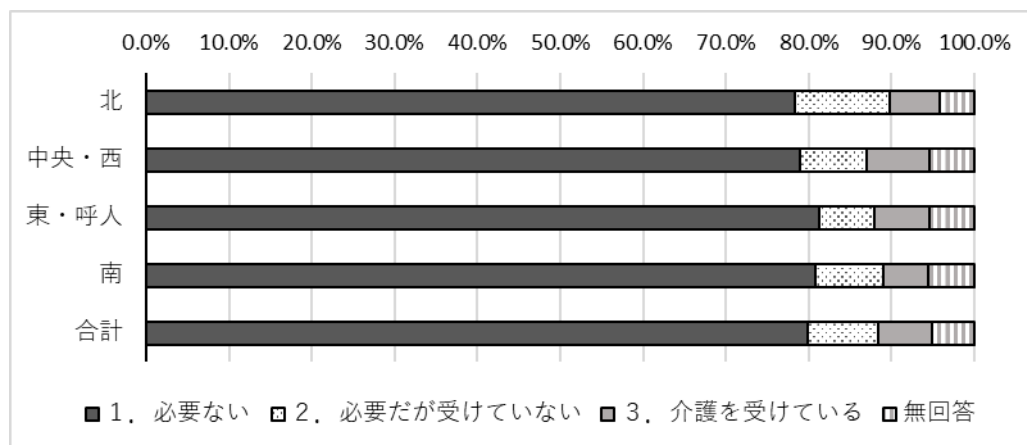
調査対象者は要介護1～5の認定を受けていない高齢者であることから、「介護は必要ない」という回答は79.9%であった。ただし、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.4%、家族による介護など「現在、何らかの介護を受けている」が6.4%であった。

|                   | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------|-------|-------|
| 1.介護は必要ない         | 772   | 79.9  |
| 2.必要だが、現在は受けていない  | 81    | 8.4   |
| 3.現在、何らかの介護を受けている | 62    | 6.4   |
| 無回答               | 51    | 5.3   |
| 合計                | 966   | 100.0 |



圏域別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した割合は、北圏域 11.5%と相対的に高くなっている。また、「現在、何らかの介護を受けている」のは、中央・西圏域で 7.6%とやや高くなっている。

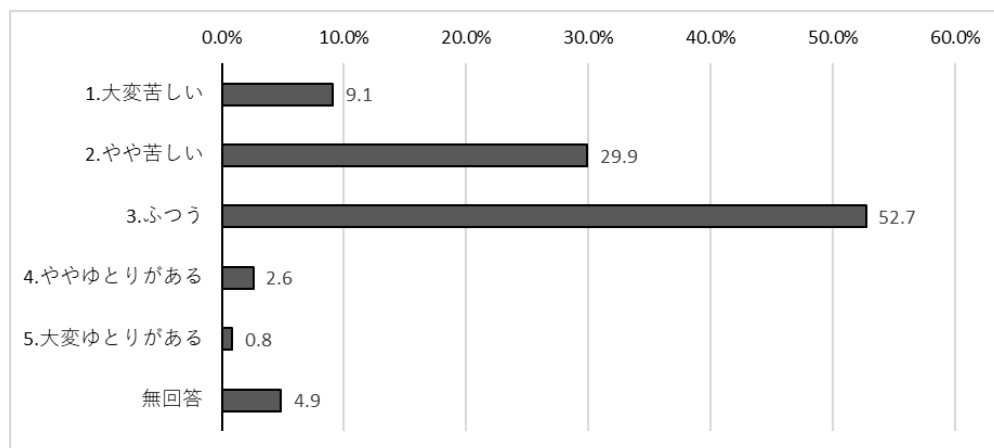
| 圏域   | 人数(人) | 割合      |               |             |      |
|------|-------|---------|---------------|-------------|------|
|      |       | 1. 必要ない | 2. 必要だが受けていない | 3. 介護を受けている | 無回答  |
| 北    | 235   | 78.3%   | 11.5%         | 6.0%        | 4.3% |
| 中央・西 | 223   | 78.9%   | 8.1%          | 7.6%        | 5.4% |
| 東・呼人 | 256   | 81.3%   | 6.6%          | 6.6%        | 5.5% |
| 南    | 235   | 80.9%   | 8.1%          | 5.5%        | 5.5% |
| 合計   | 949   | 79.9%   | 8.5%          | 6.4%        | 5.2% |



## (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（S A）

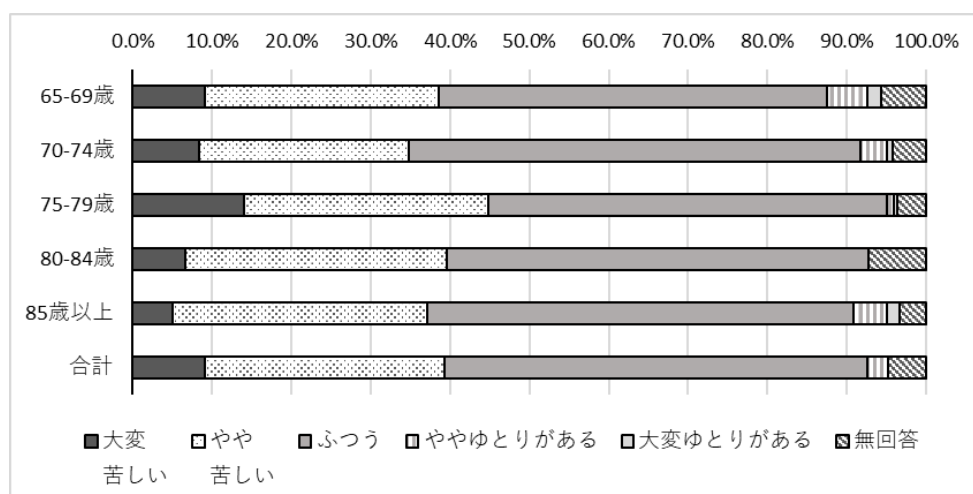
暮らしの状況が「ふつう」であるとする回答者は52.7%であったが、「ややゆとりがある」や「大変ゆとりがある」は両者を合わせても1割に満たない割合だった。他方、「大変苦しい」と「やや苦しい」は合わせて4割近くに上り、少なからぬ高齢者が生活困難を感じているようであった。

|            | 人数(人) | 割合(%) |
|------------|-------|-------|
| 1.大変苦しい    | 88    | 9.1   |
| 2.やや苦しい    | 289   | 29.9  |
| 3.ふつう      | 509   | 52.7  |
| 4.ややゆとりがある | 25    | 2.6   |
| 5.大変ゆとりがある | 8     | 0.8   |
| 無回答        | 47    | 4.9   |
| 合計         | 966   | 100.0 |



年齢別では、70歳以上は5割以上が「ふつう」と回答している。ただし、75～79歳では「大変苦しい」が14.0%に上っている。80～84歳では「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」と回答した人はいなかった。85歳以上は「ややゆとりがある」が4.1%、「大変ゆとりがある」が1.7%を占めている。

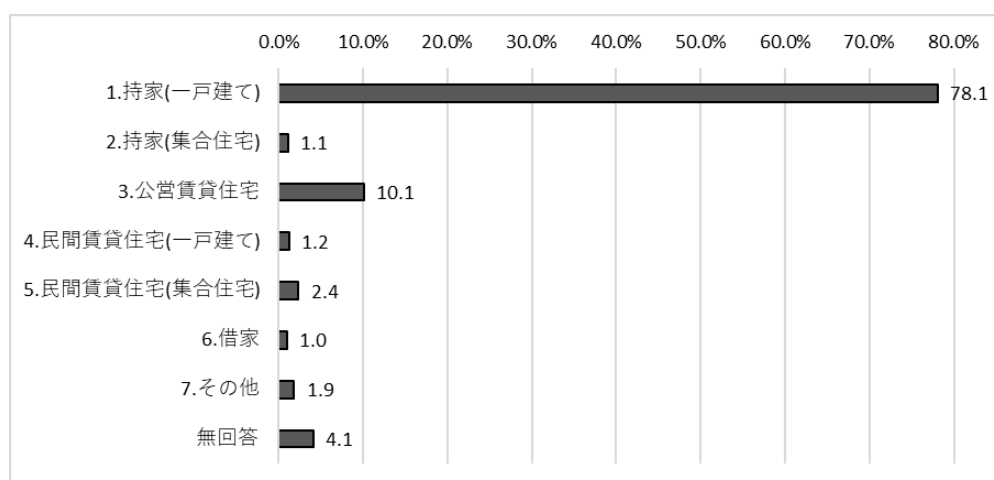
| 年齢     | 人数(人) | 割合    |       |       |          |          |      |
|--------|-------|-------|-------|-------|----------|----------|------|
|        |       | 大変苦しい | やや苦しい | ふつう   | ややゆとりがある | 大変ゆとりがある | 無回答  |
| 65-69歳 | 176   | 9.1%  | 29.5% | 48.9% | 5.1%     | 1.7%     | 5.7% |
| 70-74歳 | 264   | 8.3%  | 26.5% | 56.8% | 3.4%     | 0.8%     | 4.2% |
| 75-79歳 | 221   | 14.0% | 30.8% | 50.2% | 0.9%     | 0.5%     | 3.6% |
| 80-84歳 | 167   | 6.6%  | 32.9% | 53.3% | 0.0%     | 0.0%     | 7.2% |
| 85歳以上  | 121   | 5.0%  | 32.2% | 53.7% | 4.1%     | 1.7%     | 3.3% |
| 合計     | 949   | 9.1%  | 29.9% | 52.8% | 2.6%     | 0.8%     | 4.7% |



#### （４）お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（ＳＡ）

「持家（一戸建て）」が78.1%を占めており、その次に多いのが「公営賃貸住宅」で10.1%であった。一戸建て、集合住宅を含めて「民間賃貸住宅」に住む高齢者はごくわずかであった。

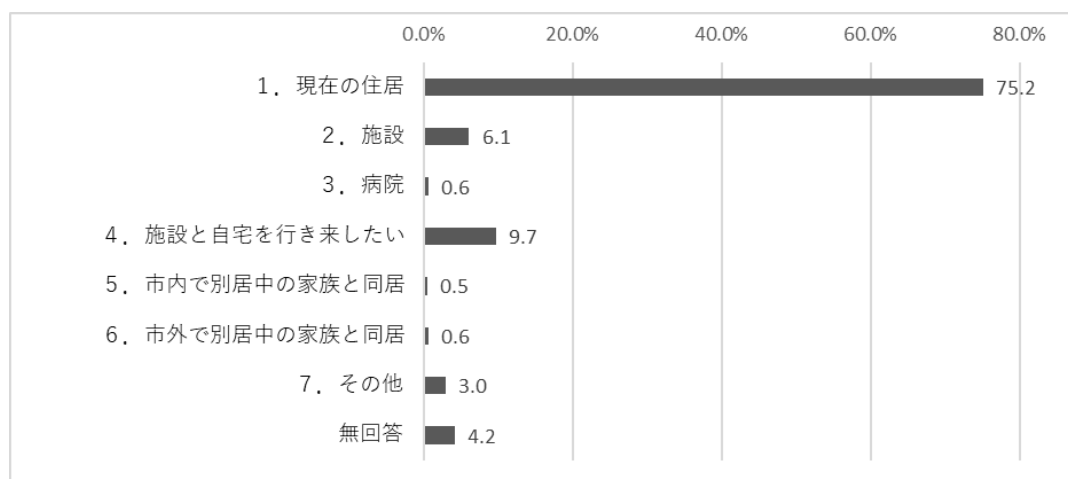
|                | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------|-------|-------|
| 1.持家(一戸建て)     | 754   | 78.1  |
| 2.持家(集合住宅)     | 11    | 1.1   |
| 3.公営賃貸住宅       | 98    | 10.1  |
| 4.民間賃貸住宅(一戸建て) | 12    | 1.2   |
| 5.民間賃貸住宅(集合住宅) | 23    | 2.4   |
| 6.借家           | 10    | 1.0   |
| 7.その他          | 18    | 1.9   |
| 無回答            | 40    | 4.1   |
| 合計             | 966   | 100   |



#### （５）あなたは今後、どこで生活することを希望しますか（ＳＡ）

「現在の住居」が75.2%を占めており、その次に多いのが「施設と住宅を行き来したい」9.7%、「施設」6.1%であった。「その他」の具体的記述を見ると、「公営住宅」の希望や、「出来るだけ自宅だが状況により施設」などが書かれていた。

|                 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------------|-------|-------|
| 1. 現在の住居        | 726   | 75.2  |
| 2. 施設           | 59    | 6.1   |
| 3. 病院           | 6     | 0.6   |
| 4. 施設と自宅を行き来したい | 94    | 9.7   |
| 5. 市内で別居中の家族と同居 | 5     | 0.5   |
| 6. 市外で別居中の家族と同居 | 6     | 0.6   |
| 7. その他          | 29    | 3.0   |
| 無回答             | 41    | 4.2   |
| 合計              | 966   | 100.0 |

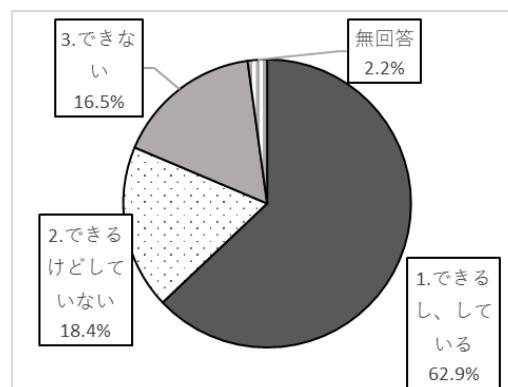


## 問2 からだを動かすことについて

### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (SA)

62.9%が手すりや壁をつたわずに階段を昇ることが「できるし、している」と回答していた。「できるけどしていない」が18.4%であった。

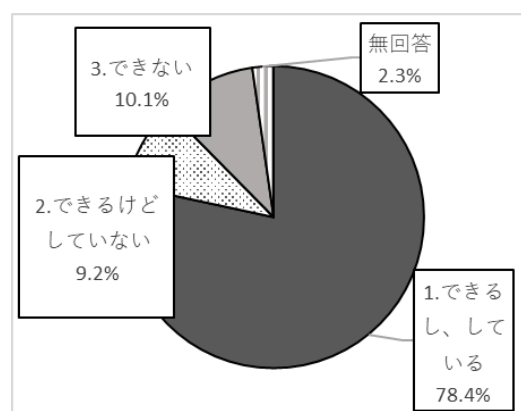
|              | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|-------|
| 1.できるし、している  | 608   | 62.9  |
| 2.できるけどしていない | 178   | 18.4  |
| 3.できない       | 159   | 16.5  |
| 無回答          | 21    | 2.2   |
| 合計           | 966   | 100.0 |



### (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (SA)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることが、「できるし、している」のは78.4%であった。「できるけどしていない」は9.2%であった。

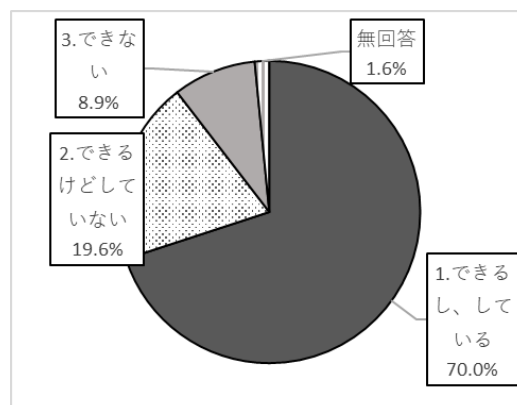
|              | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|-------|
| 1.できるし、している  | 757   | 78.4  |
| 2.できるけどしていない | 89    | 9.2   |
| 3.できない       | 98    | 10.1  |
| 無回答          | 22    | 2.3   |
| 合計           | 966   | 100.0 |



### (3) 15分位続けて歩いていますか (SA)

15分位続けて歩くのが「できるし、している」のは70.0%であった。「できるけどしていない」が19.6%にのびた。

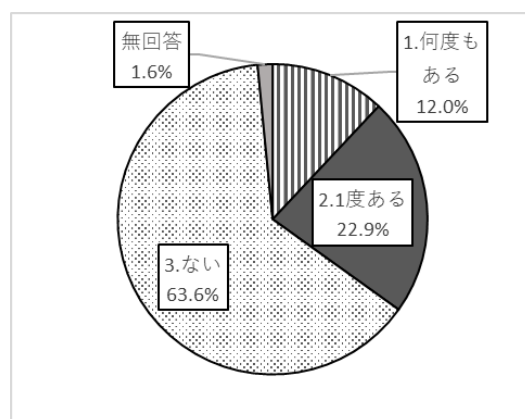
|              | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|-------|
| 1.できるし、している  | 676   | 70.0  |
| 2.できるけどしていない | 189   | 19.6  |
| 3.できない       | 86    | 8.9   |
| 無回答          | 15    | 1.6   |
| 合計           | 966   | 100.0 |



### (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (SA)

過去1年間の転倒経験は、「何度もある」が12.0%、「1度ある」が22.9%であった。「ない」は63.6%を占めていた。

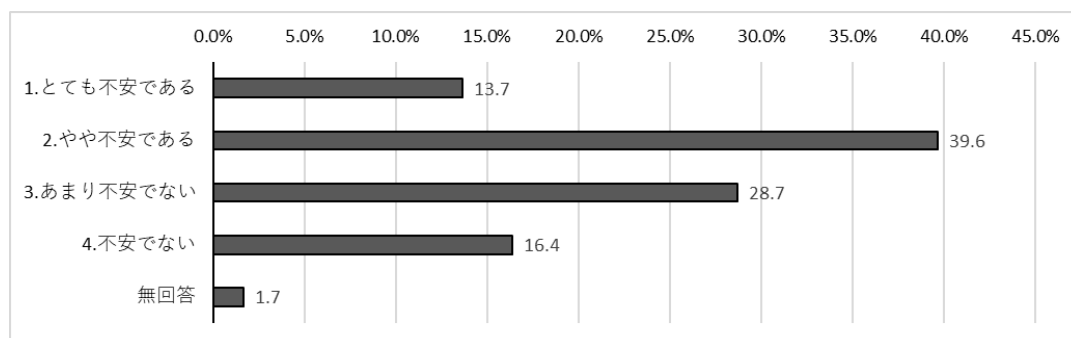
|         | 人数(人) | 割合(%) |
|---------|-------|-------|
| 1.何度もある | 116   | 12.0  |
| 2.1度ある  | 221   | 22.9  |
| 3.ない    | 614   | 63.6  |
| 無回答     | 15    | 1.6   |
| 合計      | 966   | 100.0 |



### (5) 転倒に対する不安は大きいですか (SA)

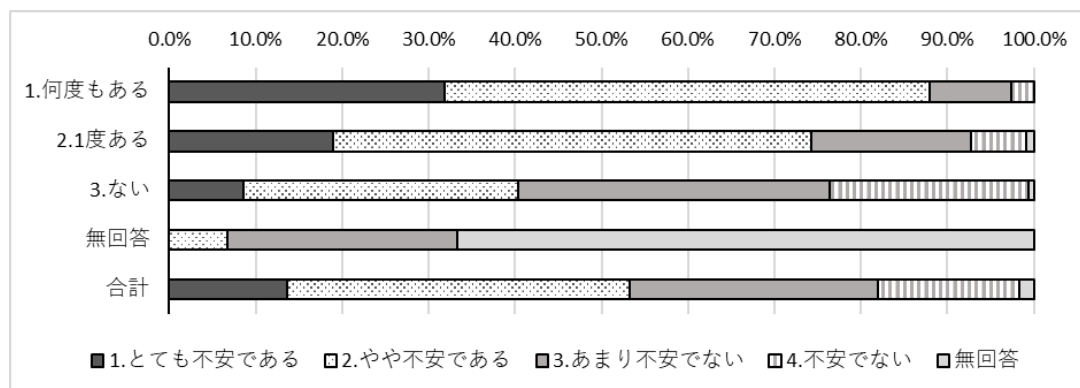
4割以上の高齢者が転倒にさほど不安を感じていなかった。他方、転倒が「とても不安である」が13.7%、「やや不安である」が39.6%であった。

|            | 人数(人) | 割合(%) |
|------------|-------|-------|
| 1.とても不安である | 132   | 13.7  |
| 2.やや不安である  | 383   | 39.6  |
| 3.あまり不安でない | 277   | 28.7  |
| 4.不安でない    | 158   | 16.4  |
| 無回答        | 16    | 1.7   |
| 合計         | 966   | 100.0 |



問(4)の転倒経験とのクロス集計表で分析すると、過去1年間に転倒経験があると、転倒不安を感じる割合が高くなった。転倒が「何度もある」場合は、「とても」と「やや」を合わせて87.9%が不安を感じていた。

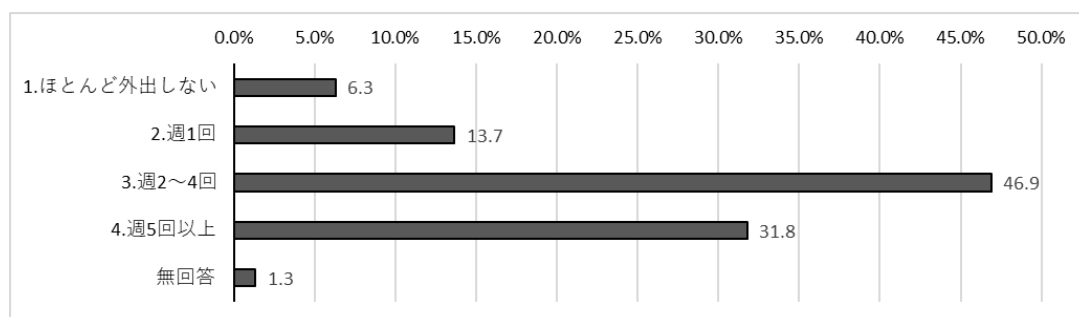
| 転倒経験    | 人数(人) | 割合         |           |            |         | 無回答   |
|---------|-------|------------|-----------|------------|---------|-------|
|         |       | 1.とても不安である | 2.やや不安である | 3.あまり不安でない | 4.不安でない |       |
| 1.何度もある | 116   | 31.9%      | 56.0%     | 9.5%       | 2.6%    | 0.0%  |
| 2.1度ある  | 221   | 19.0%      | 55.2%     | 18.6%      | 6.3%    | 0.9%  |
| 3.ない    | 614   | 8.6%       | 31.8%     | 36.0%      | 23.0%   | 0.7%  |
| 無回答     | 15    | 0.0%       | 6.7%      | 26.7%      | 0.0%    | 66.7% |
| 合計      | 966   | 13.7%      | 39.6%     | 28.7%      | 16.4%   | 1.7%  |



#### (6) 週に1回以上は外出していますか (SA)

回答者の中では、「週2~4回」外出する人の割合が最も高く、46.9%であった。また「週5回以上」が31.8%であった。

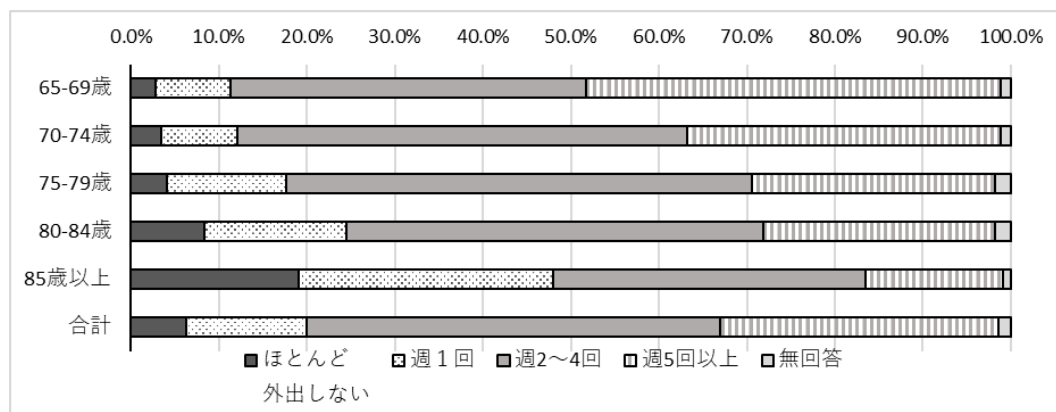
|             | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------|-------|-------|
| 1.ほとんど外出しない | 61    | 6.3   |
| 2.週1回       | 132   | 13.7  |
| 3.週2~4回     | 453   | 46.9  |
| 4.週5回以上     | 307   | 31.8  |
| 無回答         | 13    | 1.3   |
| 合計          | 966   | 100.0 |





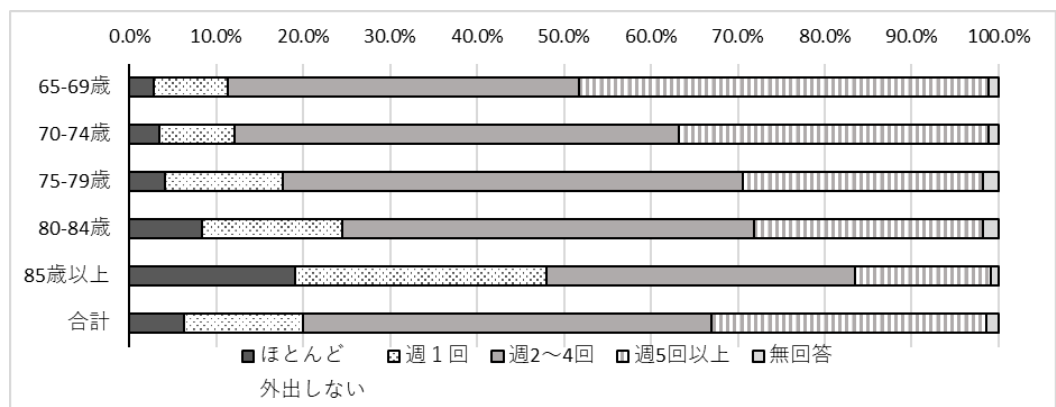
年齢別にみると、80歳以上で「ほとんど外出しない」割合が高くなり、85歳以上では19.0%にのぼった。また、「週1回」外出も75歳以上は1割を超えている。

| 年齢     | 人数(人) | 割合            |       |       |       |      |
|--------|-------|---------------|-------|-------|-------|------|
|        |       | ほとんど<br>外出しない | 週1回   | 週2～4回 | 週5回以上 | 無回答  |
| 65-69歳 | 176   | 2.8%          | 8.5%  | 40.3% | 47.2% | 1.1% |
| 70-74歳 | 264   | 3.4%          | 8.7%  | 51.1% | 35.6% | 1.1% |
| 75-79歳 | 221   | 4.1%          | 13.6% | 52.9% | 27.6% | 1.8% |
| 80-84歳 | 167   | 8.4%          | 16.2% | 47.3% | 26.3% | 1.8% |
| 85歳以上  | 121   | 19.0%         | 28.9% | 35.5% | 15.7% | 0.8% |
| 合計     | 949   | 6.3%          | 13.7% | 46.9% | 31.7% | 1.4% |



圏域別では、北圏域と中央・西圏域は「ほとんど外出しない」が7%台で他の圏域よりも高い割合である。しかしいずれの圏域でも「週2～4回」が4割以上、「週5回以上」が3割以上と総じて外出回数は多いといえる。

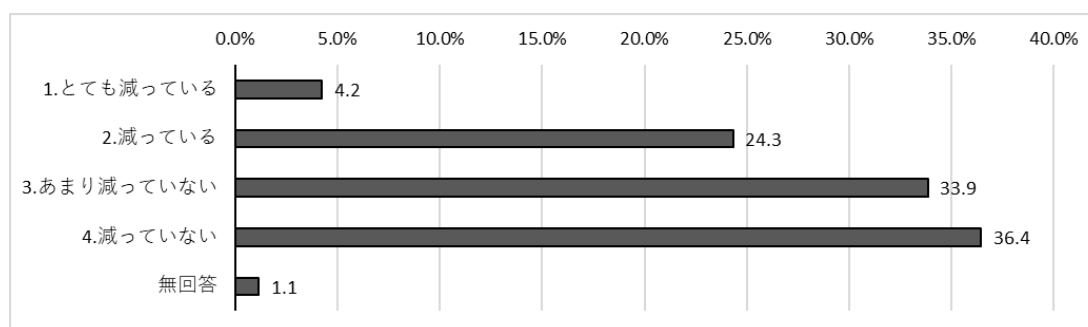
| 圏域   | 人数(人) | 割合            |       |       |       |      |
|------|-------|---------------|-------|-------|-------|------|
|      |       | ほとんど<br>外出しない | 週1回   | 週2～4回 | 週5回以上 | 無回答  |
| 北    | 235   | 7.7%          | 16.6% | 43.0% | 31.5% | 1.3% |
| 中央・西 | 223   | 7.6%          | 14.3% | 45.3% | 31.4% | 1.3% |
| 東・呼人 | 256   | 5.9%          | 11.3% | 48.8% | 32.8% | 1.2% |
| 南    | 235   | 4.3%          | 12.8% | 50.2% | 31.1% | 1.7% |
| 合計   | 949   | 6.3%          | 13.7% | 46.9% | 31.7% | 1.4% |



### (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (SA)

昨年と比べた外出回数では、「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせて7割以上の高齢者が、外出回数が減少していないと回答した。

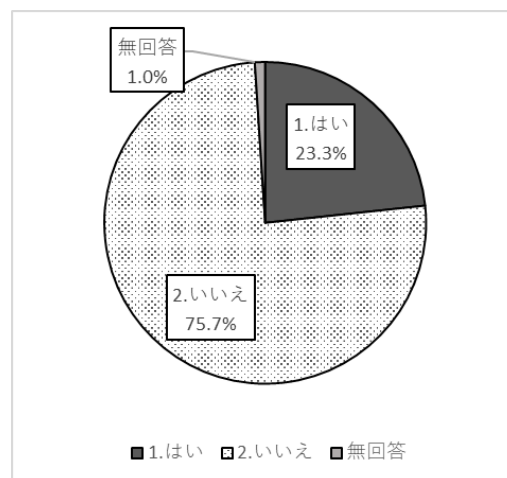
|             | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------|-------|-------|
| 1.とても減っている  | 41    | 4.2   |
| 2.減っている     | 235   | 24.3  |
| 3.あまり減っていない | 327   | 33.9  |
| 4.減っていない    | 352   | 36.4  |
| 無回答         | 11    | 1.1   |
| 合計          | 966   | 100.0 |



### (8) 外出を控えていますか (SA)

外出を控えていると回答した者は、23.3%であった。

|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 225   | 23.3  |
| 2.いいえ | 731   | 75.7  |
| 無回答   | 10    | 1.0   |
| 合計    | 966   | 100.0 |

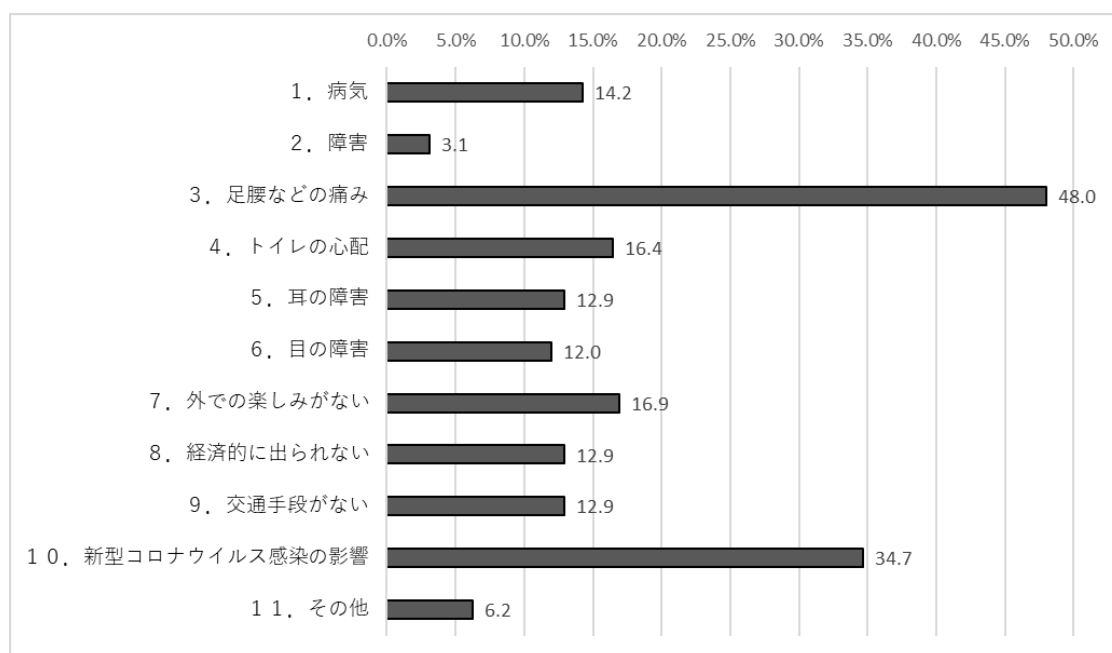


### (8) -2 外出を控えている理由は、次のどれですか (MA)

#### 【(8)で「1. はい」と回答した方のみ】

外出を控えていると回答した人が、外出を控えている理由は、「足腰の痛み」が48.0%と半数近くへのぼった。次に「新型コロナウイルスの影響」が34.7%であった。「その他」には「車の燃料代が高い」、「配偶者の介護」、「施設に入居しているから自由に外出できない」などが挙げられていた。

|                    | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------|-------|-------|
| 1. 病気              | 32    | 14.2  |
| 2. 障害              | 7     | 3.1   |
| 3. 足腰などの痛み         | 108   | 48.0  |
| 4. トイレの心配          | 37    | 16.4  |
| 5. 耳の障害            | 29    | 12.9  |
| 6. 目の障害            | 27    | 12.0  |
| 7. 外での楽しみがない       | 38    | 16.9  |
| 8. 経済的に出られない       | 29    | 12.9  |
| 9. 交通手段がない         | 29    | 12.9  |
| 10. 新型コロナウイルス感染の影響 | 78    | 34.7  |
| 11. その他            | 14    | 6.2   |
| 総数                 | 225   | 100.0 |

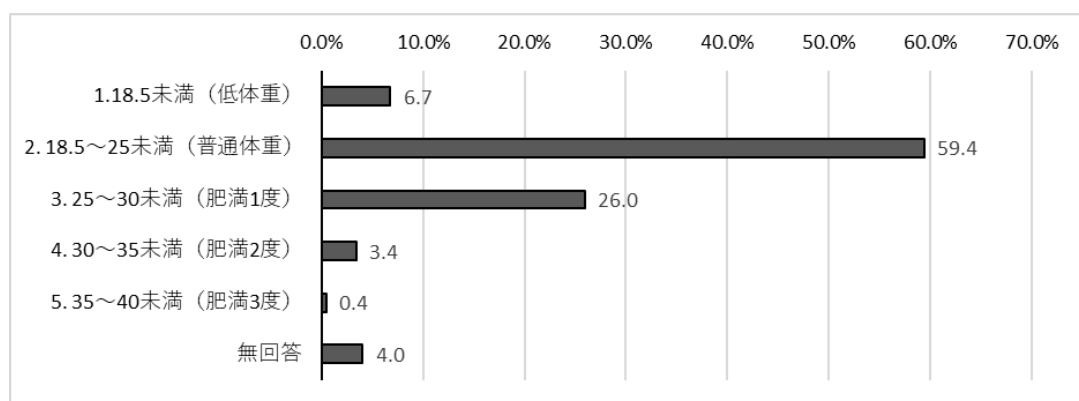


### 問3 食べることについて

#### (1) 身長・体重

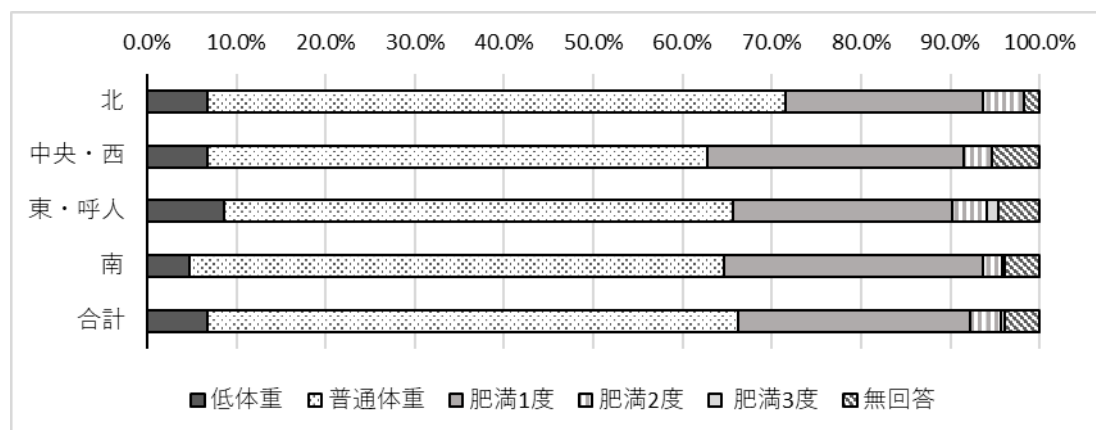
身長と体重にもとづいて BMI を計算したところ、普通体重（BMI18.5～25 未満）は 59.4%であった。肥満 1 度（BMI25～30 未満）は 26.0%、肥満 2 度（BMI30～35 未満）は 3.4%であった。他方、低体重（BMI18.5 未満）も 6.7%を占めていた。

|                    | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------|-------|-------|
| 1. 18.5未満(低体重)     | 65    | 6.7   |
| 2. 18.5～25未満(普通体重) | 574   | 59.4  |
| 3. 25～30未満(肥満1度)   | 251   | 26.0  |
| 4. 30～35未満(肥満2度)   | 33    | 3.4   |
| 5. 35～40未満(肥満3度)   | 4     | 0.4   |
| 無回答                | 39    | 4.0   |
| 合計                 | 966   | 100.0 |



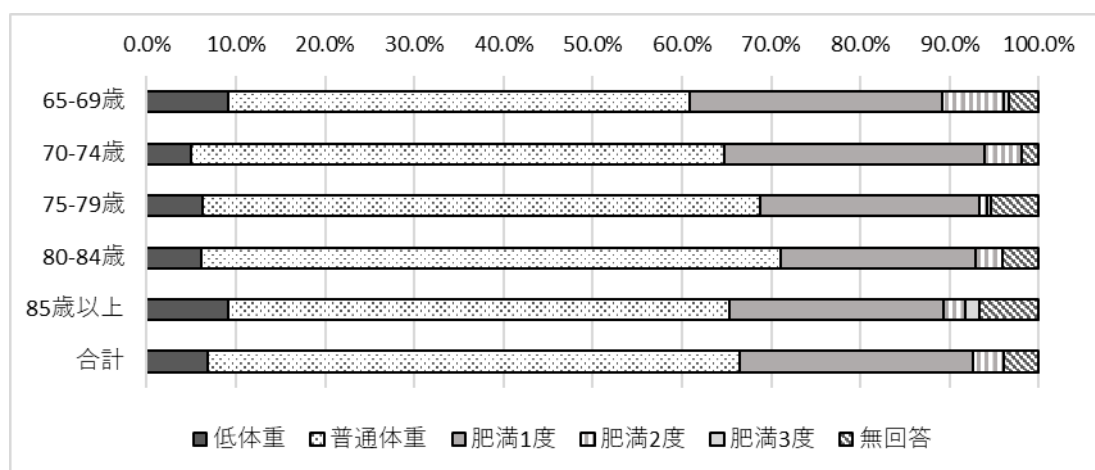
年齢別にみると、どの年齢層でも普通体重が5割を超えている。他方、肥満度1の割合が最も高いのは、70～74歳で29.2%、次いで65～69歳が28.4%である。低体重の割合が最も高いのは、65～69歳、85歳以上でいずれも9.1%であった。

| 年齢     | 人数(人) | 割合 (%) |       |       |      |      |      |
|--------|-------|--------|-------|-------|------|------|------|
|        |       | 低体重    | 普通体重  | 肥満1度  | 肥満2度 | 肥満3度 | 無回答  |
| 65～69歳 | 176   | 9.1%   | 51.7% | 28.4% | 6.8% | 0.6% | 3.4% |
| 70～74歳 | 264   | 4.9%   | 59.8% | 29.2% | 4.2% | 0.0% | 1.9% |
| 75～79歳 | 221   | 6.3%   | 63.3% | 24.9% | 0.9% | 0.5% | 5.4% |
| 80～84歳 | 167   | 6.0%   | 64.1% | 21.6% | 3.0% | 0.0% | 4.1% |
| 85歳以上  | 121   | 9.1%   | 56.2% | 24.0% | 2.5% | 1.7% | 6.6% |
| 合計     | 949   | 6.7%   | 59.4% | 26.0% | 3.5% | 0.4% | 3.9% |



圏域別にみると、普通体重の割合は北圏域と南圏域がやや高く、6割以上である。いずれの圏域でも肥満1度は25%前後であった。南圏域では低体重が4.7%と最も低く、肥満2度も2.1%と最も低い割合であった。

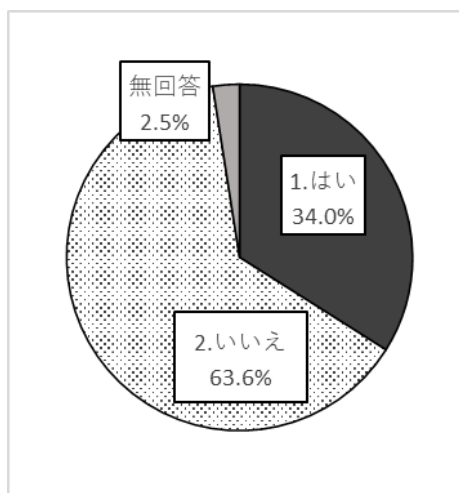
| 圏域   | 人数(人) | 割合 (%) |       |       |      |      |      |
|------|-------|--------|-------|-------|------|------|------|
|      |       | 低体重    | 普通体重  | 肥満1度  | 肥満2度 | 肥満3度 | 無回答  |
| 北    | 235   | 6.8%   | 64.7% | 22.1% | 4.7% | 0.0% | 1.7% |
| 中央・西 | 223   | 6.7%   | 56.1% | 28.7% | 3.1% | 0.0% | 5.4% |
| 東・呼人 | 256   | 8.6%   | 57.0% | 24.6% | 3.9% | 1.2% | 4.7% |
| 南    | 235   | 4.7%   | 60.0% | 28.9% | 2.1% | 0.4% | 3.8% |
| 合計   | 949   | 6.7%   | 59.4% | 26.0% | 3.5% | 0.4% | 3.9% |



## (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (S A)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったと回答した者は、34.0%であった。

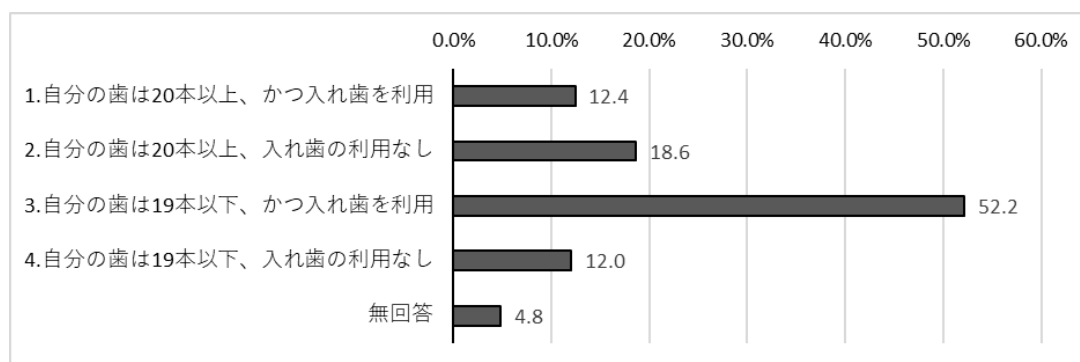
|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 328   | 34.0  |
| 2.いいえ | 614   | 63.6  |
| 無回答   | 24    | 2.5   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



## (3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (S A)

回答者のうち 52.2%が、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」であった。自分の歯が 20 本以上ある者は、入れ歯の利用の有無をあわせて 31.0%であった。

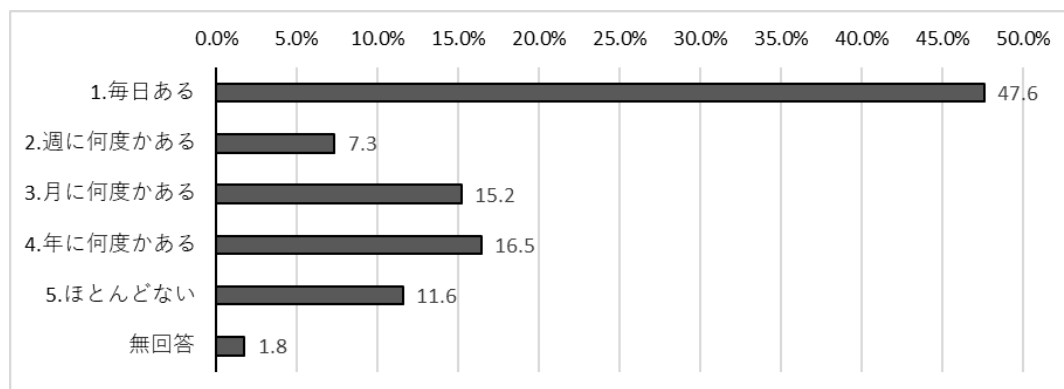
|                       | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------------------|-------|-------|
| 1.自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 | 120   | 12.4  |
| 2.自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし | 180   | 18.6  |
| 3.自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 | 504   | 52.2  |
| 4.自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし | 116   | 12.0  |
| 無回答                   | 46    | 4.8   |
| 合計                    | 966   | 100.0 |



#### (4) どなたかと食事をとる機会がありますか (S A)

誰かしらと食事をとる機会が「毎日ある」との回答は、47.6%であった。「月に何度かある」と「年に何度かある」がいずれも15%前後であったのに対して、「週に何度かある」が7.3%だった。他方、「ほとんどない」は11.6%を占めていた。

|           | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------|-------|-------|
| 1.毎日ある    | 460   | 47.6  |
| 2.週に何度かある | 71    | 7.3   |
| 3.月に何度かある | 147   | 15.2  |
| 4.年に何度かある | 159   | 16.5  |
| 5.ほとんどない  | 112   | 11.6  |
| 無回答       | 17    | 1.8   |
| 合計        | 966   | 100.0 |

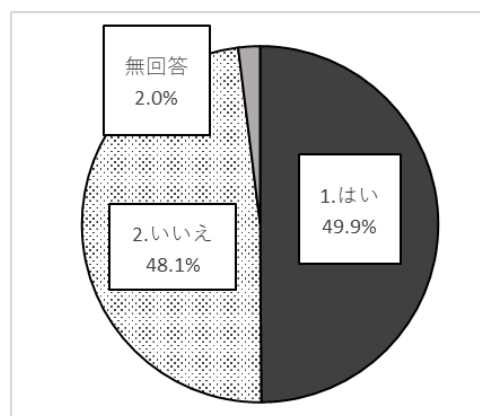


## 問4 毎日の生活について

### (1) 物忘れが多いと感じますか (S A)

物忘れが多いと感じる者は 49.9%であった。

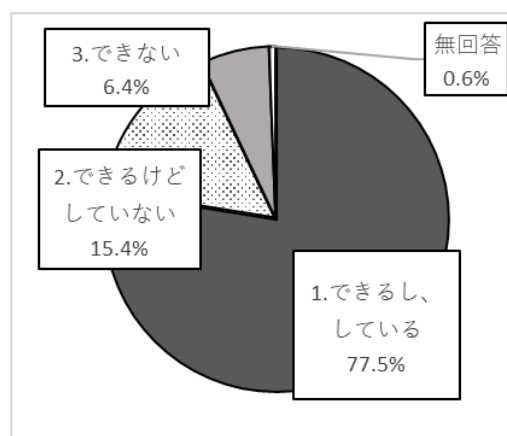
|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 482   | 49.9  |
| 2.いいえ | 465   | 48.1  |
| 無回答   | 19    | 2.0   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



### (2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車も可) (S A)

バスや電車を使って1人で外出しているとの回答は 77.5%であったが、「できるけどしていない」が 15.4%、「できない」が 6.4%であった。

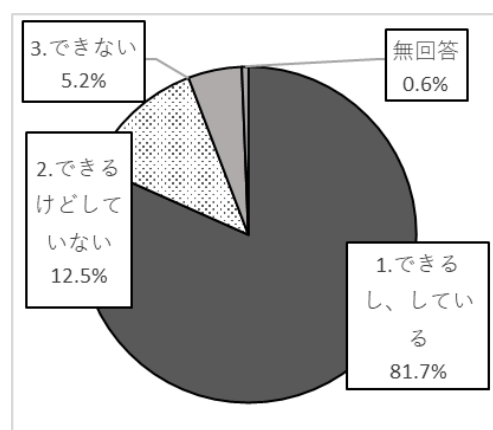
|              | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|-------|
| 1.できるし、している  | 749   | 77.5  |
| 2.できるけどしていない | 149   | 15.4  |
| 3.できない       | 62    | 6.4   |
| 無回答          | 6     | 0.6   |
| 合計           | 966   | 100.0 |



### (3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (S A)

自分で食品・日用品の買い物をしているとの回答は 81.7%であったが、「できるけどしていない」が 12.5%、「できない」が 5.2%であった。

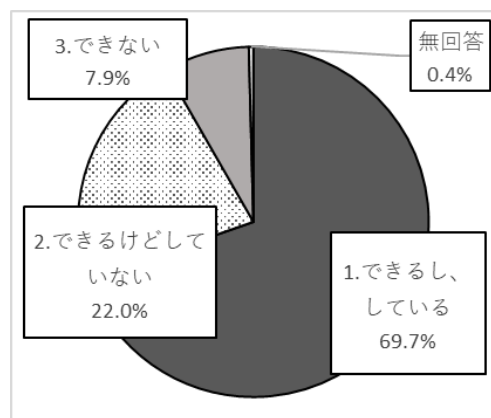
|              | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|-------|
| 1.できるし、している  | 789   | 81.7  |
| 2.できるけどしていない | 121   | 12.5  |
| 3.できない       | 50    | 5.2   |
| 無回答          | 6     | 0.6   |
| 合計           | 966   | 100.0 |



#### (4) 自分で食事の用意をしていますか (S A)

自分で食事の用意をしているとの回答は 69.7%であったが、「できるけどしていない」が 22.0%、「できない」が 7.9%であった。

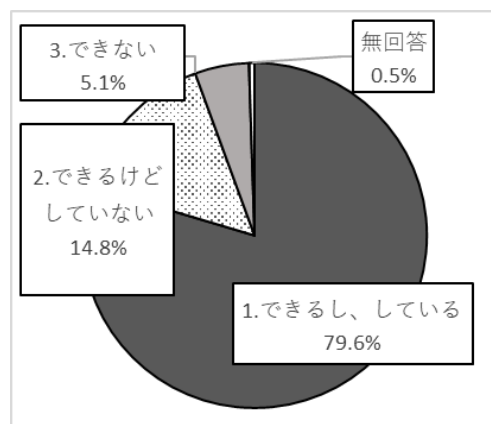
|              | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|-------|
| 1.できるし、している  | 673   | 69.7  |
| 2.できるけどしていない | 213   | 22.0  |
| 3.できない       | 76    | 7.9   |
| 無回答          | 4     | 0.4   |
| 合計           | 966   | 100.0 |



#### (5) 自分で請求書の支払いをしていますか (S A)

自分で請求書の支払をしているとの回答は 79.6%であったが、「できるけどしていない」が 14.8%、「できない」が 5.1%あった。

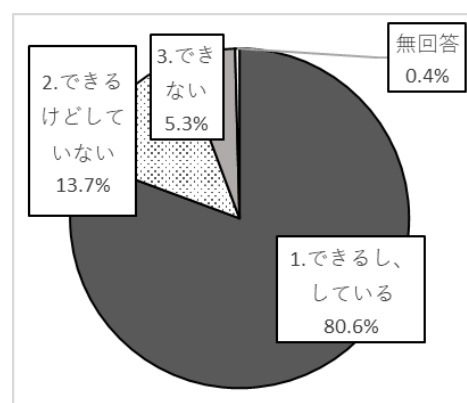
|              | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|-------|
| 1.できるし、している  | 769   | 79.6  |
| 2.できるけどしていない | 143   | 14.8  |
| 3.できない       | 49    | 5.1   |
| 無回答          | 5     | 0.5   |
| 合計           | 966   | 100.0 |



#### (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (S A)

自分で預貯金の出し入れをしているとの回答は 80.6%であったが、「できるけどしていない」が 13.7%、「できない」が 5.3%であった。

|              | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|-------|
| 1.できるし、している  | 779   | 80.6  |
| 2.できるけどしていない | 132   | 13.7  |
| 3.できない       | 51    | 5.3   |
| 無回答          | 4     | 0.4   |
| 合計           | 966   | 100.0 |

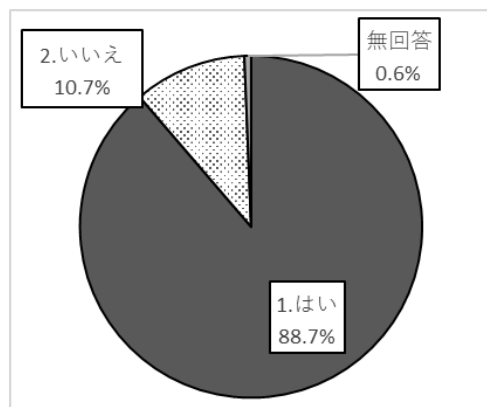




(7) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（S A）

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるとの回答は 88.7%であった。

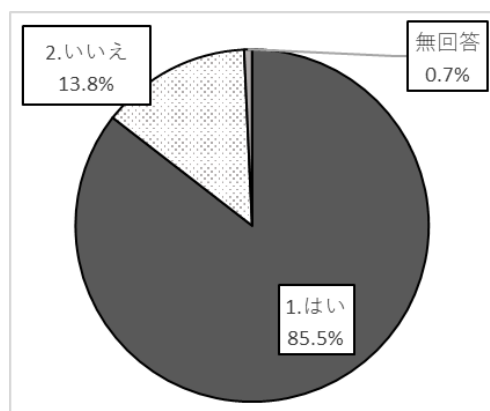
|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 857   | 88.7  |
| 2.いいえ | 103   | 10.7  |
| 無回答   | 6     | 0.6   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



(8) 新聞を読んでいますか（S A）

新聞を読んでいるとの回答は 85.5%であった。

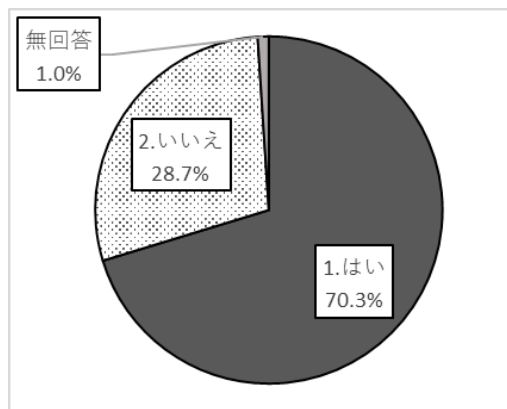
|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 826   | 85.5  |
| 2.いいえ | 133   | 13.8  |
| 無回答   | 7     | 0.7   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



(9) 本や雑誌を読んでいますか（S A）

本屋や雑誌を読んでいるとの回答は 70.3%であった。

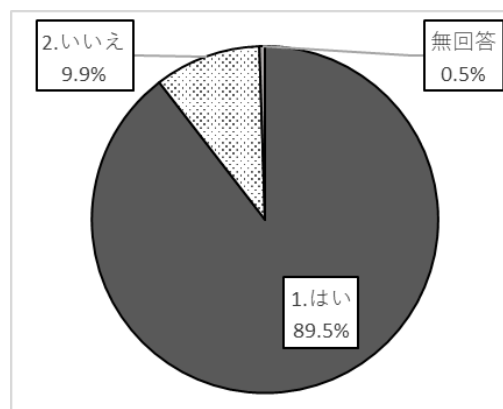
|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 679   | 70.3  |
| 2.いいえ | 277   | 28.7  |
| 無回答   | 10    | 1.0   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



(10) 健康についての記事や番組に関心がありますか (S A)

健康についての記事や番組に関心があるとの回答は89.5%であった。

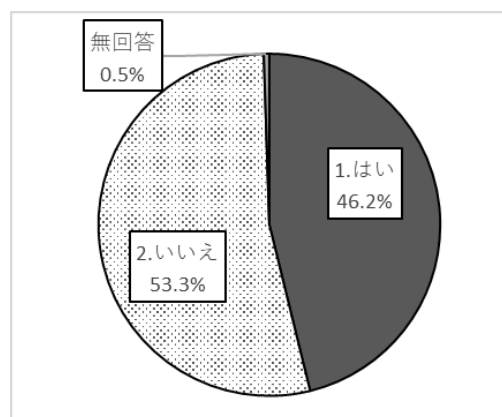
|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 865   | 89.5  |
| 2.いいえ | 96    | 9.9   |
| 無回答   | 5     | 0.5   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



(11) 友人の家を訪ねていますか (S A)

友人の家を訪ねているとの回答は46.2%と半分に満たなかった。

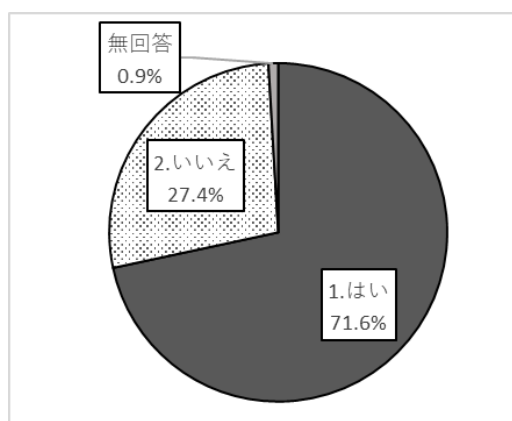
|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 446   | 46.2  |
| 2.いいえ | 515   | 53.3  |
| 無回答   | 5     | 0.5   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



(12) 家族や友人の相談にのっていますか (S A)

家族や友人の相談にのっているとの回答は71.6%であった。

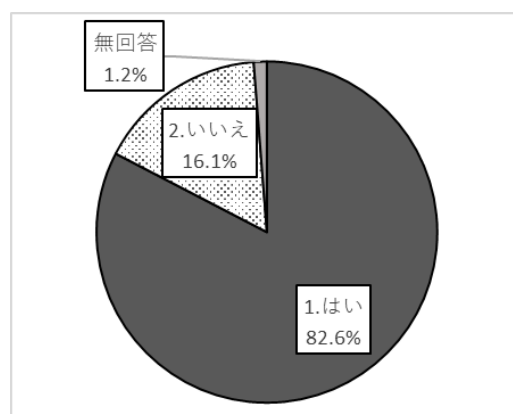
|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 692   | 71.6  |
| 2.いいえ | 265   | 27.4  |
| 無回答   | 9     | 0.9   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



### (13) 病人を見舞うことができますか（S A）

病人を見舞うことができるとの回答は82.6%であった。

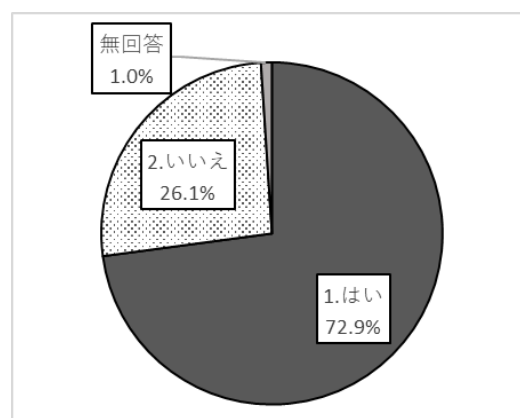
|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 798   | 82.6  |
| 2.いいえ | 156   | 16.1  |
| 無回答   | 12    | 1.2   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



### (14) 若い人に自分から話しかけることがありますか（S A）

若い人に自分から話しかけることがあるとの回答は72.9%であった。

|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 704   | 72.9  |
| 2.いいえ | 252   | 26.1  |
| 無回答   | 10    | 1.0   |
| 合計    | 966   | 100.0 |

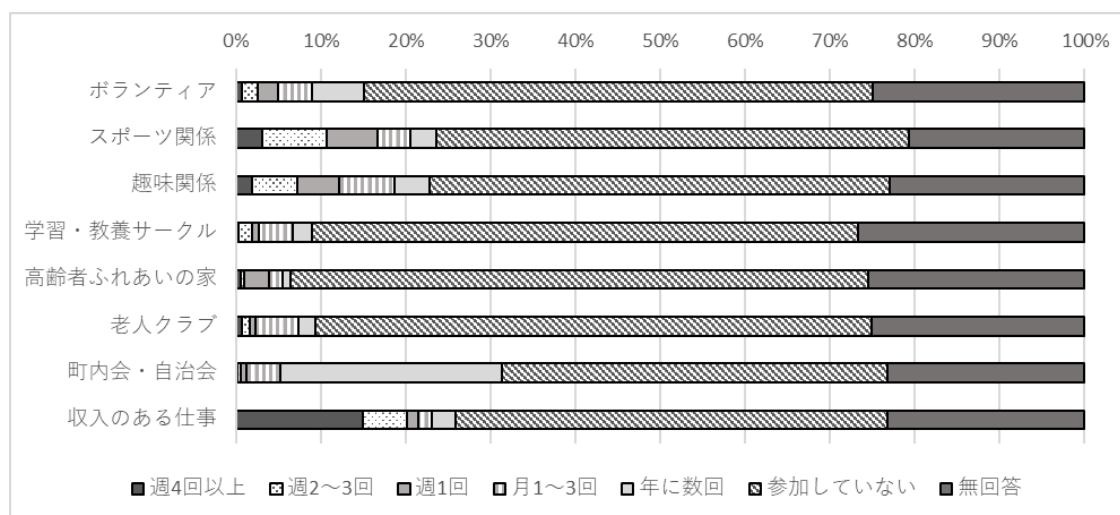


## 問5 地域での活動について

### (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか（S A）

参加している人の割合（「参加していない」「無回答」を除いた合計）が最も高いのは、「町内会・自治会」（31.4%）であった。「収入のある仕事」（25.9%）、「スポーツ関係のグループやクラブ」23.6%、「趣味関係のグループ」（22.8%）がそれに続いた。

| N=966     |       |       |     |       |      | 単位(%)   |      |
|-----------|-------|-------|-----|-------|------|---------|------|
|           | 週4回以上 | 週2～3回 | 週1回 | 月1～3回 | 年に数回 | 参加していない | 無回答  |
| ボランティア    | 0.7   | 1.9   | 2.4 | 4.0   | 6.1  | 59.9    | 24.9 |
| スポーツ関係    | 3.1   | 7.6   | 6.0 | 3.8   | 3.1  | 55.7    | 20.7 |
| 趣味関係      | 1.9   | 5.4   | 5.0 | 6.4   | 4.1  | 54.2    | 23.0 |
| 学習・教養サークル | 0.3   | 1.6   | 0.8 | 3.9   | 2.4  | 64.3    | 26.7 |
| 高齢者ふれあいの家 | 0.5   | 0.4   | 3.0 | 1.6   | 0.9  | 68.1    | 25.5 |
| 老人クラブ     | 0.7   | 0.9   | 0.6 | 5.1   | 2.0  | 65.5    | 25.2 |
| 町内会・自治会   | 0.2   | 0.4   | 0.6 | 4.0   | 26.1 | 45.3    | 23.3 |
| 収入のある仕事   | 15.0  | 5.2   | 1.3 | 1.6   | 2.8  | 50.8    | 23.3 |



## 【男女別の参加状況】

### ① ボランティアのグループ

ボランティアの参加率は男性のほうがやや高く、15.8%であった。

| 性別 | 人数(人) | 割合     |         |       |
|----|-------|--------|---------|-------|
|    |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 男性 | 417   | 15.8%  | 63.3%   | 20.9% |
| 女性 | 532   | 14.1%  | 57.1%   | 28.8% |
| 合計 | 949   | 14.9%  | 59.9%   | 25.3% |

### ② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループ等参加率は女性のほうがやや高く、24.8%であった。

| 性別 | 人数(人) | 割合     |         |       |
|----|-------|--------|---------|-------|
|    |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 男性 | 417   | 21.8%  | 59.2%   | 18.9% |
| 女性 | 532   | 24.8%  | 52.8%   | 22.4% |
| 合計 | 949   | 23.5%  | 55.6%   | 20.9% |

### ③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループ参加率は女性のほうがやや高く、23.3%であった。

| 性別 | 人数(人) | 割合     |         |       |
|----|-------|--------|---------|-------|
|    |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 男性 | 417   | 22.1%  | 59.5%   | 18.5% |
| 女性 | 532   | 23.3%  | 49.8%   | 26.9% |
| 合計 | 949   | 22.8%  | 54.1%   | 23.2% |

### ④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルの参加率は女性のほうがやや高く、9.6%であった。

| 性別 | 人数(人) | 割合     |         |       |
|----|-------|--------|---------|-------|
|    |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 男性 | 417   | 8.2%   | 70.5%   | 21.3% |
| 女性 | 532   | 9.6%   | 59.0%   | 31.4% |
| 合計 | 949   | 9.0%   | 64.1%   | 27.0% |

# ⑤ 高齢者ふれあいの家

高齢者ふれあいの家の参加率は女性のほうが高く、7.7%であった。

| 性別 | 人数(人) | 割合     |         |       |
|----|-------|--------|---------|-------|
|    |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 男性 | 417   | 4.8%   | 74.8%   | 20.4% |
| 女性 | 532   | 7.7%   | 62.6%   | 29.7% |
| 合計 | 949   | 6.4%   | 68.0%   | 25.6% |

# ⑥ 老人クラブ

老人クラブの参加率は男性のほうがやや高く、10.1%であった。

| 性別 | 人数(人) | 割合     |         |       |
|----|-------|--------|---------|-------|
|    |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 男性 | 417   | 10.1%  | 69.8%   | 20.1% |
| 女性 | 532   | 8.1%   | 62.4%   | 29.5% |
| 合計 | 949   | 9.0%   | 65.6%   | 25.4% |

# ⑦ 町内会・自治会

町内会・自治会の参加率は男性が大幅に高く、44.6%であった。

| 性別 | 人数(人) | 割合     |         |       |
|----|-------|--------|---------|-------|
|    |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 男性 | 417   | 44.6%  | 39.1%   | 16.3% |
| 女性 | 532   | 20.5%  | 50.4%   | 29.1% |
| 合計 | 949   | 31.1%  | 45.4%   | 23.5% |

# ⑧ 収入のある仕事

就労率は男性のほうが高く、34.5%が収入のある仕事に就いている。

| 性別 | 人数(人) | 割合     |         |       |
|----|-------|--------|---------|-------|
|    |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 男性 | 417   | 34.5%  | 47.7%   | 17.7% |
| 女性 | 532   | 19.0%  | 53.2%   | 27.8% |
| 合計 | 949   | 25.8%  | 50.8%   | 23.4% |

## 【圏域別の参加状況】

### ① ボランティアのグループ

北圏域が最も割合が高く、18.3%であった。

| 圏域   | 人数(人) | 割合     |         |       |
|------|-------|--------|---------|-------|
|      |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 北    | 235   | 18.3%  | 60.0%   | 21.7% |
| 中央・西 | 223   | 16.1%  | 56.5%   | 27.4% |
| 東・呼人 | 256   | 14.1%  | 60.9%   | 25.0% |
| 南    | 235   | 11.1%  | 61.7%   | 27.2% |
| 合計   | 949   | 14.9%  | 59.9%   | 25.3% |

### ② スポーツ関係のグループやクラブ

東・呼人圏域が最も割合が高く、26.2%であった。

| 圏域   | 人数(人) | 割合     |         |       |
|------|-------|--------|---------|-------|
|      |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 北    | 235   | 22.6%  | 58.3%   | 19.1% |
| 中央・西 | 223   | 21.5%  | 53.8%   | 24.7% |
| 東・呼人 | 256   | 26.2%  | 54.7%   | 19.1% |
| 南    | 235   | 23.4%  | 55.7%   | 20.9% |
| 合計   | 949   | 23.5%  | 55.6%   | 20.9% |

### ③ 趣味関係のグループ

東・呼人圏域が最も割合が高く、25.0%であった。

| 圏域   | 人数(人) | 割合     |         |       |
|------|-------|--------|---------|-------|
|      |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 北    | 235   | 22.6%  | 54.9%   | 22.6% |
| 中央・西 | 223   | 23.8%  | 52.5%   | 23.8% |
| 東・呼人 | 256   | 25.0%  | 52.7%   | 22.3% |
| 南    | 235   | 19.6%  | 56.2%   | 24.3% |
| 合計   | 949   | 22.8%  | 54.1%   | 23.2% |

### ④ 学習・教養サークル

北圏域が最も割合が高く、11.1%であった。

| 圏域   | 人数(人) | 割合     |         |       |
|------|-------|--------|---------|-------|
|      |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 北    | 235   | 11.1%  | 65.1%   | 23.8% |
| 中央・西 | 223   | 10.3%  | 62.8%   | 26.9% |
| 東・呼人 | 256   | 7.0%   | 64.8%   | 28.1% |
| 南    | 235   | 7.7%   | 63.4%   | 28.9% |
| 合計   | 949   | 9.0%   | 64.1%   | 27.0% |

### ⑤ 高齢者ふれあいの家

中央・西圏域では高齢者ふれあいの家参加率 9.0%に対して、南圏域は 3.8%に過ぎない。

| 圏域   | 人数(人) | 割合     |         |       |
|------|-------|--------|---------|-------|
|      |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 北    | 235   | 6.8%   | 71.1%   | 22.1% |
| 中央・西 | 223   | 9.0%   | 63.2%   | 27.8% |
| 東・呼人 | 256   | 6.3%   | 68.4%   | 25.4% |
| 南    | 235   | 3.8%   | 68.9%   | 27.2% |
| 合計   | 949   | 6.4%   | 68.0%   | 25.6% |

### ⑥ 老人クラブ

東・呼人圏域は老人クラブ参加率が 10.9%に対して、南圏域は 5.5%に過ぎない。

| 圏域   | 人数(人) | 割合     |         |       |
|------|-------|--------|---------|-------|
|      |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 北    | 235   | 5.5%   | 69.8%   | 24.7% |
| 中央・西 | 223   | 9.9%   | 64.6%   | 25.6% |
| 東・呼人 | 256   | 10.9%  | 64.5%   | 24.6% |
| 南    | 235   | 9.4%   | 63.8%   | 26.8% |
| 合計   | 949   | 9.0%   | 65.6%   | 25.4% |

### ⑦ 町内会・自治会

いずれの圏域でも 30%前後が町内会・自治会に参加している。

| 圏域   | 人数(人) | 割合     |         |       |
|------|-------|--------|---------|-------|
|      |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 北    | 235   | 30.2%  | 50.2%   | 19.6% |
| 中央・西 | 223   | 29.6%  | 43.5%   | 26.9% |
| 東・呼人 | 256   | 31.6%  | 45.3%   | 23.0% |
| 南    | 235   | 32.8%  | 42.6%   | 24.7% |
| 合計   | 949   | 31.1%  | 45.4%   | 23.5% |

# ⑧ 収入のある仕事

東・呼人圏域では 28.9%が収入のある仕事に就いている。

| 圏域   | 人数(人) | 割合     |         |       |
|------|-------|--------|---------|-------|
|      |       | 参加している | 参加していない | 無回答   |
| 北    | 235   | 23.0%  | 55.7%   | 21.3% |
| 中央・西 | 223   | 26.9%  | 48.9%   | 24.2% |
| 東・呼人 | 256   | 28.9%  | 46.9%   | 24.2% |
| 南    | 235   | 24.3%  | 51.9%   | 23.8% |
| 合計   | 949   | 25.8%  | 50.8%   | 23.4% |

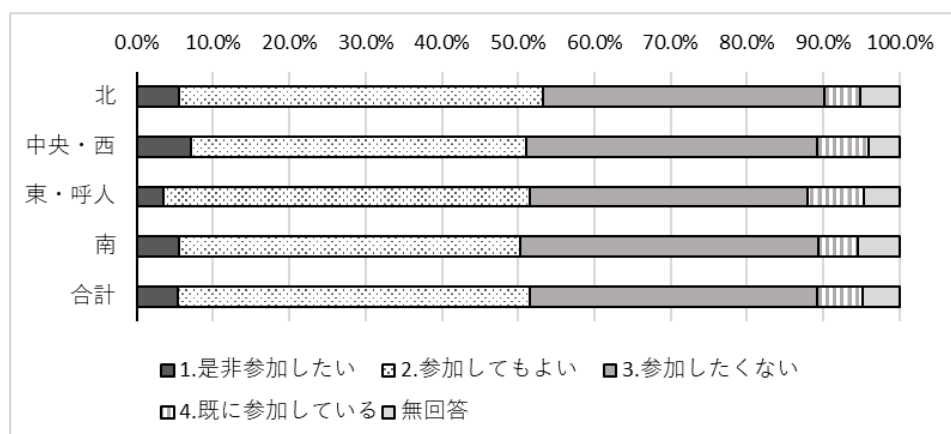
(2) 地域社会の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (S A)

全体では、51.8%が「是非参加したい」「参加してもよい」と示していた。

|             | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------|-------|-------|
| 1. 是非参加したい  | 53    | 5.5   |
| 2. 参加してもよい  | 447   | 46.3  |
| 3. 参加したくない  | 360   | 37.3  |
| 4. 既に参加している | 58    | 6.0   |
| 無回答         | 48    | 5.0   |
| 合計          | 966   | 100.0 |

圏域別にみると、参加希望のある割合が高いのは北圏域で、「是非参加したい」「参加してもよい」をあわせて 53.2%であった。また、東・呼人圏域と中央・西圏域は既に参加しているとの回答が他圏域よりも高く、それぞれ 7.4%、6.7%であった。

| 圏域   | 人数(人) | 割合            |               |               |                |      | (再掲)<br>参加希望 |
|------|-------|---------------|---------------|---------------|----------------|------|--------------|
|      |       | 1.是非参加<br>したい | 2.参加して<br>もよい | 3.参加したく<br>ない | 4.既に参加<br>している | 無回答  |              |
| 北    | 235   | 5.5%          | 47.7%         | 37.0%         | 4.7%           | 5.1% | 53.2%        |
| 中央・西 | 223   | 7.2%          | 43.9%         | 38.1%         | 6.7%           | 4.0% | 51.1%        |
| 東・呼人 | 256   | 3.5%          | 48.0%         | 36.3%         | 7.4%           | 4.7% | 51.6%        |
| 南    | 235   | 5.5%          | 44.7%         | 39.1%         | 5.1%           | 5.5% | 50.2%        |
| 合計   | 949   | 5.4%          | 46.2%         | 37.6%         | 6.0%           | 4.8% | 51.5%        |



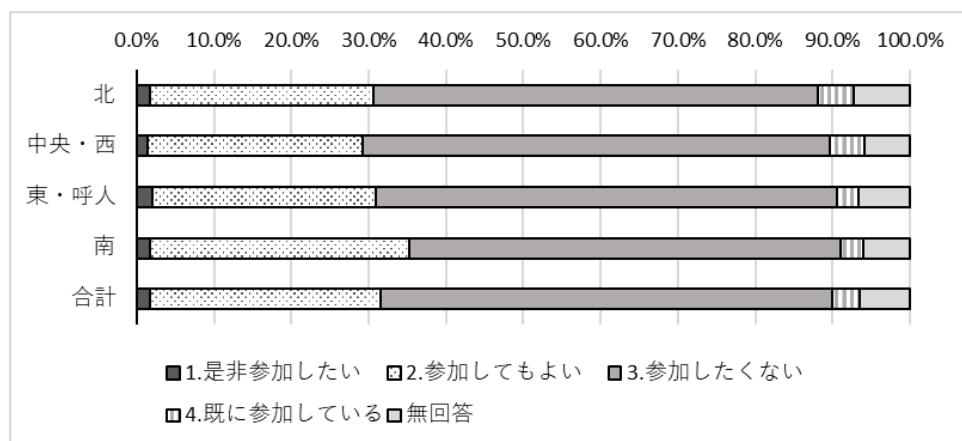
(3) 地域社会の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（SA）

全体では、32.0%が「是非参加したい」もしくは「参加してもよい」と示していた。

|             | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------|-------|-------|
| 1. 是非参加したい  | 17    | 1.8   |
| 2. 参加してもよい  | 292   | 30.2  |
| 3. 参加したくない  | 559   | 57.9  |
| 4. 既に参加している | 35    | 3.6   |
| 無回答         | 63    | 6.5   |
| 合計          | 966   | 100.0 |

圏域別にみると、参加希望のある割合が最も高いのは、南圏域で35.3%であった。中央・西圏域で参加希望の割合は相対的に低く、29.1%であったが、「既に参加している」割合はやや高く、4.5%であった。「すでに参加している」が最も多いのは北圏域で4.7%であった。

| 圏域   | 人数(人) | 割合        |           |           |            |      |          |
|------|-------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----------|
|      |       | 1.是非参加したい | 2.参加してもよい | 3.参加したくない | 4.既に参加している | 無回答  | (再掲)参加希望 |
| 北    | 235   | 1.7%      | 28.9%     | 57.4%     | 4.7%       | 7.2% | 30.6%    |
| 中央・西 | 223   | 1.3%      | 27.8%     | 60.5%     | 4.5%       | 5.8% | 29.1%    |
| 東・呼人 | 256   | 2.0%      | 28.9%     | 59.8%     | 2.7%       | 6.6% | 30.9%    |
| 南    | 235   | 1.7%      | 33.6%     | 55.7%     | 3.0%       | 6.0% | 35.3%    |
| 合計   | 949   | 1.7%      | 29.8%     | 58.4%     | 3.7%       | 6.4% | 31.5%    |





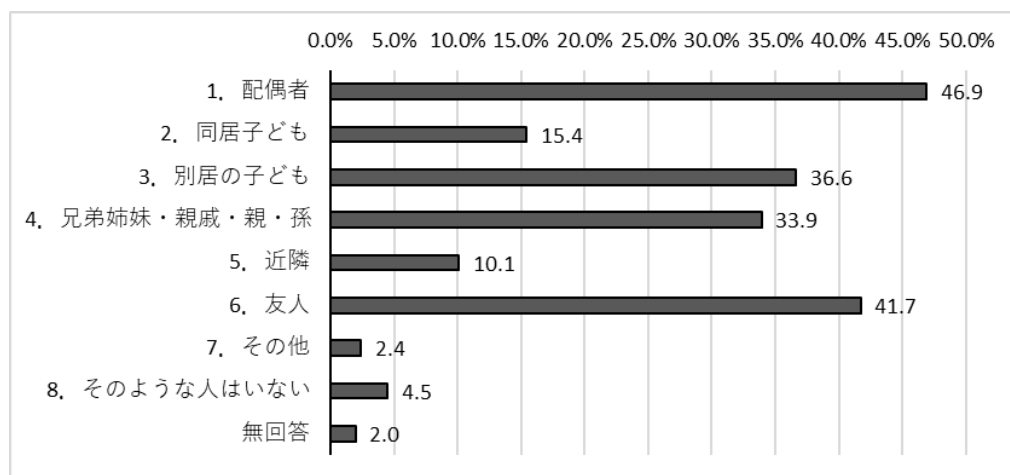
## 問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

### (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（MA）

割合が最も高かったのは「配偶者」で46.9%だった。次いで、「友人」41.7%、「別居の子ども」36.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」33.9%であった。「その他」には「仕事仲間」、「ボランティア仲間」、「看護師」、「大家」などが挙げられていた。

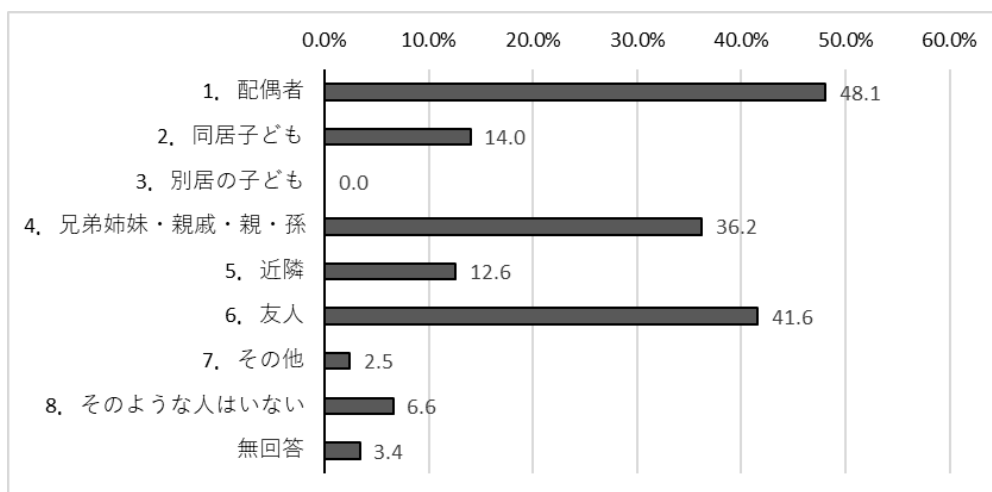
|                | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------|-------|-------|
| 1. 配偶者         | 494   | 46.9  |
| 2. 同居子ども       | 149   | 15.4  |
| 3. 別居の子ども      | 354   | 36.6  |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 327   | 33.9  |
| 5. 近隣          | 98    | 10.1  |
| 6. 友人          | 403   | 41.7  |
| 7. その他         | 23    | 2.4   |
| 8. そのような人はいない  | 43    | 4.5   |
| 無回答            | 19    | 2.0   |
| 回答者数           | 966   |       |



### (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（MA）

割合が最も高かったのは「配偶者」で48.1%であった。次いで、「友人」が41.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」36.2%、「別居の子ども」33.3%であった。「その他」には、「仕事仲間」、「ボランティア仲間」、「施設職員」などが挙げられていた。

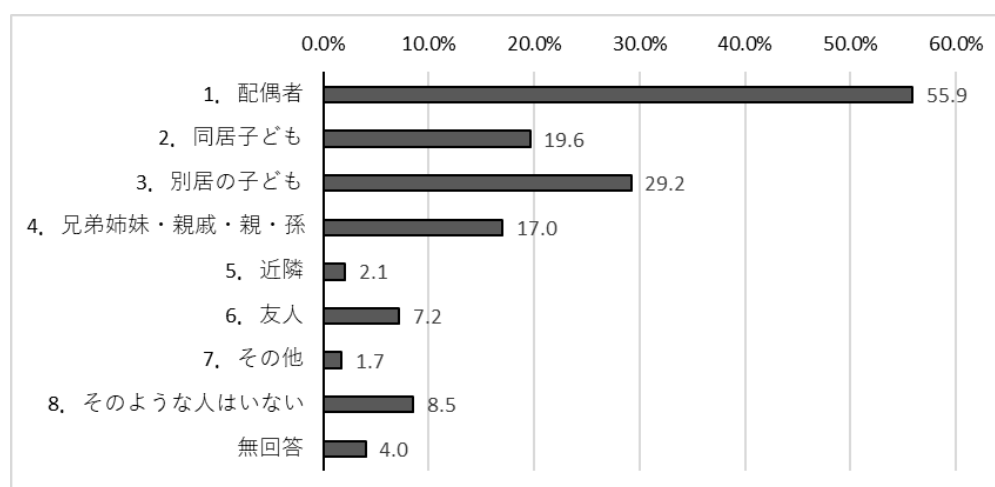
|                | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------|-------|-------|
| 1. 配偶者         | 465   | 48.1  |
| 2. 同居子ども       | 135   | 14.0  |
| 3. 別居の子ども      | 322   | 33.3  |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 350   | 36.2  |
| 5. 近隣          | 122   | 12.6  |
| 6. 友人          | 402   | 41.6  |
| 7. その他         | 24    | 2.5   |
| 8. そのような人はいない  | 64    | 6.6   |
| 無回答            | 33    | 3.4   |
| 回答者数           | 966   |       |



### (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (MA)

割合が最も高かったのは「配偶者」で 55.9%であった。次いで、「別居の子ども」が 29.2%、「同居の子ども」19.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」17.0%であった。「その他」には、「病院」、「施設職員」「ボランティア仲間」などが挙げられていた。

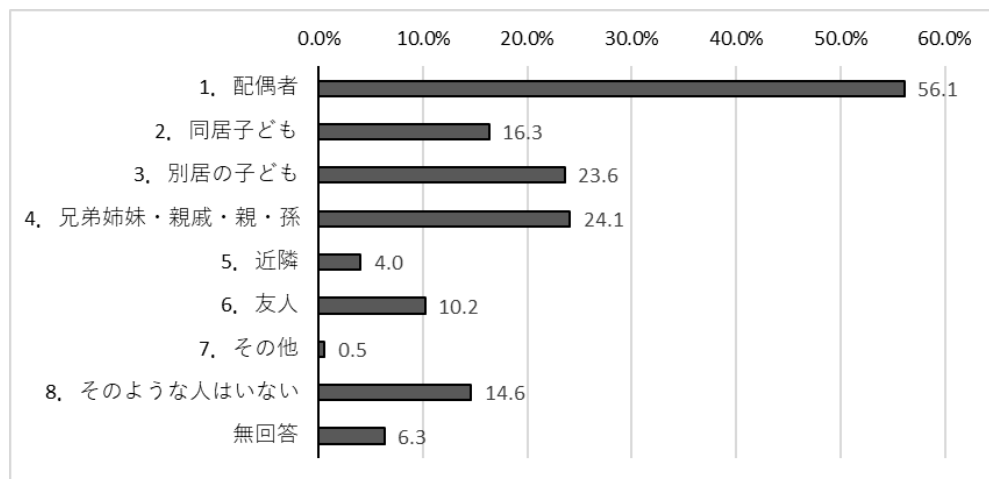
|                | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------|-------|-------|
| 1. 配偶者         | 540   | 55.9  |
| 2. 同居子ども       | 189   | 19.6  |
| 3. 別居の子ども      | 282   | 29.2  |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 164   | 17.0  |
| 5. 近隣          | 20    | 2.1   |
| 6. 友人          | 70    | 7.2   |
| 7. その他         | 16    | 1.7   |
| 8. そのような人はいない  | 82    | 8.5   |
| 無回答            | 39    | 4.0   |
| 回答者数           | 966   |       |



#### (4) 反対に、看病や世話をしあける人 (MA)

割合が最も高かったのは「配偶者」で 56.1%であった。次いで、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」24.1%、「別居の子ども」が 23.6%、「同居の子ども」16.3%であった。「その他」には、「同僚」、「ボランティア仲間」などが挙げられていた。

|                | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------|-------|-------|
| 1. 配偶者         | 542   | 56.1  |
| 2. 同居子ども       | 157   | 16.3  |
| 3. 別居の子ども      | 228   | 23.6  |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 233   | 24.1  |
| 5. 近隣          | 39    | 4.0   |
| 6. 友人          | 99    | 10.2  |
| 7. その他         | 5     | 0.5   |
| 8. そのような人はいない  | 141   | 14.6  |
| 無回答            | 61    | 6.3   |
| 回答者数           | 966   |       |

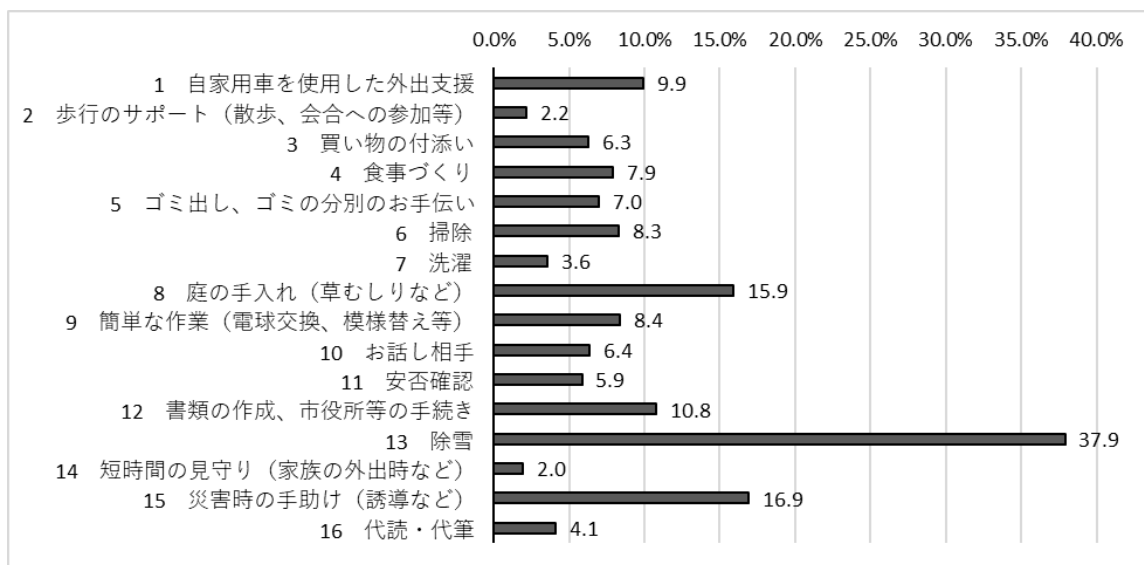


## (5) 日常生活でのあなたとまわりの人の「たすけあい」について (MA)

### ■手助けしてほしいこと

手助けしてほしいことで最も高い割合だったのは「除雪」で 37.9%あった。次いで、「災害時の手助け（誘導など）」が 16.9%であった。

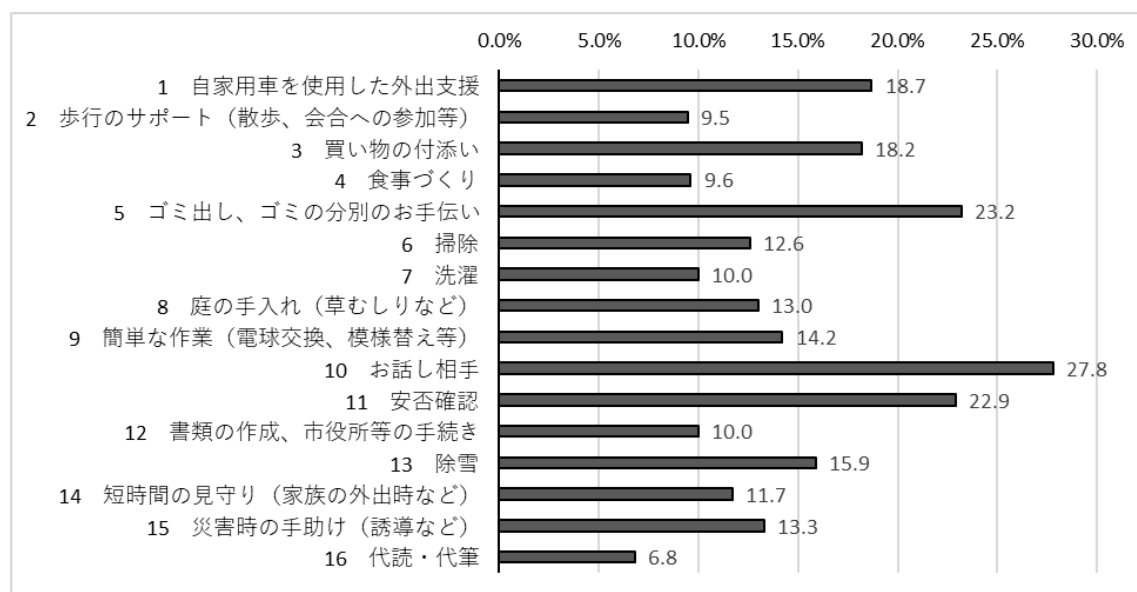
|                       | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------------------|-------|-------|
| 1 自家用車を使用した外出支援       | 96    | 9.9   |
| 2 歩行のサポート(散歩、会合への参加等) | 21    | 2.2   |
| 3 買い物の付添い             | 61    | 6.3   |
| 4 食事づくり               | 76    | 7.9   |
| 5 ゴミ出し、ゴミの分別のお手伝い     | 68    | 7.0   |
| 6 掃除                  | 80    | 8.3   |
| 7 洗濯                  | 35    | 3.6   |
| 8 庭の手入れ(草むしりなど)       | 154   | 15.9  |
| 9 簡単な作業(電球交換、模様替え等)   | 81    | 8.4   |
| 10 お話し相手              | 62    | 6.4   |
| 11 安否確認               | 57    | 5.9   |
| 12 書類の作成、市役所等の手続き     | 104   | 10.8  |
| 13 除雪                 | 366   | 37.9  |
| 14 短時間の見守り(家族の外出時など)  | 19    | 2.0   |
| 15 災害時の手助け(誘導など)      | 163   | 16.9  |
| 16 代読・代筆              | 40    | 4.1   |
| 回答者数                  | 966   |       |



## ■手助けできること

手助けできることでは、「お話し相手」と回答した割合が27.8%で最も高かった。「ゴミ出し、ゴミの分別のお手伝い」が23.2%、「安否確認」が22.9%、「自家用車を使用した外出支援」が18.7%それに続いた。

|                       | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------------------|-------|-------|
| 1 自家用車を使用した外出支援       | 181   | 18.7  |
| 2 歩行のサポート(散歩、会合への参加等) | 92    | 9.5   |
| 3 買い物の付添い             | 176   | 18.2  |
| 4 食事づくり               | 93    | 9.6   |
| 5 ゴミ出し、ゴミの分別のお手伝い     | 224   | 23.2  |
| 6 掃除                  | 122   | 12.6  |
| 7 洗濯                  | 97    | 10.0  |
| 8 庭の手入れ(草むしりなど)       | 126   | 13.0  |
| 9 簡単な作業(電球交換、模様替え等)   | 137   | 14.2  |
| 10 お話し相手              | 269   | 27.8  |
| 11 安否確認               | 221   | 22.9  |
| 12 書類の作成、市役所等の手続き     | 97    | 10.0  |
| 13 除雪                 | 154   | 15.9  |
| 14 短時間の見守り(家族の外出時など)  | 113   | 11.7  |
| 15 災害時の手助け(誘導など)      | 128   | 13.3  |
| 16 代読・代筆              | 66    | 6.8   |
| 回答者数                  | 966   |       |



## 問7 健康について

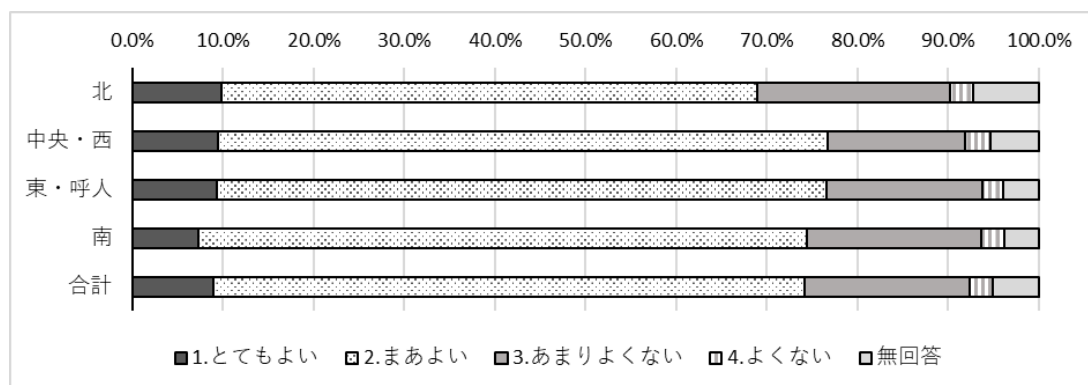
### (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (S A)

全体では、健康状態をよい(「とてもよい」または「まあよい」)と回答した人の割合は、74.2%であった。

|            |     |       |
|------------|-----|-------|
| 1. とてもよい   | 88  | 9.1   |
| 2. まあよい    | 629 | 65.1  |
| 3. あまりよくない | 176 | 18.2  |
| 4. よくない    | 25  | 2.6   |
| 無回答        | 48  | 5.0   |
| 合計         | 966 | 100.0 |

圏域別では、中央・西圏域と東・呼人圏域で割合が高く、健康状態をよいとした人が76%台であった。

| 圏域   | 人数(人) | 割合      |        |           |        |      |
|------|-------|---------|--------|-----------|--------|------|
|      |       | 1.とてもよい | 2.まあよい | 3.あまりよくない | 4.よくない | 無回答  |
| 北    | 235   | 9.8%    | 59.1%  | 21.3%     | 2.6%   | 7.2% |
| 中央・西 | 223   | 9.4%    | 67.3%  | 15.2%     | 2.7%   | 5.4% |
| 東・呼人 | 256   | 9.4%    | 67.2%  | 17.2%     | 2.3%   | 3.9% |
| 南    | 235   | 7.2%    | 67.2%  | 19.1%     | 2.6%   | 3.8% |
| 合計   | 949   | 9.0%    | 65.2%  | 18.2%     | 2.5%   | 5.1% |

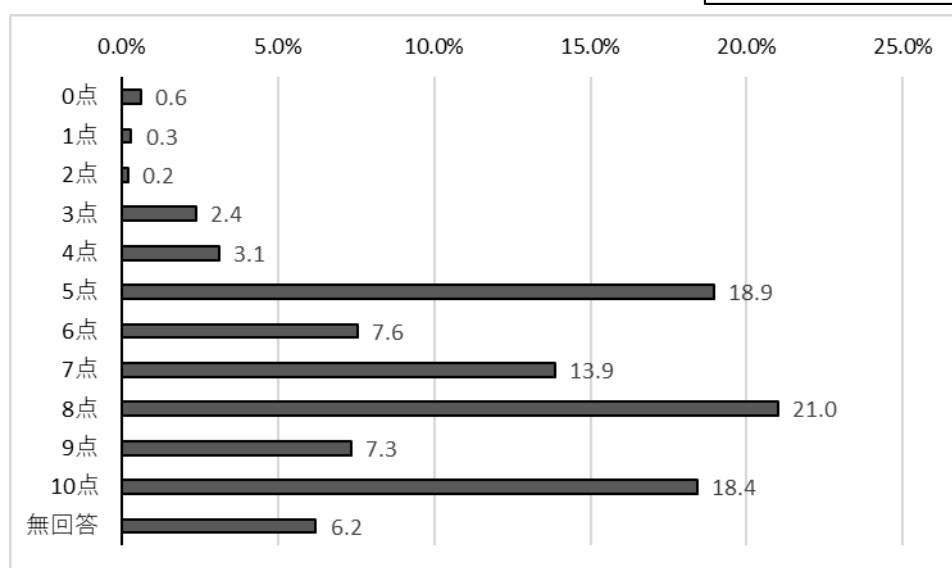


## (2) あなたは現在どの程度幸せですか (S A)

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として記入してもらったところ、「8点」の回答が最も多く、21.0%であった。次いで、「5点」が18.9%、「10点」が18.4%であった。

全体の平均は7.21点（標準偏差2.088）で、男性が7.05（標準偏差2.033）、女性が7.34（標準偏差2.101）であった。

|     | 人数(人) | 割合(%) |
|-----|-------|-------|
| 0点  | 6     | 0.6   |
| 1点  | 3     | 0.3   |
| 2点  | 2     | 0.2   |
| 3点  | 23    | 2.4   |
| 4点  | 30    | 3.1   |
| 5点  | 183   | 18.9  |
| 6点  | 73    | 7.6   |
| 7点  | 134   | 13.9  |
| 8点  | 203   | 21.0  |
| 9点  | 71    | 7.3   |
| 10点 | 178   | 18.4  |
| 無回答 | 60    | 6.2   |
| 合計  | 966   | 100.0 |



圏域別にみると、「10点」と回答した割合が最も高いのは北圏域で、20.0%であった。すべての圏域で共通して、「5点」「7点」「8点」「10点」の回答が1割を超えていた。

| 圏域   | 人数(人) | 割合   |      |      |      |      |       |      |       |       |      |       |      |
|------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|
|      |       | 0点   | 1点   | 2点   | 3点   | 4点   | 5点    | 6点   | 7点    | 8点    | 9点   | 10点   | 無回答  |
| 北    | 235   | 0.4% | 0.0% | 0.4% | 2.1% | 3.4% | 18.3% | 4.7% | 13.2% | 20.9% | 6.8% | 20.0% | 9.8% |
| 中央・西 | 223   | 0.4% | 0.4% | 0.4% | 1.3% | 4.0% | 19.3% | 6.7% | 15.2% | 19.3% | 8.5% | 18.8% | 5.4% |
| 東・呼人 | 256   | 0.0% | 0.4% | 0.0% | 3.1% | 1.2% | 18.0% | 9.8% | 15.6% | 22.7% | 7.4% | 16.8% | 5.1% |
| 南    | 235   | 1.3% | 0.4% | 0.0% | 2.1% | 4.3% | 21.3% | 8.9% | 10.6% | 20.4% | 7.2% | 18.3% | 5.1% |
| 合計   | 949   | 0.5% | 0.3% | 0.2% | 2.2% | 3.2% | 19.2% | 7.6% | 13.7% | 20.9% | 7.5% | 18.4% | 6.3% |

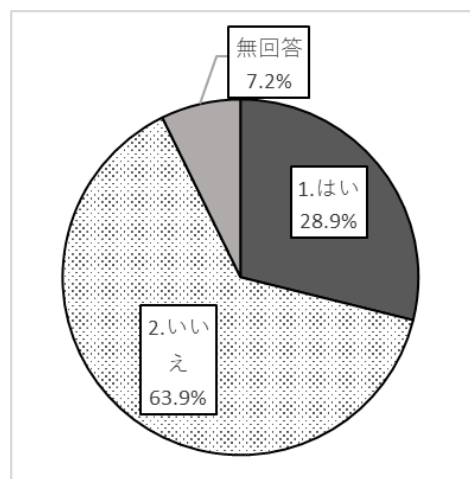
<平均値>北圏域：7.33（標準偏差2.091）中央・西圏域：7.23（標準偏差2.084）

東・呼人圏域：7.25（標準偏差1.935）南圏域：7.06（標準偏差2.202）

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (SA)

この1か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたという回答は28.9%であった。

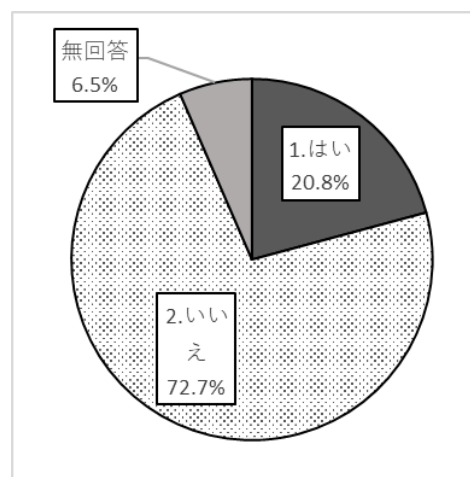
|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 279   | 28.9  |
| 2.いいえ | 617   | 63.9  |
| 無回答   | 70    | 7.2   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (SA)

この1か月間に、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったという回答は、20.8%であった。

|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 201   | 20.8  |
| 2.いいえ | 702   | 72.7  |
| 無回答   | 63    | 6.5   |
| 合計    | 966   | 100.0 |

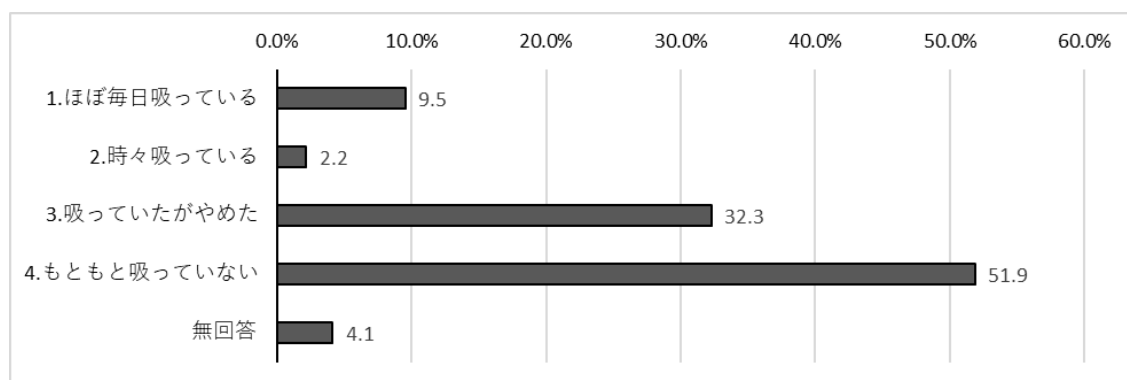


(5) タバコは吸っていますか (SA)

タバコを「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」という喫煙習慣がある人は、11.7%であった。「吸っていたがやめた」のが32.3%、「もともと吸っていない」が51.9%であった。

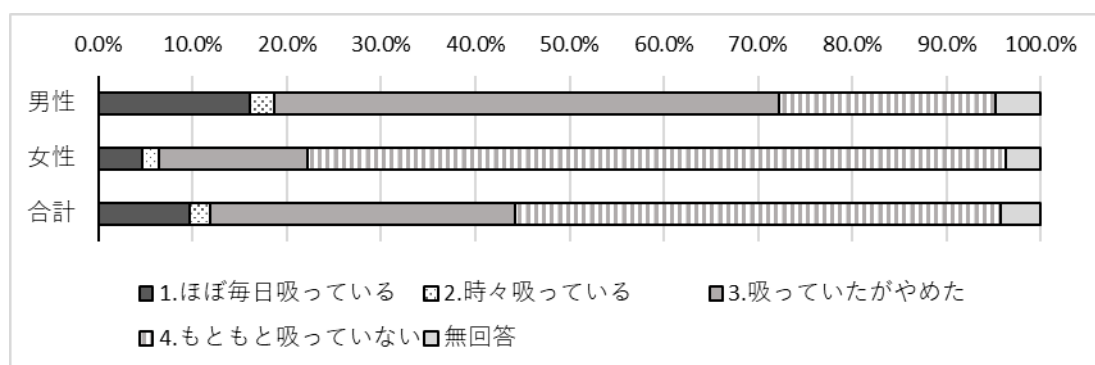
|              | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|-------|
| 1.ほぼ毎日吸っている  | 92    | 9.5   |
| 2.時々吸っている    | 21    | 2.2   |
| 3.吸っていたがやめた  | 312   | 32.3  |
| 4.もともと吸っていない | 501   | 51.9  |
| 無回答          | 40    | 4.1   |
| 合計           | 966   | 100.0 |





男女別にみると、男性の18.7%に喫煙習慣があるのに対して、女性は6.4%であった。男性の場合、「もともと吸っていない」は23.0%に過ぎず、「吸っていたがやめた」が53.5%を占めていた。

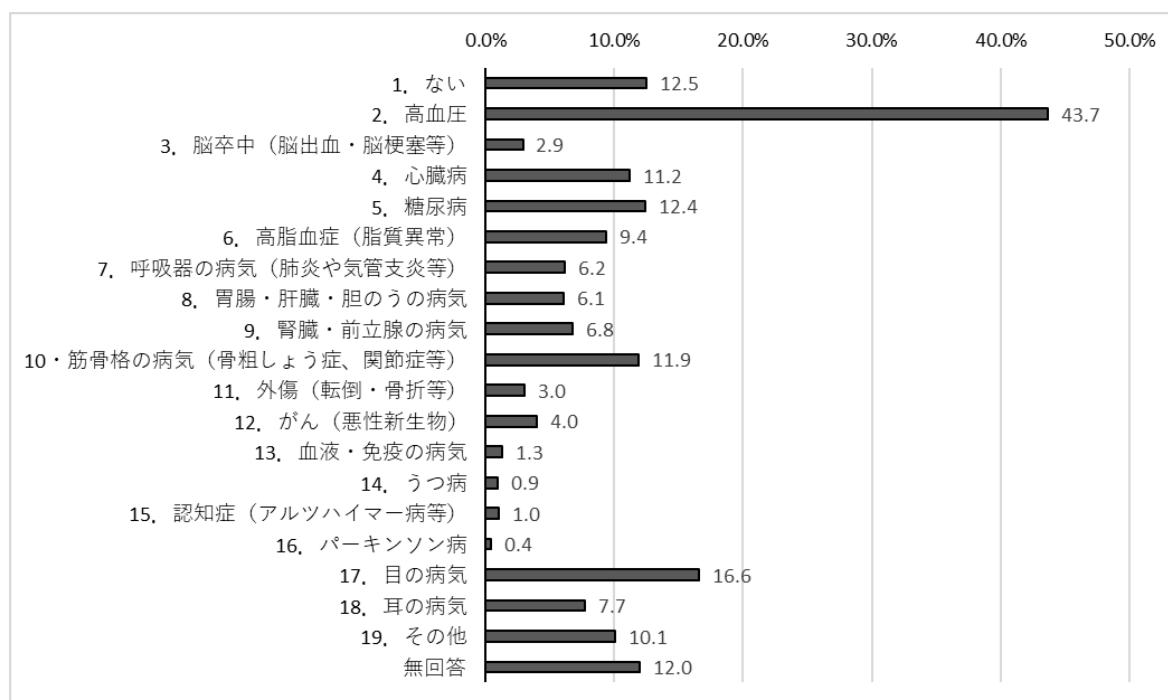
| 性別 | 人数(人) | 割合           |            |              |               |      |
|----|-------|--------------|------------|--------------|---------------|------|
|    |       | 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている | 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない | 無回答  |
| 男性 | 417   | 16.1%        | 2.6%       | 53.5%        | 23.0%         | 4.8% |
| 女性 | 532   | 4.7%         | 1.7%       | 15.8%        | 74.1%         | 3.8% |
| 合計 | 949   | 9.7%         | 2.1%       | 32.3%        | 51.6%         | 4.2% |



#### (6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (MA)

「高血圧」と回答した割合が43.7%であった。次いで高いのは、「目の病気」16.6%、であった。「その他」には「アレルギー」、「腰痛」、「甲状腺の病気」、「痛風」、「皮膚の病気」などが挙げられていた。

|                        | 人数(人) | 割合(%) |
|------------------------|-------|-------|
| 1. ない                  | 121   | 12.5  |
| 2. 高血圧                 | 422   | 43.7  |
| 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)       | 28    | 2.9   |
| 4. 心臓病                 | 108   | 11.2  |
| 5. 糖尿病                 | 120   | 12.4  |
| 6. 高脂血症(脂質異常)          | 91    | 9.4   |
| 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)    | 60    | 6.2   |
| 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気        | 59    | 6.1   |
| 9. 腎臓・前立腺の病気           | 66    | 6.8   |
| 10・筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) | 115   | 11.9  |
| 11. 外傷(転倒・骨折等)         | 29    | 3.0   |
| 12. がん(悪性新生物)          | 39    | 4.0   |
| 13. 血液・免疫の病気           | 13    | 1.3   |
| 14. うつ病                | 9     | 0.9   |
| 15. 認知症(アルツハイマー病等)     | 10    | 1.0   |
| 16. パーキンソン病            | 4     | 0.4   |
| 17. 目の病気               | 160   | 16.6  |
| 18. 耳の病気               | 74    | 7.7   |
| 19. その他                | 98    | 10.1  |
| 無回答                    | 116   | 12.0  |
| 回答者数                   | 966   |       |



男女別にみると、男性と女性で割合に大きな違いがあったのは、「筋骨格の病気」（女性が男性よりも 13.1%ポイント高い）、「腎臓・前立腺の病気」（男性が女性よりも 12.6%ポイント高い）、「糖尿病」（男性が女性よりも 4.8%ポイント高い）であった。

| 性別 | 人数<br>(人) | 割合    |             |             |             |             |                  |                            |                                     |                          |                      |
|----|-----------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|----------------------------|-------------------------------------|--------------------------|----------------------|
|    |           | ない    | 高<br>血<br>圧 | 脳<br>卒<br>中 | 心<br>臓<br>病 | 糖<br>尿<br>病 | 高<br>脂<br>血<br>症 | 呼<br>吸<br>器<br>の<br>病<br>気 | 胆 胃<br>の 腸<br>う ・<br>の 肝 臓<br>病 気 ・ | の 腎<br>病 気 ・<br>前 立<br>腺 | 筋<br>骨 格<br>の<br>病 気 |
| 男性 | 417       | 11.8% | 46.5%       | 4.8%        | 13.7%       | 15.1%       | 7.0%             | 6.2%                       | 5.5%                                | 13.9%                    | 4.6%                 |
| 女性 | 532       | 12.8% | 41.9%       | 1.5%        | 9.6%        | 10.3%       | 11.5%            | 5.8%                       | 6.8%                                | 1.3%                     | 17.7%                |
| 合計 | 949       | 12.3% | 43.9%       | 3.0%        | 11.4%       | 12.4%       | 9.5%             | 6.0%                       | 6.2%                                | 6.8%                     | 11.9%                |

| 性別 | 人数<br>(人) | 割合     |        |                       |             |             |                              |                  |                  |             |
|----|-----------|--------|--------|-----------------------|-------------|-------------|------------------------------|------------------|------------------|-------------|
|    |           | 外<br>傷 | が<br>ん | 病 血<br>気 液 ・<br>免 疫 の | う<br>つ<br>病 | 認<br>知<br>症 | 病 パ<br>ー<br>キ<br>ン<br>ソ<br>ン | 目<br>の<br>病<br>気 | 耳<br>の<br>病<br>気 | そ<br>の<br>他 |
| 男性 | 417       | 1.4%   | 5.3%   | 0.5%                  | 1.0%        | 1.2%        | 0.5%                         | 15.3%            | 8.9%             | 6.7%        |
| 女性 | 532       | 4.3%   | 3.0%   | 2.1%                  | 0.8%        | 0.9%        | 0.4%                         | 17.5%            | 6.8%             | 12.6%       |
| 合計 | 949       | 3.1%   | 4.0%   | 1.4%                  | 0.8%        | 1.1%        | 0.4%                         | 16.5%            | 7.7%             | 10.0%       |

圏域別にみると、北圏域で「がん」が6.0%、中央・西圏域で「筋骨格の病気」が13.5%、東・呼人圏域で「糖尿病」が15.2%、南圏域で「高血圧」が47.7%、「心臓病」が14.9%、などが他圏域に比べて高い傾向がある。

| 圏域   | 人数<br>(人) | 割合    |             |             |             |             |                  |                            |                                     |                          |                      |
|------|-----------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|----------------------------|-------------------------------------|--------------------------|----------------------|
|      |           | ない    | 高<br>血<br>圧 | 脳<br>卒<br>中 | 心<br>臓<br>病 | 糖<br>尿<br>病 | 高<br>脂<br>血<br>症 | 呼<br>吸<br>器<br>の<br>病<br>気 | 胆 胃<br>の 腸<br>う ・<br>の 肝 臓<br>病 気 ・ | の 腎<br>病 気 ・<br>前 立<br>腺 | 筋<br>骨 格<br>の<br>病 気 |
| 北    | 235       | 12.3% | 42.1%       | 3.4%        | 8.9%        | 8.5%        | 8.9%             | 6.8%                       | 5.1%                                | 8.9%                     | 12.3%                |
| 中央・西 | 223       | 13.5% | 45.3%       | 4.0%        | 9.4%        | 12.1%       | 9.9%             | 4.0%                       | 4.9%                                | 4.5%                     | 13.5%                |
| 東・呼人 | 256       | 11.7% | 41.0%       | 2.0%        | 12.1%       | 15.2%       | 10.2%            | 6.3%                       | 7.0%                                | 5.9%                     | 11.7%                |
| 南    | 235       | 11.9% | 47.7%       | 2.6%        | 14.9%       | 13.6%       | 8.9%             | 6.8%                       | 7.7%                                | 8.1%                     | 10.2%                |
| 合計   | 949       | 12.3% | 43.9%       | 3.0%        | 11.4%       | 12.4%       | 9.5%             | 6.0%                       | 6.2%                                | 6.8%                     | 11.9%                |

| 圏域   | 人数<br>(人) | 割合     |        |                       |             |             |                              |                  |                  |             |
|------|-----------|--------|--------|-----------------------|-------------|-------------|------------------------------|------------------|------------------|-------------|
|      |           | 外<br>傷 | が<br>ん | 病 血<br>気 液 ・<br>免 疫 の | う<br>つ<br>病 | 認<br>知<br>症 | 病 パ<br>ー<br>キ<br>ン<br>ソ<br>ン | 目<br>の<br>病<br>気 | 耳<br>の<br>病<br>気 | そ<br>の<br>他 |
| 北    | 235       | 2.6%   | 6.0%   | 1.3%                  | 1.3%        | 1.7%        | 0.0%                         | 17.0%            | 6.4%             | 7.7%        |
| 中央・西 | 223       | 2.7%   | 2.7%   | 1.3%                  | 1.8%        | 1.3%        | 0.0%                         | 15.2%            | 6.3%             | 8.5%        |
| 東・呼人 | 256       | 2.7%   | 3.5%   | 2.0%                  | 0.4%        | 0.4%        | 0.8%                         | 15.6%            | 9.4%             | 11.7%       |
| 南    | 235       | 4.3%   | 3.8%   | 0.9%                  | 0.0%        | 0.9%        | 0.9%                         | 18.3%            | 8.5%             | 11.9%       |
| 合計   | 949       | 3.1%   | 4.0%   | 1.4%                  | 0.8%        | 1.1%        | 0.4%                         | 16.5%            | 7.7%             | 10.0%       |

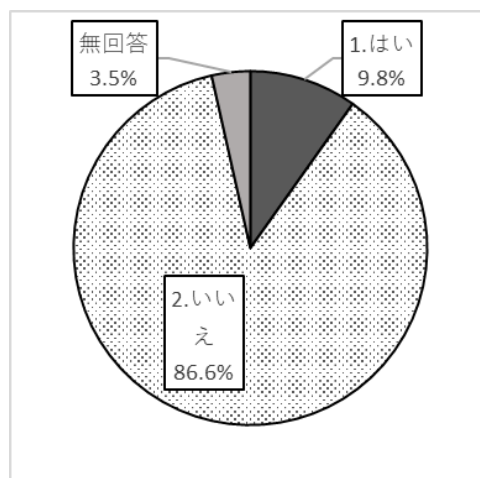
## 問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

(S A)

自身に認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいると回答した割合は、9.8%であった。

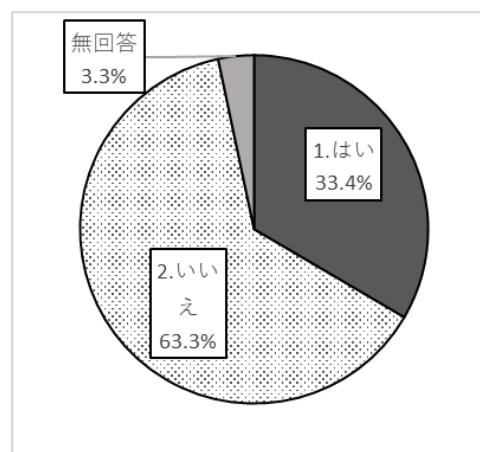
|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 95    | 9.8   |
| 2.いいえ | 837   | 86.6  |
| 無回答   | 34    | 3.5   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (S A)

認知症に関する相談窓口を知っているのは、33.4%であった。

|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1.はい  | 323   | 33.4  |
| 2.いいえ | 611   | 63.3  |
| 無回答   | 32    | 3.3   |
| 合計    | 966   | 100.0 |



問 8(1)と(2)をもとに、認知症の症状の有無と窓口の認知度をクロス集計したところ、自身又は家族に認知症の症状がある場合、55.8%が窓口を知っていると回答した。

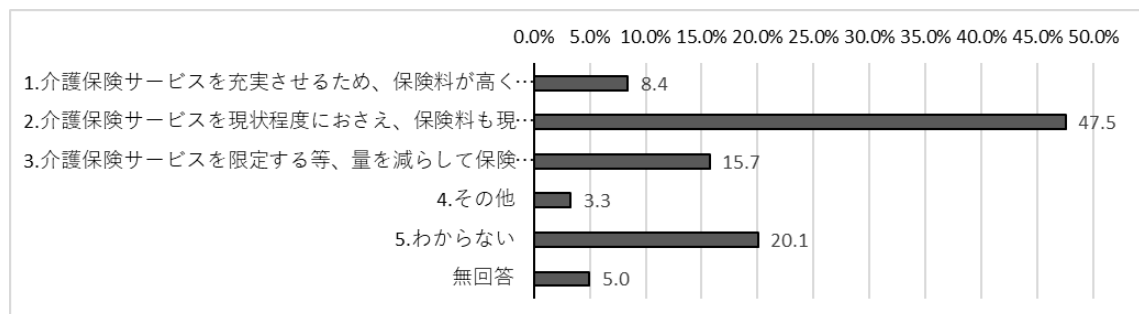
| 認知症の<br>症状 | 人数(人) | 割合       |         |       |
|------------|-------|----------|---------|-------|
|            |       | 窓口を知っている | 窓口を知らない | 無回答   |
| はい         | 95    | 55.8%    | 43.2%   | 1.1%  |
| いいえ        | 837   | 32.1%    | 66.8%   | 1.1%  |
| 無回答        | 34    | 2.9%     | 32.4%   | 64.7% |
| 合計         | 966   | 33.4%    | 63.3%   | 3.3%  |

## 問9 介護保険料について

### (1) 介護保険料について、どのようにお考えですか（SA）

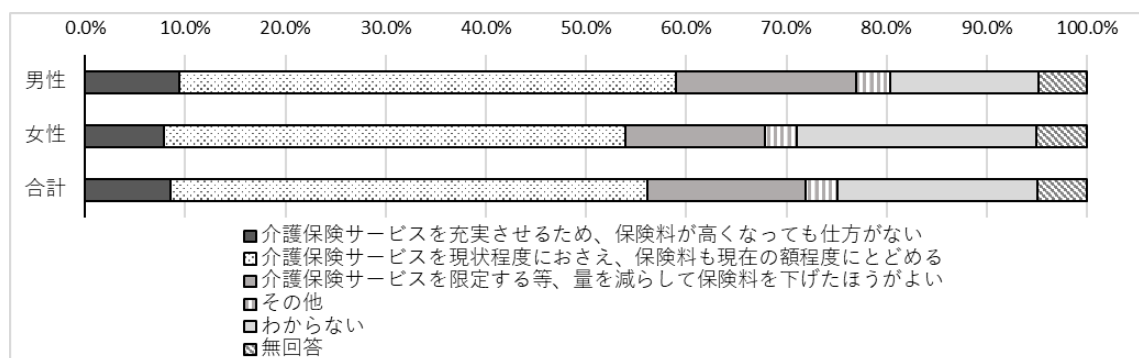
「介護保険サービスの内容や量を現状程度におさえ、保険料も現在の額程度にとどめる」と回答した割合が最も高く、47.5%であった。次いで、「わからない」が20.1%、「介護保険サービスの内容を限定する等、量を減らして保険料をもっと下げたほうがよい」が15.7%の順に割合が高かった。

|                                     | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------------------------|-------|-------|
| 1.介護保険サービスを充実させるため、保険料が高くなっても仕方がない  | 81    | 8.4   |
| 2.介護保険サービスを現状程度におさえ、保険料も現在の額程度にとどめる | 459   | 47.5  |
| 3.介護保険サービスを限定する等、量を減らして保険料を下げたほうがよい | 152   | 15.7  |
| 4.その他                               | 32    | 3.3   |
| 5.わからない                             | 194   | 20.1  |
| 無回答                                 | 48    | 5.0   |
| 合計                                  | 966   | 100.0 |



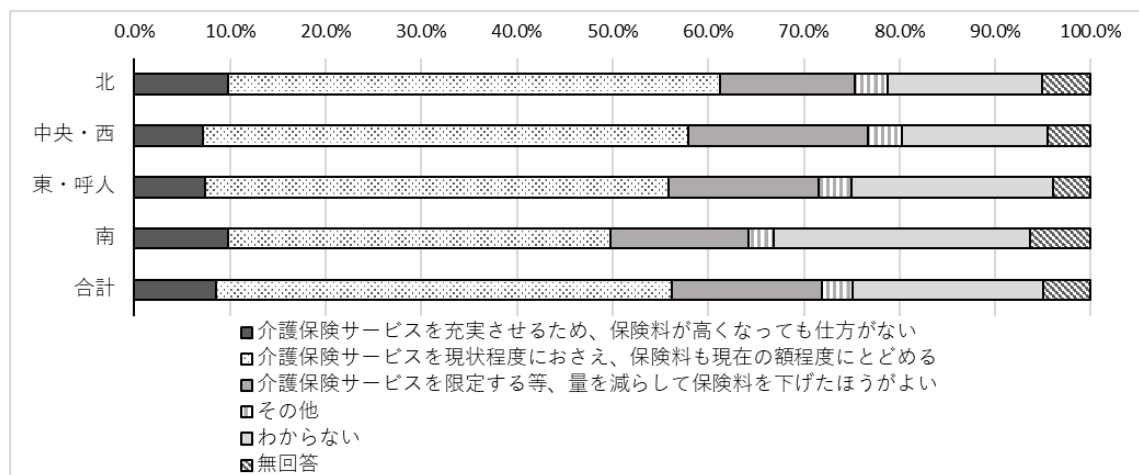
男女別にみると、女性は「わからない」と回答した割合が男性に比べて高く、23.9%であった。

| 性別 | 人数(人) | 割合                               |                                   |                                   |      |       |      |
|----|-------|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------|-------|------|
|    |       | 介護保険サービスを充実させるため、保険料が高くなっても仕方がない | 介護保険サービスを現状程度におさえ、保険料も現在の額程度にとどめる | 介護保険サービスを限定する等、量を減らして保険料を下げたほうがよい | その他  | わからない | 無回答  |
| 男性 | 417   | 9.4%                             | 49.6%                             | 18.0%                             | 3.4% | 14.9% | 4.8% |
| 女性 | 532   | 7.9%                             | 46.1%                             | 13.9%                             | 3.2% | 23.9% | 5.1% |
| 合計 | 949   | 8.5%                             | 47.6%                             | 15.7%                             | 3.3% | 19.9% | 5.0% |



圏域別にみると、北圏域では「介護保険サービスの内容を限定する等、量を減らして保険料をもっと下げたほうがよい」との回答が他圏域よりも低く 14.0%であった。同時に北圏域は「介護保険サービスを充実させるため、保険料がある程度高くなっても仕方がない」との回答割合は相対的に高く、9.8%であった。

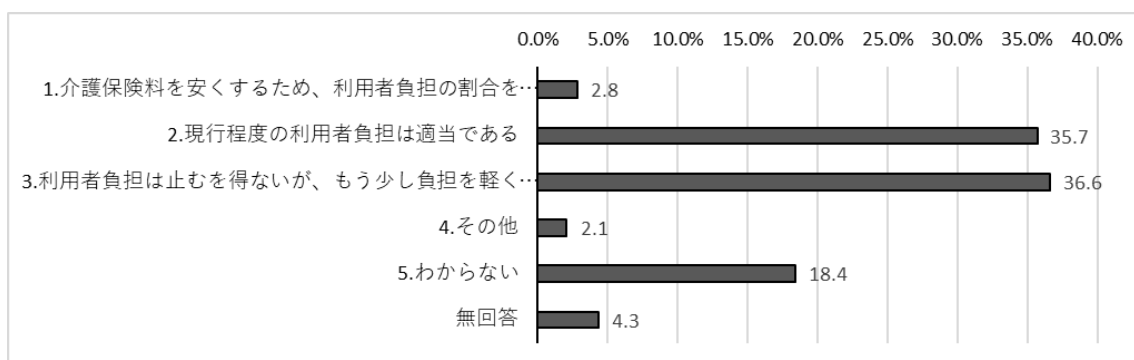
| 圏域   | 人数(人) | 割合                                   |                                   |                                      |      |       |      |
|------|-------|--------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|------|-------|------|
|      |       | 介護保険サービスを充実させるため、保険料がある程度高くなっても仕方がない | 介護保険サービスを現状程度におさえ、保険料も現在の額程度にとどめる | 介護保険サービスの内容を限定する等、量を減らして保険料を下げたほうがよい | その他  | わからない | 無回答  |
| 北    | 235   | 9.8%                                 | 51.5%                             | 14.0%                                | 3.4% | 16.2% | 5.1% |
| 中央・西 | 223   | 7.2%                                 | 50.7%                             | 18.8%                                | 3.6% | 15.2% | 4.5% |
| 東・呼人 | 256   | 7.4%                                 | 48.4%                             | 15.6%                                | 3.5% | 21.1% | 3.9% |
| 南    | 235   | 9.8%                                 | 40.0%                             | 14.5%                                | 2.6% | 26.8% | 6.4% |
| 合計   | 949   | 8.5%                                 | 47.6%                             | 15.7%                                | 3.3% | 19.9% | 5.0% |



## (2) 介護保険サービスの利用者負担について、どのようにお考えですか (S A)

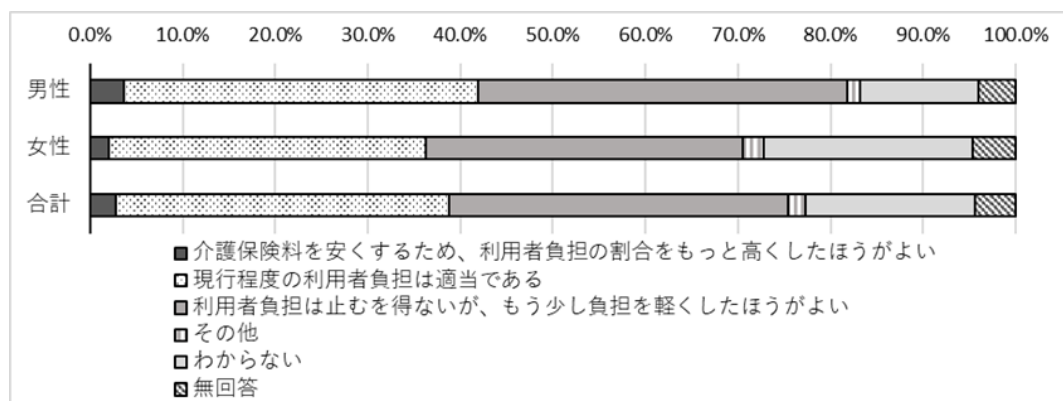
「利用者負担は止むを得ないが、もう少し軽くしたほうがよい」と回答した割合が最も高く、36.6%であった。次いで、「現行程度(1～3割)の利用者負担は適当である」が35.7%、「わからない」が18.4%の順に割合が高かった。

|                                      | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------------------------|-------|-------|
| 1.介護保険料を安くするため、利用者負担の割合をもっと高くしたほうがよい | 27    | 2.8   |
| 2.現行程度の利用者負担は適当である                   | 345   | 35.7  |
| 3.利用者負担は止むを得ないが、もう少し負担を軽くしたほうがよい     | 354   | 36.6  |
| 4.その他                                | 20    | 2.1   |
| 5.わからない                              | 178   | 18.4  |
| 無回答                                  | 42    | 4.3   |
| 合計                                   | 966   | 100.0 |



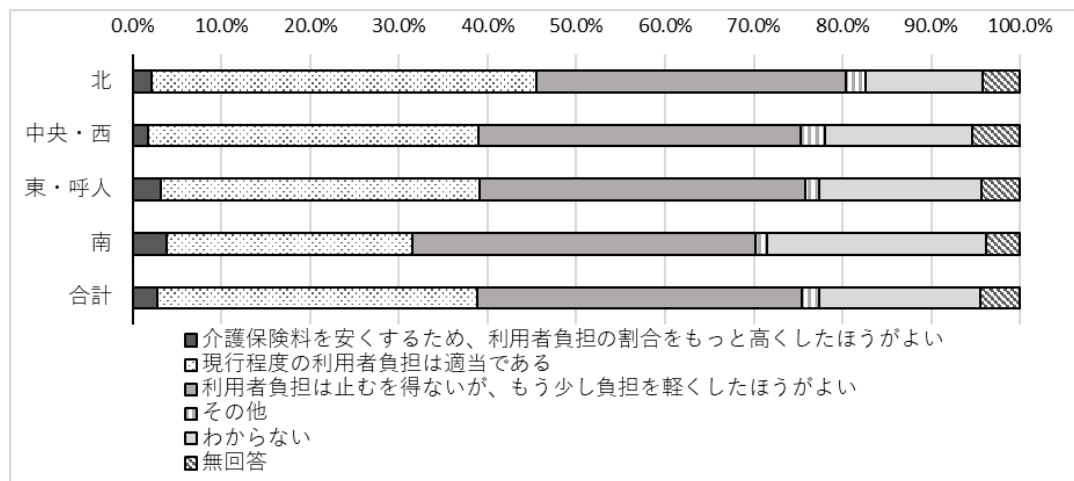
男女別にみると、女性は「現行程度（１～３割）の利用者負担は適当である」と「利用者負担は止むを得ないが、もう少し負担を軽くしたほうがよい」がどちらも 34% 台であった。それに対して、男性では前者は 38.4%、後者は 39.8% とやや高かった。また、女性は「わからない」が 2 割を超えていた。

| 性別 | 人数(人) | 割合                                                                 |                                              |                                                                |             |                       |             |
|----|-------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------|-----------------------|-------------|
|    |       | しのる介<br>た割た護<br>ほ合め保<br>うを、険<br>がも利料<br>よつ用を<br>いと者安<br>高負く<br>く担す | 担現<br>は行<br>適程<br>当度<br>での<br>あ利<br>る用<br>者負 | が負得利<br>よ担ない<br>いをい者<br>軽が負<br>く、担<br>しもは<br>たう止<br>ほ少む<br>うしを | そ<br>の<br>他 | わ<br>か<br>ら<br>な<br>い | 無<br>回<br>答 |
| 男性 | 417   | 3.6%                                                               | 38.4%                                        | 39.8%                                                          | 1.4%        | 12.7%                 | 4.1%        |
| 女性 | 532   | 2.1%                                                               | 34.2%                                        | 34.2%                                                          | 2.3%        | 22.6%                 | 4.7%        |
| 合計 | 949   | 2.7%                                                               | 36.0%                                        | 36.7%                                                          | 1.9%        | 18.2%                 | 4.4%        |



圏域別にみると、北圏域では「現行程度（1～3割）の利用者負担は適当である」が最も高く 43.4%であったのに対し、南圏域では 27.7%にとどまっていた。いずれの圏域でも「利用者負担は止むを得ないが、もう少し負担を軽くしたほうがよい」が 36%前後であった。南圏域では「わからない」が 24.7%と高い割合になっていた。

| 圏域   | 人数(人) | 割合                                                                 |                                       |                                                                |             |                       |             |
|------|-------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------|-----------------------|-------------|
|      |       | しのる介<br>た割た護<br>ほ合め保<br>うを、陰<br>がも利料<br>よつ用を<br>いと者安<br>高負く<br>く担す | 担現<br>は行<br>適程<br>当度<br>の利<br>用者<br>負 | が負得利<br>よ担な用<br>いをい者<br>軽が負<br>く、担<br>しもは<br>たう止<br>ほ少む<br>うしを | そ<br>の<br>他 | わ<br>か<br>ら<br>な<br>い | 無<br>回<br>答 |
| 北    | 235   | 2.1%                                                               | 43.4%                                 | 34.9%                                                          | 2.1%        | 13.2%                 | 4.3%        |
| 中央・西 | 223   | 1.8%                                                               | 37.2%                                 | 36.3%                                                          | 2.7%        | 16.6%                 | 5.4%        |
| 東・呼人 | 256   | 3.1%                                                               | 35.9%                                 | 36.7%                                                          | 1.6%        | 18.4%                 | 4.3%        |
| 南    | 235   | 3.8%                                                               | 27.7%                                 | 38.7%                                                          | 1.3%        | 24.7%                 | 3.8%        |
| 合計   | 949   | 2.7%                                                               | 36.0%                                 | 36.7%                                                          | 1.9%        | 18.2%                 | 4.4%        |





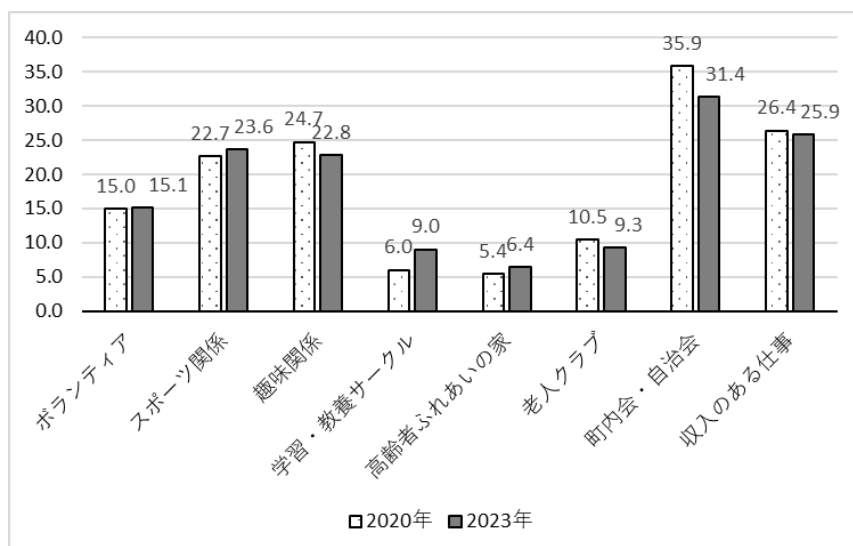
## 第3編 トピック分析

### 1 地域の会・グループ活動への参加率の変化

問5（1）では地域での会やグループ等への参加頻度を調べている。「参加していない」と「無回答」を除いた参加している者の割合を「参加率」として、コロナ禍でどのような変化があったのかを2020年に行われた第8期調査結果と比較した。

2020年と2023年を比較したところ、「町内会・自治会」の参加率が大幅に減少し、35.9%から31.4%となっていた。「趣味関係」も24.7%から22.8%に、「老人クラブ」も10.5%から9.3%に減少していた。他方、「学習・教養サークル」は6.0%から9.0%に増加した。「高齢者ふれあいの家」が5.4%から6.4%に、「スポーツ関係」が22.7%から23.6%に微増していた。「ボランティア」や「収入のある仕事」はほぼ横ばいであった（図1-1）。

図1-1 地域の会・グループ活動への参加率の変化（2020年-2023年）



## 2 地域住民有志グループ活動への参加希望に関する属性分析

### (1) 参加者としての参加希望

問5(2)でみたように、地域住民の有志によるグループ活動について、「参加者として」参加したい者は、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせて51.5%であったのに対して、参加したくないとする者が37.6%であった。健康づくり活動や趣味等のグループ活動を通じた地域づくりは、介護予防にとって重要であり、どのような属性の者が「参加者として」参加したいと回答しているかを検討した。

男女別にみると、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせると男性は54.0%、女性は49.6%が参加を希望しており、男性のほうがやや割合が高かった(表2-1)。

表2-1 性別・問5(2)参加者としての参加希望

(単位 上段:人 下段:%)

| 性別 | 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい   | 3. 参加したくない   | 4. 既に参加している | 無回答        | 総数            | (再掲)参加希望     |
|----|------------|--------------|--------------|-------------|------------|---------------|--------------|
| 男  | 18<br>4.3% | 207<br>49.6% | 158<br>37.9% | 18<br>4.3%  | 16<br>3.8% | 417<br>100.0% | 225<br>54.0% |
| 女  | 33<br>6.2% | 231<br>43.4% | 199<br>37.4% | 39<br>7.3%  | 30<br>5.6% | 532<br>100.0% | 264<br>49.6% |
| 合計 | 51<br>5.4% | 438<br>46.2% | 357<br>37.6% | 57<br>6.0%  | 46<br>4.8% | 949<br>100.0% | 489<br>51.5% |

年齢階級別では、80歳未満は総じて55%前後が参加を希望していた。80-84歳は参加希望が49.7%であるが、「既に参加している」は最も高く、8.4%であった。85歳以上になると30.6%しか参加希望がならず、「参加したくない」が過半数の53.7%を占めていた(表2-2)。

表2-2 年齢5歳階級・問5(2)参加者としての参加希望

(単位 上段:人 下段:%)

| 年齢5歳階級 | 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい   | 3. 参加したくない   | 4. 既に参加している | 無回答        | 総数            | (再掲)参加希望     |
|--------|------------|--------------|--------------|-------------|------------|---------------|--------------|
| 65-69歳 | 7<br>4.0%  | 92<br>52.3%  | 64<br>36.4%  | 7<br>4.0%   | 6<br>3.4%  | 176<br>100.0% | 99<br>56.3%  |
| 70-74歳 | 13<br>4.9% | 135<br>51.1% | 93<br>35.2%  | 15<br>5.7%  | 8<br>3.0%  | 264<br>100.0% | 148<br>56.1% |
| 75-79歳 | 15<br>6.8% | 107<br>48.4% | 75<br>33.9%  | 13<br>5.9%  | 11<br>5.0% | 221<br>100.0% | 122<br>55.2% |
| 80-84歳 | 11<br>6.6% | 72<br>43.1%  | 60<br>35.9%  | 14<br>8.4%  | 10<br>6.0% | 167<br>100.0% | 83<br>49.7%  |
| 85歳以上  | 5<br>4.1%  | 32<br>26.4%  | 65<br>53.7%  | 8<br>6.6%   | 11<br>9.1% | 121<br>100.0% | 37<br>30.6%  |
| 合計     | 51<br>5.4% | 438<br>46.2% | 357<br>37.6% | 57<br>6.0%  | 46<br>4.8% | 949<br>100.0% | 489<br>51.5% |

家族構成別では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の参加希望が多く、56.7%であった。「既に参加している」が多かったのは、「1人暮らし」9.3%、「息子・娘との2世帯」8.1%であった（表2-3）。

表 2-3 性別・問5(2)参加者としての参加希望

(単位 上段:人 下段:%)

| 家族構成                | 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい   | 3. 参加したくない   | 4. 既に参加している | 無回答        | 総数            | (再掲)参加希望     |
|---------------------|------------|--------------|--------------|-------------|------------|---------------|--------------|
| 1.1人暮らし             | 10<br>4.7% | 95<br>44.4%  | 80<br>37.4%  | 20<br>9.3%  | 9<br>4.2%  | 214<br>100.0% | 105<br>49.1% |
| 2.夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) | 22<br>5.1% | 223<br>51.6% | 144<br>33.3% | 21<br>4.9%  | 22<br>5.1% | 432<br>100.0% | 245<br>56.7% |
| 3.夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 0<br>0.0%  | 18<br>51.4%  | 15<br>42.9%  | 0<br>0.0%   | 2<br>5.7%  | 35<br>100.0%  | 18<br>51.4%  |
| 4.息子・娘との2世帯         | 9<br>8.1%  | 40<br>36.0%  | 50<br>45.0%  | 9<br>8.1%   | 3<br>2.7%  | 111<br>100.0% | 49<br>44.1%  |
| 5.その他               | 10<br>7.8% | 54<br>42.2%  | 52<br>40.6%  | 3<br>2.3%   | 9<br>7.0%  | 128<br>100.0% | 64<br>50.0%  |
| 無回答                 | 2<br>4.3%  | 17<br>37.0%  | 19<br>41.3%  | 5<br>10.9%  | 3<br>6.5%  | 46<br>100.0%  | 19<br>41.3%  |
| 合計                  | 53<br>5.5% | 447<br>46.3% | 360<br>37.3% | 58<br>6.0%  | 48<br>5.0% | 966<br>100.0% | 500<br>51.8% |

健康状態別にみると、健康状態がよいほど、参加希望の割合が高く、「とてもよい」で59.1%、「まあよい」で56.0%であった（表2-4）。

表 2-4 健康状態別・問5(2)参加者としての参加希望

(単位 上段:人 下段:%)

| 健康状態      | 1. 是非参加したい  | 2. 参加してもよい   | 3. 参加したくない   | 4. 既に参加している | 無回答        | 総数            | (再掲)参加希望     |
|-----------|-------------|--------------|--------------|-------------|------------|---------------|--------------|
| 1.とてもよい   | 10<br>11.4% | 42<br>47.7%  | 25<br>28.4%  | 7<br>8.0%   | 4<br>4.5%  | 88<br>100.0%  | 52<br>59.1%  |
| 2.まあよい    | 36<br>5.7%  | 316<br>50.2% | 214<br>34.0% | 39<br>6.2%  | 24<br>3.8% | 629<br>100.0% | 352<br>56.0% |
| 3.あまりよくない | 5<br>2.8%   | 61<br>34.7%  | 95<br>54.0%  | 8<br>4.5%   | 7<br>4.0%  | 176<br>100.0% | 66<br>37.5%  |
| 4.よくない    | 1<br>4.0%   | 5<br>20.0%   | 14<br>56.0%  | 1<br>4.0%   | 4<br>16.0% | 25<br>100.0%  | 6<br>24.0%   |
| 無回答       | 1<br>2.1%   | 23<br>47.9%  | 12<br>25.0%  | 3<br>6.3%   | 9<br>18.8% | 48<br>100.0%  | 24<br>50.0%  |
| 合計        | 53<br>5.5%  | 447<br>46.3% | 360<br>37.3% | 58<br>6.0%  | 48<br>5.0% | 966<br>100.0% | 500<br>51.8% |

## （２）企画・運営（お世話役）としての参加希望

問５（３）でみたように、地域住民の有志によるグループ活動について、「企画・運営（お世話役）として」参加したい者は、31.5%であり、参加したくないとする者が58.4%であった。運営者の確保は地域での活動を維持するために必要であり、どのような属性の者が「企画・運営（お世話役）として」参加したいと回答しているかについて検討した。

まず、男女別にみると、男性のほうが参加したい者の割合が多く、36.9%であった。女性は27.3%であった（表２-５）。

表 2-5 性別・問 5(3) 企画・運営者としての参加希望

(単位 上段:人 下段:%)

| 性別 | 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい   | 3. 参加したくない   | 4. 既に参加している | 無回答        | 総数            | (再掲) 参加希望    |
|----|------------|--------------|--------------|-------------|------------|---------------|--------------|
| 男  | 10<br>2.4% | 144<br>34.5% | 228<br>54.7% | 15<br>3.6%  | 20<br>4.8% | 417<br>100.0% | 154<br>36.9% |
| 女  | 6<br>1.1%  | 139<br>26.1% | 326<br>61.3% | 20<br>3.8%  | 41<br>7.7% | 532<br>100.0% | 145<br>27.3% |
| 合計 | 16<br>1.7% | 283<br>29.8% | 554<br>58.4% | 35<br>3.7%  | 61<br>6.4% | 949<br>100.0% | 299<br>31.5% |

年齢階級別にみると、80歳未満では30%を超えており、最も多いのは70-74歳で36.0%であった（表 2-6）。

表 2-6 年齢 5 歳階級・問 5(3) 企画・運営者としての参加希望

(単位 上段:人 下段:%)

| 年齢5歳階級 | 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい   | 3. 参加したくない   | 4. 既に参加している | 無回答        | 総数            | (再掲) 参加希望    |
|--------|------------|--------------|--------------|-------------|------------|---------------|--------------|
| 65-69歳 | 2<br>1.1%  | 59<br>33.5%  | 101<br>57.4% | 6<br>3.4%   | 8<br>4.5%  | 176<br>100.0% | 61<br>34.7%  |
| 70-74歳 | 3<br>1.1%  | 92<br>34.8%  | 145<br>54.9% | 10<br>3.8%  | 14<br>5.3% | 264<br>100.0% | 95<br>36.0%  |
| 75-79歳 | 4<br>1.8%  | 70<br>31.7%  | 124<br>56.1% | 7<br>3.2%   | 16<br>7.2% | 221<br>100.0% | 74<br>33.5%  |
| 80-84歳 | 5<br>3.0%  | 41<br>24.6%  | 101<br>60.5% | 7<br>4.2%   | 13<br>7.8% | 167<br>100.0% | 46<br>27.5%  |
| 85歳以上  | 2<br>1.7%  | 21<br>17.4%  | 83<br>68.6%  | 5<br>4.1%   | 10<br>8.3% | 121<br>100.0% | 23<br>19.0%  |
| 合計     | 16<br>1.7% | 283<br>29.8% | 554<br>58.4% | 35<br>3.7%  | 61<br>6.4% | 949<br>100.0% | 299<br>31.5% |

家族構成別では、人数は少ないものの「夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）」で参加希望のある割合が 42.9%と高い数値を示していた。それ以外の家族構成では 30%前後であった（表 2-7）。

表 2-7 性別・問 5(3) 企画・運営者としての参加希望

(単位 上段:人 下段:%)

| 家族構成                | 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい   | 3. 参加したくない   | 4. 既に参加している | 無回答        | 総数            | (再掲)参加希望     |
|---------------------|------------|--------------|--------------|-------------|------------|---------------|--------------|
| 1.1人暮らし             | 4<br>1.9%  | 64<br>29.9%  | 126<br>58.9% | 8<br>3.7%   | 12<br>5.6% | 214<br>100.0% | 68<br>31.8%  |
| 2.夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) | 6<br>1.4%  | 133<br>30.8% | 251<br>58.1% | 13<br>3.0%  | 29<br>6.7% | 432<br>100.0% | 139<br>32.2% |
| 3.夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 0<br>0.0%  | 15<br>42.9%  | 17<br>48.6%  | 0<br>0.0%   | 3<br>8.6%  | 35<br>100.0%  | 15<br>42.9%  |
| 4.息子・娘との2世帯         | 2<br>1.8%  | 33<br>29.7%  | 63<br>56.8%  | 6<br>5.4%   | 7<br>6.3%  | 111<br>100.0% | 35<br>31.5%  |
| 5.その他               | 3<br>2.3%  | 34<br>26.6%  | 78<br>60.9%  | 4<br>3.1%   | 9<br>7.0%  | 128<br>100.0% | 37<br>28.9%  |
| 無回答                 | 2<br>4.3%  | 13<br>28.3%  | 24<br>52.2%  | 4<br>8.7%   | 3<br>6.5%  | 46<br>100.0%  | 15<br>32.6%  |
| 合計                  | 17<br>1.8% | 292<br>30.2% | 559<br>57.9% | 35<br>3.6%  | 63<br>6.5% | 966<br>100.0% | 309<br>32.0% |

健康状態別にみると、健康状態がよいほど、参加希望の割合が高く、「とてもよい」で 42.0%、「まあよい」で 34.3%であった(表 2-8)。

表 2-8 健康状態別・問 5(3) 企画・運営者としての参加希望

(単位 上段:人 下段:%)

| 健康状態      | 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい   | 3. 参加したくない   | 4. 既に参加している | 無回答         | 総数            | (再掲)参加希望     |
|-----------|------------|--------------|--------------|-------------|-------------|---------------|--------------|
| 1.とてもよい   | 6<br>6.8%  | 31<br>35.2%  | 42<br>47.7%  | 5<br>5.7%   | 4<br>4.5%   | 88<br>100.0%  | 37<br>42.0%  |
| 2.まあよい    | 7<br>1.1%  | 209<br>33.2% | 361<br>57.4% | 21<br>3.3%  | 31<br>4.9%  | 629<br>100.0% | 216<br>34.3% |
| 3.あまりよくない | 4<br>2.3%  | 36<br>20.5%  | 118<br>67.0% | 6<br>3.4%   | 12<br>6.8%  | 176<br>100.0% | 40<br>22.7%  |
| 4.よくない    | 0<br>0.0%  | 1<br>4.0%    | 19<br>76.0%  | 1<br>4.0%   | 4<br>16.0%  | 25<br>100.0%  | 1<br>4.0%    |
| 無回答       | 0<br>0.0%  | 15<br>31.3%  | 19<br>39.6%  | 2<br>4.2%   | 12<br>25.0% | 48<br>100.0%  | 15<br>31.3%  |
| 合計        | 17<br>1.8% | 292<br>30.2% | 559<br>57.9% | 35<br>3.6%  | 63<br>6.5%  | 966<br>100.0% | 309<br>32.0% |

### 3 たすけあいの変化と需給ギャップ

#### (1) たすけあいの変化

問6(5)は日常生活での「たすけあい」について、「手助けしてほしいこと」と「手助けできること」について調査している。住み慣れた地域で安心して生活し続けるためには、地域で支え合う仕組みづくりが重要であるが、コロナ禍でどのような変化があったのかを2020年に行われた第8期調査結果と比較した。

2020年と2023年の「手助けしてほしいこと」を比べると、ほとんどの項目で手助けを求める割合が増加していた。特に増加が大きかったのは「除雪」で、17.3%から37.9%に2倍以上に増加した。次いで多かったのは、「庭の手入れ(草むしりなど)」であり、7.5%から15.9%になっていた(図3-1)。

「手助けできること」については、すべての項目で2020年と比べて減少していた。「お話し相手」は減少幅が最も少なく、33.6%から27.8%へ5.75パーセントポイントの減少であった。それ以外はいずれも10パーセントポイント以上の減少であった(図3-2)。

図3-1 手助けしてほしいことの変化(2020年-2023年)

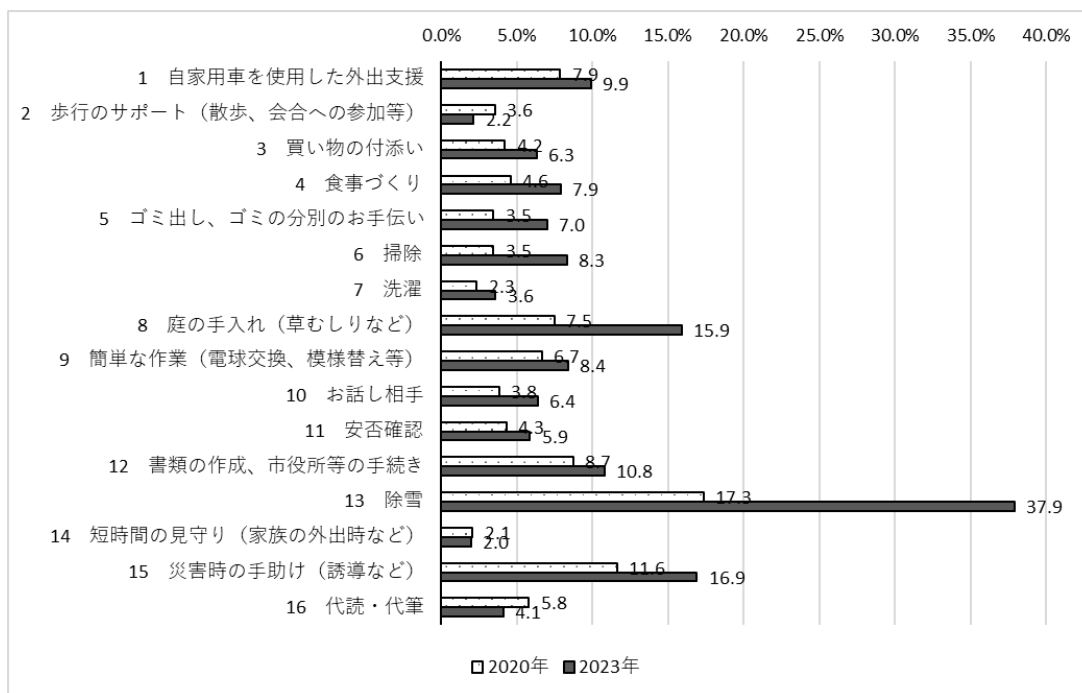
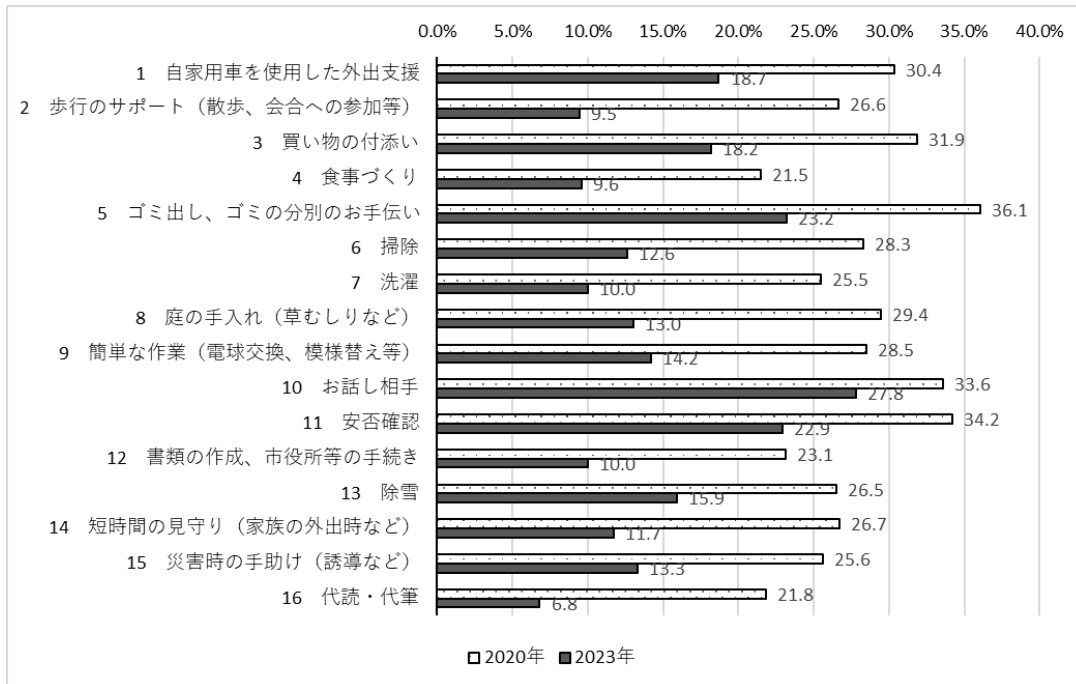


図 3-2 手助けできることの変化（2020 年-2023 年）



## （２）たすけあいの需給ギャップ

問 6（５）で示された「手助けしてほしい」項目と「手助けできる」項目に関して、仮に「手助けしてほしい」と回答している者が「手助けできる」と回答している者よりも多ければ、近隣の高齢者同士のたすけあいではその項目の支援要望を満たすことはできないことになる。そこで、各項目別に【「できる」－「してほしい」】の人数を算出し、回答者数に対する割合を示した。

その結果、全体としては「除雪」で-22.1%、「災害時の手助け」で-3.9%、「庭の手入れ」で-3.1%、「書類作成、市役所等の手続き」で-1.2%となり、高齢者同士のたすけあいではこれらの支援要望を満たせない可能性が示唆された。

圏域別にみると、「除雪」で手助けできる者が特に不足しているのは北圏域で、-26.4%であった。他の圏域でも-20%を超えていた。「災害時の手助け」については、東・呼人圏域では-0.8%だったのに対して、南圏域では-8.1%と手助けできる者が大きく不足していた。「書類作成、市役所等の手続き」についても南圏域は-6.4%であった。一方、「庭の手入れ」に関しては、南圏域以外の３圏域が不足を示していて、北圏域では-5.5%であった（表 3-1、図 3-3）。

表 3-1 圏域別・たすけあい余裕度（できる—してほしい）の回答者数に対する割合

（単位 上段：人、下段：％）

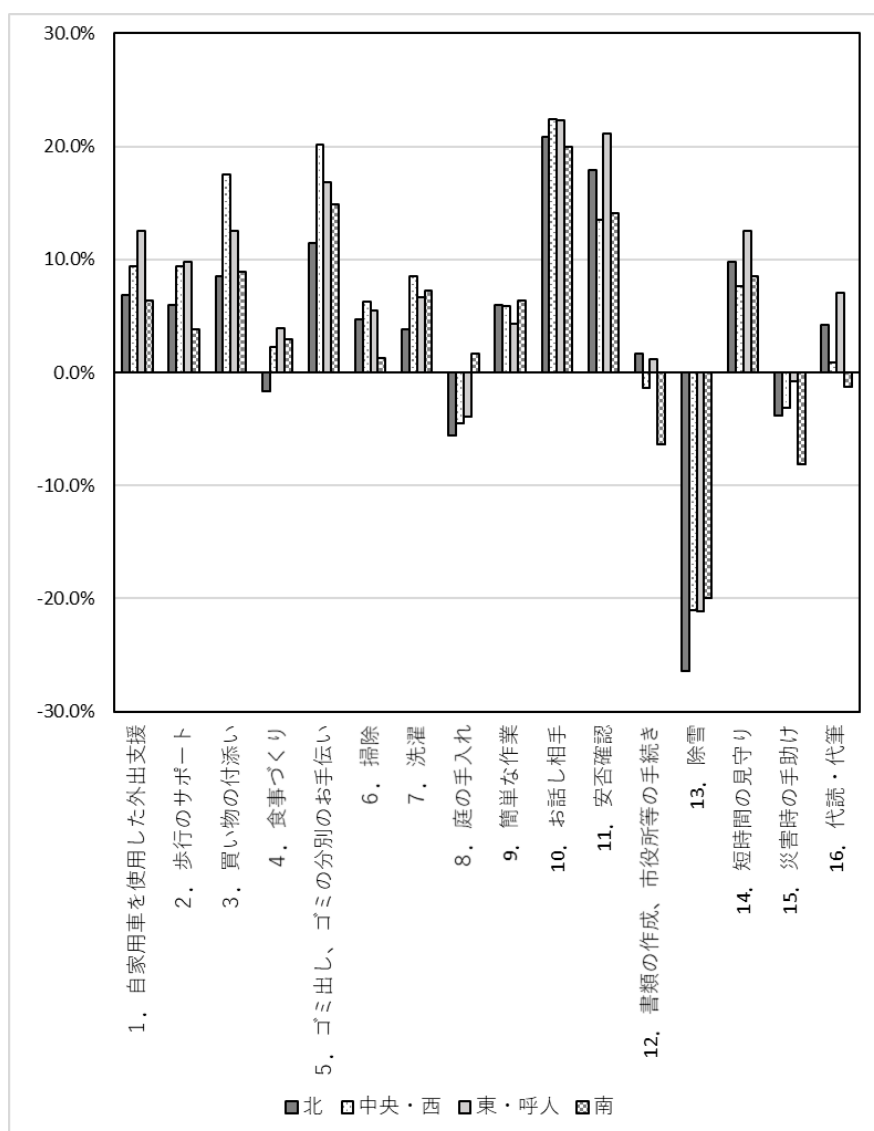
| 圏域   | 1. 自家用車を使用した外出支援 | 2. 歩行のサポート | 3. 買い物の付添い   | 4. 食事づくり    | 5. ゴミ出し、分別のお手伝い | 6. 掃除      | 7. 洗濯      | 8. 庭の手入れ     |
|------|------------------|------------|--------------|-------------|-----------------|------------|------------|--------------|
| 北    | 16<br>6.8%       | 14<br>6.0% | 20<br>8.5%   | -4<br>-1.7% | 27<br>11.5%     | 11<br>4.7% | 9<br>3.8%  | -13<br>-5.5% |
| 中央・西 | 21<br>9.4%       | 21<br>9.4% | 39<br>17.5%  | 5<br>2.2%   | 45<br>20.2%     | 14<br>6.3% | 19<br>8.5% | -10<br>-4.5% |
| 東・呼人 | 32<br>12.5%      | 25<br>9.8% | 32<br>12.5%  | 10<br>3.9%  | 43<br>16.8%     | 14<br>5.5% | 17<br>6.6% | -10<br>-3.9% |
| 南    | 15<br>6.4%       | 9<br>3.8%  | 21<br>8.9%   | 7<br>3.0%   | 35<br>14.9%     | 3<br>1.3%  | 17<br>7.2% | 4<br>1.7%    |
| 合計   | 84<br>8.9%       | 69<br>7.3% | 112<br>11.8% | 18<br>1.9%  | 150<br>15.8%    | 42<br>4.4% | 62<br>6.5% | -29<br>-3.1% |

| 圏域   | 9. 簡単な作業   | 10. お話し相手    | 11. 安否確認     | 12. 書類作成、市役所等の手続き | 13. 除雪         | 14. 短時間の見守り | 15. 災害時の手助け  | 16. 代読・代筆   |
|------|------------|--------------|--------------|-------------------|----------------|-------------|--------------|-------------|
| 北    | 14<br>6.0% | 49<br>20.9%  | 42<br>17.9%  | 4<br>1.7%         | -62<br>-26.4%  | 23<br>9.8%  | -9<br>-3.8%  | 10<br>4.3%  |
| 中央・西 | 13<br>5.8% | 50<br>22.4%  | 30<br>13.5%  | -3<br>-1.3%       | -47<br>-21.1%  | 17<br>7.6%  | -7<br>-3.1%  | 2<br>0.9%   |
| 東・呼人 | 11<br>4.3% | 57<br>22.3%  | 54<br>21.1%  | 3<br>1.2%         | -54<br>-21.1%  | 32<br>12.5% | -2<br>-0.8%  | 18<br>7.0%  |
| 南    | 15<br>6.4% | 47<br>20.0%  | 33<br>14.0%  | -15<br>-6.4%      | -47<br>-20.0%  | 20<br>8.5%  | -19<br>-8.1% | -3<br>-1.3% |
| 合計   | 53<br>5.6% | 203<br>21.4% | 159<br>16.8% | -11<br>-1.2%      | -210<br>-22.1% | 92<br>9.7%  | -37<br>-3.9% | 27<br>2.8%  |



図 3-3 圏域別・たすけあい余裕度（できる—してほしい）の回答者数に対する割合



網走市  
在宅介護実態調査  
結果報告書

令和 5 年 9 月

網走市

## 第1編 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、網走市において、令和6年度～令和8年度を期間とする第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定するにあたり、介護認定を持つ方を対象に、生活の状況や要望を把握し基礎資料とすることを目的に実施した。

### 2 調査対象および調査方法

以下のとおりの市民を対象として、郵送で調査を実施した。

|      |                                            |
|------|--------------------------------------------|
| 調査対象 | 在宅で生活している要介護認定を受けている市民のうち、65歳以上の高齢者（無作為抽出） |
| 調査方法 | 郵送による配布・回収                                 |
| 調査期間 | 令和5年5月～6月                                  |
| 発送数  | 600票                                       |
| 回収数  | 有効回収数392票（回収率65.3%）                        |

調査対象者の基本属性別の回収数・回収率は以下の通りであった。

| 圏域   | %     | 性別 | %     | 年齢     | %     | 要介護度 | %     |
|------|-------|----|-------|--------|-------|------|-------|
| 北    | 65.3% | 男  | 66.1% | 65～69歳 | 68.8% | 要介護1 | 67.0% |
| 中央・西 | 60.7% | 女  | 64.9% | 70～74歳 | 55.4% | 要介護2 | 67.7% |
| 東・呼人 | 65.3% |    |       | 75～79歳 | 69.2% | 要介護3 | 60.2% |
| 南    | 66.7% |    |       | 80～84歳 | 62.7% | 要介護4 | 60.8% |
|      |       |    |       | 85～89歳 | 62.8% | 要介護5 | 56.8% |
|      |       |    |       | 90歳以上  | 70.6% |      |       |

### 3 留意事項

- ①設問のなかには前問に答えた人のみが回答する「限定設問」があり、その設問においては表中の回答数が全体より少なくなっている。
- ②設問には1つのみ答える単数回答（SA：シングルアンサー）と、複数回答（MA：マルチアンサー）がある。
- ③割合は選択肢ごとに小数第二位で四捨五入しているため、表によってはその割合の合計が100.0%にならないものがある。
- ④クロス集計を行う際の圏域・年齢・性別・要介護区分等は、調査対象者の基本属性データに基づいて集計している。

## 第2編 調査結果

### 調査対象者の基本属性

#### ■圏域（日常生活圏域）

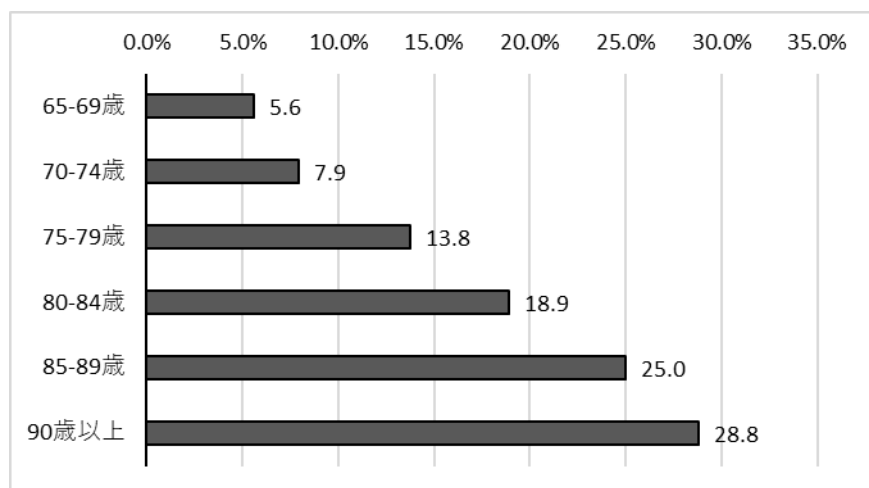
回答者の割合は、南圏域がやや高いが、圏域による大きな違いはなかった。

|      | 人数(人) | 割合(%) |
|------|-------|-------|
| 北    | 98    | 25.0  |
| 中央・西 | 91    | 23.2  |
| 東・呼人 | 98    | 25.0  |
| 南    | 100   | 25.5  |
| 無回答  | 5     | 1.3   |
| 合計   | 392   | 100.0 |

#### ■年齢

回答者の中でもっとも占める割合が高い年齢層は90歳以上の28.8%であり、次に高いのは85～89歳の25.0%である。

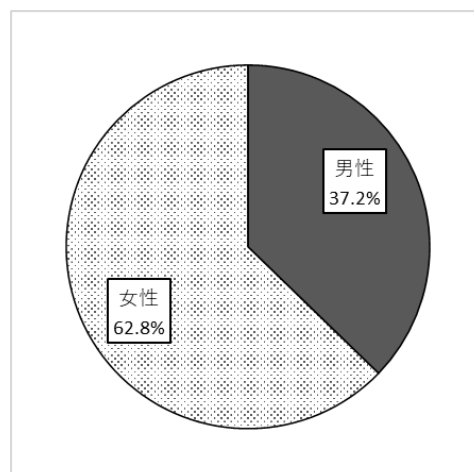
|        | 人数(人) | 割合(%) |
|--------|-------|-------|
| 65-69歳 | 22    | 5.6   |
| 70-74歳 | 31    | 7.9   |
| 75-79歳 | 54    | 13.8  |
| 80-84歳 | 74    | 18.9  |
| 85-89歳 | 98    | 25.0  |
| 90歳以上  | 113   | 28.8  |
| 合計     | 392   | 100.0 |



## ■性別

回答者の 62.8%が女性であった。もともと調査対象者の 6割強が女性であったことから、回答者も女性が多くを占めている。

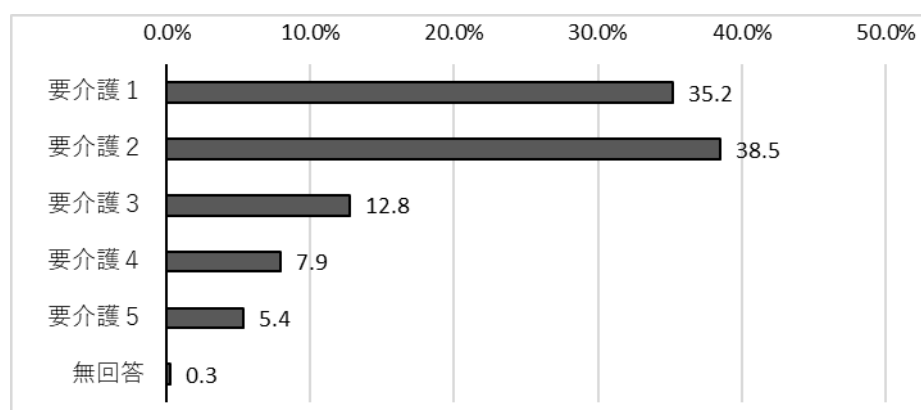
|    | 人数(人) | 割合(%) |
|----|-------|-------|
| 男性 | 146   | 37.2  |
| 女性 | 246   | 62.8  |
| 合計 | 392   | 100.0 |



## ■介護認定区分

要介護度 1 と要介護度 2 で回答者の約 7 割強を占めている。

|      | 人数(人) | 割合(%) |
|------|-------|-------|
| 要介護1 | 138   | 35.2  |
| 要介護2 | 151   | 38.5  |
| 要介護3 | 50    | 12.8  |
| 要介護4 | 31    | 7.9   |
| 要介護5 | 21    | 5.4   |
| 無回答  | 1     | 0.3   |
| 合計   | 392   | 100.0 |

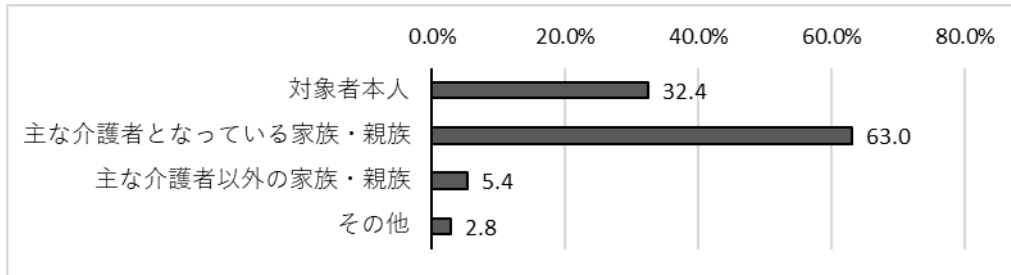


## A 票 在宅介護の現況

### 問1 調査票に回答した者（MA）

「主な介護者となっている家族・親族」と答えた割合が最も高く、63.0%であった。

|                  | 人数(人) | 割合(%) |
|------------------|-------|-------|
| 対象者本人            | 127   | 32.4  |
| 主な介護者となっている家族・親族 | 247   | 63.0  |
| 主な介護者以外の家族・親族    | 21    | 5.4   |
| その他              | 11    | 2.8   |



#### 【要介護度】

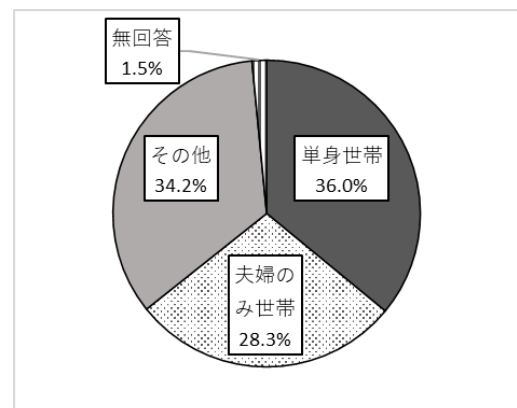
要介護度が高くなるほど、「主な介護者となっている家族・親族」が記入している割合が高くなっている。要介護5では9割が介護者による記入である。

| 要介護度 | 人数(人) | 割合      |                  |               |      |
|------|-------|---------|------------------|---------------|------|
|      |       | 調査対象者本人 | 主な介護者となっている家族・親族 | 主な介護者以外の家族・親族 | その他  |
| 要介護1 | 138   | 39.9%   | 57.2%            | 5.8%          | 0.7% |
| 要介護2 | 151   | 35.8%   | 58.3%            | 6.6%          | 4.6% |
| 要介護3 | 50    | 24.0%   | 74.0%            | 2.0%          | 4.0% |
| 要介護4 | 31    | 16.1%   | 77.4%            | 6.5%          | 0.0% |
| 要介護5 | 21    | 0.0%    | 90.5%            | 0.0%          | 4.8% |
| 全体   | 391   | 32.2%   | 63.2%            | 5.4%          | 2.8% |

### 問2 世帯類型（SA）

「単身世帯」の割合がもっとも高く36.0%で、次に高いのが「その他」で34.2%であった。

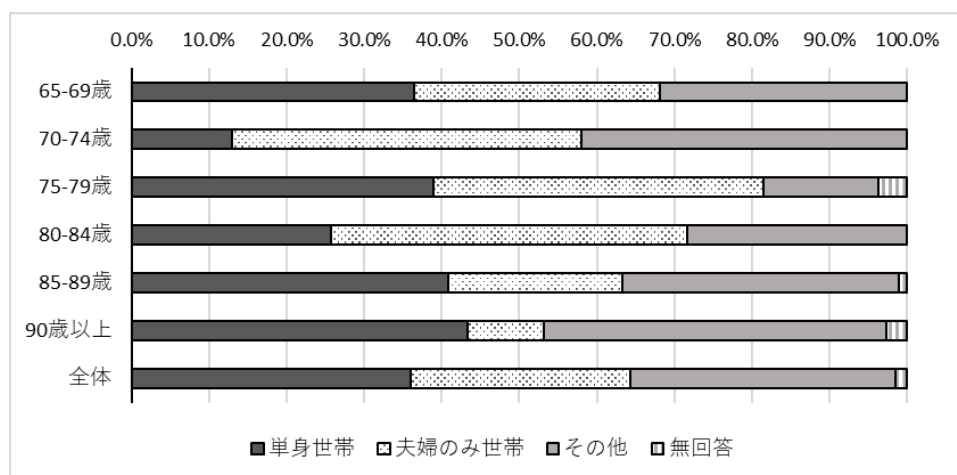
|        | 人数(人) | 割合(%) |
|--------|-------|-------|
| 単身世帯   | 141   | 36.0  |
| 夫婦のみ世帯 | 111   | 28.3  |
| その他    | 134   | 34.2  |
| 無回答    | 6     | 1.5   |
| 合計     | 392   | 100.0 |



## 【年齢】

年齢別にみると、85歳以上では「単身世帯」の割合が4割を超えている。他方、70歳から84歳では、「夫婦のみ世帯」が多く、4割台半ば前後となっている。

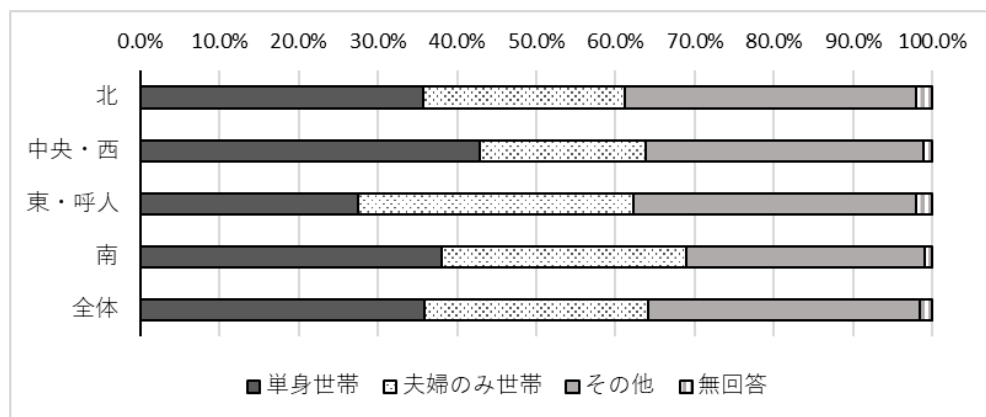
| 年齢     | 人数(人) | 割合    |        |       |      |
|--------|-------|-------|--------|-------|------|
|        |       | 単身世帯  | 夫婦のみ世帯 | その他   | 無回答  |
| 65-69歳 | 22    | 36.4% | 31.8%  | 31.8% | 0.0% |
| 70-74歳 | 31    | 12.9% | 45.2%  | 41.9% | 0.0% |
| 75-79歳 | 54    | 38.9% | 42.6%  | 14.8% | 3.7% |
| 80-84歳 | 74    | 25.7% | 45.9%  | 28.4% | 0.0% |
| 85-89歳 | 98    | 40.8% | 22.4%  | 35.7% | 1.0% |
| 90歳以上  | 113   | 43.4% | 9.7%   | 44.2% | 2.7% |
| 全体     | 392   | 36.0% | 28.3%  | 34.2% | 1.5% |



## 【圏域】

圏域別にみると、北圏域と中央・西圏域、南圏域において、「単身世帯」が3割以上を占めている。東・呼人圏域と南圏域では、「夫婦のみ世帯」の割合が3割を超えている。

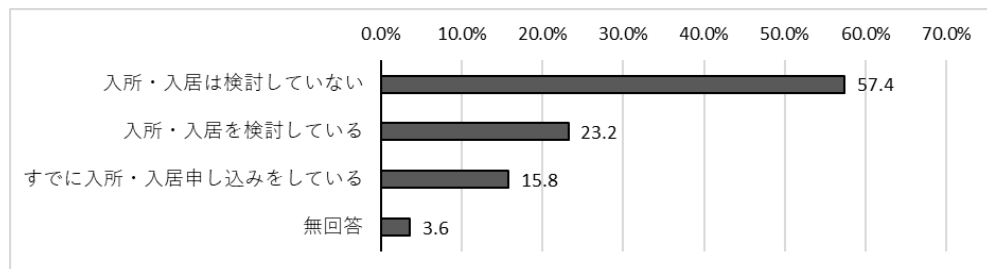
| 圏域   | 人数(人) | 割合    |        |       |      |
|------|-------|-------|--------|-------|------|
|      |       | 単身世帯  | 夫婦のみ世帯 | その他   | 無回答  |
| 北    | 98    | 35.7% | 25.5%  | 36.7% | 2.0% |
| 中央・西 | 91    | 42.9% | 20.9%  | 35.2% | 1.1% |
| 東・呼人 | 98    | 27.6% | 34.7%  | 35.7% | 2.0% |
| 南    | 100   | 38.0% | 31.0%  | 30.0% | 1.0% |
| 全体   | 387   | 35.9% | 28.2%  | 34.4% | 1.6% |



## 問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況（S A）

「入所・入居は検討していない」が半数以上であった。「入所・入居を検討している」が23.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は15.8%であった。

|                   | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------|-------|-------|
| 入所・入居は検討していない     | 225   | 57.4  |
| 入所・入居を検討している      | 91    | 23.2  |
| すでに入所・入居申し込みをしている | 62    | 15.8  |
| 無回答               | 14    | 3.6   |
| 合計                | 392   | 100.0 |



### 【性別】

「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」ともに女性の割合がやや高いが、性別による違いは少なくなっている。

| 性別 | 人数(人) | 割合            |              |                   |      |
|----|-------|---------------|--------------|-------------------|------|
|    |       | 入所・入居は検討していない | 入所・入居を検討している | すでに入所・入居申し込みをしている | 無回答  |
| 男  | 146   | 58.9%         | 22.6%        | 14.4%             | 4.1% |
| 女  | 246   | 56.5%         | 23.6%        | 16.7%             | 3.3% |
| 全体 | 392   | 57.4%         | 23.2%        | 15.8%             | 3.6% |

### 【圏域】

東・呼人圏域において、「入所・入居は検討していない」の割合が60.2%に上り、全体平均に比べ高くなっている。北圏域では「入所・入居を検討している」が29.6%と他の地域に比べてもっとも高かった一方、「すでに入所・入居申し込みをしている」は13.3%と最も低かった。

| 圏域   | 人数(人) | 割合            |              |                   |      |
|------|-------|---------------|--------------|-------------------|------|
|      |       | 入所・入居は検討していない | 入所・入居を検討している | すでに入所・入居申し込みをしている | 無回答  |
| 北    | 98    | 54.1%         | 29.6%        | 13.3%             | 3.1% |
| 中央・西 | 91    | 57.1%         | 24.2%        | 15.4%             | 3.3% |
| 東・呼人 | 98    | 60.2%         | 20.4%        | 14.3%             | 5.1% |
| 南    | 100   | 57.0%         | 19.0%        | 21.0%             | 3.0% |
| 全体   | 387   | 57.1%         | 23.3%        | 16.0%             | 3.6% |



### 【要介護度】

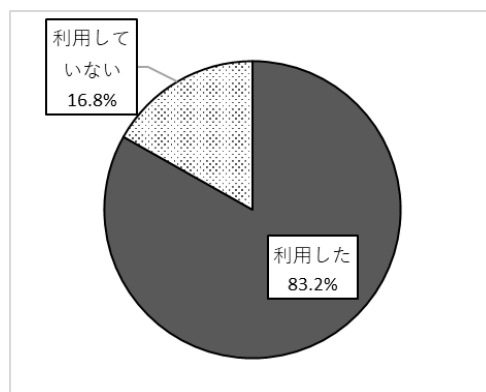
要介護度 1、要介護度 2、要介護度 4 で「入所・入居を検討している」と答えた方の割合が高い。要介護 3 では「すでに入所・入居申し込みしている」が 36.0%であった。

| 要介護度 | 人数(人) | 割合            |              |                   |       |
|------|-------|---------------|--------------|-------------------|-------|
|      |       | 入所・入居は検討していない | 入所・入居を検討している | すでに入所・入居申し込みをしている | 無回答   |
| 要介護1 | 138   | 64.5%         | 24.6%        | 7.2%              | 3.6%  |
| 要介護2 | 151   | 57.6%         | 23.2%        | 15.9%             | 3.3%  |
| 要介護3 | 50    | 46.0%         | 18.0%        | 36.0%             | 0.0%  |
| 要介護4 | 31    | 45.2%         | 29.0%        | 22.6%             | 3.2%  |
| 要介護5 | 21    | 52.4%         | 19.0%        | 14.3%             | 14.3% |
| 全体   | 391   | 57.3%         | 23.3%        | 15.9%             | 3.6%  |

### ■令和 5 年 4 月の介護保険サービス利用（住宅改修、福祉用具貸与、購入以外）

利用者は 83.2%であった。

|         | 人数(人) | 割合(%) |
|---------|-------|-------|
| 利用した    | 326   | 83.2  |
| 利用していない | 66    | 16.8  |
| 合計      | 392   | 100.0 |



### 【圏域】

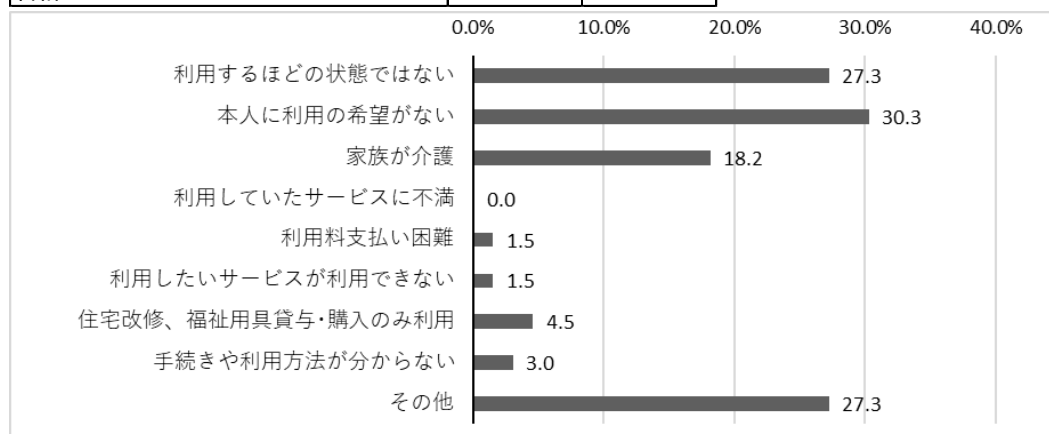
南圏域において、「利用した」が 86.0%に上り、全体平均に比べやや高くなっている。他の圏域では 8 割台前半の利用であった。

| 圏域   | 人数(人) | 割合    |         |
|------|-------|-------|---------|
|      |       | 利用した  | 利用していない |
| 北    | 98    | 80.6% | 19.4%   |
| 中央・西 | 91    | 83.5% | 16.5%   |
| 東・呼人 | 98    | 82.7% | 17.3%   |
| 南    | 100   | 86.0% | 14.0%   |
| 全体   | 387   | 83.2% | 16.8%   |

### 問 9 介護保険サービスを利用していない理由（利用していない方のみ回答）（MA）

介護サービスを利用していない理由でもっとも多いのは「本人に利用の希望がない」が 30.3%、次いで多いのは「利用するほどの状態ではない」が 27.3%、「家族が介護」は 18.2%であった。

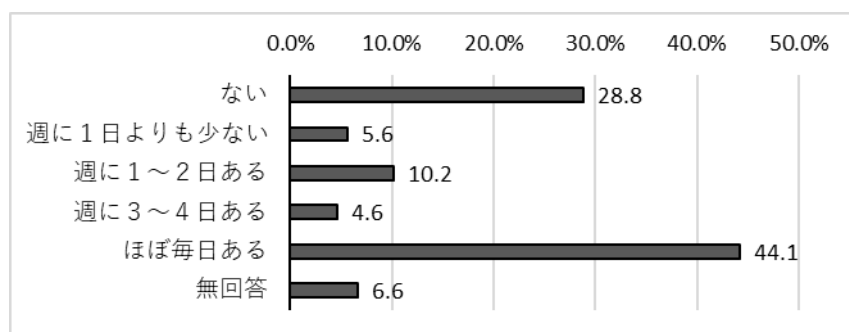
|                    | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------|-------|-------|
| 利用するほどの状態ではない      | 18    | 27.3  |
| 本人に利用の希望がない        | 20    | 30.3  |
| 家族が介護              | 12    | 18.2  |
| 利用していたサービスに不満      | 0     | 0.0   |
| 利用料支払い困難           | 1     | 1.5   |
| 利用したいサービスが利用できない   | 1     | 1.5   |
| 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみ利用 | 3     | 4.5   |
| 手続きや利用方法が分からない     | 2     | 3.0   |
| その他                | 18    | 27.3  |
| 合計                 | 66    | 100.0 |



#### 問10 家族や親族からの介護（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（S A）

「ほぼ毎日ある」が44.1%を占めるのに対して、28.8%が「ない」と答えている。「週に1～2日ある」は10.2%であった。

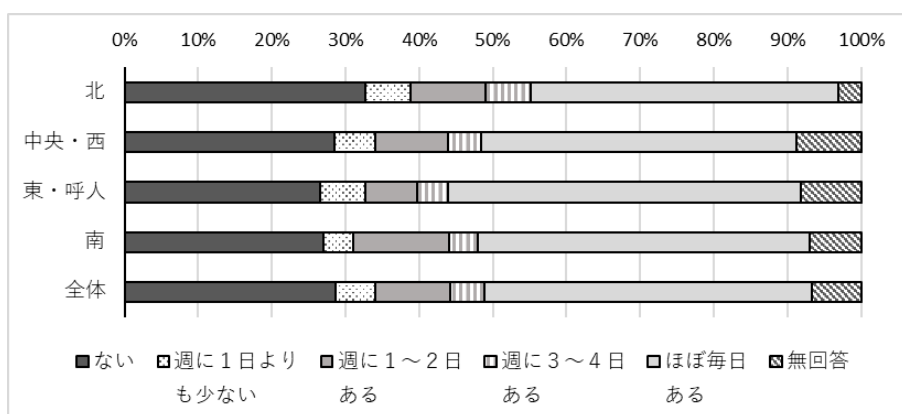
|            | 人数(人) | 割合(%) |
|------------|-------|-------|
| ない         | 113   | 28.8  |
| 週に1日よりも少ない | 22    | 5.6   |
| 週に1～2日ある   | 40    | 10.2  |
| 週に3～4日ある   | 18    | 4.6   |
| ほぼ毎日ある     | 173   | 44.1  |
| 無回答        | 26    | 6.6   |
| 合計         | 392   | 100.0 |



### 【圏域】

北圏域では「ない」の割合が32.7%と最も高かった。東・呼人圏域では、5割近い回答者が「ほぼ毎日ある」と回答しており、「週に1～2日ある」は7.1%と4圏域の中でもっとも低かった。それに対して、南圏域では「週に1～2日ある」の割合が13.0%と相対的に高かった。

| 圏域   | 人数(人) | 割合    |                |              |              |            | 無回答  |
|------|-------|-------|----------------|--------------|--------------|------------|------|
|      |       | ない    | 週に1日より<br>も少ない | 週に1～2日<br>ある | 週に3～4日<br>ある | ほぼ毎日<br>ある |      |
| 北    | 98    | 32.7% | 6.1%           | 10.2%        | 6.1%         | 41.8%      | 3.1% |
| 中央・西 | 91    | 28.6% | 5.5%           | 9.9%         | 4.4%         | 42.9%      | 8.8% |
| 東・呼人 | 98    | 26.5% | 6.1%           | 7.1%         | 4.1%         | 48.0%      | 8.2% |
| 南    | 100   | 27.0% | 4.0%           | 13.0%        | 4.0%         | 45.0%      | 7.0% |
| 全体   | 387   | 28.7% | 5.4%           | 10.1%        | 4.7%         | 44.4%      | 6.7% |



### 【要介護度】

要介護5では、「ない」が9.5%にとどまっており、「ほぼ毎日ある」が76.2%を占めている。要介護3～4では、50%以上の回答者が家族等による介護が「ほぼ毎日ある」としている。

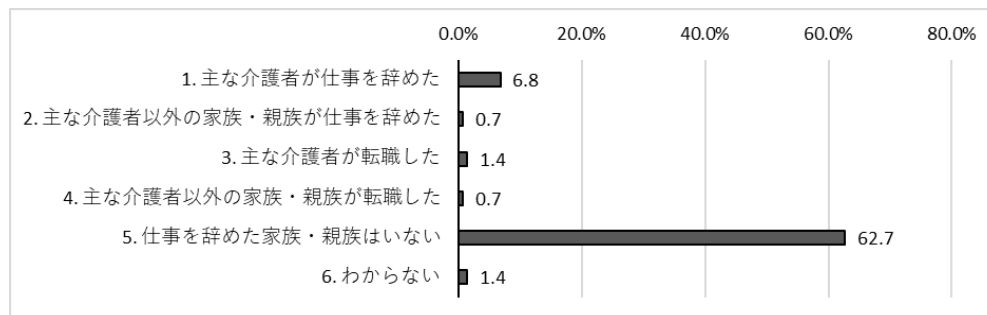
| 要介護度 | 人数(人) | 割合    |                |              |              |            | 無回答   |
|------|-------|-------|----------------|--------------|--------------|------------|-------|
|      |       | ない    | 週に1日より<br>も少ない | 週に1～2日<br>ある | 週に3～4日<br>ある | ほぼ毎日<br>ある |       |
| 要介護1 | 138   | 34.1% | 5.8%           | 13.0%        | 6.5%         | 33.3%      | 7.2%  |
| 要介護2 | 151   | 28.5% | 7.9%           | 12.6%        | 3.3%         | 42.4%      | 5.3%  |
| 要介護3 | 50    | 24.0% | 0.0%           | 6.0%         | 6.0%         | 60.0%      | 4.0%  |
| 要介護4 | 31    | 29.0% | 0.0%           | 0.0%         | 3.2%         | 54.8%      | 12.9% |
| 要介護5 | 21    | 9.5%  | 4.8%           | 0.0%         | 0.0%         | 76.2%      | 9.5%  |
| 全体   | 391   | 28.9% | 5.4%           | 10.2%        | 4.6%         | 44.2%      | 6.6%  |

## B 票 介護離職等に関すること

問１ 家族・親族で調査対象者本人の介護を主な理由として仕事を辞めた方の有無（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問わない）（MA）

回答者のうち家族・親族からの介護が「ない」としたものを除く 279 人を対象に集計したところ、「主な介護者が仕事を辞めた」のは 6.8%であり、「仕事を辞めた家族・親族はいない」と答えた割合は 62.7%だった。

|                         | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------------|-------|-------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた         | 19    | 6.8   |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた | 2     | 0.7   |
| 3. 主な介護者が転職した           | 4     | 1.4   |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した   | 2     | 0.7   |
| 5. 仕事を辞めた家族・親族はいない      | 175   | 62.7  |
| 6. わからない                | 4     | 1.4   |
| 回答者数                    | 279   |       |



### 【圏域】

いずれの圏域でも「仕事を辞めた家族・親族はいない」が 6 割前後である。北圏域では、「主な介護者が仕事を辞めた」割合は 10.6%と他圏域に比べて高い。

| 圏域   | 人数(人) | 割合                                                       |                                                                                                  |                                                |                                                                                        |                                                                     |                       |
|------|-------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------|
|      |       | 主<br>な<br>介<br>護<br>者<br>が<br>仕<br>事<br>を<br>辞<br>め<br>た | 主<br>な<br>介<br>護<br>者<br>以<br>外<br>の<br>家<br>族<br>・<br>親<br>族<br>が<br>仕<br>事<br>を<br>辞<br>め<br>た | 主<br>な<br>介<br>護<br>者<br>が<br>転<br>職<br>し<br>た | 主<br>な<br>介<br>護<br>者<br>以<br>外<br>の<br>家<br>族<br>・<br>親<br>族<br>が<br>転<br>職<br>し<br>た | 仕<br>事<br>を<br>辞<br>め<br>た<br>家<br>族<br>・<br>親<br>族<br>が<br>い<br>ない | わ<br>か<br>ら<br>な<br>い |
| 北    | 66    | 10.6%                                                    | 1.5%                                                                                             | 0.0%                                           | 0.0%                                                                                   | 65.2%                                                               | 0.0%                  |
| 中央・西 | 65    | 4.6%                                                     | 0.0%                                                                                             | 3.1%                                           | 0.0%                                                                                   | 63.1%                                                               | 1.5%                  |
| 東・呼人 | 72    | 6.9%                                                     | 1.4%                                                                                             | 0.0%                                           | 1.4%                                                                                   | 63.9%                                                               | 1.4%                  |
| 南    | 73    | 5.5%                                                     | 0.0%                                                                                             | 2.7%                                           | 0.0%                                                                                   | 58.9%                                                               | 2.7%                  |
| 全体   | 276   | 6.9%                                                     | 0.7%                                                                                             | 1.4%                                           | 0.4%                                                                                   | 62.7%                                                               | 1.4%                  |

### 【要介護度】

「主な介護者が仕事を辞めた」割合が高いのは要介護度4の13.6%、次いで要介護度3の13.2%であった。要介護度5では、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が5.3%と相対的に高く、「仕事を辞めた家族・親族はいない」は42.1%で相対的に低かった。

| 要介護度 | 人数(人) | 割合                                                                 |                                                                    |                                                                    |                                                                    |                                                                    |                                                                    |
|------|-------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
|      |       | 主<br>な<br>事<br>を<br>な<br>し<br>た<br>者<br>が<br>辞<br>め<br>た<br>仕<br>事 | 主<br>な<br>事<br>を<br>な<br>し<br>た<br>者<br>が<br>辞<br>め<br>た<br>仕<br>事 | 主<br>な<br>事<br>を<br>な<br>し<br>た<br>者<br>が<br>辞<br>め<br>た<br>仕<br>事 | 主<br>な<br>事<br>を<br>な<br>し<br>た<br>者<br>が<br>辞<br>め<br>た<br>仕<br>事 | 主<br>な<br>事<br>を<br>な<br>し<br>た<br>者<br>が<br>辞<br>め<br>た<br>仕<br>事 | 主<br>な<br>事<br>を<br>な<br>し<br>た<br>者<br>が<br>辞<br>め<br>た<br>仕<br>事 |
| 要介護1 | 91    | 4.4%                                                               | 1.1%                                                               | 0.0%                                                               | 0.0%                                                               | 63.7%                                                              | 2.2%                                                               |
| 要介護2 | 108   | 4.6%                                                               | 0.0%                                                               | 2.8%                                                               | 0.9%                                                               | 64.8%                                                              | 0.9%                                                               |
| 要介護3 | 38    | 13.2%                                                              | 0.0%                                                               | 2.6%                                                               | 0.0%                                                               | 65.8%                                                              | 2.6%                                                               |
| 要介護4 | 22    | 13.6%                                                              | 4.5%                                                               | 0.0%                                                               | 0.0%                                                               | 59.1%                                                              | 0.0%                                                               |
| 要介護5 | 19    | 10.5%                                                              | 0.0%                                                               | 0.0%                                                               | 5.3%                                                               | 42.1%                                                              | 0.0%                                                               |
| 全体   | 278   | 6.8%                                                               | 0.7%                                                               | 1.4%                                                               | 0.7%                                                               | 62.6%                                                              | 1.4%                                                               |

### 問2 主な介護者の続柄（S A）

主な介護者の続柄は、「子」がもっとも多く47.0%であり、次いで「配偶者」が29.4%であった。

|          | 人数(人) | 割合(%) |
|----------|-------|-------|
| 1. 配偶者   | 82    | 29.4  |
| 2. 子     | 131   | 47.0  |
| 3. 子の配偶者 | 29    | 10.4  |
| 4. 孫     | 0     | 0.0   |
| 5. 兄弟・姉妹 | 5     | 1.8   |
| 6. その他   | 9     | 3.2   |
| 無回答      | 23    | 8.2   |
| 合計       | 279   | 100.0 |

### 問3 主な介護者の性別（S A）

主な介護者の性別は、女性が63.8%に対して、男性が28.0%であった。

|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 1. 男性 | 78    | 28.0  |
| 2. 女性 | 178   | 63.8  |
| 無回答   | 23    | 8.2   |
| 合計    | 279   | 100.0 |

### 問4 主な介護者の年齢（S A）

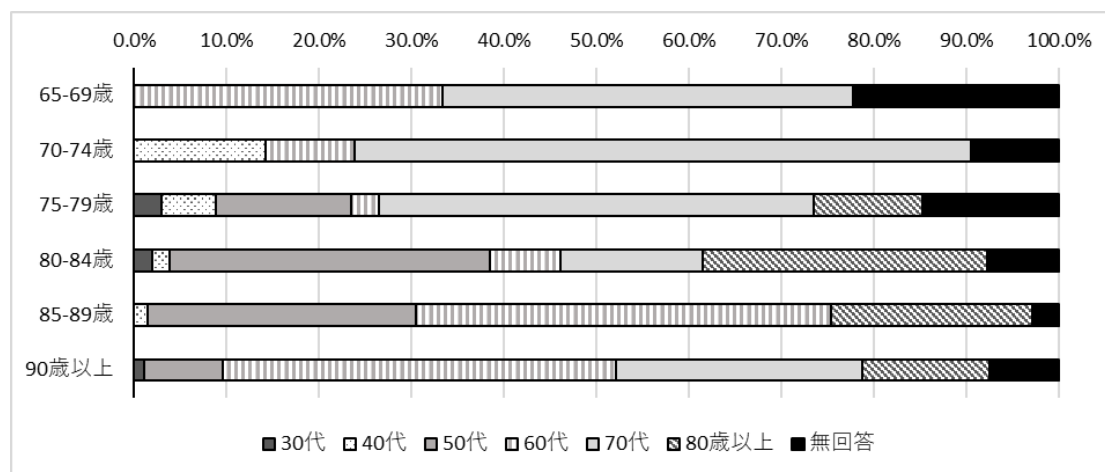
主な介護者の年齢は、全体としては60代から70代に集中しており、いわゆる「老々介護」の状況にある者が多い。

|       | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 30代   | 3     | 1.1   |
| 40代   | 7     | 2.5   |
| 50代   | 51    | 18.3  |
| 60代   | 81    | 29.0  |
| 70代   | 67    | 24.0  |
| 80歳以上 | 48    | 17.2  |
| 無回答   | 22    | 7.9   |
| 合計    | 279   | 100.0 |

### 【年齢】

介護を受ける人の年齢を表側、介護を担う家族介護者の年齢を表頭にとったクロス集計をすると、70～74歳を介護する者の66.7%が70代、75～79歳を介護する者の47.1%が70代である。70代の要介護者には、同世代の配偶者間で介護がおこなわれていると考えられる。他方、80～84歳を介護する者の34.6%が50代、85～89歳を介護する者の29.0%が50代、44.9%が60代であった。80代の要介護者には親子間での介護がおこなわれていると考えられる。

| 介護を受ける人の年齢 | 人数(人) | 割合       |       |       |       |       |       |       |
|------------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|            |       | 家族介護者の年齢 |       |       |       |       |       |       |
|            |       | 30代      | 40代   | 50代   | 60代   | 70代   | 80歳以上 | 無回答   |
| 65-69歳     | 9     | 0.0%     | 0.0%  | 0.0%  | 33.3% | 44.4% | 0.0%  | 22.2% |
| 70-74歳     | 21    | 0.0%     | 14.3% | 0.0%  | 9.5%  | 66.7% | 0.0%  | 9.5%  |
| 75-79歳     | 34    | 2.9%     | 5.9%  | 14.7% | 2.9%  | 47.1% | 11.8% | 14.7% |
| 80-84歳     | 52    | 1.9%     | 1.9%  | 34.6% | 7.7%  | 15.4% | 30.8% | 7.7%  |
| 85-89歳     | 69    | 0.0%     | 1.4%  | 29.0% | 44.9% | 0.0%  | 21.7% | 2.9%  |
| 90歳以上      | 94    | 1.1%     | 0.0%  | 8.5%  | 42.6% | 26.6% | 13.8% | 7.4%  |
| 全体         | 279   | 1.1%     | 2.5%  | 18.3% | 29.0% | 24.0% | 17.2% | 7.9%  |



### 【圏域】

いずれの圏域においても9割以上の介護者が50代以上である。北圏域では50代の介護者が27.3%と相対的に高い一方、60代の介護者は22.7%と最も低い。また、中央・西圏域では70代の介護者が15.4%と他の地域と比べて最も低いのに対し、80歳以上の介護者が2割を超えている。

| 圏域   | 人数(人) | 割合     |      |       |       |       |       |       |
|------|-------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
|      |       | 介護者の年齢 |      |       |       |       |       |       |
|      |       | 30代    | 40代  | 50代   | 60代   | 70代   | 80歳以上 | 無回答   |
| 北    | 66    | 1.5%   | 4.5% | 27.3% | 22.7% | 22.7% | 16.7% | 4.5%  |
| 中央・西 | 65    | 1.5%   | 1.5% | 18.5% | 32.3% | 15.4% | 21.5% | 9.2%  |
| 東・呼人 | 72    | 1.4%   | 2.8% | 16.7% | 27.8% | 30.6% | 13.9% | 6.9%  |
| 南    | 73    | 0.0%   | 1.4% | 12.3% | 31.5% | 26.0% | 17.8% | 11.0% |
| 全体   | 276   | 1.1%   | 2.5% | 18.5% | 28.6% | 23.9% | 17.4% | 8.0%  |

#### 【要介護度】

要介護1～3までの高齢者の介護者は60代が最も高い割合を占めている。要介護4では、50代の介護者が22.7%、70代の介護者が31.8%である一方、60代の介護者が9.1%にとどまっている。

| 要介護度 | 人数(人) | 割合     |      |       |       |       |       |       |
|------|-------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
|      |       | 介護者の年齢 |      |       |       |       |       |       |
|      |       | 30代    | 40代  | 50代   | 60代   | 70代   | 80歳以上 | 無回答   |
| 要介護1 | 91    | 0.0%   | 3.3% | 22.0% | 29.7% | 19.8% | 16.5% | 8.8%  |
| 要介護2 | 108   | 1.9%   | 2.8% | 18.5% | 28.7% | 21.3% | 18.5% | 8.3%  |
| 要介護3 | 38    | 0.0%   | 2.6% | 10.5% | 34.2% | 34.2% | 15.8% | 2.6%  |
| 要介護4 | 22    | 0.0%   | 0.0% | 22.7% | 9.1%  | 31.8% | 27.3% | 9.1%  |
| 要介護5 | 19    | 5.3%   | 0.0% | 10.5% | 36.8% | 31.6% | 5.3%  | 10.5% |
| 全体   | 278   | 1.1%   | 2.5% | 18.3% | 28.8% | 24.1% | 17.3% | 7.9%  |

#### 問5 現在の生活を継続していくにあたって主な介護者が不安に感じる介護等（MA）

「外出の付き添い、送迎等」が最も高く41.2%、次いで「認知症状への対応」39.1%、「その他の家事」33.7%、「食事の準備」32.6%の順に割合が高い。

|                      | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------------|-------|-------|
| 1. 日中の排泄             | 40    | 14.3  |
| 2. 夜間の排泄             | 57    | 20.4  |
| 3. 食事の介助             | 23    | 8.2   |
| 4. 入浴・洗身             | 66    | 23.7  |
| 5. 身だしなみ             | 20    | 7.2   |
| 6. 衣服の着脱             | 21    | 7.5   |
| 7. 屋内の移乗・移動          | 41    | 14.7  |
| 8. 外出の付き添い、送迎等       | 115   | 41.2  |
| 9. 服薬                | 51    | 18.3  |
| 10. 認知症状への対応         | 109   | 39.1  |
| 11. 医療面での対応          | 23    | 8.2   |
| 12. 食事の準備            | 91    | 32.6  |
| 13. その他の家事           | 94    | 33.7  |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | 69    | 24.7  |
| 15. その他              | 20    | 7.2   |
| 16. 特にない             | 20    | 7.2   |
| 17. 確認しないとわからない      | 11    | 3.9   |
| 回答者数                 | 279   |       |

## 【圏域】

北圏域では「日中の排泄」21.1%、「認知症状への対応」45.5%、「食事の準備」39.4%が他の圏域に比べてかなり高くなっている。他方、中央・西圏域では、「夜間の排泄」12.3%、「外出の付き添い、送迎等」27.7%、「食事の準備」24.6%などが相対的に低い点が特徴的である。

| 圏域   | 人数(人) | 割合                         |                            |                            |                            |                            |                            |                                  |                                                 |
|------|-------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------------|-------------------------------------------------|
|      |       | ①<br>日<br>中<br>の<br>排<br>泄 | ②<br>夜<br>間<br>の<br>排<br>泄 | ③<br>食<br>事<br>の<br>介<br>助 | ④<br>入<br>浴<br>・<br>洗<br>身 | ⑤<br>身<br>だ<br>し<br>な<br>み | ⑥<br>衣<br>服<br>の<br>着<br>脱 | 乗⑦<br>・<br>屋<br>移<br>内<br>の<br>移 | 添⑧<br>い<br>外<br>・<br>出<br>の<br>送<br>迎<br>等<br>き |
| 北    | 66    | 21.2%                      | 24.2%                      | 3.0%                       | 25.8%                      | 3.0%                       | 10.6%                      | 16.7%                            | 47.0%                                           |
| 中央・西 | 65    | 12.3%                      | 12.3%                      | 10.8%                      | 24.6%                      | 7.7%                       | 6.2%                       | 13.8%                            | 27.7%                                           |
| 東・呼人 | 72    | 13.9%                      | 25.0%                      | 12.5%                      | 16.7%                      | 6.9%                       | 8.3%                       | 13.9%                            | 44.4%                                           |
| 南    | 73    | 11.0%                      | 20.5%                      | 6.8%                       | 27.4%                      | 11.0%                      | 5.5%                       | 13.7%                            | 42.5%                                           |
| 全体   | 276   | 14.5%                      | 20.7%                      | 8.3%                       | 23.6%                      | 7.2%                       | 7.6%                       | 14.5%                            | 40.6%                                           |

| 圏域   | ⑨<br>服<br>薬 | 割合                               |                                  |                            |                             |                                       |                  |                       |                                            |
|------|-------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------------|
|      |             | の⑩<br>対<br>認<br>知<br>症<br>状<br>へ | 対⑪<br>応<br>医<br>療<br>面<br>で<br>の | ⑫<br>食<br>事<br>の<br>準<br>備 | 事⑬<br>そ<br>の<br>他<br>の<br>家 | な生⑭<br>諸活金<br>手面銭<br>続に管<br>き必要<br>理や | ⑮<br>そ<br>の<br>他 | ⑯<br>特<br>に<br>な<br>い | と⑰<br>わ<br>確<br>か<br>認<br>ら<br>し<br>な<br>い |
| 北    | 15.2%       | 45.5%                            | 10.6%                            | 39.4%                      | 34.8%                       | 27.3%                                 | 9.1%             | 3.0%                  | 1.5%                                       |
| 中央・西 | 13.8%       | 35.4%                            | 7.7%                             | 24.6%                      | 38.5%                       | 18.5%                                 | 1.5%             | 15.4%                 | 4.6%                                       |
| 東・呼人 | 23.6%       | 38.9%                            | 5.6%                             | 31.9%                      | 25.0%                       | 23.6%                                 | 11.1%            | 4.2%                  | 8.3%                                       |
| 南    | 20.5%       | 35.6%                            | 9.6%                             | 34.2%                      | 37.0%                       | 30.1%                                 | 6.8%             | 5.5%                  | 1.4%                                       |
| 全体   | 18.5%       | 38.8%                            | 8.3%                             | 32.6%                      | 33.7%                       | 25.0%                                 | 7.2%             | 6.9%                  | 4.0%                                       |

## 【要介護度】

「認知症場への対応は要介護1から要介護4まで共通して4割前後の家族介護者が不安を感じている。「夜間の排泄」が要介護度3で47.4%と突出して高くなっていた。「食事の介助」については、要介護3以下は1割未満であるのに対して、要介護4では22.7%、要介護5では36.8%が不安を感じている。他方、「外出の付き添い、送迎等」は要介護1から要介護3で不安が高い。

| 要介護度、問5現在の生活を継続していくのに、不安を感じる介護【複数回答】 |       |                            |                            |                            |                            |                            |                            |                                  |                                                 |
|--------------------------------------|-------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------------|-------------------------------------------------|
| 要介護度                                 | 人数(人) | 割合                         |                            |                            |                            |                            |                            |                                  |                                                 |
|                                      |       | ①<br>日<br>中<br>の<br>排<br>泄 | ②<br>夜<br>間<br>の<br>排<br>泄 | ③<br>食<br>事<br>の<br>介<br>助 | ④<br>入<br>浴<br>・<br>洗<br>身 | ⑤<br>身<br>だ<br>し<br>な<br>み | ⑥<br>衣<br>服<br>の<br>着<br>脱 | 乗⑦<br>・<br>屋<br>移<br>内<br>の<br>移 | 添⑧<br>い<br>外<br>・<br>出<br>の<br>送<br>迎<br>等<br>き |
| 要介護1                                 | 91    | 14.3%                      | 16.5%                      | 4.4%                       | 18.7%                      | 3.3%                       | 4.4%                       | 8.8%                             | 42.9%                                           |
| 要介護2                                 | 108   | 8.3%                       | 13.9%                      | 3.7%                       | 30.6%                      | 8.3%                       | 5.6%                       | 13.0%                            | 46.3%                                           |
| 要介護3                                 | 38    | 26.3%                      | 47.4%                      | 7.9%                       | 23.7%                      | 7.9%                       | 13.2%                      | 21.1%                            | 36.8%                                           |
| 要介護4                                 | 22    | 18.2%                      | 18.2%                      | 22.7%                      | 27.3%                      | 13.6%                      | 9.1%                       | 27.3%                            | 27.3%                                           |
| 要介護5                                 | 19    | 21.1%                      | 26.3%                      | 36.8%                      | 5.3%                       | 10.5%                      | 21.1%                      | 21.1%                            | 26.3%                                           |
| 全体                                   | 278   | 14.4%                      | 20.5%                      | 8.3%                       | 23.7%                      | 7.2%                       | 7.6%                       | 14.4%                            | 41.0%                                           |

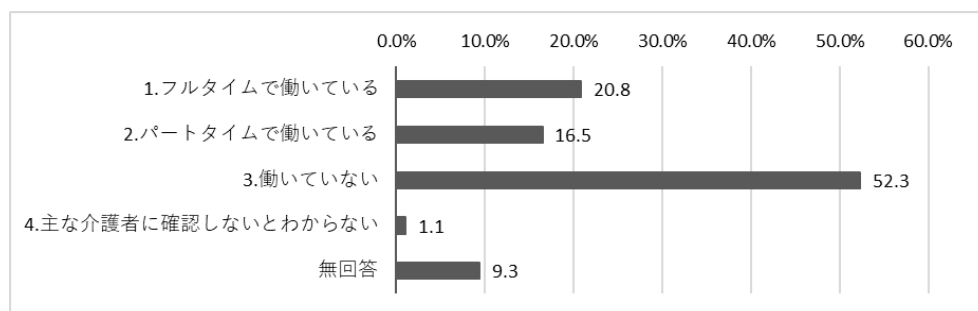


| 要介護度 | 割合      |                           |                          |                            |                                 |                                                                                   |                  |                       |                                 |
|------|---------|---------------------------|--------------------------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------|---------------------------------|
|      | ⑨<br>服薬 | ⑩<br>認知<br>症状<br>への<br>対応 | ⑪<br>医療<br>面<br>での<br>対応 | ⑫<br>食<br>事<br>の<br>準<br>備 | ⑬<br>そ<br>の<br>他<br>の<br>家<br>事 | ⑭<br>金<br>銭<br>管<br>理<br>や<br>生<br>活<br>面<br>に<br>必<br>要<br>な<br>諸<br>手<br>続<br>き | ⑮<br>そ<br>の<br>他 | ⑯<br>特<br>に<br>な<br>い | ⑰<br>と<br>わ<br>か<br>ら<br>な<br>い |
| 要介護1 | 24.2%   | 39.6%                     | 6.6%                     | 36.3%                      | 38.5%                           | 28.6%                                                                             | 3.3%             | 6.6%                  | 5.5%                            |
| 要介護2 | 15.7%   | 41.7%                     | 7.4%                     | 32.4%                      | 35.2%                           | 25.0%                                                                             | 11.1%            | 8.3%                  | 4.6%                            |
| 要介護3 | 15.8%   | 39.5%                     | 5.3%                     | 21.1%                      | 21.1%                           | 18.4%                                                                             | 2.6%             | 5.3%                  | 0.0%                            |
| 要介護4 | 9.1%    | 40.9%                     | 13.6%                    | 50.0%                      | 40.9%                           | 18.2%                                                                             | 4.5%             | 4.5%                  | 4.5%                            |
| 要介護5 | 21.1%   | 21.1%                     | 21.1%                    | 21.1%                      | 15.8%                           | 26.3%                                                                             | 15.8%            | 5.3%                  | 0.0%                            |
| 全体   | 18.3%   | 39.2%                     | 8.3%                     | 32.7%                      | 33.5%                           | 24.8%                                                                             | 7.2%             | 6.8%                  | 4.0%                            |

## 問6 主な介護者の現在の勤務形態（S A）

回答者の52.3%が「働いていない」であった。働いている者は、フルタイムが20.8%、パートタイムが16.5%であった。

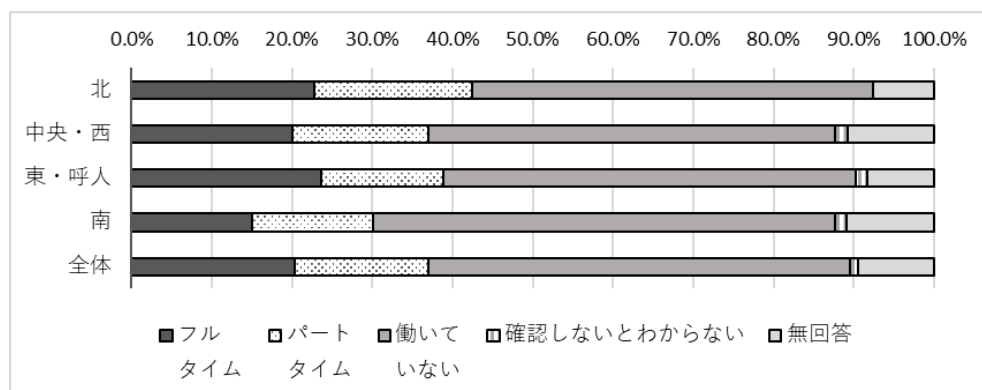
|                     | 人数(人) | 割合(%) |
|---------------------|-------|-------|
| 1.フルタイムで働いている       | 58    | 20.8  |
| 2.パートタイムで働いている      | 46    | 16.5  |
| 3.働いていない            | 146   | 52.3  |
| 4.主な介護者に確認しないとわからない | 3     | 1.1   |
| 無回答                 | 26    | 9.3   |
| 合計                  | 279   | 100.0 |



### 【圏域】

南圏域において、「フルタイムで働いている」と答えた割合が15.1%と低いのに対して、「働いていない」が57.5%と高くなっている。

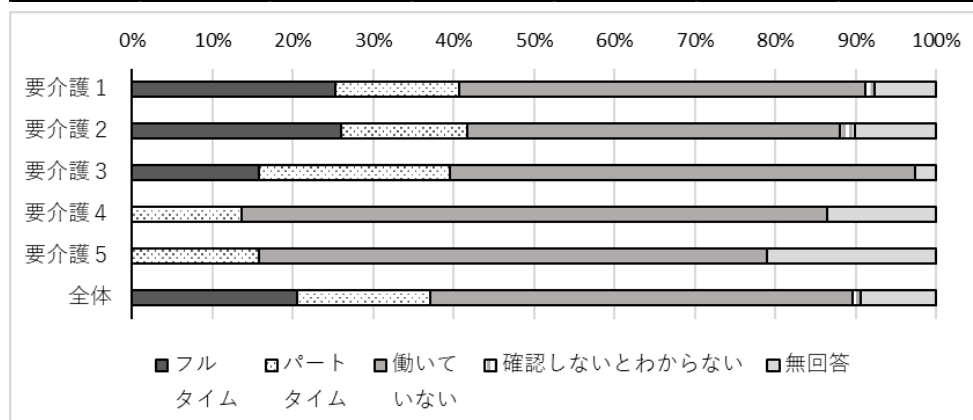
| 圏域   | 人数(人) | 割合        |            |            |                 |       |
|------|-------|-----------|------------|------------|-----------------|-------|
|      |       | フル<br>タイム | パート<br>タイム | 働いて<br>いない | 確認しないと<br>わからない | 無回答   |
| 北    | 66    | 22.7%     | 19.7%      | 50.0%      | 0.0%            | 7.6%  |
| 中央・西 | 65    | 20.0%     | 16.9%      | 50.8%      | 1.5%            | 10.8% |
| 東・呼人 | 72    | 23.6%     | 15.3%      | 51.4%      | 1.4%            | 8.3%  |
| 南    | 73    | 15.1%     | 15.1%      | 57.5%      | 1.4%            | 11.0% |
| 全体   | 276   | 20.3%     | 16.7%      | 52.5%      | 1.1%            | 9.4%  |



## 【要介護度】

要介護1、要介護3では約半数の介護者が何らかの形で働いており、要介護1～2では「フルタイムで働いている」介護者が20%を超えている。他方、要介護4～5では「働いていない」介護者の割合が約6割まで高くなり、「フルタイムで働いている」介護者はいない。

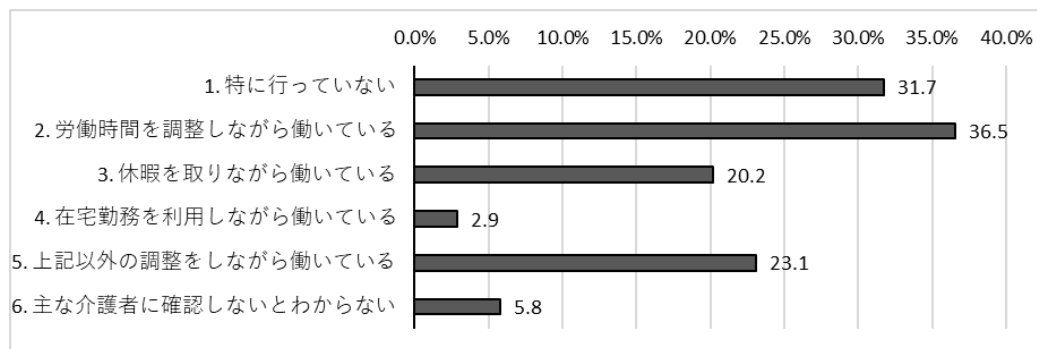
| 要介護度 | 人数(人) | 割合    |        |        |             |       |
|------|-------|-------|--------|--------|-------------|-------|
|      |       | フルタイム | パートタイム | 働いていない | 確認しないとわからない | 無回答   |
| 要介護1 | 91    | 25.3% | 15.4%  | 50.5%  | 1.1%        | 7.7%  |
| 要介護2 | 108   | 25.9% | 15.7%  | 46.3%  | 1.9%        | 10.2% |
| 要介護3 | 38    | 15.8% | 23.7%  | 57.9%  | 0.0%        | 2.6%  |
| 要介護4 | 22    | 0.0%  | 13.6%  | 72.7%  | 0.0%        | 13.6% |
| 要介護5 | 19    | 0.0%  | 15.8%  | 63.2%  | 0.0%        | 21.1% |
| 全体   | 278   | 20.5% | 16.5%  | 52.5%  | 1.1%        | 9.4%  |



## 問7 主な介護者による働き方の調整（問6で「フルタイム」または「パートタイム」と回答した方のみ）（MA）

「労働時間を調整しながら働いている」割合が36.5%でもっとも高く、次いで「特に行っていない」が31.7%であった。「上記以外の調整をしながら働いている」が23.1%である一方、「在宅勤務を利用しながら働いている」は2.9%にとどまった。

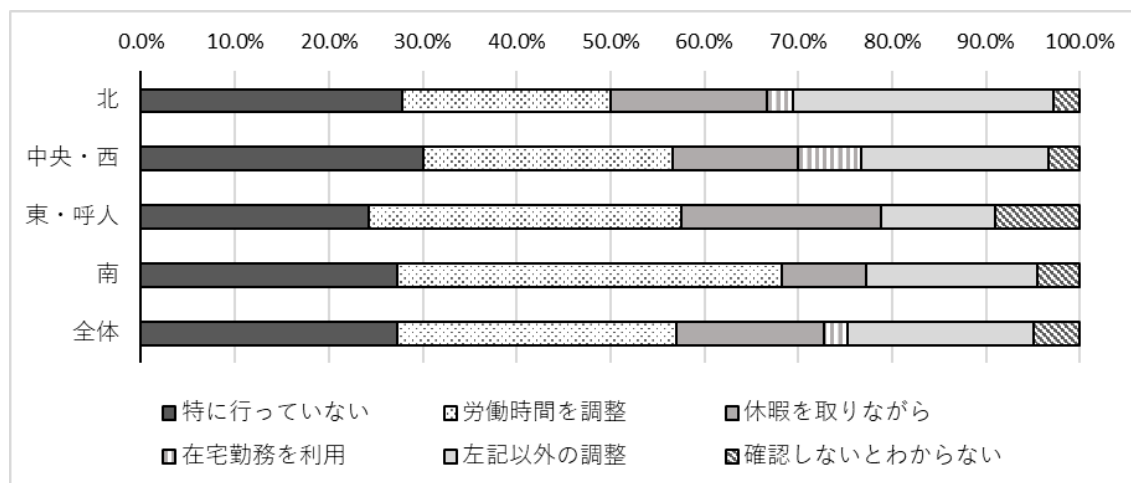
|                      | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------------|-------|-------|
| 1. 特に行っていない          | 33    | 31.7  |
| 2. 労働時間を調整しながら働いている  | 38    | 36.5  |
| 3. 休暇を取りながら働いている     | 21    | 20.2  |
| 4. 在宅勤務を利用しながら働いている  | 3     | 2.9   |
| 5. 上記以外の調整をしながら働いている | 24    | 23.1  |
| 6. 主な介護者に確認しないとわからない | 6     | 5.8   |
| 回答者数                 | 104   | 100.0 |



#### 【圏域】

圏域別の集計対象者は102人であった。東・呼人圏域と南圏域において、「特に行っていない」との回答が3割未満であり、他圏域に比べ低くなっている。南圏域では「休暇を取りながら働いている」と回答した人が少なく、9.1%にとどまっている。

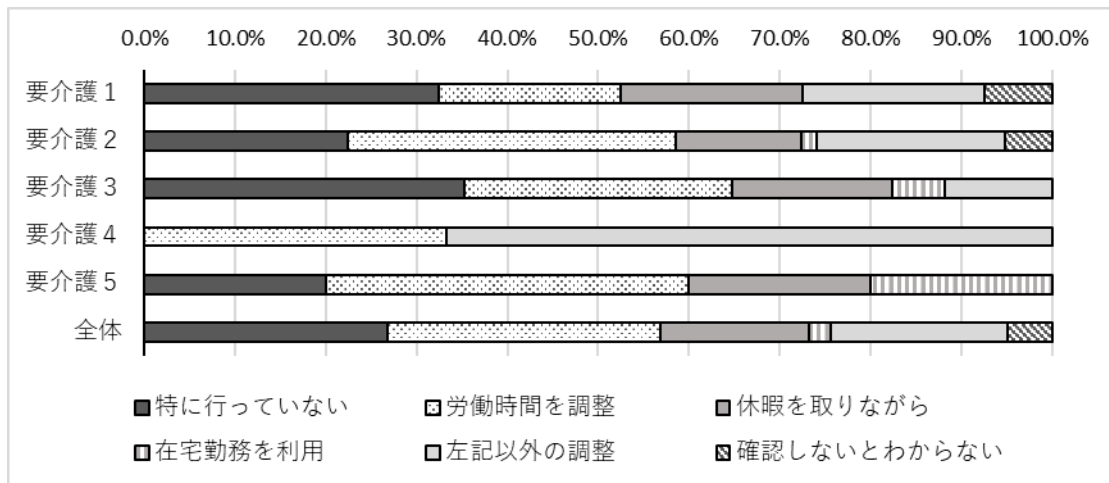
| 圏域   | 人数(人) | 割合                      |                                 |                                 |                        |                        |                                 |
|------|-------|-------------------------|---------------------------------|---------------------------------|------------------------|------------------------|---------------------------------|
|      |       | い特<br>なに<br>行<br>っ<br>て | 調 労<br>整 働<br>時 時<br>間 間<br>を を | な 休<br>が が<br>暇 暇<br>ら を<br>取 り | 利 在<br>用 宅<br>勤 務<br>を | 調 左<br>整 記<br>以 外<br>の | いと確<br>わ 認<br>か し<br>ら 不<br>な い |
| 北    | 28    | 35.7%                   | 28.6%                           | 21.4%                           | 3.6%                   | 35.7%                  | 3.6%                            |
| 中央・西 | 24    | 37.5%                   | 33.3%                           | 16.7%                           | 8.3%                   | 25.0%                  | 4.2%                            |
| 東・呼人 | 28    | 28.6%                   | 39.3%                           | 25.0%                           | 0.0%                   | 14.3%                  | 10.7%                           |
| 南    | 22    | 27.3%                   | 40.9%                           | 9.1%                            | 0.0%                   | 18.2%                  | 4.5%                            |
| 全体   | 102   | 32.4%                   | 35.3%                           | 18.6%                           | 2.9%                   | 23.5%                  | 5.9%                            |



## 【要介護度】

要介護度別の集計対象者は103人であった。要介護2では、「労働時間を調整しながら働いている」割合が46.7%と最も高く、要介護3では「特に行っていない」が40.0%で最も高かった。要介護1では「労働時間を調整しながら働いている」割合は21.6%と最も低かった。

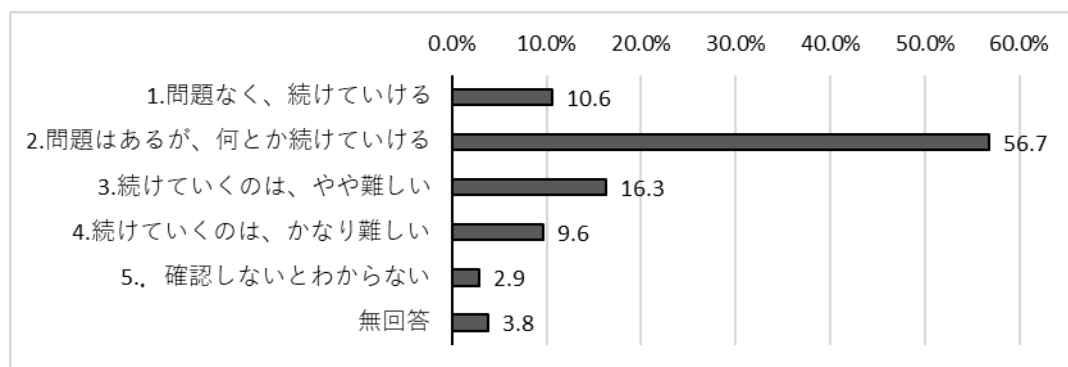
| 要介護度 | 人数(人) | 割合                       |                                 |                                      |                          |                          |                                                 |
|------|-------|--------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------------------------------|
|      |       | い 特<br>な に<br>い 行<br>っ て | 調 労<br>整 働<br>時 時<br>間 間<br>を を | な 休<br>が が<br>暇 暇<br>ら を<br>を 取<br>り | 利 在<br>用 宅<br>勤 務<br>を を | 調 左<br>整 記<br>以 外<br>の の | い と 確<br>わ わ<br>か か<br>し し<br>ら ら<br>な な<br>い い |
| 要介護1 | 37    | 35.1%                    | 21.6%                           | 21.6%                                | 0.0%                     | 21.6%                    | 8.1%                                            |
| 要介護2 | 45    | 28.9%                    | 46.7%                           | 17.8%                                | 2.2%                     | 26.7%                    | 6.7%                                            |
| 要介護3 | 15    | 40.0%                    | 33.3%                           | 20.0%                                | 6.7%                     | 13.3%                    | 0.0%                                            |
| 要介護4 | 3     | 0.0%                     | 33.3%                           | 0.0%                                 | 0.0%                     | 66.7%                    | 0.0%                                            |
| 要介護5 | 3     | 33.3%                    | 66.7%                           | 33.3%                                | 33.3%                    | 0.0%                     | 0.0%                                            |
| 全体   | 103   | 32.0%                    | 35.9%                           | 19.4%                                | 2.9%                     | 23.3%                    | 5.8%                                            |



## 問8 主な介護者の今後の就業と介護の両立（問6で「フルタイム」または「パートタイム」と回答した方のみ）（S A）

「問題はあがあるが、何とか続けている」と回答した方が半数以上を占めている。

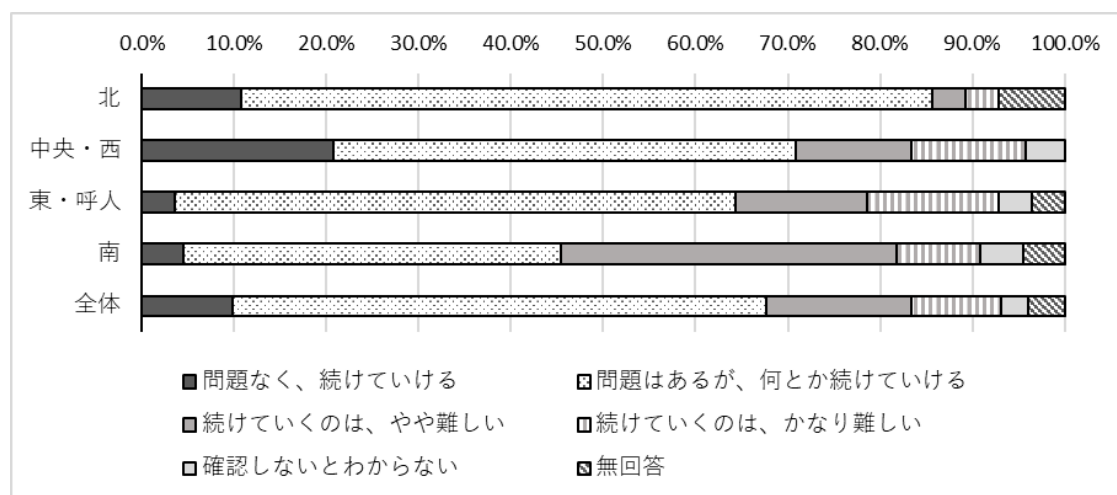
|                      | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------------|-------|-------|
| 1.問題なく、続けていける        | 11    | 10.6  |
| 2.問題はあがあるが、何とか続けていける | 59    | 56.7  |
| 3.続けていくのは、やや難しい      | 17    | 16.3  |
| 4.続けていくのは、かなり難しい     | 10    | 9.6   |
| 5. 確認しないとわからない       | 3     | 2.9   |
| 無回答                  | 4     | 3.8   |
| 合計                   | 104   | 100.0 |



### 【圏域】

北圏域では、「問題なく、続けていける」、「問題はあるが、何とか続けている」の合計が 85.7% であるのに対し、南圏域では、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」をあわせた割合が 45.5%に上っている。

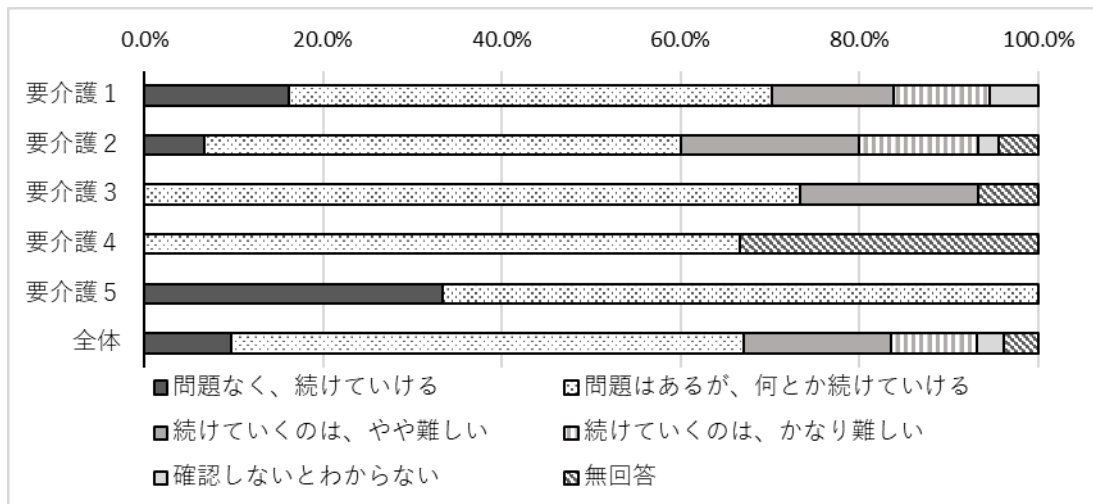
| 圏域   | 人数(人) | 割合                              |                                      |                                   |                                    |                            |             |
|------|-------|---------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|----------------------------|-------------|
|      |       | け問<br>て題<br>いな<br>けく<br>る、<br>続 | けが問<br>て、題<br>い何は<br>けとあ<br>るかる<br>続 | いは続<br>、け<br>やて<br>やい<br>難く<br>しの | しは続<br>い、け<br>かて<br>ない<br>りく<br>難の | わ確<br>か認<br>らし<br>ない<br>いと | 無<br>回<br>答 |
| 北    | 28    | 10.7%                           | 75.0%                                | 3.6%                              | 3.6%                               | 0.0%                       | 7.1%        |
| 中央・西 | 24    | 20.8%                           | 50.0%                                | 12.5%                             | 12.5%                              | 4.2%                       | 0.0%        |
| 東・呼人 | 28    | 3.6%                            | 60.7%                                | 14.3%                             | 14.3%                              | 3.6%                       | 3.6%        |
| 南    | 22    | 4.5%                            | 40.9%                                | 36.4%                             | 9.1%                               | 4.5%                       | 4.5%        |
| 全体   | 102   | 9.8%                            | 57.8%                                | 15.7%                             | 9.8%                               | 2.9%                       | 3.9%        |



## 【要介護度】

要介護2では、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」とを合わせると33.3%に上り、他の要介護度に比べて仕事の継続に困難を抱えていることが推察される。それに対して、要介護3では73.3%が「問題はあるが、何とか続けていける」と回答している。

| 要介護度 | 人数(人) | 割合                          |                                      |                                    |                                    |                            |             |
|------|-------|-----------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----------------------------|-------------|
|      |       | け問<br>て題<br>いなく<br>ける、<br>続 | けが問<br>て、題<br>い何は<br>けとあ<br>るかる<br>続 | いは続<br>、け<br>やて<br>やい<br>難しく<br>しの | しは続<br>い、け<br>かて<br>ない<br>りく<br>難の | わ確<br>か認<br>らし<br>ない<br>いと | 無<br>回<br>答 |
| 要介護1 | 37    | 16.2%                       | 54.1%                                | 13.5%                              | 10.8%                              | 5.4%                       | 0.0%        |
| 要介護2 | 45    | 6.7%                        | 53.3%                                | 20.0%                              | 13.3%                              | 2.2%                       | 4.4%        |
| 要介護3 | 15    | 0.0%                        | 73.3%                                | 20.0%                              | 0.0%                               | 0.0%                       | 6.7%        |
| 要介護4 | 3     | 0.0%                        | 66.7%                                | 0.0%                               | 0.0%                               | 0.0%                       | 33.3%       |
| 要介護5 | 3     | 33.3%                       | 66.7%                                | 0.0%                               | 0.0%                               | 0.0%                       | 0.0%        |
| 全体   | 103   | 9.7%                        | 57.3%                                | 16.5%                              | 9.7%                               | 2.9%                       | 3.9%        |



## 第3編 トピック分析

### 家族介護者の不安

第2編で示した通り、家族や親族による介護が「ない」のは28.8%に過ぎず、介護を必要とする在宅高齢者の約7割が何かしらの介護を家族や親族から受けている。介護者は大部分が50代以上であるが、続柄でもっとも多いのは「子」47.0%であり、「配偶者」は29.4%である。したがって、介護をする相手は親世代の場合もあれば、同世代の場合もあり、不安を感じる状況も異なると考えられる。そこで、家族介護者の続柄・性別・年齢、要介護者の世帯類型の観点から、不安を感じる介護等について分析を行う。

【家族介護者の続柄】 配偶者が介護をする場合には、約4割が「入浴・洗身」や「食事の準備」に不安を感じており、子や子の配偶者が介護をする場合よりも高い割合となっている。逆に、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」については、子と子の配偶者では3割超であるのに対して、「配偶者」は17.1%にとどまっている（表3-1）。

表3-1 家族介護者の続柄別・不安を感じる介護等

| 家族介護者の続柄 | 人数(人) | 割合(%)      |            |            |            |            |            |               |                 |
|----------|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------------|-----------------|
|          |       | ①<br>日中の排泄 | ②<br>夜間の排泄 | ③<br>食事の介助 | ④<br>入浴・洗身 | ⑤<br>身だしなみ | ⑥<br>衣服の着脱 | 乗⑦<br>・屋内移動の移 | 添⑧<br>い外、出送の迎付き |
| 配偶者      | 82    | 12.2       | 25.6       | 11.0       | 39.0       | 13.4       | 15.9       | 18.3          | 45.1            |
| 子        | 131   | 17.6       | 19.8       | 7.6        | 16.8       | 5.3        | 3.8        | 16.0          | 42.0            |
| 子の配偶者    | 29    | 17.2       | 24.1       | 6.9        | 20.7       | 3.4        | 0.0        | 10.3          | 34.5            |
| 孫        | 0     | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0           | 0.0             |
| 兄弟・姉妹    | 5     | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0           | 60.0            |
| その他      | 9     | 11.1       | 11.1       | 22.2       | 11.1       | 0.0        | 22.2       | 11.1          | 77.8            |
| 無回答      | 23    | 4.3        | 8.7        | 0.0        | 21.7       | 4.3        | 4.3        | 4.3           | 13.0            |
| 全体       | 279   | 14.3       | 20.4       | 8.2        | 23.7       | 7.2        | 7.5        | 14.7          | 41.2            |

| 家族介護者の続柄 | 割合(%)   |               |              |            |             |                                        |          |           |                     |
|----------|---------|---------------|--------------|------------|-------------|----------------------------------------|----------|-----------|---------------------|
|          | ⑨<br>服薬 | の⑩<br>対応認知症状へ | 対⑪<br>応医療面での | ⑫<br>食事の準備 | 事⑬<br>その他の家 | な生⑭<br>諸活金<br>手面銭<br>続に管<br>き理理<br>必要や | ⑮<br>その他 | ⑯<br>特にない | と⑰<br>わ確か認<br>らないいい |
| 配偶者      | 18.3    | 34.1          | 11.0         | 43.9       | 37.8        | 17.1                                   | 3.7      | 9.8       | 2.4                 |
| 子        | 21.4    | 46.6          | 8.4          | 29.0       | 35.1        | 32.1                                   | 10.7     | 4.6       | 4.6                 |
| 子の配偶者    | 20.7    | 48.3          | 6.9          | 31.0       | 31.0        | 34.5                                   | 6.9      | 0.0       | 6.9                 |
| 孫        | 0.0     | 0.0           | 0.0          | 0.0        | 0.0         | 0.0                                    | 0.0      | 0.0       | 0.0                 |
| 兄弟・姉妹    | 0.0     | 0.0           | 20.0         | 60.0       | 40.0        | 20.0                                   | 0.0      | 40.0      | 0.0                 |
| その他      | 11.1    | 44.4          | 0.0          | 33.3       | 44.4        | 22.2                                   | 11.1     | 22.2      | 11.1                |
| 無回答      | 4.3     | 8.7           | 0.0          | 8.7        | 8.7         | 0.0                                    | 0.0      | 8.7       | 0.0                 |
| 全体       | 18.3    | 39.1          | 8.2          | 32.6       | 33.7        | 24.7                                   | 7.2      | 7.2       | 3.9                 |

【家族介護者の性別】 回答者のうち、男性が介護の担い手となっているのは3割弱であるが、男性家族介護者は「食事の準備」39.7%、「夜間の排泄」28.2%、「日中の排泄」17.9%、「食事の介護」11.5%で不安を回答した割合が女性より高い。反対に女性の方が不安に感じているのは、「外出の付き添い、送迎等」47.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」28.7%、「服薬」22.5%、「屋内の移乗・移動」17.4%である（表3-2）。

表3-2 家族介護者の性別・不安に感じる介護等

| 家族介護者の性別 | 人数(人) | 割合(%)      |            |            |            |            |            |               |                 |
|----------|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------------|-----------------|
|          |       | ①<br>日中の排泄 | ②<br>夜間の排泄 | ③<br>食事の介助 | ④<br>入浴・洗身 | ⑤<br>身だしなみ | ⑥<br>衣服の着脱 | 乗⑦<br>・屋内移動の移 | 添⑧<br>い外、出送の迎付き |
| 男性       | 78    | 17.9       | 28.2       | 11.5       | 24.4       | 7.7        | 9.0        | 12.8          | 37.2            |
| 女性       | 178   | 13.5       | 18.5       | 7.9        | 23.6       | 6.7        | 7.3        | 17.4          | 47.2            |
| 無回答      | 23    | 8.7        | 8.7        | 0.0        | 21.7       | 8.7        | 4.3        | 0.0           | 8.7             |
| 全体       | 279   | 14.3       | 20.4       | 8.2        | 23.7       | 7.2        | 7.5        | 14.7          | 41.2            |

| 家族介護者の性別 | 割合(%)   |                        |                  |                |                 |                                 |          |               |                       |
|----------|---------|------------------------|------------------|----------------|-----------------|---------------------------------|----------|---------------|-----------------------|
|          | ⑨<br>服薬 | の⑩<br>対認知<br>応知症<br>状へ | 対⑪<br>応医療<br>面での | ⑫<br>食事の<br>準備 | 事⑬<br>その<br>他の家 | な生⑭<br>諸活金<br>手面銭<br>続に管<br>き理や | ⑮<br>その他 | ⑯<br>特に<br>ない | と⑰<br>わ確<br>か認<br>らない |
| 男性       | 12.8    | 39.7                   | 6.4              | 39.7           | 35.9            | 21.8                            | 6.4      | 3.8           | 6.4                   |
| 女性       | 22.5    | 42.1                   | 10.1             | 32.6           | 36.0            | 28.7                            | 8.4      | 9.0           | 2.8                   |
| 無回答      | 4.3     | 13.0                   | 0.0              | 8.7            | 8.7             | 4.3                             | 0.0      | 4.3           | 4.3                   |
| 全体       | 18.3    | 39.1                   | 8.2              | 32.6           | 33.7            | 24.7                            | 7.2      | 7.2           | 3.9                   |

【家族介護者の年齢】 年齢によって異なる傾向があったのは「入浴・洗身」で、他の年齢層では10～20%台であるのに対して、80代以上では47.9%が不安に感じていた。「食事の準備」も70代以上では4割超が不安としていた。また、「外出の付き添い、送迎等」は60代以外では全般的に不安に思う者が多いという特徴がある。70代以上になると「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」への不安が20%未満となる（表3-3）。

【要介護者の世帯類型】 「認知症状への対応」では、単身世帯や夫婦のみ世帯が3割程度なのに対して、子ども世代との同居などが含まれる、その他の世帯で48.7%と10%ポイント以上高い。反対に、「外出の付き添い、送迎等」については、半数近い単身世帯や夫婦のみ世帯が不安を回答しているのに対して、その他の世帯は32.7%にとどまる。夫婦のみ世帯の場合には、「入浴・洗身」が37.7%、「食事の準備」が43.5%と高くなっている（表3-4）。



表 3－3 家族介護者の年齢別・不安に感じる介護等

| 家族介護者の年齢 | 人数(人) | 割合(%)      |            |            |            |            |            |              |                |
|----------|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|--------------|----------------|
|          |       | ①<br>日中の排泄 | ②<br>夜間の排泄 | ③<br>食事の介助 | ④<br>入浴・洗身 | ⑤<br>身だしなみ | ⑥<br>衣服の着脱 | 乗⑦<br>・屋内の移動 | 添⑧<br>い外、出の迎付き |
| 30代      | 3     | 0.0        | 0.0        | 33.3       | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0          | 66.7           |
| 40代      | 7     | 14.3       | 28.6       | 0.0        | 14.3       | 0.0        | 0.0        | 14.3         | 71.4           |
| 50代      | 51    | 17.6       | 13.7       | 5.9        | 19.6       | 5.9        | 0.0        | 15.7         | 47.1           |
| 60代      | 81    | 21.0       | 25.9       | 11.1       | 21.0       | 6.2        | 4.9        | 13.6         | 28.4           |
| 70代      | 67    | 11.9       | 25.4       | 7.5        | 17.9       | 9.0        | 13.4       | 16.4         | 52.2           |
| 80代以上    | 48    | 8.3        | 16.7       | 10.4       | 47.9       | 10.4       | 14.6       | 20.8         | 50.0           |
| 無回答      | 22    | 4.5        | 9.1        | 0.0        | 13.6       | 4.5        | 4.5        | 0.0          | 9.1            |
| 全体       | 279   | 14.3       | 20.4       | 8.2        | 23.7       | 7.2        | 7.5        | 14.7         | 41.2           |

| 家族介護者の年齢 | ⑨<br>服薬 | 割合(%)                 |                      |            |                 |                                       |          |               |                       |
|----------|---------|-----------------------|----------------------|------------|-----------------|---------------------------------------|----------|---------------|-----------------------|
|          |         | の⑩<br>対応<br>認知<br>症状へ | 対⑪<br>応<br>医療<br>面での | ⑫<br>食事の準備 | 事⑬<br>その<br>他の家 | な生⑭<br>諸活金<br>手面銭<br>続に管<br>き必要<br>理や | ⑮<br>その他 | ⑯<br>特に<br>ない | と⑰<br>わか<br>確認<br>しない |
| 30代      | 0.0     | 0.0                   | 0.0                  | 33.3       | 33.3            | 0.0                                   | 0.0      | 33.1          | 0.0                   |
| 40代      | 14.3    | 28.6                  | 0.0                  | 28.6       | 42.9            | 57.1                                  | 0.0      | 0.0           | 14.3                  |
| 50代      | 19.6    | 45.1                  | 5.9                  | 25.5       | 37.3            | 29.4                                  | 7.8      | 2.0           | 7.8                   |
| 60代      | 19.8    | 50.6                  | 9.9                  | 28.4       | 25.9            | 33.3                                  | 13.6     | 6.2           | 4.9                   |
| 70代      | 19.4    | 32.8                  | 10.4                 | 44.8       | 38.8            | 19.4                                  | 3.0      | 10.4          | 1.5                   |
| 80代以上    | 20.8    | 39.6                  | 10.4                 | 43.8       | 45.8            | 18.8                                  | 6.3      | 8.3           | 2.1                   |
| 無回答      | 4.5     | 9.1                   | 0.0                  | 4.5        | 9.1             | 4.5                                   | 0.0      | 9.1           | 0.0                   |
| 全体       | 18.3    | 39.1                  | 8.2                  | 32.6       | 33.7            | 24.7                                  | 7.2      | 7.2           | 3.9                   |

表 3－4 要介護者の世帯類型別・不安に感じる介護等

| 要介護者の世帯類型 | 人数(人) | 割合(%)      |            |            |            |            |            |              |                |
|-----------|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|--------------|----------------|
|           |       | ①<br>日中の排泄 | ②<br>夜間の排泄 | ③<br>食事の介助 | ④<br>入浴・洗身 | ⑤<br>身だしなみ | ⑥<br>衣服の着脱 | 乗⑦<br>・屋内の移動 | 添⑧<br>い外、出の迎付き |
| 単身        | 93    | 12.9       | 14.0       | 3.2        | 9.7        | 2.2        | 3.2        | 14.0         | 46.2           |
| 夫婦のみ      | 69    | 13.0       | 23.2       | 10.1       | 37.7       | 15.9       | 14.5       | 15.9         | 47.8           |
| その他       | 113   | 16.8       | 23.9       | 10.6       | 26.5       | 6.2        | 7.1        | 14.2         | 32.7           |
| 無回答       | 4     | 0.0        | 25.0       | 25.0       | 25.0       | 0.0        | 0.0        | 25.0         | 50.0           |
| 全体        | 279   | 14.3       | 20.4       | 8.2        | 23.7       | 7.2        | 7.5        | 14.7         | 41.2           |

| 要介護者の世帯類型 | ⑨<br>服薬 | 割合(%)                 |                      |            |                 |                                       |          |               |                       |
|-----------|---------|-----------------------|----------------------|------------|-----------------|---------------------------------------|----------|---------------|-----------------------|
|           |         | の⑩<br>対応<br>認知<br>症状へ | 対⑪<br>応<br>医療<br>面での | ⑫<br>食事の準備 | 事⑬<br>その<br>他の家 | な生⑭<br>諸活金<br>手面銭<br>続に管<br>き必要<br>理や | ⑮<br>その他 | ⑯<br>特に<br>ない | と⑰<br>わか<br>確認<br>しない |
| 単身        | 20.4    | 32.3                  | 5.4                  | 28.0       | 37.6            | 26.9                                  | 1.1      | 11.8          | 5.4                   |
| 夫婦のみ      | 20.3    | 31.9                  | 11.6                 | 43.5       | 36.2            | 15.9                                  | 7.2      | 11.6          | 1.4                   |
| その他       | 15.9    | 48.7                  | 8.8                  | 31.0       | 30.1            | 28.3                                  | 12.4     | 0.9           | 4.4                   |
| 無回答       | 0.0     | 50.0                  | 0.0                  | 0.0        | 0.0             | 25.0                                  | 0.0      | 0.0           | 0.0                   |
| 全体        | 18.3    | 39.1                  | 8.2                  | 32.6       | 33.7            | 24.7                                  | 7.2      | 7.2           | 3.9                   |

## 介護サービス事業の運営状況等についてのアンケート調査結果(概要)

この調査は、令和5年1月に介護サービスを提供している事業所に対し、網走市介護保険事業計画における各種方策等を決定する際の参考とするため、収支状況等を把握するために実施したもので、主たる内容は次のとおりです。

### ■ 調査対象者及び回収率

| 事業種別                | 送付件数 | 回答件数 | 回収率  |
|---------------------|------|------|------|
| 居宅介護支援              | 8    | 7    | 88%  |
| 訪問介護                | 6    | 6    | 100% |
| 訪問看護                | 4    | 4    | 100% |
| 訪問リハビリテーション         | 3    | 2    | 67%  |
| 訪問入浴介護              | 1    | 1    | 100% |
| 通所介護(デイサービス)※基準緩和含む | 4    | 4    | 100% |
| 通所リハビリテーション(デイケア)   | 3    | 3    | 100% |
| 特定施設入所者生活介護         | 4    | 4    | 100% |
| 特別養護老人ホーム           | 1    | 1    | 100% |
| 老人保健施設              | 2    | 2    | 100% |
| 介護医療院               | 1    | 0    | 0%   |
| 認知症対応型共同生活介護        | 10   | 10   | 100% |
| 認知症対応型通所介護          | 2    | 2    | 100% |
| 小規模多機能型居宅介護         | 2    | 2    | 100% |
| 小規模特別養護老人ホーム        | 3    | 3    | 100% |
| 地域密着型通所介護           | 2    | 2    | 100% |
| 地域密着型特定施設入所者生活介護    | 1    | 1    | 100% |
| 合 計                 | 57   | 54   | 95%  |

※ 集計時点で19法人より回答

※ 複数事業を実施している場合、それぞれに計上

### 問1. これまでの介護サービス事業会計の収支は、どのような状況ですか？（事業所回答）

| 選 択 肢             | 件数 | 割合  |
|-------------------|----|-----|
| 1. 大幅な黒字である       | 1  | 2%  |
| 2. やや黒字である        | 1  | 2%  |
| 3. ほぼ収支の均衡が保たれている | 26 | 48% |
| 4. やや赤字である        | 15 | 28% |
| 5. 大幅な赤字である       | 8  | 15% |
| 未回答               | 3  | 5%  |

問 2. 問 1 の収支は、当初の見込みと比べて、どのような状況ですか？（事業所回答）

| 選 択 肢          | 件数 | 割合  |
|----------------|----|-----|
| 1. 大幅に上回った     | 0  | 0%  |
| 2. やや上回った      | 1  | 2%  |
| 3. ほぼ見込みどおりである | 22 | 41% |
| 4. やや下回った      | 22 | 41% |
| 5. 大幅に下回った     | 6  | 11% |
| 未回答            | 3  | 5%  |

問 3. 問 2 で「1」又は「2」（上回った）を選択場合についてお尋ねします。収支の状況が当初見込みより上回った最も大きな要因は、何だとお考えですか？（法人回答）

| 選 択 肢                             | 件 数 |
|-----------------------------------|-----|
| 1. 一定以上の利用者数を確保できたため              | 1   |
| 2. 一定以上の利用者 1 人当たりサービス提供量が確保できたため | 0   |
| 3. 人件費・事務事業費の支出を低く抑える事ができたため      | 0   |
| 4. 介護報酬以外の事業収入が得られたため             | 0   |
| 5. その他                            | 0   |
| 未回答                               | 0   |

問 4. 問 2 で「4」又は「5」（下回った）を選択した場合についてお尋ねします。収支の状況が当初見込みより下回った最も大きな要因は、何だとお考えですか？（法人回答）

| 選 択 肢                                 | 件数 |
|---------------------------------------|----|
| 1. 当初見込んだ利用者数が確保できなかったため              | 2  |
| 2. 当初見込んだ利用者 1 人当たりサービス提供量が確保できなかったため | 1  |
| 3. 介護報酬単価が低いため、当初見込んだ収入が得られなかったため     | 2  |
| 4. 人件費・事務事業費の支出が予想より大きかったため           | 2  |
| 5. その他                                | 4  |
| 未回答                                   | 1  |

問 5. 貴事業所が行っているサービスの提供状況は、当初見込んだ事業量と比べてどうですか？  
(事業所回答)

| 選 択 肢      | 件数 | 割合  |
|------------|----|-----|
| 1. 大幅に多い   | 0  | 0%  |
| 2. やや多い    | 4  | 7%  |
| 3. ほぼ予定どおり | 23 | 43% |
| 4. やや少ない   | 10 | 19% |
| 5. 大幅に少ない  | 6  | 11% |
| 未回答        | 11 | 20% |

問 6. 問 5 で「1」「2」(多い)を選択した場合についてお尋ねします。提供量が当初見込みより上回った最も大きな要因は、何だとお考えですか？ (法人回答)

| 選 択 肢                                | 件 数 |
|--------------------------------------|-----|
| 1. サービス内容や質が利用者に評価されたため              | 0   |
| 2. 広報活動等により、一定程度の利用者が確保できたため         | 0   |
| 3. 必要なサービスの利用について、利用者の理解が得られるよう努めたため | 0   |
| 4. 市内に、見込んだ以上の需要があったため               | 2   |
| 5. その他                               | 0   |
| 未回答                                  | 2   |

問 7. 問 5 で「4」又は「5」(少ない)を選択した場合についてお尋ねします。  
提供量が当初見込みより下回った最も大きな要因は、何だとお考えですか？ (法人回答)

| 選択肢                               | 件数 |
|-----------------------------------|----|
| 1. 市内に見込んだほどの需要が無かったため            | 2  |
| 2. 他の事業所に利用者が集中する傾向があるため          | 0  |
| 3. 利用者負担を考慮して、利用者がサービスを手控えているため   | 0  |
| 4. 医療保険等の他制度を利用するケースが見込み以上に多かったため | 0  |
| 5. 必要な従業者を確保できなかったため              | 5  |
| 6. その他                            | 2  |
| 未回答                               | 0  |

問 8. 現在の介護報酬は、サービスの提供内容から判断して妥当と考えますか？（法人回答）

| 選 択 肢            | 件数 | 割合  |
|------------------|----|-----|
| 1. 概ね妥当である       | 7  | 37% |
| 2. もっと引き上げるべきである | 10 | 53% |
| 3. もっと引き下げるべきである | 0  | 0%  |
| 4. その他           | 1  | 5%  |
| 未回答              | 1  | 5%  |

問 9. 現在の職員数 及び 過不足状況についてお伺いします。（法人回答）

（職種別の職員数を記入し、過不足状況について あてはまる欄ひとつに○）

|               | 現在の職員数 |       | 法人・企業別 過不足状況 |           |           |     |                  |
|---------------|--------|-------|--------------|-----------|-----------|-----|------------------|
|               | 正 規    | 非正規   | 大いに<br>不 足   | やや<br>不 足 | 適 当       | 過 剰 | 当該職種<br>は<br>いない |
| 1. 介護福祉士      | 233 人  | 88 人  | 3            | 7         | 4         | 0   |                  |
| 2. 介護ヘルパー     | 72 人   | 74 人  | 3            | 8         | 3         | 0   |                  |
| 3. 介護支援専門員    | 46 人   | 10 人  | 0            | 6         | 7         | 0   |                  |
| 4. 介護職員       | 31 人   | 54 人  | 2            | 4         | 5         | 0   |                  |
| 5. 看護職員       | 47 人   | 51 人  | 1            | 6         | 7         | 0   |                  |
| 6. 生活相談員      | 10 人   | 0 人   | 0            | 0         | 6         | 0   |                  |
| 7. PT・OT・ST 等 | 8 人    | 1 人   | 8            | 1         | 0         | 0   |                  |
| 8. その他(事務職等)  | 23 人   | 17 人  | 0            | 1         | 5         | 0   |                  |
| 全体（19 法人・企業）  | 470 人  | 295 人 | 2            | 12        | (割合)73.7% |     |                  |

問 10. 問 9 で「事業所全体でみた場合」の「大いに不足」「やや不足」いずれかに「○」をつけている場合、その理由は何ですか(複数回答可)（法人回答）

| 選 択 肢               | 件数 | 割合  |
|---------------------|----|-----|
| 1. 希望職種の採用（人材確保）が困難 | 12 | 86% |
| 2. 人件費の増大           | 5  | 36% |
| 3. 離職率が高い（定着率が低い）   | 4  | 29% |
| 4. その他              | 0  | 0%  |

問 11. 令和 4 年中(令和 4 年 1 月 1 日～令和 4 年 12 月 31 日)の「採用者数」と「離職者数」についてお伺いします。(法人回答)

※「離職者」とは上記期間中に事業所を退職あるいは解雇された方を指し、同一企業・法人内の介護事業所以外への異動・出向を含みます。

|     | 採用者  | 離職者  | 離職者の勤続年数 |                |                 |        |
|-----|------|------|----------|----------------|-----------------|--------|
|     |      |      | 1 年未満    | 1 年以上<br>3 年未満 | 3 年以上<br>10 年未満 | 10 年以上 |
| 正 規 | 49 人 | 47 人 | 11 人     | 13 人           | 11 人            | 12 人   |
| 非正規 | 35 人 | 44 人 | 16 人     | 14 人           | 10 人            | 4 人    |
| 合計  | 84 人 | 91 人 | 27 人     | 27 人           | 21 人            | 16 人   |

問 12. 現在、政府は外国人材の受け入れに力を入れていますが、考え方を聞かせてください。(法人回答)

| 選 択 肢                         | 全体 | 割合  |
|-------------------------------|----|-----|
| 1. 積極的に受け入れたい                 | 2  | 11% |
| 2. 語学力の向上などの課題が解決されれば受け入れてもよい | 7  | 37% |
| 3. 語学力の向上などの課題が解決されても受け入れは困難  | 6  | 32% |
| 4. 絶対に受け入れない                  | 0  | 0%  |
| 5. その他                        | 3  | 16% |
| 未回答                           | 1  | 5%  |

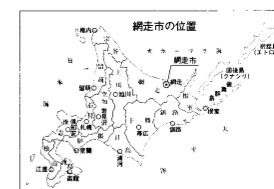
問 13. これまで、利用者やその家族からどのような苦情が寄せられていますか？(法人回答)  
(苦情の多い順から 2 つ選択)

| 選 択 肢                 | 第 1 位 | 第 2 位 | 全体 | 割合  |
|-----------------------|-------|-------|----|-----|
| 1. 特に苦情を受けていない        | 8     | 0     | 8  | 42% |
| 2. サービス内容に関するもの       | 3     | 3     | 6  | 32% |
| 3. 利用手続きに関するもの        | 0     | 0     | 0  | 0%  |
| 4. 職員の態度に関するもの        | 4     | 2     | 6  | 32% |
| 5. 施設・設備に関するもの        | 1     | 1     | 2  | 11% |
| 6. 介護保険以外の利用者負担に関するもの | 2     | 0     | 2  | 11% |
| 7. その他                | 1     | 0     | 1  | 5%  |
| 未回答                   | 0     | 0     | 0  | 0%  |

問 14. 円滑な事業運営を図る上で、現在、特に困難を感じていることは、ありますか？（法人回答）

（度合いが高い順に 3 つ選択。この項目に関して自由に意見を記載してください。）

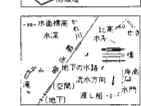
| 選 択 肢              | 第 1 位 | 第 2 位 | 第 3 位 | 全体 | 割合  |
|--------------------|-------|-------|-------|----|-----|
| 1. 特に困難を感じていることはない | 0     | 0     | 0     | 0  | 0%  |
| 2. 従事者の確保          | 11    | 3     | 0     | 14 | 74% |
| 3. 利用者の確保          | 0     | 5     | 1     | 6  | 32% |
| 4. 事務量が多い          | 4     | 4     | 2     | 10 | 53% |
| 5. 施設・設備の改善        | 1     | 2     | 2     | 5  | 26% |
| 6. 必要な情報の入手        | 0     | 1     | 1     | 2  | 11% |
| 7. 従事者の資質向上        | 1     | 2     | 6     | 9  | 47% |
| 8. 利用者や家族の制度に対する理解 | 1     | 2     | 0     | 3  | 16% |
| 9. 市と連携を図ること       | 0     | 0     | 1     | 1  | 5%  |
| 10. 他の事業所と連携を図ること  | 0     | 0     | 1     | 1  | 5%  |
| 11. その他            | 1     | 0     | 2     | 3  | 16% |
| 未回答                | 0     | 0     | 0     | 0  | 0%  |



記号

[illegible]

|             |            |
|-------------|------------|
| 中           | 二重作林       |
| 南           | 新葉南林       |
| 東山雲         | ふいり雲       |
| 森 崎         | 竹 崎        |
| 平 塚         | の 地        |
| おの松の<br>樹木道 | やし和<br>葉集林 |



凡 例